PRIDE王者ノゲイラに続き、K-1王者ホースト血の海!
スリータイム・チャンピオン
平成14年10月24日発行(毎月第2・第4木曜日発行)第4巻・21号・通算80号
SRS DX
Special Ring Side
No.80
2002
10・24
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN
速報号
アルゼ
K-1 WORLD GP2002
開幕戦
驚天動地
サップがK-1を
破壊した!!
突然変異は
世界を変える!

新世代タンニング。
JSA
日本ソラリウム協会加盟店
For Professional Tanning since1979
UVA Solartone
NeoTan Ergoline PHILIPS
タンニング光線
日焼けは紫外線に対する人間自然な反応です。でも過剰な日焼けは危険です。太陽光は、季節・時・場所・天候によって光の強さ、紫外線のバランスが著しく変化します。つまり、太陽光線による安全な日焼けは非常に困難となります。
一定の光量と適切なUVA-Bのバランス、正確な時間管理ができる、フィリップス社のソラリウムは、スキンタイプに合わせてタンニングできるので自分で過剰に日焼けしない限り、太陽光線での日焼けより安全です。
日焼けができない人もいます、自分の肌のタイプをよく理解してタンニングしましょう。
日焼け用ランプの事実
最初に安全な日焼け用ランプを製造したのは、オランダのフィリップス社で、現在でも世界中の日焼けランプの半数以上を供給していると言われています。プロ用も家庭用もフィリップス社製のランプが使用されています。
プロ用日焼けマシンの事実
アメリカから来たと思われている日焼け、でも本当は欧州が最初。むしろ、アメリカは技術面ではるかに遅れているのは業界の常識。
ドイツ・オランダで世界中の主だったマシンを供給してることは、あまり知られていません。中でもエルゴライン社（ドイツ）は世界一と言われ、世界中のマシン・メーカーがそのデザインや技術を見本にしているのも業界の常識です。写真のオープンサンも、その斬新的な発想の現れの一つで、蓋を閉じるカプセル型が常識であったタンニングマシンを、強力なランプと特殊な反射板を利用して、あたかもビーチで日光浴しているような開放感あふれるシステムに仕上げています。
ライト・タンニング
ヨーロッパでは、年齢・性別に関係なく皆が健康的な肌の色を求めてタンニングサロンへ通っています。実際、30代以上の女性がよくサロンへ来るのを見かけますし、男性もあるクラス以上の人は、きれいに日焼けしている人を多く見かけます。
黒く濃い日焼けより、明るい色の日焼け＝ライト・タンニングが、健康志向の強いヨーロッパでの、アダルトでハイクラスなステータスとして定着しているからなのでしょう。
自然な色のライト・タンニングが、これからのスタイル、新世代のタンニングと言えるようです。
プロのマシンの顔用ランプは、同じメタルハライド・ランプ。
プロ仕様フィリップス・ソラリウム
フィリップスのタンニングマシンは、日焼けに理想的なUVA-Bバランス。肌に優しいスピーディな日焼けと、安全で美しい仕上がりを約束します。
注意：
500Wの表示で、実際は20Wチューブ同等の低いUV出力しかなく、UVBのバランスも高く非常に危険なものがあります。注意しましょう。
オリジナル
UVチューブ・タイプ
HB-171
顔用モデル
19,800円(税別)
HB-311
上半身モデル
39,800円(税別)
ソーラートーン・ショールーム
フィリップス製品と世界有数のマシンを無料体験できます。詳しくは電話で。
サンショップ：(03)5785−3754
サンショップ・ソーラートーン
シャーレー原宿2F
明治通
イトキン
竹下通
表参道
至渋谷
至代々木
JR山手線
原宿駅
東京都渋谷区神宮前2-34-20シャーレー原宿2F
プロ用メタルハライド・ランプ ＋ 特殊フィルター！
HB-406（半身〜全身用）
本体 78,000円 ＋送料1,200円（税別）
（オプション：HB-043 専用スタンド 18,000円 税別）
400Wメタルハライドランプ／60分タイマー
タンニングセレクタ／専用ゴーグル付き
100V 50/60Hz 480W オランダ製
サイズ：260×200×470(mm), 4.2kg
月々 4,100円 ×23回＋4,826円（24回例）
（スタンド付の24回払は、月々5,000円×6,655円）
UVA+
照射能力
距離70cm 直径120cm
PHILIPS
製品のお問い合せは、ソーラートーン・ダイレクト 〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-19-6 TEL:03-3495-0322（月〜金10:00〜18:00）まで
ご注文は、TEL:03-3495-7020（24時間） FAX:03-3495-0323 または、当社ホームページ www.solartone.com にお願いします。
支払方法は代金引換又はクレジットカード（VISA,MASUTER,オリコ）をお選び下さい。 ■お客様のご都合による返品は到着後8日以内（送料はお客様負担）でお願いします。

アルゼ 開幕戦 K-1 WORLD GP2002
10・5★さいたまスーパーアリーナ

敗れし者

ミスター・パーフェクト
スリータイム・チャンピオンに

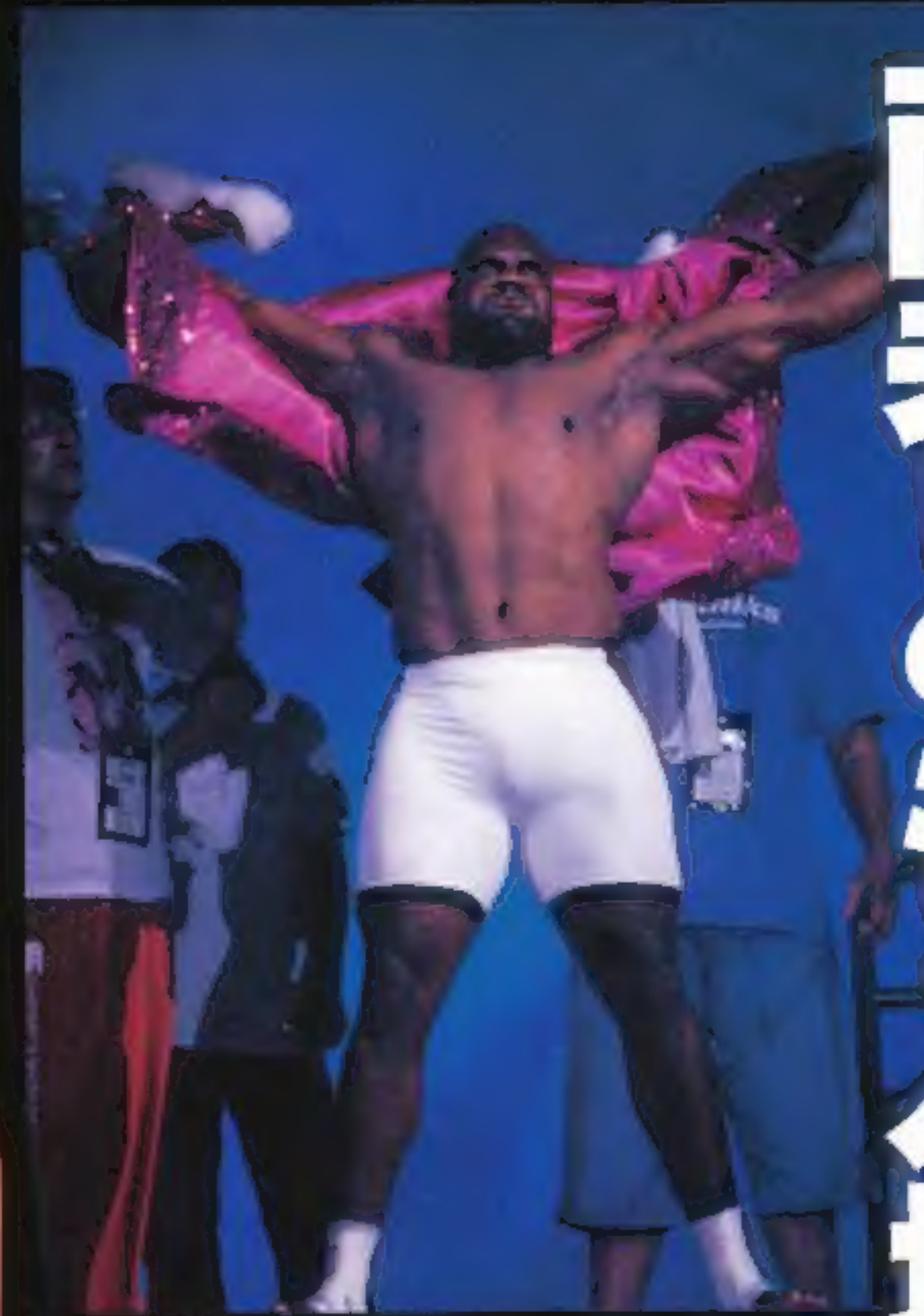
初めて“ホーストコール”が……

HOOST VS SAPP

▲ダウン後も殴りかかるサップ。一度暴走し始めたら止まらない

場内には大“ホーストコール”が起きたが、目尻のキズは深く、無念のドクターストップ。まさかの結末だった

撮影◎真崎貫夫／中島ミノル（望遠）、　K-1

両者とも入場からバツグン！

▲すっかり板に付いてきた入場。ド迫力だ

▲一方、ホーストの入場も最高！　いつもより激しいダンスに場内から大声援が飛んだ

サップ初の泣き顔に

▲突進してくるサップの攻撃をかわしながら強烈なローを打ち込むホースト。サップの顔がゆがむ

なんだか〝サップ現象〟が本物になってきた。それを決定づけたのが、10月5日、さいたまスーパーアリーナで行われたボブ・サップ対アーネスト・ホーストの一戦だ。この試合はK―1のスリータイム王者にK―1の外敵が挑んだ天下分け目の闘い。

そう、サップは明らかにK―1の外敵だった。K―1に外敵という概念が生まれたことが、今年のK―1の新しい展開でもある。

この外敵は果たしてどれだけの強さを持っているのか？　それはK―1を作り上げた石井館長にさえ、まさに予想不可能な領域になっていた。そういう存在の出現はK―1にも喜ばしいことだ。

これはスポーツという競技として成長してきたK―1が、新たな展開を呼び込んでいる証拠でもある。サップはK―1への侵入者であり侵略者でもあるのだ。

重要なことは、サップはK―1の専門的な技術に関しては、ほとんど素人に近い人間。打撃の技術はないと断言してもいい。しかしその男がK―1ファイターからすると脅威の存在になっている。

だが、まだこの時点でサップの実力は未知数。海のものとも山のものとも分からない。その答えがはっきりと出る日が来た。それがK―1のスペシャルファイターであるホーストとの試合で審判が下るからだ。素人であり外敵でもあるサップの運命やいかに……。

この怖いもの知らずをその道の専門家であるホーストが、どう料理するのか？　あるいは果たして料理できるのか？

こんな興味深いカードを現実に

VS SAPP

〝ビースト〟に本物のローの洗礼!

▶ローでペースを掴んだホーストのパンチもサップの顔面を捕らえる

▶さらに強烈なロー。しかし、かなり入っていたはずなのに、翌日には「ダメージはまったくないよ」とケロッとしていた。マジで人間とは思えない!

精密機械が感情むき出しホースト、怒りの鉄拳!

実現させてしまったのだからK―1は、ここにきてファンタジーな世界に入ってきた。これぞプロレス的世界だ。つまりK―1の外敵、サップは昔で言うと、プロレスの世界では〝未だ見ぬ強豪〟と言えるからだ。

すでにK―1では中迫戦、アビディ戦の2試合を経験しているので〝未だ見ぬ〟という表現は正確には正しくない。しかしホースト側からすると絶対に〝未だ見ぬ〟不気味な存在だった。

格闘技にとって何がファンタジーであるのか、それを最も分かりやすい形でファンに提示したのがサップvsホースト戦だ。ただの競技にファンタジーなんかあるはずがない。それはこの日行われた第1試合から第5試合を見れば分かる話ではないか?

肉体はなぜか保守的である。よって格闘技の試合は得てして保守的な内容になる。つまり真剣勝負が保守的だということである。

なぜなら人はまず自分を守ることを考える。これは生物にとって生きていくことが、基本的条件になっているからだ。闘いは自分の存在を脅かすもの。こうしてファイターたちの心が保守化するのは当然と言えば当然なのだ。

保守化したものはファンタジーにはならない。ファンタジーとは幻想のことだからだ。幻想とは現実を突き抜けた幻影のこと。サップとホーストの試合は観客にその幻影を見せてくれた。

普段は決して起こらないことがそこで起こったからだ。なんとK―1で〝ミスターパーフェクト〟と言われたホーストが、サップの

HOOST V

ローを蹴られて思うような攻めができなかったサップが、いきなり大反撃。ガムシャラなパンチを打ち込んでいった

▲コーナーに詰めての連打が、ホーストのガードを吹っ飛ばし、遂に顔面にヒット。この時にホーストは目尻をカットしてドクターチェックが入る。サップはこのインターバルで体力を回復

▲ローを蹴ろうとするホーストだったが、サップの圧力に負けてしまう。そんなバカな……

まさかの形勢逆転！この男のガッツも凄まじい

ああああっ！ フェクトが ていく……

強引な力技（ちからわざ）の前に圧倒されるという意外な展開。

そのままズルズルといってしまい無念のレフェリーストップ負けとなった。まさかの敗北。Ｋ―１の専門家たちにとって絶対に信じたくない出来事となった。

大番狂わせである。Ｋ―１の外敵がＫ―１に勝ったのだ。それがもうファンタジーではないか？無責任な言い方だがＫ―１の常識が、サップによってぶち壊されたのだ。これを石井館長は「Ｋ―１が破壊された」という言い方をしていた。それでいいのだ。成熟したものはどこかで一度、壊す方向にもっていかないとダメだ。

ホーストにとってはいい迷惑である。陣営が「はめられた」と言ったのはさもありなんだ。あれは間違いなくはめられた。Ｋ―１でファンタジーな世界を見たがった人間が、ホーストをはめた。

全ては後の祭りだ。逆に我々はいいものを見せてもらった。ホーストは言うなれば外敵から自分を守れなかったのだ。そのことでジャンルとしてのＫ―１が、敗れたわけではない。守旧派的存在になっていたホーストの神話が崩れ去ったのだ。

それもまたＫ―１であると私はそのように考えている。日本の社会がどうしようもない構造不況に陥り、なおかつ既得権を手に入れている人たちは、抵抗勢力として反改革側にまわっている。

それとＫ―１は似ている。実力の世界でありながらベテランのアーツやホーストやバンナが、幅をきかせている。彼らは形を変えた抵抗勢力と言ってもいい。

S SAPP

▶1R終了間際、再びコーナーに追いつめたサップが連打を打ち込む。ホースト絶体絶命の危機に、場内は〝ホーストコール〟

◀ゴング直後、レフェリーがなんとか間を分けて入ってサップを止めたものの、ホーストはへたり込んでしまった

うあああああ K-1が、ミスターパーフ…破壊されてい…

★第7試合・メインイベント/K-1ルール（3分3R）
○ボブ・サップ（1R終了時TKO勝ち）アーネスト・ホースト●
〈アメリカ/チームビースト〉 〈オランダ/ボスジム〉
※ホーストの左目上カットのためドクターストップ

その頂点の一角であるホーストをぶち倒したサップは、まさにK—1に風穴をあけたニューヒーローである。ホーストは何も悪くない。彼は正しかった。

ただ1点、競技という枠の中で自らの存在が、保守化していたことが命取りとなった。そこには外敵という概念がない。それがホーストの決定的な敗因である。

彼は「競技としてのルールを守れない者は、K—1で試合をする資格はない。なぜならK—1はスポーツだから……」と暗にサップを批判した。それは正論なのだが私は認めるわけにはいかない。

ラウンド終了のゴングが鳴っているのに、パンチを出し続けたサップへの抗議なのだが、人の顔を殴る競技がそもそもスポーツであるわけがないではないか？

ましてKO（ノックアウト）という人間の存在を脅かすことを平気でやっているのだ。どこがスポーツなのだと言いたい。

命に別状のない競技をスポーツと呼び、命に別状のあるものはスポーツとは呼ばない。ここの部分をはっきりさせておくべきだ。

さらに言うならスポーツには外敵は存在しない。内敵と外敵という概念も区分けが必要だ。

ホーストはサップのことを外敵と思って闘った。本人がK—1をスポーツと思っていたなら闘うべきではなかったのだ。そこがホースト陣営の最大のミスだ。

つまり自分の土俵、自分に有利なルールで試合をするので〝勝てる〟と踏んだのだ。そう思った以上、あとで〝はめられた〟と言うのは、言い訳でしかない。

HOOST VS

ホーストダンスならぬビーストダンスだ！

◀ホーストダンスを真似たのか、勝利の〝ビーストダンス〟を見せたサップ。表情がサイコー

前号（10月10日号）の表紙はサップだったが、そのコピーは「今や史上最強のジャンル荒らしだ！」だった。ホーストを破ったことでサップはそれを実証してくれた。

そして今回の表紙のコピーは「突然変異は世界を変える」だ。突然変異の意味は己の中にそれまでなかったルールを持って、この世に出現するもののことを言う。

世界を変えること、一つの世界を変革することはルールを新しくすることなのだ。新しいルールが新しい価値観を生んで、新しい世界を作り上げていくのだ。

この場合、ホーストは古いルールの中で生きているファイターであり、サップは新しいルールを偶然、自分の中に持っていた選手と言えるだろう。

サップの面白いところは『プライド』にしろK―1にしろ、各ジャンルのルールの中で闘っている人間を、思い切り潰しにいくことだ。『Dynamite!』におけるノゲイラ戦もそうだったし、今度のホースト戦もまさにそうだ。

いうなればサップは道場破りをやっているようなもの。ジャンル荒らしという名の現代の「ガリバー旅行記」である。

サップという人にはそういうイメージがある。K―1側からすると、サップは受け入れがたい選手である。その存在は限りなくヒール（悪役）に近い。

それなのにサップはファンからもマスコミからも、支持されている部分がある。その理由はどこにあるかといったら、サップの存在がK―1というジャンルが作っているルールよりも、上位概念にあ

アルゼ 開幕戦 K-1 WORLD GP2002
10・5★さいたまスーパーアリーナ

▼メインイベントのプレゼンターは桜庭が務め、サップに花束を贈呈した

創立10年目、最大の危機! まさか、サップがK-1王者になる?

勝利が確定した瞬間には、雄叫びをあげたサップ。喜び方もビースト級だ

▲前列に並んだのが東京ドーム決勝大会出場者。錚々たる顔ぶれだ

ツバを吐いて中西まで挑発! 10・14、今度は新日本プロレス破壊!

▲▶試合後、リングサイドの新日本プロレスの中西学にマウスピースを吐き出して挑発。サップと中西は緊迫した雰囲気に

ることを、我々に示しているからだろう。

要するに、ここでも分かったことは、ルール自体が保守的だというもう一つの事実についてである。我々はそれを超えた存在を、心のどこかで求めている。

ルールを超えた別格的な存在。ルールより上にある破格な存在。ホーストにそれを求めるのははじめから無理。その瞬間、初めてホーストは観客からコールを受けた。"ホーストコール"が客席から自然発生したのだ。

サップとの対比からファンはホーストにたぶん"せつなさ"みたいなものを感じとったのだ。これは同情とは違う。メチャメチャな存在として目の前に立ちはだかっているサップに対して、ホーストはその時、得意のローキックを放ってガリバーに向かっていった。

その度にガリバーの左足が少しだけがくっと崩れた。あれを見て興奮しないファンはいない。

さすがホーストである。我々はあの瞬間、試合で最も美しいものを見たことになる。2人のファイターの生き方の違い、価値観の違い、存在のあり方の違いをきっちりと見せてくれたからだ。

そうなったら勝ったサップと敗れたホーストのどちらも評価したくなる。それは「よくやった!」という意味ではなく、それをはるかに超えたお互いのアイデンティティ(自己同一性)をぶつけあった闘いになっていたからだ。

男とはああるべきなのだ。でも突然変異とぶつかってしまったホーストがせつなく見えたのはなぜだろうか。(ターザン山本)

HOOST VS

SAPP

「最後はブチ切れて、自分でも何をやってたのか覚えてないね」

ボブ・サップのコメント

―今の気持ちは

サップ　グレイト！　最高の気分で、満足感でいっぱいだ。

―K―1王者のホースト選手の印象は？

サップ　本当に素晴らしいファイターだと思う。コンビネーションの組み方が凄くて、最初のうちは惑わされた。

―ローキックのダメージは？

サップ　ダメージ的にはない。ローキックをもらったが、痛みそのものは感じていない。

―ローキックで顔をしかめる場面もありましたが、痛みは感じていない？

（ここでジョシュ・バーネットが同席）

バーネット　今までに受けたことのなかった攻撃が目まぐるしく当たったので、それに対するフラストレーションや戸惑いが表情に現れたんだ。衝撃はあったけど痛みはないと思うよ。

サップ　この場を借りて、日本に来て以来、正道会館の道場でトレーニングをさせてもらったりとか、いろいろな施設を使わせてもらったことに感謝したい。焼肉に連れていってもらったり、自分だけじゃなくチームに関しても、よく面倒を見てもらった。次の試合に向けて、チーム・ビーストは準備万端だ。

―来週はプロレスのリングで試合をしますが、いろいろなルールで闘える秘訣は？

サップ　スリータイム・チャンピオンのホーストに勝ったことが1つの活力源。2つ目はノゲイラ戦をしたこと。そして中西ドリンクをグビグビ飲むことが3つ目の活力源だ。

―いろいろなルールで試合をすると混乱することはありませんか？

サップ　ルールにかき混ぜられることはないが、ホーストのパンチとキックには惑わされたな。

―途中ノーガードでホースト選手に向かっていきましたが、その時の気持ちは？

サップ　こういう仕事をしていると、ブチッと切れちまう時がある。怒りで切れるというよりも、思うようにならなかった試合だったのでフラストレーションが凄く溜まって、それがある限界を超えた時に暴発気味になるんだ。そういう状態になってしまうと、自分が今、どこにいて、なんのために、何をやっているのかを全て度外視して、あいつが勝つか、オレが勝つかだけの世界になってしまう。その次元に達したので、ああいう形で突進してしまった。もしあの時、ホーストがもっと攻撃を仕掛けてきたら、制御不能になって、もっとひどくホーストにケガをさせちまったかもしれない。自分自身あの時の記憶がほとんどなくて、たぶんビデオで見直さないと思い出せないだろう。

―GP決勝トーナメントに進出しますが、怖いと思う相手はいますか？

サップ　誰というよりも他の7人、全て自分にとっては強敵というか、難しい相手になると思う。今日の試合を教訓として、いくつかの失敗もあったので、そこをいい形で直して、基本に立ち戻りたい。それからきっちりトレーニングをして、チーム・ビーストの中で話し合いをして、GPに臨みたいと思う。■

HOOST

「ブレイク後は攻撃しないのがルール。サップはK-1で闘うべきじゃないね」

ホーストのコメント

―試合後の感想は？

ホースト　いい気分ではないね。負けるのは嫌いだから。

―石井館長は勝てた試合だと言っていたそうですが。

ホースト　目の上のキズがひどくて、実際に自分でキズを見たら、あれ以上闘うのは無理だなと納得したよ。

―ダメージのほうはどうですか？

ホースト　ダメージ自体はそれほどでもない。何発かいいパンチをもらって、ある程度の衝撃は受けたが、試合を続けるのに問題はなかった。試合の中で、通常はレフェリーが「ブレイク」と言えば、一度攻撃をやめるのがルールだと思う。自分はそのルールに従ってきたつもりだ。でも今日はルールがきっちり守られてなくて、ブレイクがかかった後の対処が曖昧だったので、非常に後味が悪い。

―ローキックは手応えがありましたか？

ホースト　ダメージは与えたと思うが、（サップが）立ち続けていたので、十分ではなかったんだろう。ただ1週間位は痛くてちゃんと歩くことは無理じゃないかと思う。

―目の上のキズはパンチで？

ホースト　たぶんそうだと思う。（サップは）パンチ攻撃しかないから。

―キズの状態は？

ホースト　横の長さは少なくても2センチは切れていた。深さもだいぶ深く切れていたと思う。

―このような形で10年目のGPを終えてしまいましたが。

ホースト　決勝戦に進めなくなったことで、チャンピオンになる機会を奪われてしまった。自分としては常にチャンピオンになることが目標だったので、やり残したものは大きい。

―サップ選手はGP決勝戦で優勝できると思いますか？

ホースト　分からない。自分には関係のないことだね。

―再戦して勝つ自信はありますか？

ホースト　もちろん勝つ。ただ個人的な意見だが、サップのようなファイターはK―1で闘うような選手ではないよ。

―サップ選手のようなタイプの選手が優勝候補に上げられている点については？

ホースト　グッドラックと言いたい。

―サップ選手の暴走行為がなかったら仕留めていましたか？

ホースト　そういうことは問題じゃない。この場で答えるべきではない。ただ自分にも勝機があったということは納得してもらえると思う。今日の試合はケガのせいで試合を続行することができなかっただけだ。

―会場でホーストコールがありましたが。

ホースト　会場の声援はファイターにとってありがたいものだ。大変力になったけど、ケガには勝てなかった。

―ケガを治して再戦したい気持ちは？

ホースト　リマッチをするかしないかは問題じゃない。もし再戦するなら、きちんとしたレフェリーで、ルールを厳密に守れる試合ができる環境が第一条件だ。私は今までクリーンファイトを心掛けてきた。日本のファンは時にダーティーファイターと呼ばれる暴走ぎみの選手をひいきすることを分かっているけど、自分としてはルールを守って闘いたいし、相手にもクリーンファイトを要求したい。

―サップ選手のようなパワーファイトで押し潰すような選手の出現で、K―1が危機感にさらされることはありませんか？

ホースト　ヘビー級である以上、仕方のないことだ。体重が重いから試合に勝てるわけでもない。体が大きいこと、重いことがマイナスに働くこともあると思う。

―スリータイムチャンピオンのホースト選手にとって、サップ選手のようなスタイルはK―1を冒涜されたと感じますか？

ホースト　テレビの存在が大きくなると視聴率などに左右されるのは十分理解できるよ。テレビ的に何が一番受けるかといったら、サップのような体の大きい選手がラフファイトをすることだろ。センセーショナルなものとして考えるのか、スポーツとして考えるのかということだ。自分はK―1はスポーツだと考えている。

―サップのファイターとしていいところは？

ホースト　重いパンチかな。

―もっとローキックが入ればKOできたかもしれないのですが？

ホースト　言い訳になるのであまり言いたくないが、4年前の98年のGPの直前にアレルギーにかかり、今回もその時ほどひどくはないが、アレルギー症状が出てしまって1週間ほどトレーニングがまったくできない状態だった。やはりベストな状態の時とは違って体にキレがなく、ローキックを続けるだけのパワーがなかった。何発か入れば倒れたかもしれないが、それを言い訳にしたくない。でも完全な状態だったら、2Rまでには仕留められたと思う。■

もう普通のK-1じゃあ、物足りない！
バンナとゲーリー 役者が違うぜっ！

▶やっとK－1開幕戦に火を付けたバンナ　この2人、とにかく役者が違うぜ'

ゲーリーの素晴らしいダウン後の表情。「プライド」の番人は、究極の仕事人でもあった

K-1VS PRIDEの対抗戦は、「競技」の枠を超えてこそ、感動が生まれる！

▲圧倒的な存在感を持つバンナ。やっぱり今のK—1を象徴するのはこの男しかいない

▲前半5試合で判定が続き、観客のハートがすっかり膠着したところ、それを解き放ったのはゲーリーの入場だった

GP開幕戦と言えば、3年ぶりに復活したK—1のオールスター戦。特にここ1年は他流試合をやったことで〝外敵〟も増え、ニュージェネレーションも台頭して選手層は一気に拡大した。

本来、今年の主役であるべきはずのミルコがいなくても、極真フィリォがいなくても、なんら動揺が起こらない。それほど、今のK—1は充実しきっている。

そんな年に一度のオールスター戦だけに、どんな面白い試合の連続になるかと思いきや、これが見事にため息の出る試合が続いた。

なぜこんなことが起こったかというと、東京ドームのキップがかかっているため、ファイターは普段の試合以上に慎重になってしまったからだ。まして、レベルが上がっている上に、「本戦3R」しかないルールのため、ファイターは潜在意識として「KOでは勝てない」と思い込んでしまったフシがある。その保守的な心が、ファイターの〝倒す〟という意識にブレーキをかけてしまったのである。

しかし、それを責めるのも酷なこと。なぜなら、ファイターとは本来、保守的な生き物。保守的だからこそ、必死で「競技」の枠の中に、自分の心と体を適応させようとするからである。その精神で経験を積んでいくうちに、より完璧なアスリートに近づいていくのが、やる側の根本的なモチベーションなのだ。

ところが、見る側の立場になるとそうはいかない。特に最近は他流試合を経験することで、「競技」の枠に収まらない闘いの強烈な刺激を、我々は覚えてしまっている。

アルゼ 開幕戦 K-1 WORLD GP 2002
10・5★さいたまスーパーアリーナ

▼前に前に出ながらもハイキックも打ち込むバンナ、意外と冷静なのかも

▲相手がガンガン攻めてくると、すぐに熱くなるバンナは壮絶な打ち合いに持ち込む
でも、そこが素晴らしいのた

▼試合前、かなりの舌戦が繰り広げられたため、睨み合いからピリピリと緊張感か走った

▲試合前から「パンチでしかいかない」と公言していたゲーリーは、持ち前の打たれ強さとパワ
ガンカン前に出る

他流試合がなぜ面白いかというと、それはやる側・見る側の中に潜む「競技」の概念を破壊してしまうからだ。

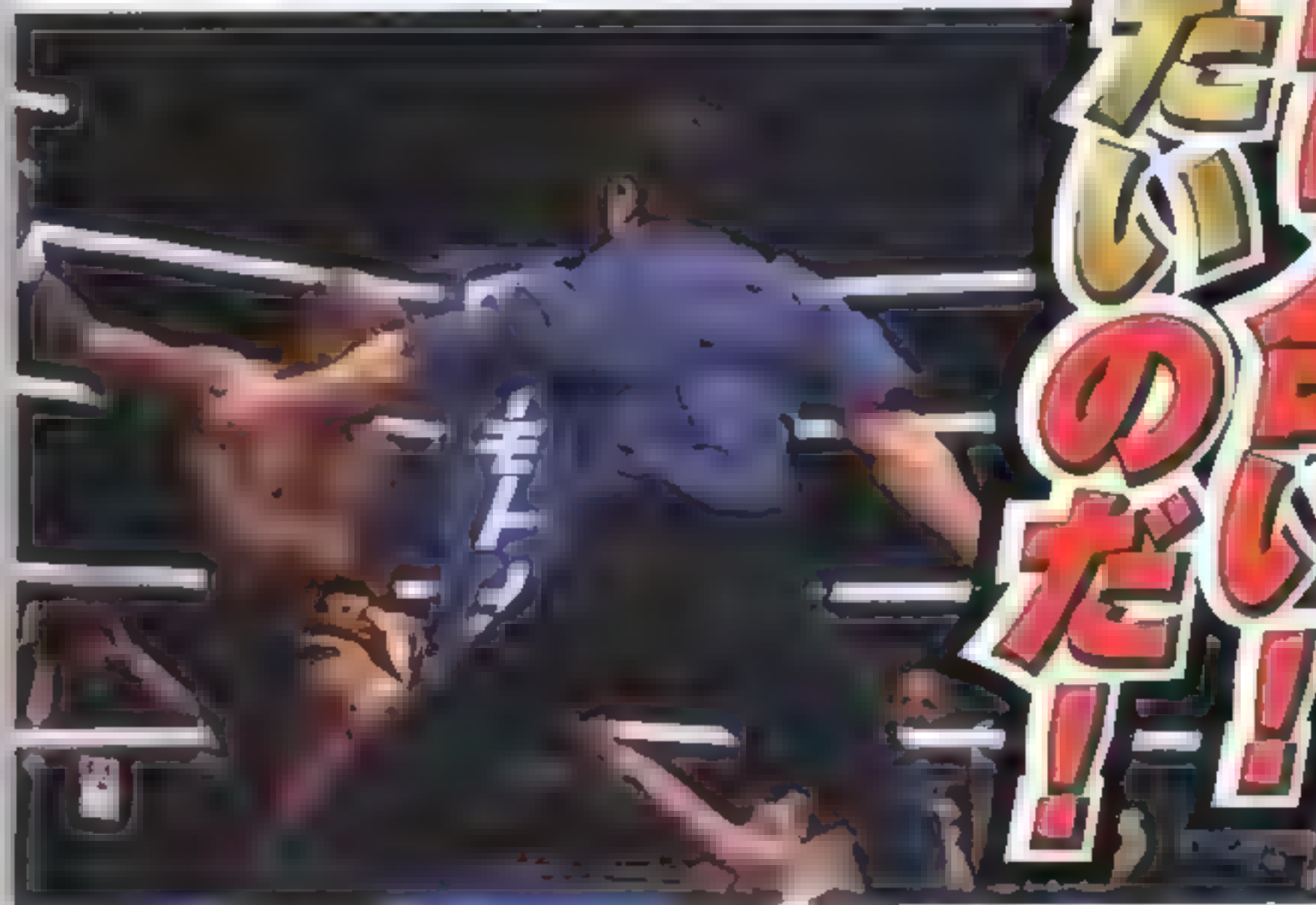
もちろん、誤解してほしくないのは、「競技」自体を私は否定しているのではない。K―1だって、『プライド』だって、ルールがあって「競技」は大前提としてしっかりとあるべきものだと考えている。しかし、その「競技」の中にファイターが心身ともに溶け込もうとした時、そのジャンルは必ず衰退していく。「競技」が前提にありながらも、それを打ち破るほどのモチベーションをファイターが持った時にこそ、見る側の心は大いに揺さぶられるのだ。

つまり、K―1でさえも「K―1内K―1」の心でファイターが闘ったら、見る側には何も伝わってこない。はっきり言って、もう普通のK―1ではダメなのだ。K―1も「過激なK―1」とか「超K―1」の心をファイターに持ってもらわないと、エンターテインメントとして満足できない段階になっているのである。

そう考えると、第1試合のハントVSベルナルドから、第5試合のシュルトVSマクドナルドは全て普通のK―1であり、「K―1内K―1」の闘いだった。いくらオールスターが揃ったとしても、これじゃあファンのハートはつかめない。この前半の5試合は、『プライド』でよく見られる、実力者同士の膠着試合とまったくよく似ていた。その膠着試合が続いた時、『プライド』では「ヤバイ！」と思って流れを変えるのが、プロレスラーの役どころなのだ。

観客のハートに火を付けた壮絶な殴り合い！こういうK-1が見たいのだ！

▲最後は右ストレートをゲーリーのアゴに打ち込む。左を警戒していたゲーリーは意表を突かれた

▲バンナの右ストレート一発でマットに沈んだゲーリー この時、会場のK-1ファンは総立ちとなった

▲カウント8で立ち上がったものの、そのまま後ろに倒れ込むゲーリー 倒れ方もGOOD!

▲バンナの試合を見ていると、我々が見たかったK-1が分かってくる

このプロレスラーがK—1にはいない。しかし、K—1にも初期の頃から、アンディ・フグやピーター・アーツと言ったナチュラルに観客と闘おうとするファイターが存在した。そこがK—1を「超競技」にまで高めた理由である。

勝つことだけを考えずに、過剰に生き様を見せつけようとしたり、相手を叩き潰そうとする精神。K—1のKはKOのK。そんな"K—1心"を持った男のみ、真のK—1ファイターと呼べるのだ。

第6試合になって、そのK—1心を持ったファイターがようやく現れた。それが「プライド」の番人ゲーリー・グッドリッジとジェロム・レ・バンナの2人である。この2人の意識は、もちろん「競技」の枠内に止まっていない。グッドリッジは「男ならパンチで殴り合おう！」と挑発し、バンナも「これはもはや個人の闘いではない。K—1 VS『プライド』の闘いであり、ヤツの大口を黙らせてやる！」と宣言していた。

お客が何を求めているか、この2人にははっきり分かっているのだ。それは入場してきた時の存在感で一目瞭然。それがファイターのオーラを作り上げていく。

もし、単なる勝利を求めていたら、バンナは慎重にポイントを稼ぐ闘いを展開していただろう。何も「パンチだけしか打たない」と公言して前に前に出てくるK—1素人のグッドリッジに、ムキになる必要もなければ同じ土俵に立つ必要もない。それにもかかわらず、あえて余計なことをして、リスクを顧みずに死界に入っていくところが、バンナのいいところだ。

バンナに高まるボブ・サップKOの期待感!
いざ、東京ドーム、決勝で激突だ!

▼会場中が一体となった大勝利! そういえばK―1ルールでの対『プライド』戦は、これまで4勝6敗1分と、意外にも負け越していたのだ

新日本、蝶野が登場!

▲10・14新日本プロレス東京ドーム決戦で、ボブ・サップを迎え撃つ新日本を代表して、現場監督の蝶野正洋が勝利者トロフィーを渡した

無冠の帝王 今年こそ、大本命か?

▲こんなに嬉しそうなバンナを見るのは久々のこと 今年こそ大本命だ

★[illegible]合(3分3R)
○ジェロム・レ・バンナ(1R42秒、KO勝ち)ゲーリー・グッドリッジ●
<フランス/ホーアボエル&トサジム> <トリニダード・トバゴ/フリー>
※右ストレート

2人の壮絶な殴り合いは、これまで溜めに溜めたファンの気持ちを一気に爆発させた。見る側はこんなK―1が見たいのだ。そのファン心理を理解し、肉体で表現できるようになってこそトップファイター。グッドリッジは「KO負け覚悟」で自分の役どころを見事に演じたし、バンナはK―1ファンの溜飲を下げる見事な勝ち方を演じた。負けたグッドリッジにせよ、勝ったバンナにせよ、これがプロの仕事である。

今回、この開幕戦で、プロの仕事を全うしたのは、バンナとグッドリッジ、そしてメインのサップとホーストの4人。ダメだったのは、シュルトとイグナショフ、アーツで、手のつけられないほどの重症に陥っているのがベルナルドだった。

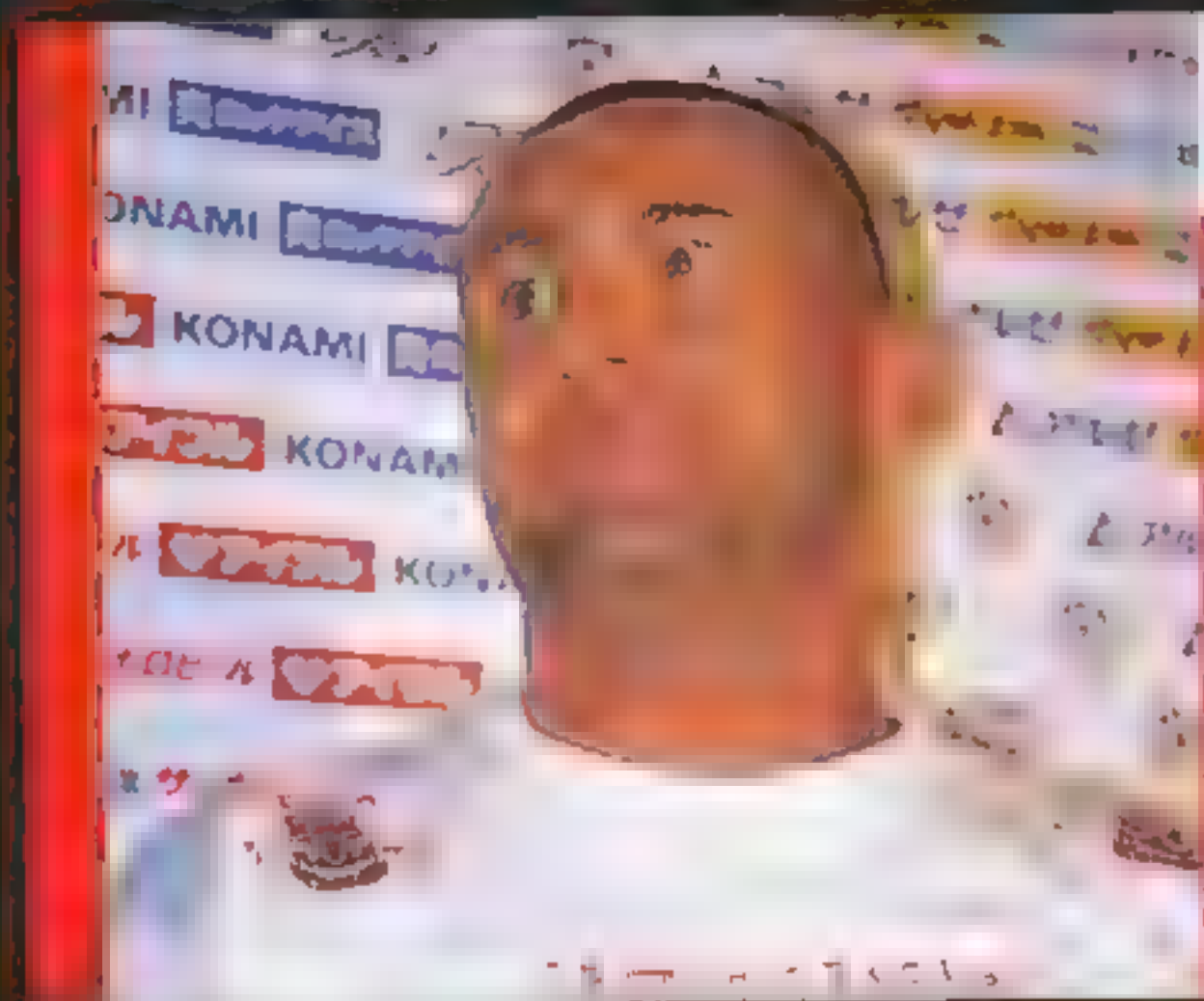
「競技」はあるものという大前提がありながら、その「競技」を打ち破るほどの闘いができるかどうかがK―1や「プライド」の今後の課題。ぜひ、プロモーション・サイドにも、そのへんを考慮してファイトマネーを出すシステムを作ってほしいものである。

それにしても、グッドリッジのおかげもあって、今年のバンナはマジに本命となってきた。ホーストの出ないトーナメントでは〝バンナ初優勝!〟も十分可能。そればかりか、ボブ・サップ初KOの期待も、今やバンナにかかっている。

いざ、12・7東京ドーム! バンナがサップと当たるのは決勝戦のみ。これが見られたら、今年のGPは、もはや言うことはない!

(谷川)

「12月のGPが終わったら、シュート・ボクセで練習したい」

バンナのコメント

――試合を振り返ってみて感想は？

バンナ とても嬉しい。でも今は落ち着いている。

――グッドリッジ選手の印象は？

バンナ 印象を言うには、あまりにも早く終わりすぎたな。

――作戦として、初回から飛ばしていこうと考えていましたか？

バンナ そのとおり。全ての攻撃に手応えがあった。

――今回の試合に備えて特別なトレーニングはしましたか？

バンナ もちろん。

――ブラジルでトレーニングしているという噂がありましたが？

バンナ ブラジルではなく日本でやった。海外ではシュート・ボクセに興味がある。

――「プライド」の存在はモチベーションを高めますか？

バンナ もちろんそのとおりだ。石井館長には大変お世話になっているので、自分のためというよりは、館長からオファーがあれば、どのルールでも100％受けるつもりでいる。

――バーリ・トゥードを含めてですか？

バンナ もちろん。

――K－1チャンピオンになることと、「プライド」の対抗戦に出ることとどっちが重要ですか？

バンナ どっちも重要だ。

――去年対戦した安田選手がいつでも闘ってやると言っていますが？

バンナ それはいいことだな。12月にぜひやろうじゃないか。

――決めたい技はありますか？

バンナ 十字固めを極めたい（笑）。

――具体的にどのような練習をしていますか？

バンナ 「Dynamite!」の後にジョシュ・バーネットやモーリス・スミスと一緒に練習した。3分で極めたよ。もちろんスパーリングだけどね。

――何の技で仕留めたのですか？

バンナ それは秘密。

――東京ドームのGP決勝大会では誰と闘いたいですか？

バンナ 明日抽選会があるので、そこで分かるんじゃない？

――「プライド」ファイターにK－1で勝たせてはいけないと発言していましたが？

バンナ そういうわけではない。まったく競技が異なるから。たとえばこっちがサッカーでやって、むこうがラグビーでやっているようなもんだ。

――練習環境にシュート・ボクセを選んだということは総合ルールに興味があるということですか？

バンナ ヴァンダレイ・シウバが大好きだからさ。

――どういったところが？

バンナ 彼のスタイル全てだ。

――今後は両方のスタイルでやっていこうと考えているのですか？

バンナ 12月が終わってみないとなんとも言えないが、ブラジリアン柔術などいろいろな競技を練習することは勉強になる。とにかく12月が終わらないとなんとも言えない。

――12月まではどのルールで練習しますか？

バンナ 12月のGPまではK－1に集中する。いずれにしても自分のチームを持っているのでいろいろな練習ができる体制にある。

――Tシャツに「バーリ・トゥード」とデザインされていますが。

バンナ チームのメンバーであるジル・アンセルがデザインしてくれている。彼はオレの柔術の先生でもあるんだよ。

――フランスで一緒に練習しているのですか？

バンナ そうだ。一緒にトレーニングしている。道衣の練習も取り入れている。

――現在のチームの構成は？

バンナ だいたい6、7人かな。柔術の選手もいるし、バーリ・トゥードの選手もいる。常にチームで一緒に活動している。

――今年は好調ですが、去年と変わったところは？

バンナ チームのおかげだと思う。あと環境を変えて田舎に引っ込んで、前みたいにアホなことをしなくなったかな。周りと支え合いながら生活しているしね。ビジネスではなく、友情でつながっているから。そういったものが重なっていい結果につながっている。■

グッドリッジのコメント

――試合の感想をお願いします。

グッドリッジ 今日はバンナにとってラッキーデイだった。運だけでなくバンナ自身、オレを倒すためにいい仕事をしたと思う。試合には負けたが、バンナに対してはリスペクトしているし、もう一度チャンスをもらえれば、今度はオレがヤツを倒す。スロットに例えて言うなら、誰でも大当たりを当てることができるってことだ。

――彼が先にパンチを当てたということですか？

グッドリッジ そうだ。ヤツにとっては運のいい日だった。運を味方にして、いい仕事をしたと。しかし、この次の試合には運をもらうのはオレのほうだ。（今日の）オレが目を開けて天井を見てる状態だったように、今度はあいつが眠った状態になっているだろう。

――バンナ選手が1Rから積極的に来ると思っていましたか？

グッドリッジ バンナは逃げに回るだろうと思っていた。向かってくるとは思わなかった。今日は（バンナは）いい仕事をした。運も味方につけた。

――グッドリッジ選手の作戦は？

グッドリッジ 肩口から首根っこを引っこ抜きたかったね。

――再戦するとしたらK－1、「プライド」どちらのルールがいいですか？

グッドリッジ ルールに関してはどちらでもいい。とにかくもう一度チャンスをもらって、ヤツをブッ潰す。それまで勝利の余韻に浸っていればいい。今日は試合後ロープのところで跳ねて喜んでいたが、オレが勝った時は、ヤツの胸の上で跳ねてやる。

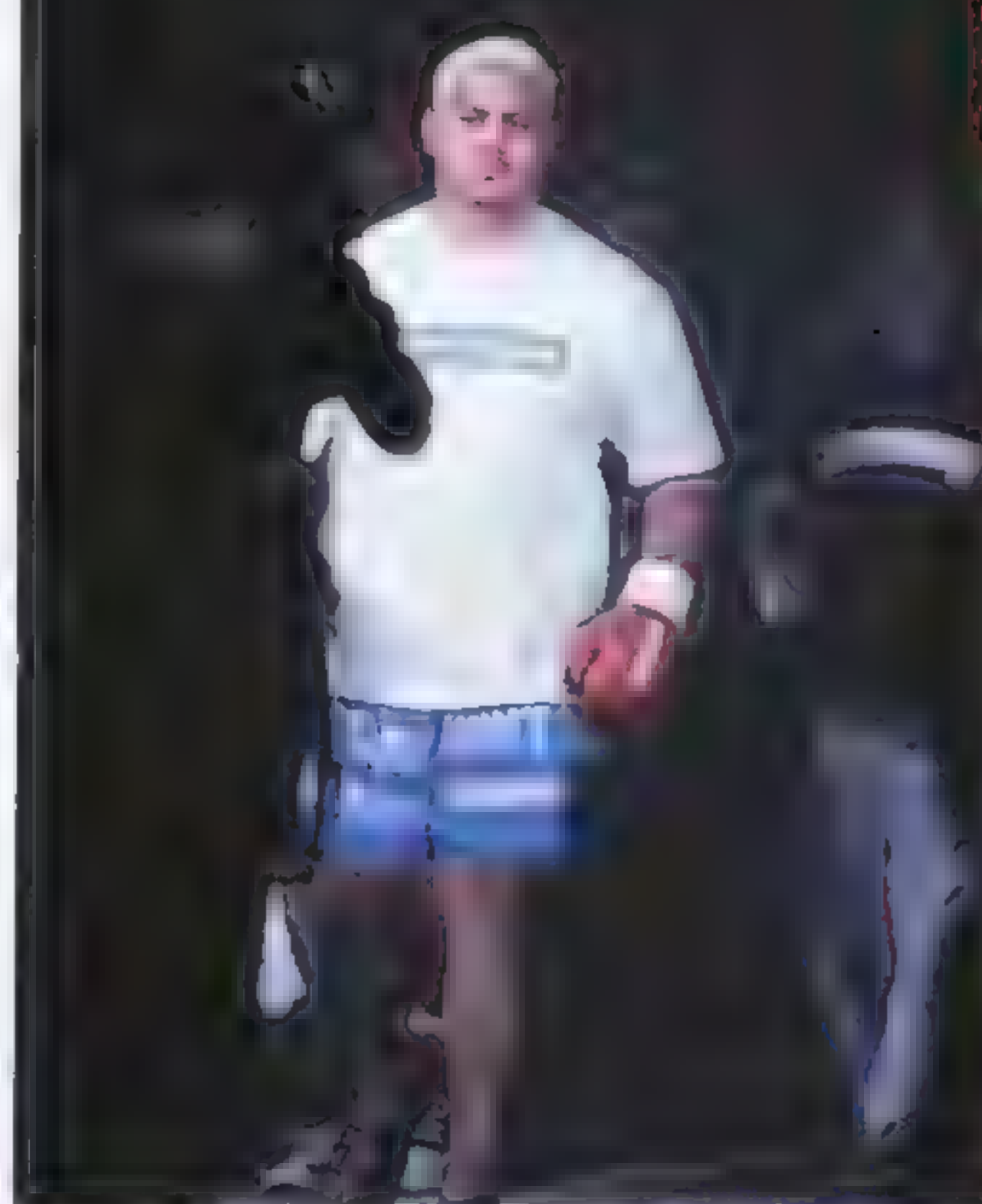
――気持ちは折れていませんか？

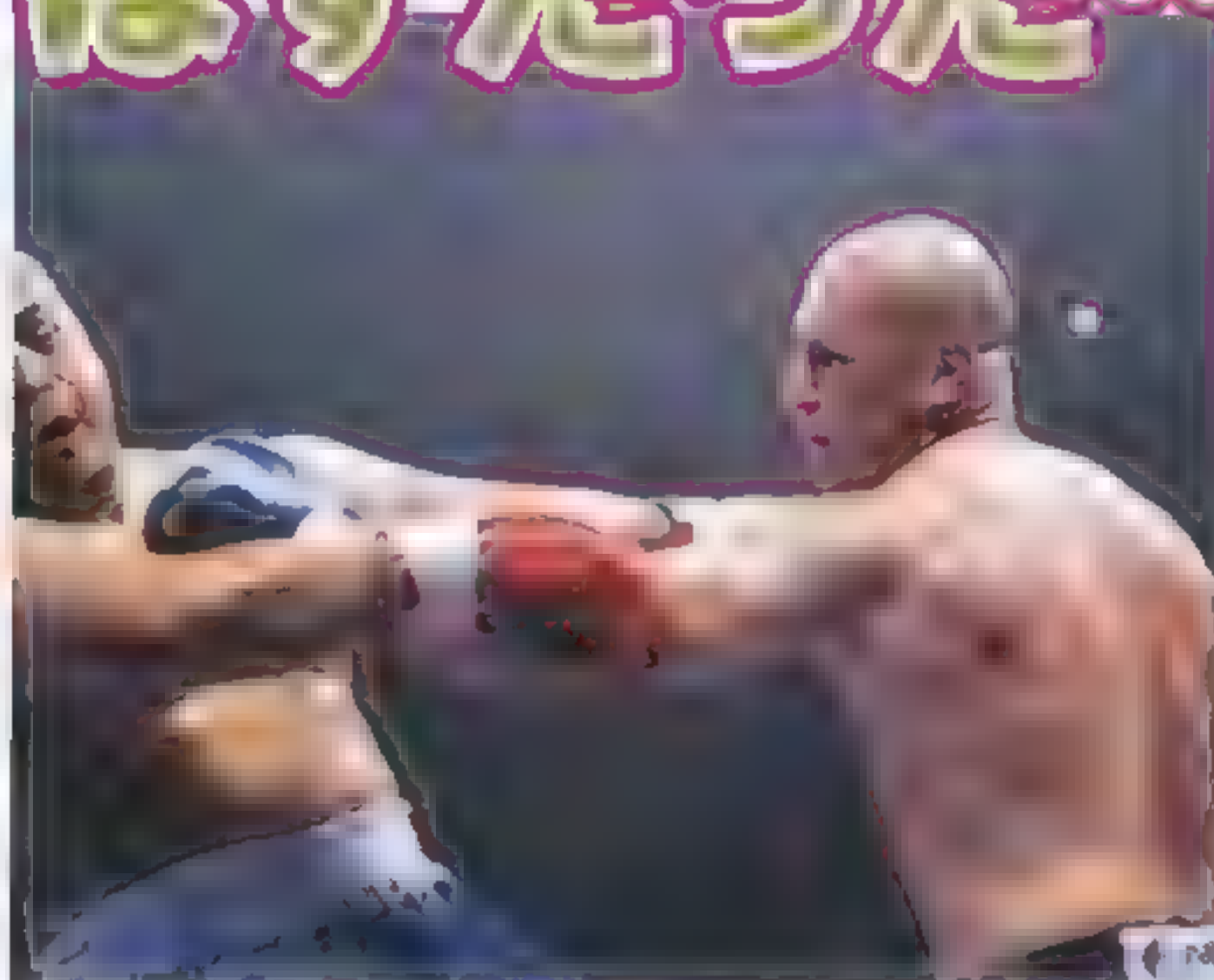
グッドリッジ 気持ちの上ではめげていないし、今日はバンナに負けたのではなく、自分が自分自身に負けただけだ。自分が最初に立てたゲームプランを守らなかったのが最大の原因だろう。

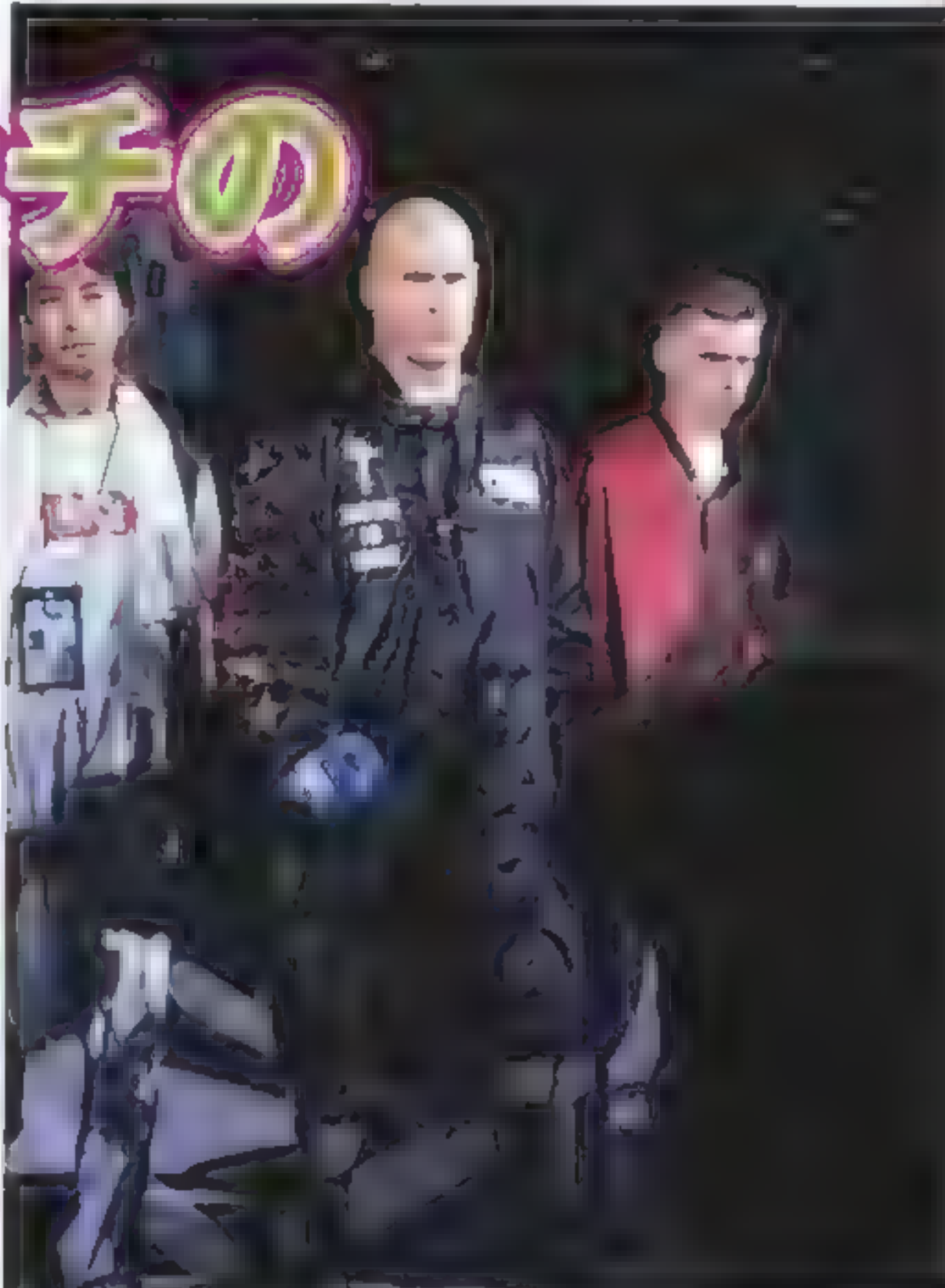
――K－1にはこれからも参戦していくつもりですか？

グッドリッジ とにかくK－1うんぬんではなく、バンナと再戦がしたい。この世の中でワルはオレ一人しかいない。バンナがワルじゃなくてオレがワルなんだから、オレは非常に機嫌を損ねている。この次はオレ様がヤツをぶっ飛ばす番だ。■

「今日のバンナは運が良かった。次にやったらオレ様が勝つ!」

◀両者の睨み合い。ベルナルドの顔つきはその後のファイトからは考えられないほど[illegible]い

▲今年の3月のミルコ戦以来、久々の日本での試合となるハント　今年はディフェンディングチャンピオンとして、グランプリに出場する

ハントVSベルナルド！第1試合からドリームマッチのはずだった……

▲試合後、ベルナルドが言ったように、たしかに的確なパンチは当たることもあった

▶試合中、両者とも大振りなパンチが多かった　しかし、初めから腰が引けていたベルナルド

▲顔つきは気合いが入っているベルナルド。K－1ジャパンでエリクソンに大逆転勝利を収めて、なんとか開幕戦に出場することができた

第1試合というのは、その日の興行の流れを作る重要な試合である。その試合が爆発すれば、その日の興行は一気に盛り上がった大会になるし、膠着したりダラダラしてしまうと、興行全体が沈滞してしまうのだ。

この、K―1ワールドGP開幕戦のオープニングを飾ったのはハントとベルナルドの〝剛腕対決〟だった。今年、他流試合を行ってきたK―1の集大成とも言うべきグランプリの開幕戦とあって、観客のテンションはいきなり最高潮で第1試合を迎えた。

特にK―1を初期から支え続けてきたベルナルドに対しての声援は凄いものがあった。他流試合が根付いたせいなのか、この日のK―1ファンの外敵に対する意識は強い。純K―1ファイターへの声援はとりわけ大きかった。第1試合は他流試合ではないが、この10年間ベルナルドの、ファンからの愛され方はハント以上で、大声援での登場だった。しかし、ベルナルドはそんなファンたちの期待を木っ端微塵にぶち壊してしまったのである。

そのぶち壊し方といったら、「お見事！」の一言に尽きる。延長のラウンドを入れて計4R、ほとんど何もしないまま終えてしまったのだ。リング中央にいるハントに対して、グルグルと回りながら、時折パンチを放つのみ。これで延長まで、もつれ込まれてしまったのだから堪らない。

なぜ、こんなことになってしまったのか？　もはや、これはベルナルドの石井館長への嫌がらせ？　思い当たるフシもある。最近の

アルゼ 開幕戦 K-1 WORLD GP2002 10・5★さいたまスーパーアリーナ

他流試合2連戦の後遺症が発症? ベルナルドの取った戦法は"犬"戦法だった!

仰天! ハントがバックキック!?

▲逃げているベルナルドに業を煮やしたハントは、バックキックという意表を突いた攻撃を見せたが、ベルナルトはそれでも戦法を変えなかった

◀3R、今年に入って、散々ダウンを奪われているハイキックを自ら繰り出すハント

▲相変わらずハントのパンチの一発一発は凄い。右のストレートがベルナルドの胸にヒット

▲ベルナルドはコーナーに追い詰められる場面もあったが、初めから腰が引けていたために、大事には至らなかった　かなりハントのパンチを警戒していたようだ

ベルナルドにとってはツライ試合ばかり。ラスベガス大会では、『プライド』ファイターのグッドリッジにまさかのKO負け。つい、2週間前のエリクソン戦でも勝ちはしたものの、2度もダウンを奪われるという醜態を見せてしまった。

これでベルナルドの心は完全に壊れてしまった。恐らく他流試合で自分に恥ばかりかかせる館長に対して、きっとねじ曲がった恨みを持ってしまったのだ。ベルナルドは、本来ならバンナやセフォーと大打撃戦を演じられる男なのだ。精神的に壊れてしまわなければ、あのベルナルドがこんな嫌がらせ的な行為をするはずがないではないか。

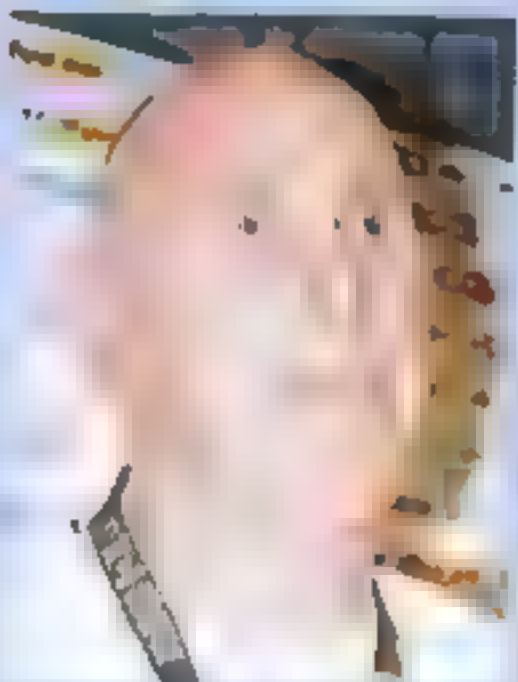
そう邪推しているうちに、1人の男を思い出した。小原道由である。東京ドームでヘンゾ・グレイシー相手に大膠着戦を繰り広げ、『プライド17』を「『プライド』史上最大の大惨敗」と言われる大会にプロデュースしてしまった男だ。この日のベルナルドと『プライド17』の小原の姿はだぶって映る。

そもそも昨年から他流試合に踏み出したK－1だが、ベルナルドは反対派の1人だった。だから、『イノキ・ボンバイエ』での髙田延彦戦も、グッドリッジ戦も、エリクソン戦も全部本当は嫌だったんじゃない? エリクソン戦なんかは、引退勧告まで受けていたのである。こんな腹立たしいことはなかっただろう。自分の得意分野での仕事ならいざ知らず、精神的なプレッシャーのかかる他流試合に駆り出され、さらし者にされてきたのだ。ベルナルドの異常な壊れっぷりを考えると、もうそう思う

ベルナルド、大軍団入り決定！

ハントのコメント

「（延長については？）勝者を決めなければならなかったので、しょうがなかったんじゃないですか。まあ、正直な胸の内を言うと、3Rで決着が付いて、自分が勝ち名乗りを上げられればよかったなとは思いました。疲れていたし。（バックキックは？）ベルナルドが、左に左に逃げると言うと変ですけど、体をドンドン流していきましたので、その戦法が嫌で、意表を突く攻撃を出せば、もしかしたらベルナルドが動いてくれるんじゃないかと思って。実際のところはもっと短い試合になることを期待していたんですけど、歯車が噛み合わずに終わってしまいました。100点満点で2点……、いやマイナス2点ですね」

ベルナルドのコメント

「よく人は言いますよね、負けた者は多くを語るなと。そんな心境です。うまく彼を自分のペースに引き込んで闘いたいと思っていたんですけど、正直に言うと彼の持っている強烈なパンチに警戒心がなかったとは言えないと思います。非常に不本意な出来でした。セコンドのほうからはいろいろ指示は出ていたんですけど、自分自身聞く余裕がないまま闘ってしまいました。セコンドの指示どおり闘えなかったのが、今日の敗因だったと思います。時間的な余裕がない中で環境が変わって、2週間前の試合ではダウンをしていますので、自信があったかと言われれば、自分に絶対的な自信を持てる状態ではなかったと思います」

▲また本人は引退するつもりはないと言っているが、完全に往年のオーラがないベルナルド　クロアチアに拠点を移し、環境を変えたぐらいでは、なかなか今の不調からは抜け出せないようだ

▲ベルナルドのセコンドは試合中、「何かしろ！」と指示を出したが、聞く余裕がなかったという。いったい、どうしたんだベルナルド！

▲昨年の王者も今年はミルコ、バンナに2連敗。ベルナルドを破ったことで、決勝トーナメントは波に乗れるか？

▲延長までもつれた試合は判定でハントの勝ち。ハントは3R終わった時点で疲れていたので、そこまでで決着を付けたかったとコメント。これも呑気な発言だ

★第1試合（3分3R）
○マーク・ハント（延長R判定3－0）マイク・ベルナルド●
〈ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム〉　〈南アフリカ/レオナルドジム〉
※採点・・・10－9、10－9、10－9　本戦は1－0（ハント：30－30、30－30、30－29）

しかないだろう。

こんなベルナルドと、王者となって昨年のハングリーなモチベーションが落ちてしまったハントでは、ファンの期待を裏切る膠着試合になって当然である。

これはとても勇気のいる行為だ。下手すれば、来年から干されてしまう可能性だってある。こんな行為はよほど腹が据わっていなければできない。それに、少々変態的だが、この手の嫌がらせは快感だ。

そう考えるとベルナルドの気持ちはよく理解できる。彼は何もしなかったわけではない。ハントではなく、他流試合の方向性に突き進む今のK－1と闘っていたのだ。「なんて女々しいヤツなんだ」と言う人もいるかもしれない。だが、あえて女々しいと言われる行為をすることとは、男らしい行為をすることよりも覚悟が必要だ。

第一、K－1ファイターの中で、誰が好んでリスクの大きい他流試合をしたがるのか。ベルナルドは現在、クロアチアに拠点を移して練習しているが、もしかしたらミルコの入れ知恵かもしれない。ミルコだって、総合とK－1の二刀流はきつかったはずだ。

こうなるとベルナルドに対しては、小原と〝新犬軍団〟結成などいろいろ妄想が広がってくる。これは楽しい。本来は記憶に残らない試合である。妄想を抱ける背景がベルナルドの心にあったこと自体素晴らしい。館長としては、文字どおり飼い犬に手を噛まれた心境だろう。しかし館長には、この屈折した反骨魂をきっちりと受け止めて、もう少し使ってあげてもらいたいのだが……。（小松）

挑発!!

セフォーが求めるのはスリル満点の殴り合いのみ!

ムエタイ世界チャンピオンのホルムは蹴りを主体とする選手。だが、セフォーは殴り合いを挑んで前に出る

ムエタイ相手でもノーガードか！

★第2試合（3分3R）

○レイ・セフォー（3R判定2−0）マーティン・ホルム●

＜ニュージーランド/アメリカン・プレゼント・ボクシングジム＞　＜スウェーデン/ヴァレンテュナ・ボクシングキャンプ＞

※採点……30−28、30−28、30−30

変則ファイター、セフォーの華麗なスウェイだ

打ってこい！　ノーガードで相手を殴り合いに誘う

打ちにいくぞと挑発だ！

さすがに蹴りは顔では受けない。受けたら一発KOとなるから当然だ

このところのレイ・セフォーは乗っていると言っていいだろう。ノーガードという分かりやすくてスリリングな試合スタイルを確立し、たとえ判定になっても満足度の高いファイトを提供。弱い相手となったら、容赦なく一発で叩き潰す怖さもある。しかも、木村拓哉とCMで共演だ。リング内外で好成績を残しているのである。

だが、たった一つの汚点はレミー・ボンヤスキー戦での負け。彼のヒザ蹴りでセフォーは最近唯一の負けを喫してしまっている。

そして、この日の相手、マーティン・ホルムはヒザ蹴りを主武器に闘い挑んできたのである。

ところで、このホルム。これまでの2試合はいずれも左ストレートで1RKO勝ちしてきたハードパンチャー。試合前には激烈なパンチ合戦になると思っていたのだが、そこはやっぱり格闘技。勝つための戦略をキチンと練ってきたのだ。つまり、この日はパンチVS蹴りの闘いとなったのである。

さすがにこうなると、セフォーも得意のノーガードは出しにくい。顔面で蹴りを受けるわけにはいかないわけだし。

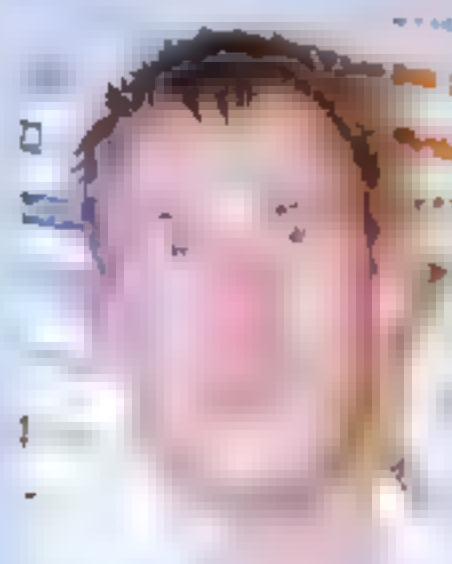
だから、前半戦はセフォーも非常に闘いにくそうであった。パンチの打ち合いを仕掛けるとホルムは離れ、無理に攻め込むと飛びヒザ蹴りが飛んでくる。そのため客席からは「今日はノーガードをしなくていいぞ！」というセフォー・ファン（たぶん）の声まで飛び出すほどだったのだ。

しかし、セフォーが凄かったのはそこから。奥足へのローキックを連発し、ホルムの左足を潰しに

顔を殴らせろ！

飛びヒザ炸裂！ムエタイの意地だ！

セフォーのコメント

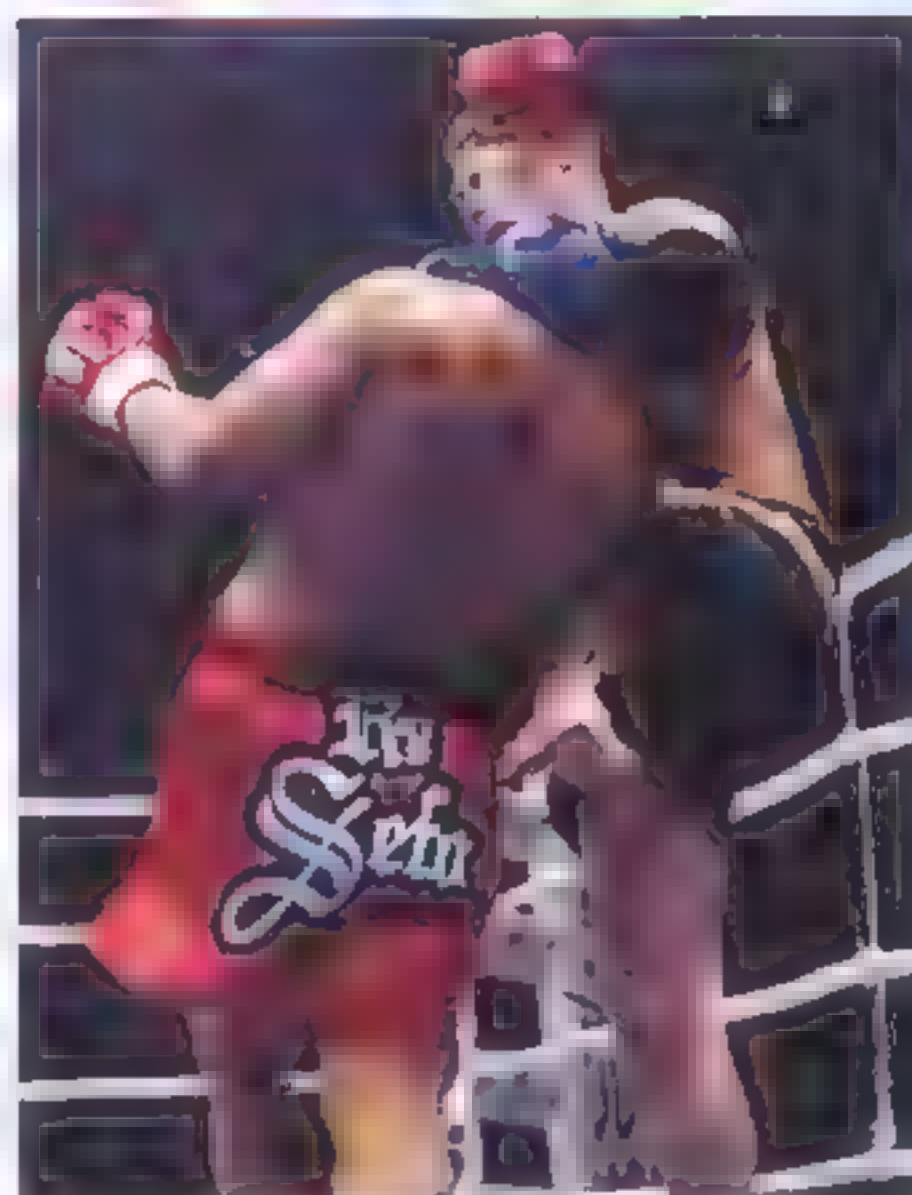
「コンニチハ。試合についてはもう少し出来のいい試合にしたかった。判定は嬉しいけど。ホルムはしつこい選手だった。彼のヒザ蹴りについてはベつに気にならなかった。彼が動き回ることでこっちも懐に入りやすくなって問題はなかった。（ホルムは判定はドローだと）それは彼が夢を見てるんだろう　K-1では攻撃がヒットしないとポイントにはならないんだ」

ホルムのコメント

「自分としてはいい出来だったと思う。判定に関してはドローでも良かったんじゃないかな。セフォーについては、この鼻を見てくれれば分かると思うけど、ハードパンチャーだった。ローキックも驚くぐらい厳しかった。今後、K-1で闘っていくならもっと体重を増やさないといけないと思ったよ」

▲ホルムの武器はこの飛びヒザ。ノーガードの顔面にヒザをぶち込む怖ろしい攻撃だった

▲ハイキックもまた鋭かった。さすがはムエタイ世界チャンピオンだ

▲見事、勝利し、東京ドームへの切符を掴んだ

▲ベルナルド戦で開眼したアッパーも鋭かった

▲セフォーのブーメランフックがホルムに襲いかかる

▼奥足へのローキックもヒットし、ホルムを追いつめた

人を殴って この笑顔！

▲殴り合うのが楽しくてしょうがないというこの笑顔。根っからのファイターだ

かかる。また、ヒザ蹴りに対してはアッパーで突き上げ、右フックを返していく戦法で確実にホルムを追いつめていく。

2Rに入ると徐々にこの攻撃が効いてくるのだが、そうなるとお調子者のセフォーだ。ノーガードでニヤリと笑い、右の拳をクルクル回してホルムを挑発。ここ一番の見せ場が欲しくて仕方ないのがセフォーという男なのである。

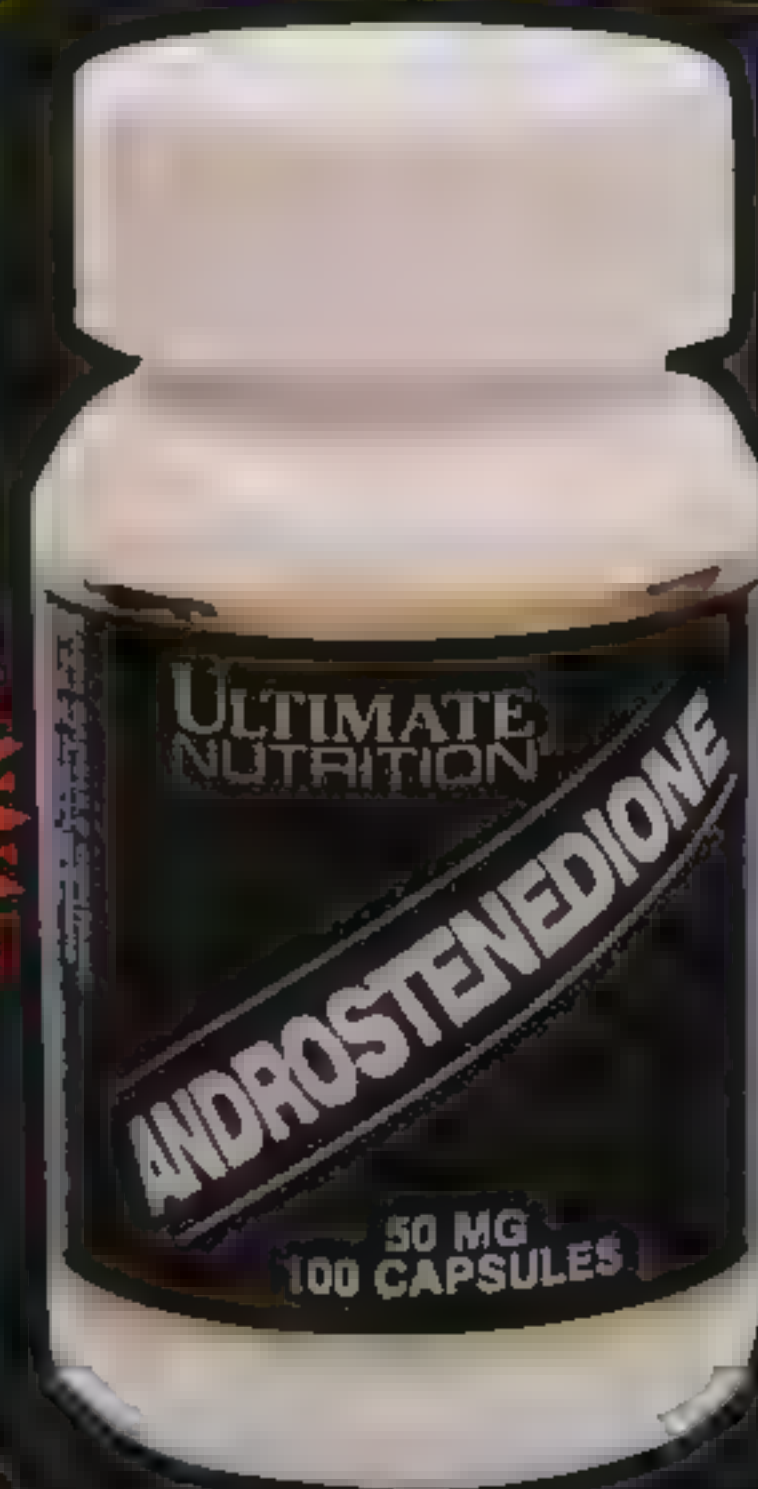
だが、ホルムはここでも蹴りで返し、最後まで戦法を崩さず、3Rを乗り切った。

判定は2―0でセフォーの勝ち。ホルムはこの結果に若干の不満をもらしてセフォーの怒りを買ったが、ローキックが効いてきたのがハタ目でも分かった以上、この結果は仕方ないところだろう。いずれにせよ、ホルムの左の蹴り、左のヒザ、左ストレートの強烈さは文句なし。体重を増やして、来年のK―1に期待したい。

さて、セフォーだが、決勝戦の第1回戦の相手はアーツに決まった。いま一つかつての強さがないアーツに対して、彼が情け容赦のない攻撃を仕掛けることは間違いない。勝てる可能性はかなり大だ。

だが、問題は次。シュルトか、サップが上がってくる。どちらにしてもやりにくい相手だ。ただ、この日の試合で意外に打たれ弱いことが発覚したシュルトをKOしたら面白いだろうし、スタミナがなさそうなサップが2回戦まで強さを維持できるか未知数。

巨人退治になるか？　魔人退治になるか？　またもセフォーの見せ場がやってきそうな決勝大会なのである。（ブチ）

Best Selection from the World
話題の海外商品を簡単・迅速にお手元へ
◆ANDROSTENEDIONE
アンドロステンジオン
★世界のホームラン王も愛用★
筋肉増強
ULTIMATE NUTRITION
ANDROSTENEDIONE
50 MG
100 CAPSULES
100mg／100錠
（2ヶ月分）
1瓶 8,800円
2瓶 15,900円
3瓶 22,500円
強い筋肉作りの補助に。米国では栄養補助食品として販売され、大リーグでの使用も認められています。余分な脂肪が気になる人に最適の100%天然ハーブです。
アミノ酸
◆アミノディ1000
ソースナチュラル社
20種のアミノ酸にビタミンB6とCを配合。
話題のアミノ酸パワーを体験して下さい。
AMINO DAY
1瓶 30錠
2,800円
1瓶（大）60錠
4,000円
◆アミノ酸2000
Ultimate Nutritiond社
もう使ってる人、ジックリ試したい人にピッタリの徳用版。
筋肉同化を促す18種のアミノ酸。
乳清（ホウェイ・プロテイン）から抽出したスポーツサプリメント。
AMINO 2000
1瓶2000mg/150錠
1瓶 6,100円
2瓶 11,000円
3瓶 15,500円
㈱ライフメイク
ご注文専用フリーダイヤル 0120-37-0044
Fax.048-872-0880（24時間受付）
Fax.の場合は、希望商品と個数・住所・氏名・TELを明記の上、お申込下さい。
商品のお問い合わせ等は☎048-710-8358（代）
〒336-0022 さいたま市白幡4-23-11 SDAビル3F
商品は7日でお届け、お支払いは後払い・代引きで。※掲載商品はすべて税込・送料680円。
営業時間:AM9:00～PM9:00★商品は到着後8日以内なら返品・交換可。
（返送料はお客様負担。未破損・未開封に限る）※使用の際は、用法・用量を守って下さい。

プロレスをも巻き込む石井館長 なんとK-1の会場で……

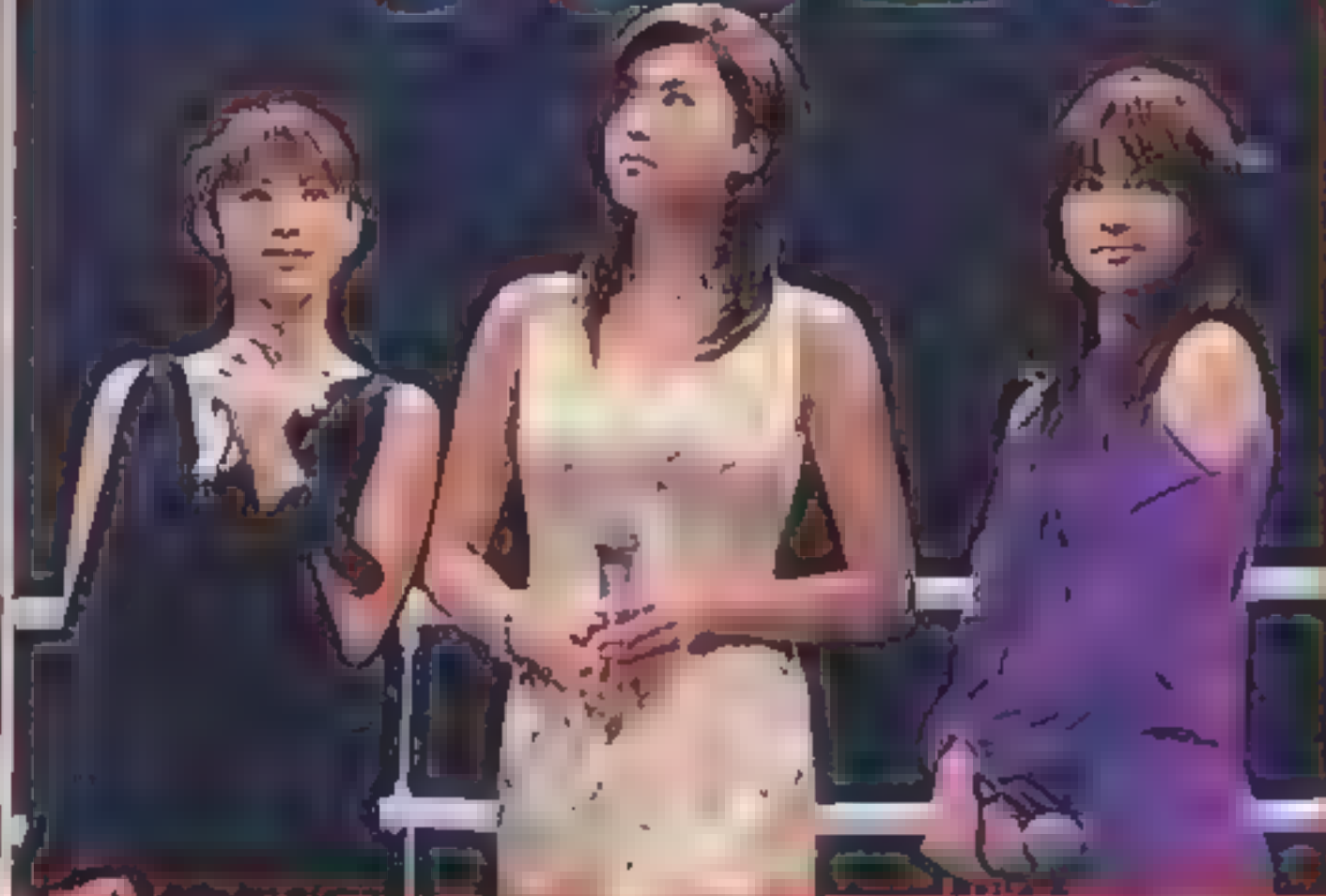
「K-1王者のホーストをあそこまで崩すとは しかしながら、新日本プロレスは絶対負けない アイツに好きなようなことはさせない オレが必ず食い止める! いや、押し返してやる。アイツの圧力をオレが必ず押し返してやる! プロレスは、今日みたいな結果を絶対出さない。プロレスは絶対負けない。オレは負けない オレが必ず破る!」

「(サップは)いい選手だね。前に出ていくってことと、途中で危なくなって、前に出ないかなと思ったら、そこからファイトバックする。サップを止めるのは中西に任せるから。中西を信じてるし、新日本を信じて。(プロレスルールを越えてくるかもしれないが?)そういう闘いになるかもしれないですが、リンク上の中西とサップに任せますよ」

この日は全日本プロレスの新社長・武藤敬司もリングサイドで観戦。第1試合の勝者・ハントにトロフィーを渡した。トップ会談を呼びかけている相手、蝶野正洋も会場にいただけに周りはドキドキもんだった

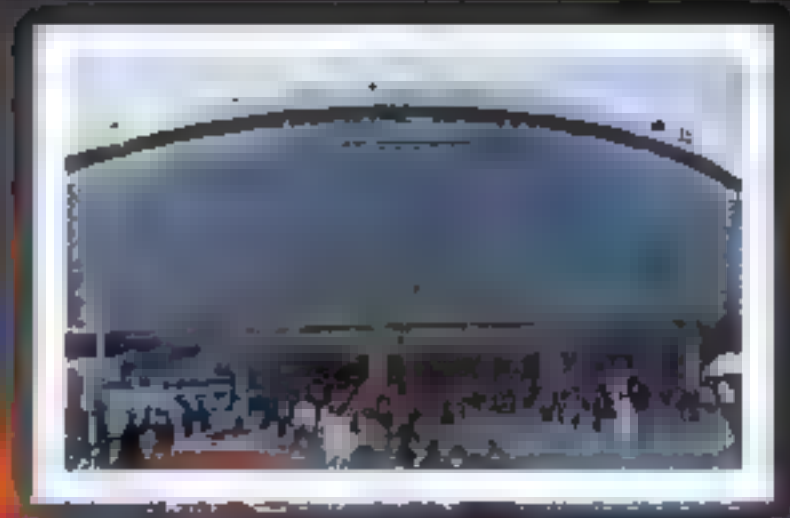
「試合が始まるまでの演出とか凄いよね。あれなんたね、館長が言ってたのは。試合も迫力あるね。館長とは世間話してたたけですよ。蝶野はもう来てるの? トランシーバー持ってる人(係員)がたくさんいるから、それで1回話しときますよ(笑)。ここ半年、1回も話してないんで恥ずかしいからさ」

武藤と蝶野がニアミスだ! 中西とサップ、一触即発!

▲観客数は20,200人を記録! 会場内はギッシリとK-1ファンで埋め尽くされた。すでに第1試合前からでき上がっていたぞ!

▲▼SRSヒロイン大集合! 藤原紀香さんや畑野ちゃん、はセキョーがメイン前にリング上でK-1のCM収録を行った。観客も一緒に「きっかけは、K-1!」。大相撲の大関朝青龍と、兄のスミヤバザルもノリノリで参加。オリンピック・アマレス代表のお兄さんは総合格闘技に進出するプランもあるという

◀魔裟斗がリング上で10・11「K-1 WORLD MAX 2002 世界王者対抗戦」大会をアピール! クラウスにリベンジなるか!?

▼「Dynamite!」でサップ相手に激勝したノゲイラがリングサイドで観戦。かねてからK-1出場表明しているだけに熱心に試合を見つめていた

▲会場にはKONISHIKIと曙親方も観戦に訪れた。同じサモア系のセフォーの試合後にガッチリ抱擁

12·7東京ドーム
今年もゼッタイ何かが起こる!

"ジャンル荒らし"
サップを止めることは
できるのか!!

K-1史上最大の危機!

バンナと決勝対決か!? 見逃すな!!

"ミスターパーフェクト"アーネスト・ホーストが、ボブ・サップにパワーで破壊されるというショッキングな大会となった10・5 K-1 WORLD GP 2002 開幕戦。その余韻を残す翌6日(日)に抽選会が行われ、今年のK-1 WORLD GPのトーナメントが決定した(詳細はP103参照)。毎年予想もしない展開が次々に起こり、会場は興奮のルツボと化す決勝戦だが、今年はサップの登場により、さらに想像を絶するような"何か"が起こりそうな予感がヒシヒシと感じられる。勢いに乗るサップがそのまま優勝なんてことも十分ありえるが、"無冠の帝王"ジェロム・レ・バンナが今年こそはと熱く燃えているだけに、勝ち上がって決勝で対決することにでもなれば、史上最激のド突き合いが見られることは間違いない。また、昨年の覇者マーク・ハントや、初戦でサップと対戦するセーム・シュルトも優勝の可能性大いにありということで、今年も一瞬たりとも目の離せない凄い大会になりそうだ。見逃したら、一生後悔するゾ!

SRS・DX読者先行予約
10月18日[金] 夜7時から受付開始
☎03-5802-9911 [CNプレイガイド]

アルゼ
K-1 WORLD GP 2002
決勝戦
2002年12月7日[土]
東京ドーム
開場14:30 開始17:00

入場料金(全席指定・税込)
SRS席35,000円★RS席21,000円
SS席17,000円★S席11,000円
A席7,000円★B席5,000円

髙田延彦「最後の闘い」に感動する日。

11・24 PRIDE.23 東京ドーム大会 チケット特別先行予約！

『SRS・DX』オフィシャルサイト

http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

10月13日（日）0:00～24:00

12日の深夜0時から受付開始！

11月24日（日）に東京ドームで開催される「PRIDE」シリーズ今年最大のイベント「PRIDE.23」。ミドル級王者ヴァンダレイ・シウバ＆ヘビー級王者アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラのタイトルマッチ、吉田秀彦のデビュー2戦目、そして髙田延彦の「最後の闘い」……。「Dynamite!」国立競技場大会の余韻も冷めやらぬ中、今度は東京ドームにいずれ劣らぬビッグネームが集結し、ドリームマッチが実現！　「SRS・DX」オフィシャルサイトでは「PRIDE.23」東京ドーム大会のチケット特別先行予約を一斉発売の1週間前、10月13日（日）に行います！　チケットを早めにゲットしたら、あとは会場で感動と興奮を味わおう！

なお、チケット店頭先行販売は東京・神田のグレート・アントニオ（☎03-3219-9550）にて一斉発売の前日、10月19日（土）の午前11時から行います（オリジナル特典付き！）。

PRIDE.23

◆日時　2002年11月24日（日）
◆開場　15:00　試合開始/17:00
◆入場料　全席指定・消費税込み
VIP席100,000円（特典：専用入場ゲート、グッズ付）
RRS席25,000円
スタンドS席15,000円
スタンドA席7,000円
◆チケット一斉発売　10月20日（日）全国有名プレイガイドにて
◆会場　東京ドーム
◆会場アクセス　JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ　ドリームステージエンターテインメント TEL.03-5775-5700

9月30日、プロレス界は一つの時代の終焉を

プロレス版『Dynamite!』『WRESTLE-1』発進!

激震!

まさか、まさかの合体、武藤&石井館長 11・17横浜アリーナで新しいプロレス誕生!

▲まさか、まさかの夢のスリーショット。石井館長が全日本プロレスと合体し、プロレスのイベントをプロデュースしようとは、誰が予想したか?

馬場元子社長、涙の勇退!

▶全日本プロレス創立30周年記念を区切りに、社長を退陣した元子前社長。涙のスピーチは感動的だった

武藤敬司社長、誕生!

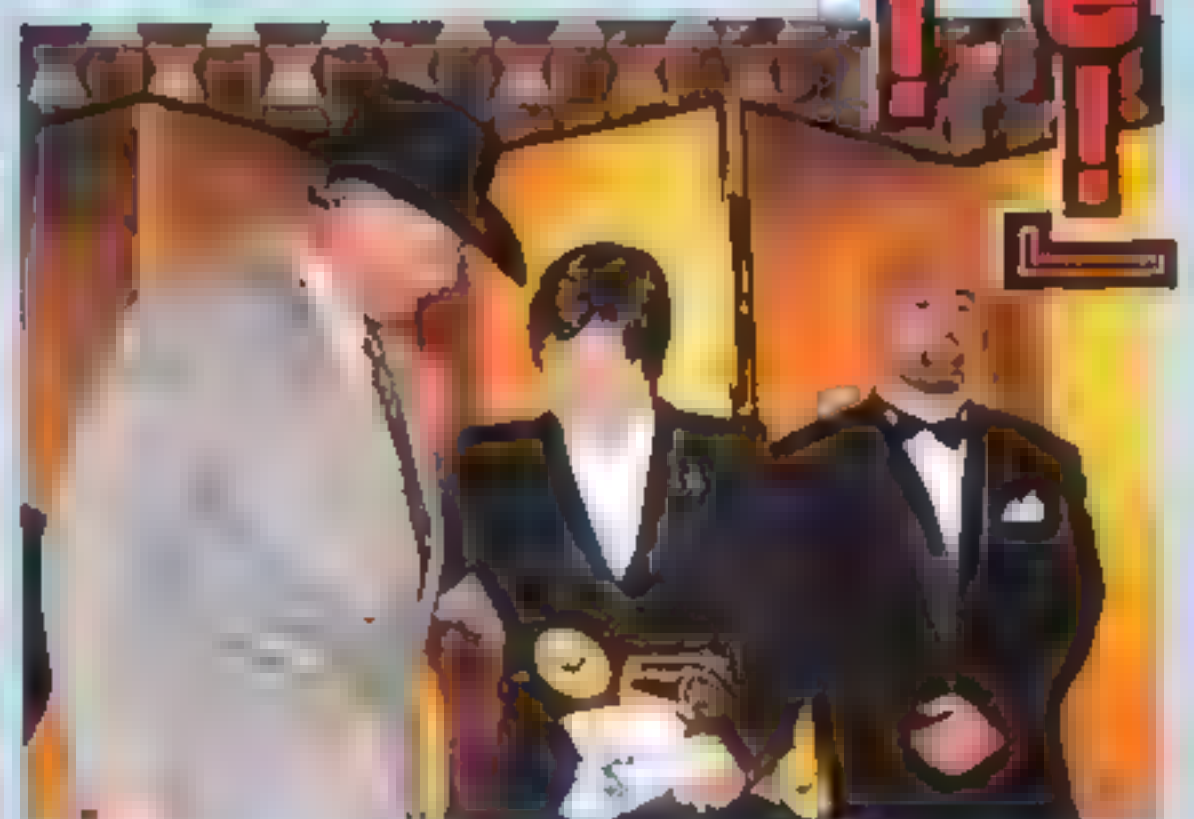
◀新社長に就任した武藤敬司。馬場プロレスが終わり、〝プロレスの危機〟に対して、どう立ち向かっていくか?

三銃士+三沢会談実現か?

◀橋本真也も駆けつけた。武藤の就任第一声は、「ZERO−ONE、NOAH、新日本、全日本の四者会談」だった

フジテレビが放送開始!

▼現在の全日本マットに上がるプロレスラーたち(フリーも含む)。いったい、どんな新しいプロレスを見せるのか?

▲プロレスの象徴だったジャイアント馬場の全日本プロレスも、30周年を区切りに大きく変わろうとしている

▲ス[illegible]氏から元子前社[illegible]にNWAのベル[illegible]デザイン[illegible]贈られた

▲「全日本30周年記念パーティー」には、約1000人[illegible]との[illegible]訪れた

撮影 乾晋也

9月30日、プロレス界は一つの時代の終焉を迎え、新たな時代の幕開けを告げた。都内にあるキャピトル東急「真珠の間」で、「全日本プロレスリング株式会社創立30周年記念パーティー」が盛大に行われ、その席上で故・ジャイアント馬場未亡人である元子社長が勇退を発表し、今年新日本プロレスから移籍した武藤敬司が新社長に就任したのだ。

これはプロレス界の象徴であった馬場プロレスの終焉であり、武藤新体制は今後、〝プロレスの危機〟と叫ばれる中で、新たな最高のプロレスを築き上げていかなければならない。まさにそんな時代の幕開けを告げるセレモニーだったが、早くも〝ビッグサプライズ!〟が用意されていた。それは、旧来の全日本プロレスの体質からでは考えられなかった、石井館長とのドッキングである。

石井館長と武藤は、もともと会食をする仲だったが、武藤新体制が誕生することに際し、石井館長は全面協力を約束。その第一歩が全日本プロレスの試合中継をフジテレビで放送することだった。水面下で、その橋渡しをしたのが石井館長。しかし、フジテレビの答えは「従来のプロレス中継では、スポンサーも取りにくいし、視聴率も見込めない。もっと新しいソフトを考えてほしい」ということだった。

そこで武藤は石井館長にも協力してもらって新しいソフト作りに着手。石井館長のコネクションでゴールドバーグ、ボブ・サップ、サム・グレコ、ゲーリー・グッドリッジ、ドン・フライ、ジョシュ・バーネットらをブッキングしてもらい、プロ格ではなく、最高のエンターテインメントをめざして突き進むことを決意した。

それが「WRESTLE−1」である。

フジテレビはこの「WRESTLE−1」の月イチ放送を決定。すでに9月30日の深夜に第1回目を放送しているが、タイトルをそのまま「WRESTLE−1」とし、完全にアングル番組に徹して放送していくという。その第1回目の放送の中では、石井館長が11月17日(日)横浜アリーナを押さえて、早くも第1回大会開催を決定　プロレス界にとっては、石井館長がプロレスにまで進出してくることで、大きな激震が走っている。

番組内での2人の会話を聞いていると、実現すればまさにプロレス版『Dynamite!』になる。果たして、マット界はどんな勢力分布図を生み出すのか? 本誌の見解については38ページからの座談会を読めぇぇぇぇぇ! ■

「僕が一番ビックリするのは、試合数が多いんですよね」

「それはなぜかというと、K-1に家族を人質に取られているからなんです(笑)」

SAPP×TARZAN

SRS DX

ボブ・サップ×ターザン山本 インテリジェンス対談

撮影 中島ミノル

ターザン　さあ、さっそく始めますよぉ。まず、僕はほん〜っとにあなたのファンなんですねぇ。それで、僕の友達もみんななあなたのファンなんですよぉ。

サップ　アリガトウ（笑）。

ターザン　今年急に、スター街道を駆け上がって、今や我々のヒーローになっているんですけども、成功した秘密はどこにあるのか、そこをまずお聞きしたい！

サップ　まず、私は自分のファンのことをファミリーと呼んでいます。

ターザン　ファミリー!?　マイ・ファミリー！（笑）。

サップ　イエス！　そういうファミリーたちが、自分のデビューの時から見てくれていることについて、理由が二つだけあると思うんです。ヤマモトさんもご存知のように、私は試合の経験があまりないんですけども、自分が今まで持っていた力とか体重とか、そういったものをうまく利用して、数多くのトップファイターたちとなんとか互角に渡り合っている姿に今やっと共感してくれているんじゃないかと思いますね。もう一つは、私は見た目が非常に怖い。ハッキリ言って、悪人面です。だから、リング上で悪いことをした時やファミリーの人たちに気に食わないことをした時には、〝悪人面どおりの悪いヤツ〟という論理が生まれるでしょう？　そういうところが私をヒールとして期待しているファンに喜んでもらえているんだと思います。今、注目されているのは、そういう理由からだと思いますよ。

ターザン　う〜ん、そっちの分析は見事だねぇ。成功する場合、重要なのはチャンスと人との出会いだと思うんですけど、どういうチャンスとどういう人に出会ったのが大きかったですか？

サップ　チャンスという意味では、名のあるファイターと試合をできたことがチャンスだったと思います。そして出会いでは、それをセッティングしてくれたK−1の人とか、彼らを紹介してくれたWCW時代のサム・グレコとかですね。

ターザン　あなたはもの凄く才能に恵まれているんですけども、それは両親からもらったのか、神から与えられたものなのか、それとも自分のモノなのか、どれだと思います？

サップ　その3つの要素のコンビネーションだと思います。

ターザン　コンビネーションですか！

サップ　まず、神様からはこういう体を与えられ、その才能を発揮できる場を与えてくれたのは両親です。また万が一プロのスポーツで失敗しても、次の道へ進めるように用意してくれたのも両親のおかげです。だから私は集中して、スポーツに情熱と努力を傾けることができました。

ターザン　あなたのご両親は気になるねぇ。失礼だけど、お父さんはどんな職業をしておられるの？

サップ　もう引退しましたけど警察官でした。

ターザン　警察官！　これは驚いたねぇ。ということは、少年時代は非常に厳しい教育だったんですか？

サップ　お〜、他の家よりは厳しかったなぁ（笑）。17歳の時に大学に入ったんですけど、学校が始まる3週間前にアメフトの練習が始まるんです。そこから、一人暮らしが始まって、ホームシックにかかってしまったんですよ。

ターザン　何、ホームシックぅ！（笑）。

サップ　それで、「家に帰りたい」って電話してたんですけど、親父は自分の家の電話番号を変えてしまったんです。メッセージとしては、「17歳で大人になるんだから、独り立ちしろ」と。全然連絡が取れなくなってしまったんです。

一人暮らしを始めた時、ホームシックにかかってしまったんですよ（笑）〈サップ〉
今、ボブ・サップの弱点を発見しましたよぉ！〈ターザン〉

ターザン　へぇ〜、お父さんは偉い人だね。

サップ　フォッフォッフォッフォ。

ターザン　今、ボブ・サップの弱点を発見しましたよぉ！　ホームシックというね（笑）。

サップ　イエス！　フォッフォッフォッ。

ターザン　今、日本にいてホームシックにかからないんですか？

サップ　その時十分学習したので、今はホームシックにはなりません。日本は食べ物もおいしいし、トレーニングに集中しろということなんだと思って、それに集中しています。

ターザン　ホームシックは克服したかぁ。ベースボールに対しての憧れはなかったんですか？　アメリカの少年はみんなメジャーリーガーに憧れるでしょう。

サップ　ベースボール？　子供の頃、ベースボールはやったことはあります。シーズンを通して何度もバットを振ったんですけど、ボールが当たったのは1回ぐらい、フォッフォッフォッフォッフォ。

ターザン　1回ぐらい（笑）。どこを守っていたんですか？

サップ　凄く遠い外野です（笑）。

ターザン　凄く遠い外野？　そういうのを日本では球拾いって言うんですよ！　あのう、勉強ではどの科目が得意だったんですか？

サップ　化学とか理科系が得意でした。言語学とか文章とかはまったくダメでしたね。専攻は薬学と社会学です。

ターザン　サイエンスが得意だったら、宇宙飛行士になってみたいという夢はなかったの？

サップ　医者になりたかったんですよ。それで、薬学を専攻するために、ワシントン大学に行ったんですけど。

ターザン　ワシントン大学ぅぅ！　そっちは本物のインテリじゃないかぁ！　なんの医者になりたかったんですか？

サップ　どちらかというと、フィジカルトレーナー的なことを考えていたんですけど、生理学を勉強したいという気持ちもありました。

ターザン　人間そのものに興味はあったんですか？

サップ　人生は人と会うことが全てだと思っています。

ターザン　おお、僕もそうだよ！

サップ　大学の頃から、自然とそういうことをやってきましたし、私が気が付か

ない新しい考え方とか文化を知ることは非常に楽しかったですね。

山本　ところで、あなたの住んでいるアメリカは素晴らしい国なんだけど、一方で麻薬とか病んでいる部分もありますね。それもアメリカの一つだと僕は思うんですけど、それについてはどう思います？

サップ　たしかにアメリカという国は他の国より問題の多い国かもしれないです（笑）。そういう国に住んでいて自分が正気を保っていられるのは、自分の身の周りのことを大切にするしかないです。自分の好きなことをやったり、ペットと戯れたり（笑）。

山本　ペット！　どんなペットを飼っているんですか？　教えてください！

サップ　いやぁ～、こういう質問を受けたかったんだよなぁ（笑）。サーボという山猫の一種を飼っています。35キロぐらいあるので、檻に入れてあるんです。

山本　檻！　いちいち驚かされるねえ。獰猛なんですか、優しいんですか？

サップ　基本的にはジャングルに住んでいるので、凄く危険な動物です（笑）。

山本　危険？　サップさんみたいじゃない（笑）。

サップ　フォッフォッフォッフォ。一応、爪は切っているので、問題ないんですけど、おもちゃにマウントを取ったりして遊んでいます。

山本　おもちゃにマウント！（笑）。名前はなんていうんですか？

サップ　トリニティ！

山本　それは雄ですか、雌ですか？

サップ　雌です。初心者なので、まず雌から始めたんです。雄になるともっと獰猛で、マーキングしたりいろいろ大変なこともあるだろうから、小さいのから始めました。

山本　あのう、動物というのは飼い主に似ると言われますけど、あなたに似ているんですか？　もちろん、僕はあなたのことをインテリジェンスのある人だと思っているけど。

サップ　アリガトウ（笑）。自分の猫と自分に共通することは非常にユニークな存在であることだと思います。

山本　ユニーク！　ワッハハハハ。

サップ　普通、猫というと、小さい猫を想像するんですけども、人が自分の猫を見るとビックリするんですよ。野生の猫なんで。自分もキックボクサーとして対戦した場合は、相手と大きさが違うんで、そういう部分が似ていると思います。

山本　今は誰が面倒を見ているんですか？

サップ　友達が面倒を見ているんですけども、ちゃんとしたペット屋さんに面倒を見てもらおうと思って、連れて行った

電車に乗っている時に、窓から風が来るじゃないですか？　私はそれが好きなんです
〈サップ〉

ら断られました（笑）。襲われると思ったらしいんです。それで友人に見てもらってます。檻も買ったばかりなんですが、ドンドン大きくなっています（笑）。

ターザン　エッ！　檻がドンドン大きくなるんですか？

サップ　大きいのを買い換えないといけない。だんだん、チーターにそっくりになってきています、フォッフォッフォ。

ターザン　チーターに！（笑）。ムチャな猫を飼っているねぇ、そっちは。それで、寂しくなって電話したりしないんですか？

サップ　フォッフォッフォッフォ。面白いことを言う人だなぁ（笑）。電話したいんですけど、猫がしゃべれないもので（笑）。どうしているのか、ちゃんと友達に確認しています。

ターザン　何を食べるんですか？

サップ　マカロニ＆チーズが好物です。とりあえずそれだけ与えているんですけど、本来は生きている動物を襲う野生の猫なんで、それをやらせると近所の犬とか猫を食べちゃうので、やらせないようにしています。

ターザン　ワッハハハハハ。これは大笑いですよぉ！（笑）。いいよ、素晴らしい話だよぉ！　日本で猫とか見るとどうですか？

サップ　日本の猫を見ると「小さいなぁ」と思っちゃうんですけど、そうじゃなくて自分の猫が大きいんだなぁと時々思います（笑）。

ターザン　ムチャだなぁ。やっぱり大きいということはいいことなんですか？

サップ　イエス！　それは非常にいいことです。今、家にあるモノを全部大きいモノに変えようと思っています。

ターザン　大きいモノに!?　どうしてそんなことするの？

サップ　そうすれば、自分が普通のサイズに思えるからです（笑）。

ターザン　大きい家に住んでいるんですか？

サップ　家は普通です。大きなテレビとか大きなカップとか少しずつ大きくしていこうと思っています。

ターザン　家はどこにあるの？

サップ　シアトルの近くなんですけど、カートランド。

ターザン　気候のいい所じゃない。

サップ　気候は良くないです。

ターザン　良くないの？　寒いんですか、暑いんですか？

サップ　1年のうち9カ月は太陽が出ないと言われています。

ターザン　雨が降っているの？

サップ　毎日、今日のような感じです。

（この日は台風だった）

ターザン　嘘ウ！　僕なんかやっぱりロスとか暖かい所が好きだけどね。

サップ　自分も暖かい所が好きなんですけど、べつに自分が日焼けしても意味がないんで（笑）。

ターザン　ワッハハハハ。冗談も冴えているねぇ。例えば、僕たちがアメリカに行くと昔はディズニーランドとかユニバーサルスタジオとか行くでしょう？　ディズニーランドは行ったことはあるんですか？

サップ　イエス！　大学1年生の時に、アメフトの「ローズボウル」というのに出たんです。その時にディズニーランドのタダ券をもらって行ったことがあります。ただ、その時は十分にエンジョイできなかったので、次に行った時は楽しんできたいと思っています。

ターザン　ディズニーランドではどんなものに興味を持ちました？

サップ　ジェットコースター系が好きでした。あの頃は好きだったんですけど、今はたぶん乗れないです（笑）。

電車に乗って、風を感じる！そっちは詩人ですよぉ！
〈ターザン〉

ターザン　席が2人分必要ですよぉ。

サップ　あと、体重もあるんで、留め金が壊れるのが心配で、乗るのが怖いです（笑）。

ターザン　あのう、アメリカと言えば、映画の国で、僕は映画が好きなんだけど、アクション物とか恋愛物とか犯罪物とかいろいろあるけど、その中で好きな物を言って。

サップ　今度は映画の話ですか（笑）。ヤマモトさんは話題が豊富ですね。私も映画は好きですよ。基本的にアクション映画とか冒険物とかSF物が好きです。コメディとかロマンス物とかはあまり見ませんね。

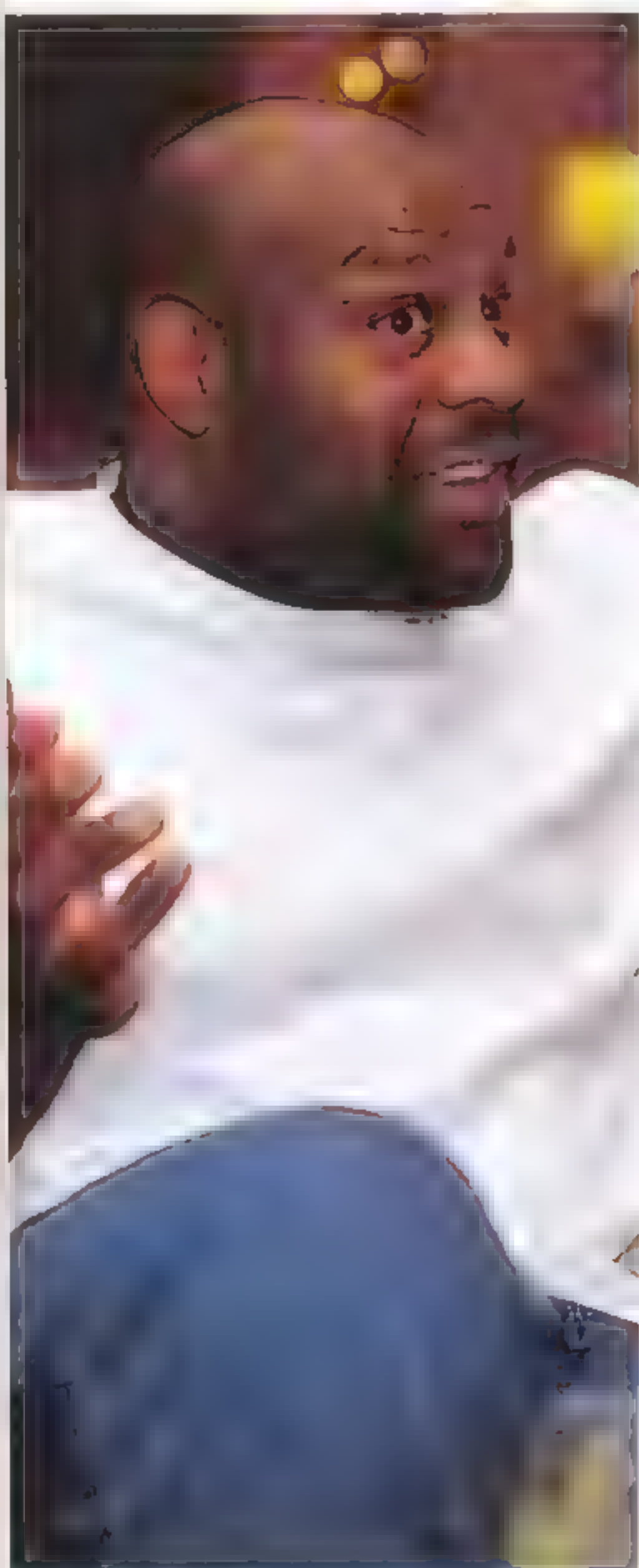
ターザン　俳優は誰が好きなんですか？

サップ　俳優で誰が好きというのは特にないんですけど、シリーズで好きな物があって、「リーサル・ウェポン」とか「ダイ・ハード」とかああいうのが好きです。

ターザン　ああ！　僕は昔、ロッキーが好きだったんですよぉ。

サップ　ヤマモトさんはロッキーが好きなんですか！　私はロッキーの映画のシーンで階段を昇ってトレーニングしているのをマネて、近くの階段でグローブをハメながら走っていたらこけそうになったので、ちょっとマネはやめようかなと思っていたところなんですよ（笑）。

ターザン　ワハハハハハ。例えばさ、今はファイターとしてリングに上がっているけども、ファイターから映画俳優になる人もいるわけですよ。そういうムービースターになろうと思いますか？

サップ　イエス！　ぜひ出たいです。アクション映画とかに出たいです。私がホラー映画に出るとしたら、特殊メイクが必要ないと思うので、かなり出やすいと

思うんだけどなぁ。（笑）。

ターザン　特殊メイク（笑）。スティーブン・キングの小説は読んだことがありますか？

サップ　小説は読んだことはないですけど、映画は見ているので、スティーブン・キング物にも出たいなぁ。

ターザン　出たい！　もの凄い個性的な人になるよ、ユニークな！

サップ　フォッフォッフォッフォ。

ターザン　音楽もアメリカは素晴らしいと思うんですけど、どうなの？

サップ　基本的にはR&Bからジャズ、ラップ、ヒップ・ホップとかリズムが気に入れば好きです。

ターザン　ラップぅ！　踊ったりするんですか？

サップ　ビーストもたまには踊りますよ（笑）。

ターザン　ビーストも踊るかぁ！　こっちはテレビで踊りましたよぉ！

サップ　大学でダンスコンテストがあって、それで全部優勝しています。

ターザン　ダンスで優勝！　ほぉ〜。

サップ　それは同じ大学の中でやったものので、同じ大学生が投票したものですから。

ターザン　サップさんはスポーツとかいろいろやってきたと思うけど、今までどんな賞をもらいました？

サップ　言えばキリがないですよ（笑）。高校の時にバスケットボールでMVPを取ったり、勉強のほうでも優待生というシステムがあるんですけど、それに選ばれたり、もちろんアメフトでもMVPを。大学でもMVPを取りましたし、チーム自体も「ローズボウル」で立派な成績を取りました。NFLでもMIP（最も成長したプレイヤー）を取りました。

ターザン　今のあなたの話を聞くと、人生自体がエリートみたいですね。うらやましいよぉ。

サップ　ヤマモトさんにそう言われると嬉しいですね（笑）。NFLに入って、プロレスの団体に入って、今はリアルファイトをやっている。こんなに全部やっている人も珍しいんじゃないかと思いますよ。しかも全部楽しんでいます。

ターザン　僕たち日本人から見ると、毎日人生をエンジョイしている典型的な人に見えるねぇ。僕たちが人生をエンジョイするには何が必要なのか教えてほしい。

サップ　例えば、忙しいスケジュールがあった場合、自分の心が安まるスペースが必要です。電車に乗っている時に、窓から風が入って来るじゃないですか？　私はその風を受けるのが好きなんです。あとは1日の間にただ座ってリラックスする時間を作ったり、毎日そういう時間を作れば、毎日がバケーションのようです。

ターザン　電車に乗って、風を感じる！　詩人じゃないか、それは！

サップ　フォッフォッフォッフォ。

ターザン　人にはその人が尊敬する人がいると思うけど、あなたにとって、人生の師というか尊敬する人は誰なの？

サップ　う〜ん、いろんな分野で分かれるんですけど、もの凄い過密なスケジュールをこなさなければならない人たちの中では、シングルマザーを尊敬します。

ターザン　おお、シングルマザー！

サップ　子供を育てながらちゃんと働いて、なおかつしゃべっていたら、自分の子供のことで笑顔を見せたりとか、そういう大変な中にも安らぎを求めている人たちを尊敬できるし、純粋にパワーで尊敬する人たちというのは、重量挙げの人たちを尊敬するし、リアルファイトに関しては、試合をしている人たち全員を尊敬しています。とにかくいい部分をできるだけ吸収しようと思っていますね。

愛についてはどういう考えを持っているのか、これはぜひ聞きたいッ！〈ターザン〉

▼分かりづらいが、サップの胸元にはターザン缶バッヂが輝いている

ターザン　もの凄い、ポジティブシンキングだね。

サップ　イエス！　アリガトウ（笑）。

ターザン　ところで僕は「ネバー・ギブアップ」という言葉が好きなんだけど、あなたは好きな言葉はありますか？

サップ　毎日毎日死に一歩ずつ近づいているので、「一日一日を大切にしよう」とか、「チャンスが自分の前に訪れたら、ドアを開けよう」ですね。

ターザン　「ドアを開けよう！」。これは素晴らしい！　見出しにするよ、大きく！

サップ　フォッフォッフォッフォ。

ターザン　あのう、イメージが違うんですけど、人間にとって一番重要なのはパートナーですよね、男女関係の。愛ということについてはどういう考えを持っているのか、これはぜひ聞きたい！

サップ　ラブ？　ラブ・イズ・ビューティフル！　フォッフォッフォッフォ。これは面白い質問だ（笑）。自分の中での本当の愛というのは、2人の人間が一つでいられることが本当の愛だと思います。どっちかが倒れそうになった時、どっちかが助けるのが本当の愛。そうすれば、片方が成功を収めた時、嫉妬を感じたり、個々の一人ひとりに見られるんじゃなくて、一つのモノとして認識を持ってればいい。それが本当の愛だと思います。

ターザン　独身なんですか、結婚されているんですか？

サップ　独身です。

ターザン　素晴らしい独身ですね。

サップ　フォッフォッフォッフォ。

ターザン　あのう、また抽象的な質問なんですけども、神は信じますか？　それとも自力で生きたほうがいいんですか？

サップ　これもどっちを信じるかというよりも、どっちも正しいと思います。自分の中で何を信じるかということなんで、それぞれが違うでしょうし、例えば毎日神様にお願いをして家にずっといるようだと、当然仕事は入ってこないだろうし、両方大切だと思います。

ターザン　話は変わるけど、アメリカと日本が仲良くするにはどうしたらいいんですか？

サップ　これは人間関係と一緒で、お互いを信じることだと思います。文化の違いとかいろいろあると思いますけど、歩

み寄っていけば、特に問題はないんじゃないかと思います。見た目は多少違いますけど、根本的には同じ人間なので、そんなに難しいことではないと思います。

僕が一番ビックリするのは、あなたは試合数が多いんですよね。オファーが来たら次から次へと出て行くわけですよ。普通の人は体にダメージを負ったり、フラストレーションが溜まったり、ストレスが溜まったりして、試合期間をあけるとかいろんなことをするんだけど、あなたの場合はなんの問題もなくそれをやってしまうんですよ。これが一番、あなたを尊敬している理由なんですよ。

サップ それはなぜかというと、K―1に家族を人質に取られているからです（笑）。出ていかないと大変なことになるんです。

人質！

サップ フォッフォッフォ。それは冗談として、「チャンスが来たらドアを開ける」という哲学に基づいて生きていて、その間に与えられた時間の中で自分の時間を作ったり、キチンと有意義にトレーニングをしていけば、やっていけるはずなんです。自分はファイターとして生業をもっているわけで、ファイトをオファーされてファイトしなければ、ファイターじゃなくなります。

（パチパチ手を叩きながら）素晴らしいねぇ！

サップ 自分はNFLにいて、週4回トレーニングをして週1回ファイトをしてたわけですから、それは問題ありません。

「時代の扉はすぐそこにいつも開いているんだ」と言ったのはボン・ジョヴィなんだよね。有名な言葉ですよ。今、ボン・ジョヴィを思い出したよ！

2人の人間が一つでいられることが本当の愛だと思います〈サップ〉

サップ OK！ そういうチャンスが訪れたら、必ず挑戦するべきだと思います。

あなたは、リンゴを潰したり、紙をガーッと食べてしまったり、そのギャップがいいですね。

サップ 逆にこのキャラクターと試合をしてない時の自分はハッキリ分かれているんで、自分にとっては普段の自分でリラックスできるんです。試合の時の自分と普段の自分をコントロールできているからいいんです。

これからあなたのことを〝インテリジェンス・ビースト〟とか〝インテリジェンス・モンスター〟と呼ぼうと思うんだけど、どっちがいいですか？

サップ フォッフォッフォッフォ。〝インテリジェンス・ビースト・モンスター〟じゃダメですか？ フォッフォッフォ。

ワッハハハハハ。意外と欲張りですね（笑）。

サップ それはヤマモトさんにお任せしますよ。

ビーストになるということは、ファンタジーになるということですよぉ。

サップ 基本的にビーストになった時は、現実から逃避しているのではなく、どんな相手であろうと、あるいはいつ試合がオファーされようと、私はそのたびに試合をしているんで、ちょっと前の自分では考えられなかったです。

ありがとう。今日は、そっちのインテリぶりを楽しめたよぉ。

サップ そのバッチもらえないですか？

もちろんですよぉ！ これは目に見えない力を与えてくれるんですよ。

サップ イエス！ アリガトウ！

これで、あなたはもっとインテリジェンスになりますよぉぉぉぉ。■

フランス「KARATE・BUSHIDO」誌提携

No.80 10・24号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

歴史的シェイクハンド！
11・17『WRESTLE-1』は
どうなる!? 座談会

「俺はなんなんだぁ！」
ターザン山本、月に吼える

石井館長が上位概念にあるから、拒否反応を示すよねぇ

山本　おい、モグタンっ！　いったいどーしたんだぁ？　おまえは。

小松　は……？　僕がどうかしましたか？

――ダハハッ！　ついに毎回恒例のサダハルンバいじりに飽きて、モグにターゲット変更か（笑）。

山本　おまえ、なんか急にしょぼくれた顔になったなぁ

小松　あ、そんなにしょぼくれて見えますか？

山本　いや、おまえはもともと貧相だけど、これまで以上に輪をかけてしょぼくなったよぉ。何か仕事で悩みでもあるのかぁ？

小松　あ、いや…………、ありません。

悩んでることがあるならこの際、言っとけ。ズバリ言って、俺はなんの力にもなれないけど（笑）。

小松　じゃあ………。あ、いえ、何もありませんから大丈夫です

山本　何か問題があるんじゃないのか？　そっちの編集部は。

谷川　いえいえいえ、ウチほど牧歌的な編集部はありませんよお

んあ～！

山本　それ、編集部じゃなくて、谷川ひとりが牧歌的なたけたからなぁ

小松　僕のことはいいですから、それよりも山本さん、今日の前フリを。

山本　話題を逸らすなら、おまえか身体を張って前フリをしろよぉ。まったく味も素っ気もねぇ男たなぁ。

谷川　まったく毎回毎回。ちゃんと何かネタを仕込んでこいよ。本当に出しガラみたいな男たなあ、キミは。

――今日、座談会があるって分かってんだから、何か仕込んでくるのが当たり前だろ。

谷川　じゃあ、読者に「モグラ・クイズ」でも出すぅ？　「僕がしょぼくれてるのはなぜでしょう？　次の中から選びなさい」って。「①編集部内の確執　②編集部内の虐待　3編集部内の不条理　4編集部内の軋轢　5編集部内のセクハラ」とか、そんな感じで

ダハハハッ！　問題たらけじゃん、ウチの編集部は。

山本　答えはどれだ？　モグ。

小松　あ………、「6」です

――んあ～！（笑）。

山本　のっけからいきなりシラケさせる男だなぁ　しょうがねえなぁ、もう本題に突入するぞ！　今日のテーマはなんだ？

小松　今日は『WRESTLE－1』です

山本　あ、そうた　おい、谷川ぁー　おまえ、いい加減にしろよなぁ。

谷川　え、え、え、え……？

――やっぱりいじられるか（笑）。

山本　あのフジテレビの『WRESTLE－1』の放送があった日に、俺は家に着いたのが遅かったわけよぉ。まさに家に到着する10メートル手前で谷川から電話がかかってきて「山本さん、今夜の『WRESTLE－1』を観ておいてください」って。

谷川　あ、はい、そう電話しました。

山本　俺の家の周りはうるさい人が多いんだよぉ。大きな声で電話で話してると怒られるから、俺はあの電話があって川べりまでバーッと走って行ったんだよぉ。

谷川　あ、それで小さな声でしゃべってたんですかあ。てっきり、眠いのかなあと思いましたよ

山本　近所に気を使ったんたよぉ、だって、風鈴の音でも「何考えてるんだあ！　寝られねえんだよお！」って怒られるんだからぁ　俺の隣の家の風鈴なのに。

――ダハハハッ！　それは風流じゃない隣人ですねぇ（笑）。

山本　俺も以前、家の中で大声で電話で話してたら、「何時だと思ってるんだあ！」って怒鳴り込まれたんたからぁ　それ以来、恐怖症になってるから、谷川から電話がかかってきた途端に土手まで走ったんだよぉ。で、それだったらまだガマンできるんだよぉ　谷川は放送後にもまた電話かけてきたんだよぉ。

谷川　いや、僕はかけてないですよお。

山本　ここに証明があるよぉ。携帯の着信履歴を見てみるかぁ？　ほら「0時27分　谷川」、次が「2時20分　谷川」って出てるじゃねぇかぁ。

谷川　あ、それはたぶん間違い電話です。

んあ～！

谷川　で、ちゃんと観たんですか。

山本　不覚にも始まる5分前に寝てしまったよぉ。

谷川　んあああ～！

小松　僕がさっき山本さんに感想を聞いたら「ほとんど観てない」って言ってました。

山本　でも、あれを観たいろんな人から批評を聞いたよぉ。

谷川　とういう感想でしたか？

山本　やっぱり一般的なプロレスファンからすると、ちょっと引いてるなぁ。構造そのものは石井館長がプロレスに参入して、武藤敬司とのツー・ショットというのがちょっとイレギュラーな感じでしょ。よ～するにひとことで言うと、今は石井館長か上位自我にあるてしょ　プロレスファンが一番嫌がるのは武藤が石井館長を訪ねていって、館長が待ってるという構造は石井館長が上位概念にあるから、それに対して拒否反応を示すよねぇ

小松　なんか武藤選手が石井館長に教えを乞いに行ったという感じでしたよね。

山本　それがデリケートなプロレスファンのネガティブな心に触れたというかねぇ。その瞬間から拒否しちゃうんだよねぇ。石井館長のほうが上位にいて、武藤が下位にあるということが。でも、俺は違うんだよぉ。

――山本さんはプロレスファンじゃないのか？（笑）。

山本　いや、そうじゃなくて、まずあの番組の内容を振り返ると、一番最初にスーパーが出てきたでしょ。「プロレスの危機」「プロレスの衰退」って。たしかにそれは今の時代の核心を突いてるわけよぉ。でも、俺から言わせると前の日に名古屋で観た『プライド22』のほうがホントに危機だし、衰退なわけですよぉ！

――ダハハハッ！

山本　俺から言わせたら、それに比べてプロレスはもう50年くらいの歴史があるわけで、衰退とか危機とかいっても、これまで蓄えた財産もあるからタフなわけですよぉ。こんなこと言うと語弊があるけど、K－1や『プライド』なんてまだポッと出じゃないかぁ。それがまず俺の第一印象で、いきなりレジスタンスしたわけですよぉ。

谷川　ああ、まずそこで抵抗を。

山本　で、もっと言うならば、『プライド』の名古屋大会で日本人が5連敗したことをいろいろ考えたんだよぉ。そしたら一つの結論に到達したんだよねぇ。

谷川　なんですか？　それは。

山本　日本人選手には実力がないのか、才能がないのかといろいろ考えたんだけどさぁ。結局、才能というのは前へ前へ出ようとするリズム感のことなんだよね

プロレスを再生させなきゃいけないという意思が働くでしょ

え。最初に出てきた小原（道由）選手はまったくリズム感がなかったもんなぁ

――小原にリズム感を求めても（笑）。

山本 いや、山本（憲尚）選手もそうだった。アレクはリズム感はあるんだけど、それをコントロールできないし。で、リズム感があるように見えてスケールが小さい小路選手。そしてリズム感があるのかないのか分からないうちに負けた大山峻護選手 つまり俺は、「才能とは身体の中にリズム感があるかないかである」ということを新しく発見したわけですよぉ。つまり、あんな大会でも「転んでもタダでは起きない」という俺のイズムでそれを発見したんですよぉ。それで俺はやっとリベンジできたわけですよぉ。

――そこでもまたリベンジしますか（笑）。

山本 そんなことでも一生懸命にリベンジというか、レジスタンスするのが真のプロレス心というもんですよぉ。

――さすが、常日頃から敗北感に包まれてるだけのことはあるなぁ（笑）

谷川 で、それがどんな感じで翌日の「WRESTLE—1」の放送につながるんですか？ リズム感がどう全日本プロレスに……。

山本 へ？ 全日本……？

谷川 才能イコールリズム感から、「全日本プロレスは」っていう流れを考えてその話をしたんじゃないんですかあ。

山本 いや、ちゃんとリベンジできる俺は素晴らしいって話ですよぉ。

谷川 んあ〜！

山本 まあ、結局は石井館長と武藤選手でしょ あれ、本当に水と油みたいな「格闘技」と「純プロレス」がクロスしてるわけでしょ。つまりあれを俺たちがどう捉えるかたよねぇ 単に石井館長か天下を取ったようなイメージの中で、プロレスファンが館長をヒールとして見るのかということはあるけれども。俺は物事をもっとマクロに考えなきゃいけないと思うんだよねぇ。そういう気持ちが実は俺の中にあるんですよぉ。

――実はあったんだ（笑）。

山本 俗っぽく「石井館長はええカッコしてるなあ」とか「武藤相手に余裕たっぷりで話して、癪に障るなぁ」とかって気持ちもあるでしょ、プロレスファンには。でも、よく考えてみたら「WRESTLE—1」がもたらすものには凄く重要なポイントがあるなあ、と 一つはこういうことですよぉ。

小松 あ、ます一つ。

山本 今はプロレスの危機であり衰退だから、なんとかしてプロレスを盛り上げなきゃいけないという構造。もっと深く考えると、プロレスの危機と衰退が何をもたらしたのか。プロレスや格闘技を含めた生態系がアンバランスになってることでしょ。こうなると、K—1および「プライド」もしくは「Dynamite!」そのものにも大きなマイナスの作用か働く、と 生態系を維持するためにはプロレスをなんらかの形で再生させなきゃいけないという意思が働く、と。

谷川 なるほどお。

山本 でも、そのプロレスの復権というのは今は非常に難しいんだよねぇ。誰もがその難しさを分かっていて、「プロレス」という四文字が持ってるネガティブなものが世間的にも定着しちゃったわけね。つまり「プロレスは真剣勝負じゃない」というものが抱えた悲劇になってるわけですよぉ。でも、そこで石井館長が考えたのは、プロレスというジャンルを復活というか蘇生させるんじゃなく「新たなるプロレス」として作り出し、よ〜するに格闘技とは違う新しいファン層をマスとして取り入れよう、と。そのためには「プロレス」という四文字を使ったらダメだ、と。それに代わるものとして「WRESTLE—1」というものを設けた。

谷川 そういうことですね。

山本 でも、それは新たなプロレス団体でもなければ、新しいジャンルでもない、つまり「新しいイベント」だ、と。イベントとして考えたら新しいファンも古いファンも入ってこれるんですよぉ。つまり今までプロレスファンじゃなかった人も取り入れながら、それを新しいプロレスファンに変えていくというか、戦略としては実に巧妙であるし、奥が深いというかねぇ。それはオールすべてぜ〜んぶ、まったく正しいんだよねぇ。

谷川 「新しいイベント」というのは分かりやすいですよね。

山本 あの番組内では石井館長も武藤選手も「プロレスをなんとかしなきゃいけない」と言ってたけど、実は「WRESTLE—1」というイベントで目先を変えていかないと、今は「プロレス」という四文字は使えないという割り切り方、そういう哲学が働いてるので、その一点たけては武藤選手と石井館長の利害が一致してるんだよねぇ 今までのプロレスというのはど〜してもマイノリティを集めてたわけ。でも、K—1にしても「プライド」にしてもマスを吸収してガーッと大きくなってるでしょ。プロレスはこれまでカツオの一本釣りだったけど、ところがK—1や「プライド」は大きな底引き網で客をすくってきたでしょ。で、プロレスを底引き網でやるにはとにかく一度「プロレス」の四文字を外そう、と。「それで一回やってみてはどうですか？ 武藤さん」ということなんたよねぇ。だから、館長はあれでは全然言葉が足りない。やっぱり俺がちゃんと説明しないとダメなんだよなぁ。

――ダハハハッ！

山本 それで新しい生態系を作り直して、プロレスと格闘技か共存共栄できるような世界を作っていきましょう、と。それを言いたかったと思うんだけど、館長は言葉か足りないんだよぉ。本当はそう解釈してほしいわけ、石井館長は。

谷川 まったくそのとおりです。

山本 相変わらず都合がいい男だなあ、おまえは。

谷川 いや、まさに今、山本さんが言ったそれを僕も言おうと思ってたところです。

山本 じゃあ、俺がいなくてもいいじゃねえかぁ！

谷川 いや、やっぱりいいところは師匠

館長は言葉が足りない。俺が説明しないとダメなんだよなぁ

に譲ろうと思いまして……。

ぷぷぷぷっー

谷川 で、まずプロレス村の反応はどうなんですか、あれに対して。

山本 プロレス村よりも俺の反応ですよぉ。あれを観た時、「俺はなんなんだぁ！」と思ったもん。俺は『週刊プロレス』を辞めてもう6年たけど、さらに遡るならば93年にK―1ができた時から「石井館長は凄い人だ。これからは石井館長のやり方にプロレス界は学ばなきゃいけない！」と言い続けて、それに対して新日本プロレスというか長州力は「そんなもんを『週プロ』に載せるな！」と圧力をかけたわけですよぉ。当時の感覚からしたら、絶対に石井館長とプロレス界がシェイクハンドすることはあり得なかったわけ。それがやっと今回の「WRESTLE―1」で出てきたわけでしょ。そこで「俺はなんなんだぁ！」と叫びたくなったわけけよぉ

――ぷぷぷぷっー

山本 俺か10年前から言い続けてきたことに対してさんざんボロカスに言われて、俺はそれが原因で『週プロ』を辞めたんだよぉ ところが今、石井館長とプロレスが握手してるわけですよぉ。まったくさぁ、俺のこの6年にわたる悲劇はとーなるんだよぉー

――もう、あらゆる意味で「俺はなんなんだぁ！」と叫びたいですね（笑）。

山本 俺はあの夜、窓を開けて月に向かって咆哮したくなりましたよぉー

小松 たとえ隣人に怒られてでも。

――まあ、ひとことで言うと「時代の捨て子」というか「プロレス界のための捨石」ってことですね（笑）。

山本 人柱みたいなもんですよぉ！ 今回のあのシーンは、フジテレビがプロレスに参入して、WWEみたいなことをやりたいというのが見え見えでしょ。でも、俺から言わせるとあの二人が握手したということは今年一番の事件も事件、大事件、大スキャンダルなわけですよぉ。これをどう考えるかによってプロレスが今後は別の路線を進むのか、それを完璧に示唆してるわけっ！ それを認めるのも拒否するのもいいんだけど、それと関係なくもう流れができてるんですよぉ。

谷川 その意味でも反応はどうなんですかね。まず、やる側というかレスラーたちに関しては。

山本 そんなもん「うらやましい」のひとことですよぉ「なんて俺のところには話が来なかったんた」と思ってるでしょ石井館長か武藤のところに行ったということに対する、ある種の挫折感というか、ジェラシーというか、それが膨れ上がってますよぉ。

谷川 て、番組の最後に猪木さんか出てきましたけど……

山本 猪木さんはモロに一番それを感じてますよぉ つまりジェラシーの代表ですよぉ！ 武藤に話がいったこと自体、猪木さんにはガマンできないことでしょ。なぜなら猪木さんは石井館長＆武藤に対抗できるものを今、持ってないし、武藤の後ろに馬場さんの幻影を見たことによって屈辱感が増幅されるんだよねぇ

谷川 でも、猪木さんは怒りというよりも、追い詰められた感じに見えましたよねぇ。

山本 追い詰められたというか、常に主役であった者かその座を降ろされるように見えたことか猪木さんにとってはショックたよねぇ。

谷川 でも、一般の人たちはあれを観ていて「猪木さんはこの先、「WRESTLE―1」にどう絡むんだろう？」と思ったんじゃないですかね。

山本 猪木さんのあの姿ではそれは思わないよぉ。猪木さんにはそんな余裕はなかったもん。

谷川 僕も猪木さんには余裕か感じられなかったなぁ（笑）。

――んあ～！

谷川 でも、うまい形で猪木さんがあの対立構造に入ったら、プロレス界が良くなる感じはしないですか？

山本 そうなったら新たな猪木幻想の始まりとなるんだけど、今の猪木さんにはタマがないしねぇ。プロレスファンは確実に石井館長＆武藤選手の圧倒的勝利に見えてるから、逆に猪木さんがマイナーというか野に下って「猪木さん、ガンバレー！」という心理が働くよねぇ。でも、それは昭和のプロレスファンだけよぉ。ほとんどのプロレスファンは面白いほうにいくから、そんなことはどうでもいいんですよぉ。

谷川 僕はあれを観て、石井館長と武藤選手が組むことによって、プロレスファンはだいたい「どんな失敗をするんだろう？」っていう感覚になると思ったんですけどね。

山本 それはメチャクチャ少数派だよぉ。

谷川 「どんな失敗するんだろう？」と思いながらも「ちょっとチケット買って見に行こうかな」っていうか。でも、石井館長かやることだから「侮れないな」くらいの感じだと思ったんですけどね。

山本 いや、そこまで考えてなくて、問題は石井館長と武藤選手がどういうものを11月17日に提供してくれるのか、と。もう、それしか考えてないよぉ

谷川 失敗するかとか、成功するかとかじゃなくて？

山本 提供するものに対してどう反応するかたけよぉ

谷川 ほお～ん。

山本 それが成功したら、一気に物事が変わるんですよぉ。だから、プロレスの可能性を広げるという意味でも、あれは絶対に成功させなきゃダメなんだよぉ。

谷川 じゃあ、プロレスマスコミはあれに対してどういう反応を示すんですか。

山本 抵抗するというか、そっぽを向くというか、ストップをかけますよぉ。つまりプロレスマスコミだけが11・17の最大の敵なんですよぉ。

谷川 へえ～。そういえば最近、GK（金沢克彦『週刊ゴング』編集長）が僕の横を通るたびに「外敵、外敵」って言うんですよぉ。

山本 それがよ～するにプロレスマスコミのいちばん正直な反応ですよぉ。

猪木さんはそれを感じてますよぉ。ジェラシーの代表ですよぉ！

──GKがサダハルンバを脅威に思ってるってこと？（笑）

小松　単にからかわれてるだけだと思いますけどね。

谷川　んあ～！　でも、プロレスファンからすれば、石井館長こそが外敵ですよね。

山本　いや、そう思ってるのはプロレスファンではなく、プロレスマスコミだけなわけよ。最大のガンだと思ってるわけ。

谷川　が、が、ガンっ！

山本　でも、ファンからすれば石井館長はベビーフェイスなんですよぉ。

谷川　あの番組を見た限りでは、石井館長はもの凄く自然というか、一般から見れば当たり前のことを言ってましたよねえ。「チケットはちゃんと売らなきゃいけない」とか「演出をもっと綿密に考えたほうがいい」とか。

山本　ところが、あれは全てプロレスに対するダメ出しなんだよねぇ。プロレスがダメになった要因を並べてしゃべってたわけ。でも、あれはハッキリ言って俺がず～っと言い続けてきたことなんですよぉ　俺が言った時は誰も聞かないで、なんで石井館長が言うと「はい、はい」って素直に聞くんだよぉ！

小松　あ、それは声を大にして怒っておかないとダメですね。

山本　それに対して俺は腹ぁ立って、腹立って。俺が10年間、口を酸っぱくして同じことを言ってきたのに、取材拒否されて追放されたんだからなぁ。

谷川　その構造を説明するとですね、山本さんが言ってきたことを僕がずっと石井館長に説明してきたんですよ。

──ダハハハハハッ！

山本　おまえがリレーしてたのかぁ！

谷川　そうなんですよ。そうしたらK―1が大成功して、「プライド」とかも成功したんですよ。だから、石井館長は山本さんが言ってきたことを言ってるだけなんですよ。

山本　おまえ、泥棒かぁ！

──さしずめ故売屋ですね（笑）。

谷川　いや、僕は山本さんが言ってることをうまく噛み砕いて、ずっと石井館長に説明してただけですよ。

山本　なんで、そんな俺が文無しというか、借金まみれで、石井館長とおまえが裕福になってるんだぁ！

──まあ、「いいとこ取り」と「いいとこ取られ」の明暗クッキリですね（笑）。

山本　光と影ですよぉ！　まあ、光があれば必然的に影はできますからね（笑）。

山本　まあ、それはいい。で、石井館長と武藤選手の対談を見ていて、石井館長をどう捉えるかという問題があるんだよねぇ。これは非常に深層心理的な読み方なんだけど、あれを観ていたら石井館長は無邪気に「俺もプロレスの仲間に入れてよ」みたいなところがあるんだよねぇ。俺はそれをもの凄く感じて、世間的には石井館長は上位概念にあるけど、潜在的にはプロレスを上位に認めているなということが見えたんだよねぇ。それが俺にとっては救いだったよぉ。それが見えた時に、石井館長に対して好感を持ったよなぁ

谷川　館長には昔からずっとそういう気持ちはありましたよ。

山本　石井館長がムトちゃんに対して、お世辞じゃなく、無心というかムトちゃんと新しいプロレスをやれるということを喜んでるように見えたわけですよぉ。それはハッキリ言って美しいと言うしかないよぉ。

谷川　それが石井館長の地でもあるし、やっぱりプロレスがずっと天下を取ってきた時代の中で空手をやってきた人ですから、そういう気持ちはもの凄くあると思いますよ。

山本　プロレスが凄くいい時代の空気を吸ってて、プロレスというものを無条件で認めていたというのが心の奥のどこかにあるんだよねぇ。だから、ムトちゃんとああいう形で対峙した時に願いが届いたというかさぁ。ずっと思い続けてきたものを手に入れたというかねぇ。これは語弊がないように言いたいんだけど、もしかしたらプロレスに認めてもらうのが石井館長のアイデンティティだったかも分からんねぇ。

──それはもの凄くあったと思いますよ。

山本　その気持ちがあったからK―1で頑張り続けてこられたというかさぁ。決定的なことを言えば、プロレスは衰退した、あるいは危機だと言われている。だけど、誤解してほしくないわけですよぉ。社会的にはホントにK―1と「プライド」と「Dynamite!」が上にあるわけだけど、でも今でもプロレスは凄いんだよぉ

谷川　ああ、山本さんからそういう言葉を聞くのは美しいですねえ（笑）。

山本　プロレスというジャンルはデリケートな世界だし、魅力的なんだけど、あわれさを感じるしかないジャンルなんですよぉ。それを証明してきた馬場さんとか猪木さんがいるわけよねぇ。でも、今はその凄いものを表現できる人がいないので転落してしまったし、格闘技に比べて下位概念になってしまったけど、本当はもの凄く高い位置にあるんだよねぇ。よ～するにそれが証明できなくなったという形で「危機」とか「衰退」と言われているけど、それは石井館長も分かってるんだよぉ。それを分かっていながら、プロレスとシェイクハンドする石井館長のことをプロレスファンにも分かってほしいわけ。

谷川　あの番組で一番分かりやすい石井館長の表現は「これからのプロレスはラスベガスのショーを目指さなきゃいけない」だったんですけど、プロレスには

シェイクハンドする石井館長のことを分かってほしいわけ

「ラスベガスのショー」にもないような凄いところがあるんですよね。

山本　それは石井館長か説明してないから、俺が説明するよぉ、

——ダハハハッ！

山本　石井館長は「プロレスはK—1や『プライド』とは違いますよ。エンターテインメントに行くしかないですよ」と言ったんだよねぇ。実はこれって非常に短絡的な発想なんですよぉ。つまり格闘技は「真剣勝負」で、プロレスは「ファンタジー」と武藤は言ったわけね。これも凄く短絡的なんだよねぇ　俺か言いたいのは、真剣勝負にも「実」と「虚」の二つかあって、格闘技の場合は「実」の真剣勝負なんだよねぇ　ところがプロレスには「虚」の真剣勝負かある　これか理解されないわけですよぉ。フィクションの真剣勝負を兼ね備えていることがプロレスがもの凄かったということなんですよぉ　真剣勝負には「フィクション」のものがあって、それは巨大なものなんだということですよぉ。

谷川　なるほとお

山本　今は目に見えやすい「実」の真剣勝負が注目されてるけと、俺はそれは違うよ、と　それによって「真剣勝負」対「エンターテインメント」という区分けの仕方じゃなしに、「虚の真剣勝負」と「実の真剣勝負」を同時に兼ね備えてるのが本当のエンターテインメントだと俺は言いたいわけですよぉ。

谷川　じゃあ、それは今度館長が言いますよ

——ぷぷぷぷっ！

山本　でも「虚の真剣勝負」というのは形がないものでしょ。目に見えないものだから伝わりにくいわけですよぉ。だから、単純に「実の真剣勝負」と言ったほうが今の時代には適してるわけ。でも、それは違うんだ、と　真剣勝負の意味を単純に考えてほしくないということなんだよぉ。これはプロレス者しか考えられない発想たよぉ

——まったくそのとおりでしょう。だから、あの『WRESTLE—1』の番組をトータルで観て思ったことは、まさに今の話でね。リング外のプロレスなんですよ　最後にやっぱり猪木さんっていう「虚の真剣勝負」が出てくるわけでしょ（笑）。今はリング上でエンターテインメントができないって証拠ですよ、武藤と石井館長が話してるっていうフィクションの中で、アントニオ猪木っていうもの凄いリアルなものが出てくるわけでしょ。

山本　猪木さんが言うことはハッキリ言ったらオールすべてぜ〜んぶオッケーなんだからぁ。猪木さんがあそこで出てくることによって、石井館長も武藤選手もより一層説得力が生まれるんだよなぁ。

——だから、あれは番組全体としてプロレスなんですよ。それが石井館長と武藤の絡みだけで終わってたとしたら、まさにラスベガスのショー的なエンターテインメントって言われている計算されたものでしょ。

山本　あの中に猪木さんが入ってくると、スタートしても結果が違うかもしれないからねぇ。それがプロレスであり、フィクションとしての真剣勝負かあるんですよぉ。

——でも、一番怖いのは、それをプロレスって定義した時にそれをできる人間はいないんですよ。

山本　それを今、証明する人がいないからねぇ。それが猪木だったらできるので、あそこに猪木さんを引っ張ってこなきゃいけないわけですよぉ。

谷川　それは山本さんもできるじゃないですか（笑）。

山本　できるけど、俺は何をやってもいつも貧乏クジだからなぁ。

小松　しょぼくれちゃいますよね。

谷川　んあ〜！

——まあ、それを今、リング上でできる人がいないってことだよね。

山本　やっぱり押しも押されもしない存在感、よ〜するにフィクションの真剣勝負を証明できる存在の出現を俺は待ってるんだよねぇ。

たから、本当に館長が提示してるものっていうのは、そのレベルの定義として「プロレスだ」って言っちゃったら、その四文字は失われていくんですよ。絶対に戻ってこないんですよ。だから、館長は「そうじゃないプロレス」っていう定義をまた生み出さなきゃいけないっていう話でしょう。山本さんの言ってることって、まさにプロレスファンの根っこで、みんなその気持ちでいっぱいでしょう。で、猪木さんなんかは典型的にそのパターンじゃないですか。「プロレスとは闘いである」って、もうその定義じゃダメたってことを石井館長は言ってるわけですからね。

山本　そーゆーことです！

——山本さんが言ってる「プロレスは本当は凄いんだよ」ってことを分かった上で、「それがプロレスだ」って定義しちゃったら、もうプロレスは終わり。でも、終わらしちゃあジャンルがなくなっちゃうわけたから、また違った形のプロレス

マスを相手にするというのはこれからのキーワードだよぉ

を定義しないといけないって話でしょう。

山本　そう！　つまりそれが『WRESTLE—1』なんですよぉ。

——まあ、コアなファンは分かってますよ。

山本　ただ、もうそれは時代の中にはないんだよぉ。

　終わったことてすからね

山本　今は喪失感たけかあるんてすよぉ

　だったら、リング上じゃないところで見せるしかないんですよ。だから、あの『WRESTLE—1』っていう番組は今のところ試合中継をしないって発表してるでしょ。ああいう形でのプロレスを目指すわけですよね。

山本　そう言われれば、あの番組はいいプロレスになってたよぉ。

——でも、やっぱり猪木さんがあそこにいないと、俺たちが昔から定義してきたプロレスにはならないんですよ。だけど、リング上にそれを求めた瞬間にもうプロレスに関わる意味がなくなるんですよ。だって、存在がないんだから（笑）。

山本　そこで、マスを吸収できる入り口を広げてようとしてるわけね、石井館長は。

谷川　それはもの凄く重要なことですよね。

山本　それは客の数じゃないよ。いかに入り口を入りやすくさせるかという。プロレスではもう入れないからねぇ。

谷川　僕とか、プロレス会場に行くとホントに惨めになりますよ。

——勝ち誇ってるくせに（笑）。

谷川　いや、観てても何がなんだか分からないんだもん。

—このあいだの名古屋の「プライド」なんかはまさにそこでしょう。マスを満足させるものを少しずつ『プライド』とか『Dynamite!』が用意してきたわけですよね　それが名古屋にはなかったという。

山本　あの名古屋に来た人たちは一応『Dynamite!』みたいなものを見て、入り口に立ってみたいという願望を生んでるわけですよぉ。で、それを取り込むことに失敗したんだよねぇ（笑）。まあ、マスを相手にするというのはプロレスのこれからのキーワードだよぉ。つまり全国一斉ロードショーじゃないといけないということて、名画座はタメたよなぁ。

　ダハハハハッ！　名画座の権化がそれを言うか（笑）。

山本　俺はもう変節したからねぇ

——でも、10年前から山本さんが言ってきたことは、山本さんがホントにマスを相手にしてたんですよ。

山本　よ〜するにコアな思想とか求心力と言ってるけど、実はマスの遠心力を重視してるんですよぉ。

——今はまったくマスを相手にしてないけど（笑）。

山本　いや、ちゃんと相手にしてますよぉ！

——じゃあ、山本さんは自分のことになると、マスを相手にしなくなるんだ（笑）。

山本　そーゆーことです！

——何か武器を持つとマスに向けるけど、自分のことは絶対にマスに提供しようと思わないですもんね。

山本　………しないねぇ

——シークレット・サロン症候群だから（笑）。

山本　それが快感なんだよなぁ。

谷川　それは井上（義啓）編集長の遺伝子ですかね。

山本　いや、井上編集長は常にマスを相手にしてるんだよぉ

——井上編集長の場合はマスがターゲットなんだけど、矢の先っぽが鋭すぎて素通りというか突き抜けちゃうからなぁ（笑）。それはそれで美しいけど。

谷川　なるほどなぁ、つまり WRESTLE—1」の理念は山本さんだったんだ。それが今日の結論だね。

——あれはターザン山本の集大成ですね。まあ、それでもやっぱり「いいとこ取られ」だと思うけど（笑）。

山本　そう言われると俺も引いちゃうんたよねぇ

　ダハハハハノ！

山本　とにかく「プロレス」の四文字はもう使えないということですよぉ。新しいプロレスというか、それが感じられるイベントが生まれるか、これを生むことが命題ですよぉ。

——まあ、どういう中身になって、新しいプロレスの定義をどうできるかですよ。それは単にエンターテインメントという言葉に象徴されているイメージだけで捉えていたら、大失敗しますからね。

山本　エンターテインメントをナメたら必ず失敗する。そこをいかに考えるかですよぉ。

——日本ではエンターテインメントって言葉を簡単に使ってるけど、一番難しいことですからね。

山本　全身全霊を懸けてやって、初めて成功するかしないか、それぐらいハードルが高いよぉ。まあ、それに挑まなければ真のエンターテインメントは生まれないってことですよぉ。

谷川　なるほど、よく分かりました。モグも全身全霊を懸けて、何かにチャレンジさせないといけないなあ。

——とりあえず、武藤みたいにスキンヘッドにしてみるか？

小松　僕が武藤選手になったら、誰とシェイクハンドすればいいんですか？

山本　編集部内の「石井館長」的存在とですよぉ！

小松　あ……、それは遠慮しておきます。

谷川　んあああ〜っ！ ■

10/10THU～10/24THU

CALENDAR

10/10 THU	★『SRS・DX』80号発売日
10/11 FRI	■K-1 WORLD MAX 2002/東京・有明コロシアム（18:00～）⇐p46
10/12 SAT	◆DEEP2001/チケット一般発売⇐p47
10/13 SUN	◆PRIDE.23/チケット『SRS・DX』オフィシャルサイト先行予約⇐p46 ◆シュートボクシング/チケット一般発売⇐p50
10/14 MON	■KAKUMEIキックボクシング＆掣圏道アルティメットボクシング/大阪府立体育会館（15:30～）⇐p46
10/15 TUE	
10/16 WED	
10/17 THU	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:30～）⇐p48
10/18 FRI	■K-1 WORLD GP2002決勝戦/チケット『SRS・DX』先行予約⇐p46
10/19 SAT	■K-1 WORLD GP2002決勝戦/チケット一般発売⇐p46
10/20 SUN	■MMA THE BEST/東京・ディファ有明（16:00～）⇐p46 ■新日本キック協会/東京・後楽園ホール（17:15～）⇐p49 ◆PRIDE.23/チケット一般発売⇐p46
10/21 MON	
10/22 TUE	
10/23 WED	
10/24 THU	★『SRS・DX』81号発売日

GUIDE & TICKET

大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

PRIDE

PRIDE.23
11月24日（日）　東京・東京ドーム

◆開場/未定　試合開始/未定
◆入場料/VIP席100,000円、RRS席25,000円、スタンドS席15,000円、スタンドA席7,000円
◆チケット発売/10月20日（日
◆チケット発売所/各有名プレイガイド
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分　地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

11・24
PRIDE.23
SRS・DX　オフィシャルサイト先行予約
10月13日（日）　0:00～24:00
www.so-net.ne.jp/srs-dx/

掣圏道

KAKUMEIキックボクシング&掣圏道アルティメットボクシング合同興行
10月14日（月・祝）　大阪・大阪府立体育館第2競技場

◆開場/14:30　試合開始/15:30
◆入場料/R席10,000円　S席7,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/KAKUMEI☎06-6708-5305

掣圏道アルティメットボクシング大会
11月10日（日）　北海道・苫小牧市総合体育館

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場料/R席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/サンプラザ☎0144-36-1122、ステイ☎0144-32-0611、バセオ☎0144-73-1141、鶴丸百貨店☎0144-33-3111、ローソンチケット☎011-737-4649
◆会場アクセス/JR苫小牧駅より徒歩20分
◆お問い合わせ/掣圏道協会本部☎0166-27-5788

ドリームステージエンターテインメント

MMA THE BEST
10月20日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆入場料/PRIDE Official CLUB GOLD会員2,000円※会員1名につき同伴者3名まで購入可能　一般6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、クーート・アントニオ☎03-3219-9550
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

掣圏道アルティメットボクシング大会
11月23日（土・祝）　北海道・室蘭市総合体育館

◆開場/13:00　試合開始/14:00　◆入場料/R席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/ボスフール☎0143-45-1414、クラウン商会☎0143-43-1006、東輪スポーツ☎0143-44-4621、きんやレコード☎0143-24-4333、ミュージックショップ国劇長崎屋中央店☎0143-22-9280、ミュージックショップ国劇長崎屋中島店☎0143-43-3836　◆お問い合わせ/掣圏道協会本部☎0166-27-5788

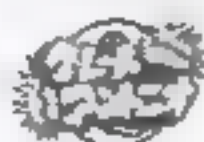
K-1

K-1 WORLD MAX 2002～世界王者対抗戦～
10月11日（金）　東京・有明コロシアム

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SRS席20,000円　RS席12,000円　S席8,000円　A席6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、キョードー東京
◆チケットに関するお問い合わせ/株式会社キョードー東京☎03-3498-9999
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩8分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車
◆お問い合わせ/株式会社K-1☎03-3796-2977

K-1 WORLD GP 2002 決勝戦
12月7日（土）　東京・東京ドーム

◆開場/14:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席35,000円　RS席21,000円　SS席17,000円　S席11,000円　A席7,000円　B席5,000円
◆チケット発売/10月19日（土
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、キョードー東京
◆チケットに関するお問い合わせ/株式会社キョードー東京☎03-3498-9999
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

K-1 WORLD GP 2002 決勝戦
SRS・DX先行予約
10月18日（金）　19:00～
CNプレイガイド　【特電】☎03-5802-9911

修斗

SHOOTO GIG WEST III
10月27日（日）　大阪・NGKホール

◆開場/14 00　試合開始/15 00
◆入場料/S席4,000円　A席3,000円
◆チケット発売 発売中
◆チケット発売所 チケットぴあ☎06-6363-9999、シューティングジム大阪☎06-6390-5010、シューティングジム神戸☎078-332 6615、リング魂☎078-333-6690、KEEL CAFE☎03-5725-7338、e-ticket（http://www.e-ticket.net
◆会場アクセス/JR・地下鉄・南海難波駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

プロフェッショナル修斗公式戦
11月15日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場 17 30
◆試合開始/18 30
◆入場料/RS席10 000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ，ローソンチケット．CNプレイガイド、KEEL CAFE☎03-5725-7338、フィットネスショップ水道橋、後楽園ホール、書泉ブックマート　大盛堂書店☎03-5784-4900、e-ticket
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分　地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

後楽園でルミナが復活!!

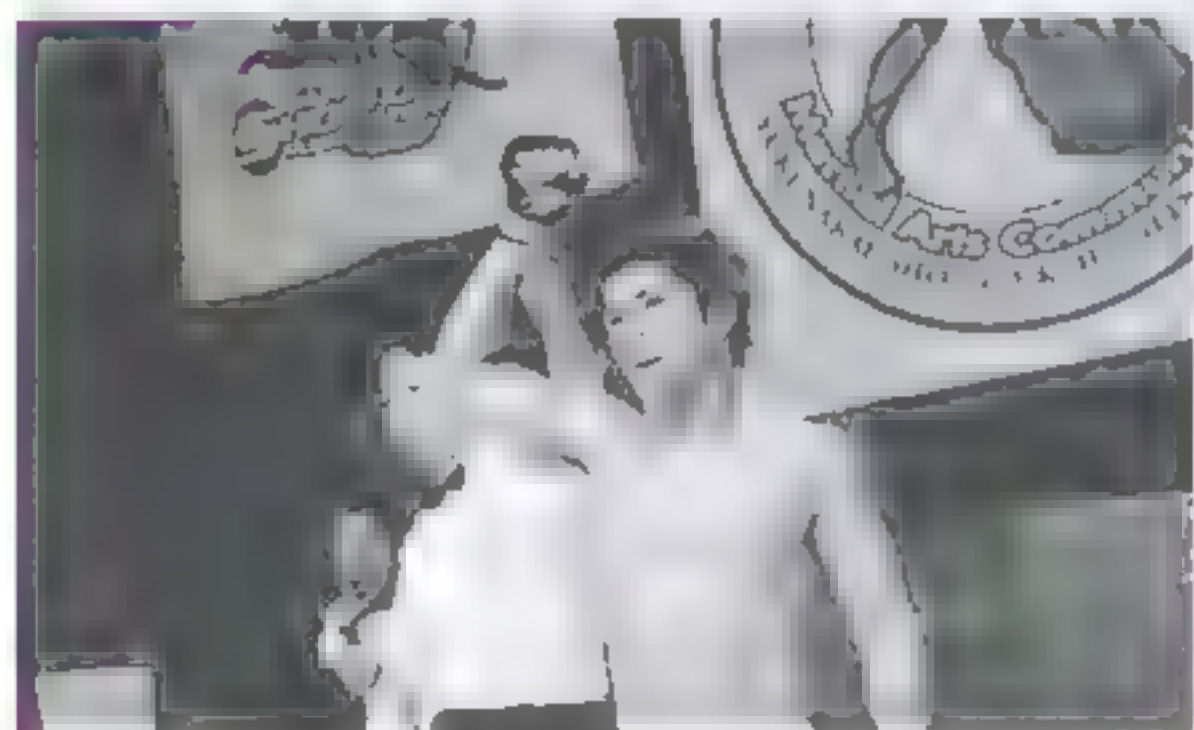
いよいよ佐藤ルミナが後楽園ホールで復活戦を行う！　6・29大阪大会の対ハビエル・バスケス戦で判定負けを喫してから4ヵ月半。いったいどんなルミナを見ることができるのだろうか。対戦相手は、このところメキメキと実力を付けているタクミ　両者の攻防に注目だ。なるか！　カリスマの復活！

佐藤ルミナVSタクミ

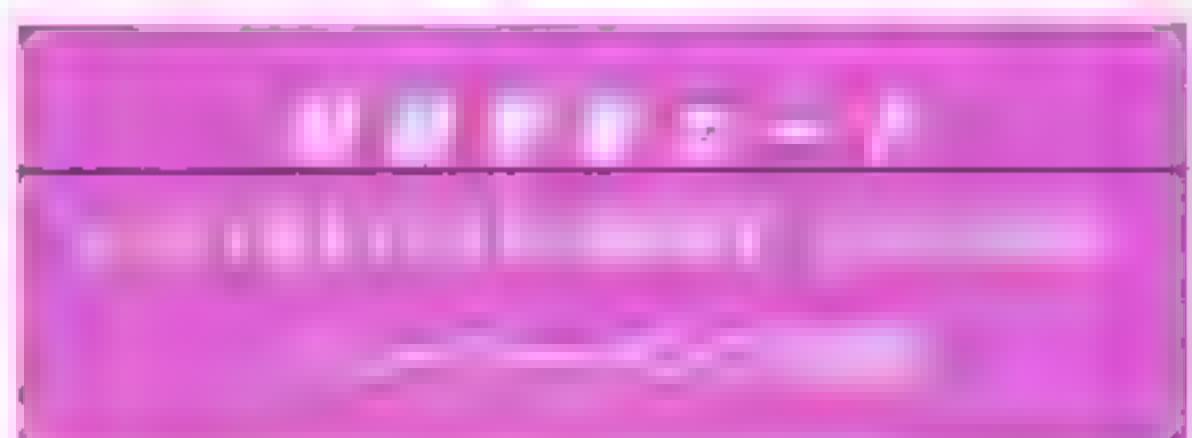
プロフェッショナル修斗公式戦
12月14日（土）　千葉・東京ベイNKホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅よりディズニーリゾートラインに乗車、ベイサイドステーション下車、徒歩1分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

〈9.25修斗・下北沢大会〉
松根良太、村田一着に完勝！
トーナメントに弾みをつける

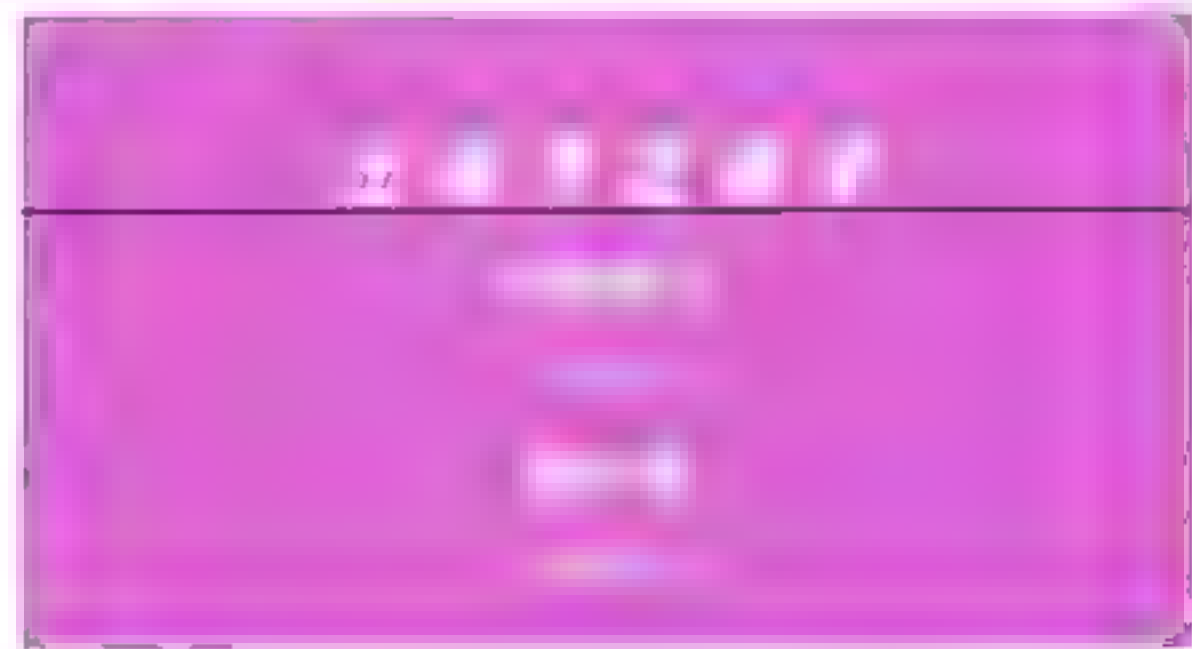
9月25日に北沢タウンホールで開催された「SHOOTO GIG EAST 11」。メインでは、フェザー級のホープ松根良太（パレストラ松戸）と村田一着（NEW GROUND）が対戦。1Rからパスガードに成功した松根は、その後も押せ押せの展開。スープレックスで投げ、スリーパーを極めかけ、試合終了間際には村田の腹に思いっ切りストンピングを叩き込んだりと、豪快な暴れっぷりを見せて判定3-0の圧勝。好調ぶりを見せつけるとともに、今後の一大目標となるフェザー級サバイバー・トーナメントに向け、弾みをつけた。

DEEP2001

DEEP2001 7th IMPACT
12月8日（日）　東京・ディファ有明

◆開場 14 30　試合開始/17 00(フューチャーキングトーナメント15 00開始）　◆入場料/VIP席15 000円　SRS席9,000円　アリーナA席7,000円　アリーナB席5,000円　※当日券は500円増し　◆一般チケット発売/10月12日（土）　◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケットeプラス、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール　フィットネスショップ水道橋、ビデオショップチャンピオン　プロレスマニア館☎03 5276-0304、ファイター☎03-3354-1903、チケット&トラベルT-1☎03 5275-2778、ナポマート☎03-3515-6507　TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03 3881-7770、格闘技プロショップ東京イサミ☎03-3352-4083　ハンクラス☎03-5792-0815、DEEP2001事務局　◆会場アクセス 新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

Club DEEP 2nd in OZON
11月10日（日）　愛知・club ozon

◆開場 13:00　試合開始/14 00　◆入場料/オールスタンディング3 500円　※当日券は500円増し　◆チケット発売 発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎052-320 9999または☎052-339-0303、IVY BOOKS名古屋本店☎052 459-7122、公武堂☎052-241-2511、サークルK、ローソン、ファミリーマート
◆会場アクセス/地下鉄桜通線久屋大通駅下車・徒歩5分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

キックボクシング

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
10月29日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/指定席5,000円 立見席3,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、ゴールドジムノース東京☎03-3917-9434、ゴールドジムサウス東京☎03-5460-3535、ゴールドジム行徳千葉☎047-390-3434、パンクラス、パンクラスオフィシャルサイト ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
11月30日（土） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:00 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席16,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,500円 2F-A席10,000円 2F-B席6,000円 2F-C席4,000円 3F席4,500円 ※当日券は500円増し ◆一般チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード594-040）、ローソンチケット（Lコード38501）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、ゴールドジムノース東京☎03-3917-9434、ゴールドジムサウス東京☎03-5460-3535、ゴールドジム行徳千葉☎047-390-3434、パンクラス☎03-5792-0815 ◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
12月21日（土） 東京・ディファ有明

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席10,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,000円 ◆先行チケット発売/10月29日（火）後楽園ホール大会会場内ロビー ◆一般チケット発売/11月10日（日） ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:39733）CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラス☎03-5792-0815 ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

大人気のGRABAKA Tシャツに長袖が新登場!!
■商品名/GRABAKAロングスリーブTシャツ
■価 格/¥4,725（消費税込み）
■カラー/ホワイト
■サイズ/S・M・L・XL

以前人気の高かったプリントを復刻!!
■商品名/GIRL's Tシャツ
■価 格/¥3,150（消費税込み）
■カラー/ブラック×ピンク
■サイズ/Kid's Lサイズのみ（1サイズ）

総合格闘技団体 真戦組

REAL ver.1
11月24日（日） 東京・Z-ZONE NAGAYAMA

◆開場/18:00 試合開始/19:00 ◆詳細未定 ◆会場アクセス/京王、小田急線永山駅より徒歩5分 ◆お問い合わせ/真戦組 田中☎070-5540-3178

ZST

THE BATTLE FIELD「ZST」旗揚げ大会
11月23日（土・祝） 東京・ディファ有明

◆開場/16:00 試合開始/17:00 ◆入場料/VIP12,000円 SRS8,000円 S席6,000円 A席4,000円 自由席3,000円 ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード505-483）、ローソンチケット（Lコード38880）、後楽園ホール、書泉ブックマート、ビデオショップチャンピオン ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分 ◆お問い合わせ/「ZST」事務局☎03-5321-9595

全日本キックボクシング連盟

Brandnew Fight
10月17日（木） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:30(17:30よりフレッシュマンファイトあり) ◆入場料/RS席5,000円 S席3,000円 ※当日券は1,000円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、Bout Review (http://boutreview.com)、全日本キック電話予約、全日本キック公認サイト（http://www.aj-kick.com） ◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

佐藤嘉洋と清水貴彦がK-1ルール?で対決

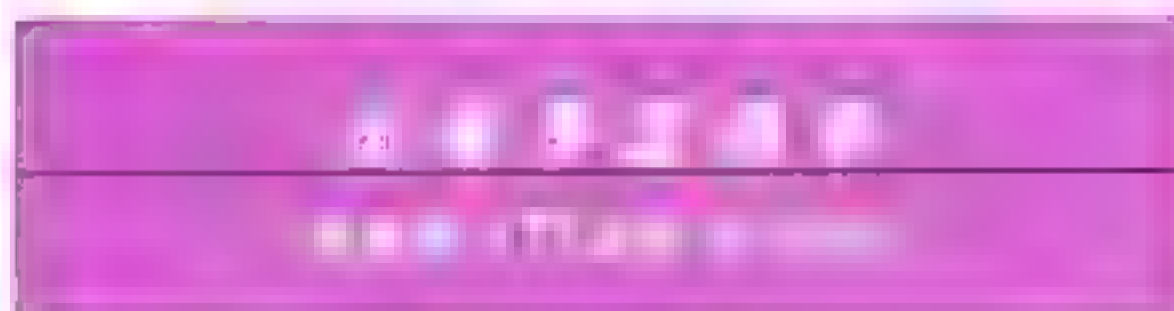
10・11「K-1 WORLD MAX」の翌週に開催される全日本キック後楽園大会で、全日本キックの中量級エース同士である佐藤嘉洋（名古屋JKF）と清水貴彦（超越塾）の一戦がなんとヒジ打ちなしの特別ルールで行われる！ これはイコールK-1ルールと言ってもよく、2人にとっては出場できなかった「K-1 WORLD MAX」へのリベンジ戦となるのだ！ 「この2人がなんでK-1に出れなかったの？」とファンに思わせることができるのか？ 結果以上に内容が問われる一戦だ！

佐藤嘉洋VS清水貴彦

IKUSA事務局

IKUSA その弐「雷襲」

10月27日（日） 東京・Club WOMB

◆試合開始 15:00
◆入場料/SRS席 35,000円 V4席 30,000円 V3席 15,000円 スタンディング席 7,000円
◆チケット発売 発売中
◆会場アクセス/渋谷駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/IKUSA事務局・アクアプラネット☎03-5213-7331

ターゲット

FIGHTING SPIRIT ～証～

11月24日（日） ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00 試合開始/16:30（予定
◆入場料/RS席 6,000円 自由席 3,000円 ※当日券はRS席 8,000円 自由席 4,000円
◆チケット発売 発売中
◆チケット発売所/チケ トぴあ、ゴールドジムサウス東京 ANNEX
◆会場アクセス/JR大森駅西口徒歩1分
◆お問い合わせ/ターゲットオフィス☎03-5718-3939

J-NETWORK

J-BLOODS Ⅳ

10月25日（金） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始 18:00
◆入場料/RS席 10,000円 S席 7,000円 A席 5,000円 B席 3,000円 立見（当日のみ）3,500円 ※当日券は 1,000円増し
◆チケット発売 発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分 地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J NETWORK☎03-3419-0536

新日本キックボクシング協会

ROAD TO MUAY-THAI 2002

10月20日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場 17:00 試合開始/17:15
◆入場料/SRS席 20,000円 RS席 15,000円 A席 7,000円 B席 4,000円 立見 4,000円
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3780-1338

Ticket Present！

10月20日（日）後楽園ホールで行われる新日本キックボクシング協会「ROAD TO MUAY-THAI 2002」の観戦チケットを、『SRS・DX』読者5組10名様に先着順（2組目までは大会ポスター付き）でプレゼント！ 希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記のうえ、下記のあて先までご応募ください。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8階 SRS・DX編集部『10・20新日本キックボクシングチケットプレゼント』係

ニュージャパンキックボクシング連盟

DREAM RUSH 8

11月3日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場 16:45 試合開始/17:00
◆入場料/SRS席 12,000円 RS席 10,000円 特別指定席 7,000円 指定A席 5,0000円 指定B席 4,000円 指定C席 3,000円 当日立見 3,000円
◆チケット発売 発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット ニュージャパンキックボクシング連盟事務局
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分 地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟事務局☎03-5625-2371

日本キックボクシング連盟

2002 闘魂シリーズ NKB統一ランキング戦

10月26日（土） 東京・後楽園ホール

◆開場 17:00 試合開始/17:30
◆入場料 RS席 10,000円 A席 5,000円 B席 3,000円
◆チケ ト発 発売中
◆チケート発売所 チケ トぴあ
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分◆お問い合わせ 日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

アマチュア

パンクラス

第3回西日本アマチュアパンクラスオープン大会

10月20日（日）　大阪・P'sLAB大阪

◆詳細未定
◆入場料/無料
◆お問い合わせ/P'sLAB東京☎03-5792-7079

精龍会中國拳法道場

実践中国拳法&異種格闘技オープントーナメント 第12回闘龍比賽

12月1日（日）　栃木県立北体育館

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR宇都宮線西那須野駅または野崎駅下車、タクシー15分
◆お問い合わせ/精龍会中國拳法道場統括事務局☎0287-29-2063

合気道S.A.

第2回合気道杯争奪 実戦・リアル合気道選手権大会6

10月12日（土）東京・都立多摩スポーツセンター会館 柔道場

◆開場/12:30　試合開始/13:00
◆入場料/3,000円　※当日は基本的に入場不可
◆チケット発売/終了
◆会場アクセス/JR青梅線東中神駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/合気道S.A☎042-651-8418

その他

リアルディール

格闘イベント　リアルディール

12月15日（日）　福岡市民会館

◆開場/15:00　試合開始/16:00(15:00よりアマクラスの試合あり)
◆入場料/SRS席10,000円　S席7,000円　指定A席5,000円　自由席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、リアルディールジム
◆会場アクセス/市営地下鉄線天神駅、西鉄大牟田線福岡（天神）駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/リアルディールジム☎092-845-7027

極真会館

第34回オープントーナメント 全日本空手道選手権大会

11月2日（土）、11月3日（日）　東京体育館

◆開場/10:00　1日目11:00/開会式　2日目11:30/開会式
◆入場料/SS席35,000円（アリーナ2日間通し券、指定席、パンフレット、大会記念品付※前売り券のみ）　S席8,000円　A席5,000円　B席4,000円　※当日券は1,000円増し
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/極真会館☎03-5992-9200、極真会館テレホンサービス☎03-5992-7739、チケットぴあ（Pコード:505-388）、ローソンチケット（Lコード:38120）チケットぴあ
◆お問い合わせ/極真会館☎03-5992-9200

正道会館

第15回オープントーナメント 西日本新人戦空手道選手権大会

10月14日（月・祝）　大阪府立体育会館 柔道場

◆開場/9:00　予選開始/10:00　開会式/13:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

第4回オープントーナメント 2002年中部新人戦空手道選手権大会

11月4日（月・祝）　愛知県武道場

◆開場/9:15　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄名城線東海通駅より徒歩20分
◆お問い合わせ/正道会中部本部☎052-221-9555

第10回フルコンタクトオープントーナメント 全九州空手道選手権大会 WHO IS NO.1 AT KYUSYU?

11月17日（日）　宮崎市総合体育館

◆開場/11:00　開会式/13:00
◆入場料/大人2,500円　小人1,000円（中学生以下）※当日は500円増し
◆会場アクセス/JR宮崎駅東口より徒歩2分
◆お問い合わせ/正道会館宮崎支部☎0985-25-9670

第14回オープントーナメント 2002東日本新人戦空手道選手権大会

11月24日（日）　戸田市スポーツセンター

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

大道塾

北斗旗空道無差別選手権 第28回西日本大会

10月13日（日）　岸和田市総合体育館武道場

◆開場/9:00　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/南海本線春木駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/大道塾岸和田支部☎0724-43-8146

北斗旗空道無差別選手権 第34回関東大会

10月14日（月・祝）　中央区立総合スポーツセンター第1武道場

◆開場/9:30　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄都営新宿線浜町駅下車徒歩2分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

KOBE'S CUP 2002

12月15日（日）　兵庫県立総合体育館

◆開場/9:00　開会式/10:00　試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/阪神電鉄甲子園駅より、阪神バス鳴尾浜行きに乗り、県立総合体育館下車
◆お問い合わせ/中村道場☎078-531-0664

キックボクシング

シュートボクシング協会

The age of "S" Vol.4

11月4日（月・祝）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00（予定）
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/10月13日（日）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、ワールドスポーツプラザKINGS☎03-3462-1001、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

空手

北斗旗空道無差別選手権 第1回北信越大会

10月20日（日）　鳥屋野総合体育館武道場

◆開場/9:40　試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/万代シティーバスセンターより鳥屋野体育館前下車
◆お問い合わせ/大道塾新潟支部☎025-241-5020

北斗旗空道無差別選手権

11月17日（日）　国立競技場代々木第2体育館

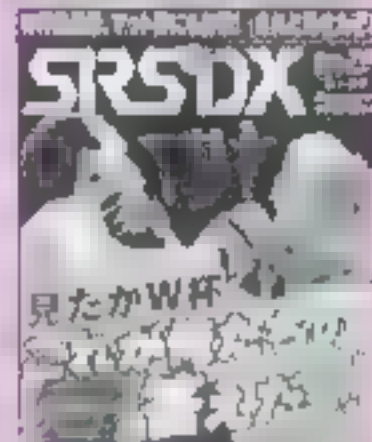
◆開場/9:30　開会式/10:00　試合開始/10:30
◆入場料/SS席5,000円　S席4,000円　A席3,500円　（中・高生1,500円）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/10月17日（木）
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、営団地下鉄表参道駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

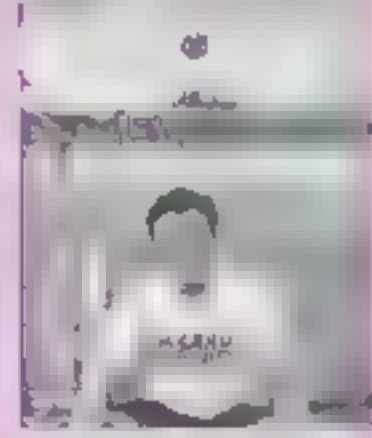
チケットぴあ
☎03-5237-9999
ローソンチケット
☎03-3569-9900
CNプレイガイド
☎03-5802-9999
オデッセー
☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター
☎03-3406-1513
レッスル渋谷店
☎03-3464-0078
レッスル池袋店
☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン
☎03-3962-6443
チャンピオン
☎03-3221-6237
書泉ブックマート
☎03-3294-0011
フィットネスショップ水道橋
☎03-3265-4646
後楽園ホール
☎03-5800-9999
e+（イープラス）
http eee ep us co ,p
☎03-5749-9911

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

（7・11 臨時増刊号 72号）

●大会速報/6・2「K-1 SURVIVAL 2002」富山大会
●6・23「PRIDE.21」直前情報 桜庭和志インタビュー、大山峻護インタビュー
●大会詳報/5・25「K-1 WORLD GP 2002 inパリ」
●SRS・DXの注目/6・8〜9極真全日本ウェイト制選手権大会プレビュー、6・17 JDO東京進出、野季 大道塾塾長インタビュー、7・7 S-cup直前情報 緒形健一の総合特訓に密着
●大会レポート/5・26新日本キック後楽園大会、5・28パン[illegible]後楽園大会、6・1スマックガール、5・31〜6・2全日本ブラジリアン柔術選手権、5 [illegible] 全日本キック後楽園大会

（7・11 73号）

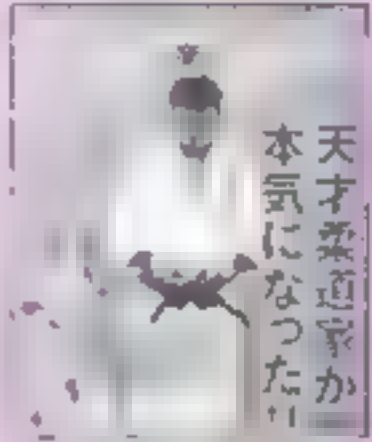
●完全速報 6・23「PRIDE.21」さいたまスーパーアリーナ大会
●SRS・DXの注目/須藤元気インタビュー、BCGがパワーアップ！、シーザー武志インタビュー
●大会詳報/6・8〜9極真全日本ウェイト制大会、6・9 DEEP2001ディファ有明大会
●大会レポート/6・13〜14全日本選抜レスリング選手権大会、6・17 JDO第1回東京大会、6・16全日本キック後楽園大会、6・16 IKUSA&6・9 ANGEL TORNADO

（7・25 74号）

●夏のイベント情報/8・28「Dynamite!」〜桜庭和志vsターザン山本対談、吉田秀彦直撃聞き、石井和義インタビュー/8・8UFO東京ドーム大会、G1予想
●SRS・DXの注目/マット・ヒューム&シュルトセミナーinBCGほか
●6・23「プライド21」振り返り企画/田村潔司インタビュー、ターザン山本vsロシアン・トップ・チーム対談、ダニエル・グレイシーインタビュー
●7・14 K-1福岡大会直前情報/アイブル、セフォーインタビュー
●大会詳報/6・29修斗大阪大会、7・7S-cup横浜大会
●大会レポート/6・23 UFC37.5、7・7 ZERO-ONE両国大会 ほか

（8・8 75号）

●夏のイベント最新情報/8・28「Dynamite!」国立競技場大会 吉田秀彦インタビュー、ホイスインタビュー、"伝説の他流試合"木村政彦vsエリオ・グレイシーを検証 8・8UFO「LEGEND」東京ドーム大会情報
●[illegible]報/7・14「K-1 WORLD GP 2002 in福岡」、8・17「K-1 WORLD GP 2002 inラスベガス」対戦カード情報
●SRS・DXの注目/8・10「一撃」特集・フィリォインタビュー、ロイトの師匠トム・ハーリックインタビュー/9・7「DEEP2001」有明コロシアム大会最新情報
●大会詳報/7・13 UFC38ロンドン大会、7・19大道塾「THE WARS 6」後楽園大会、7・21全日本キック後楽園大会
●大会レポート/7・6 WFAラスベガス大会、7・12 J-NET後楽園大会、7・14ニュージャパンキック後楽園大会、7・19修斗後楽園大会、7・20 THE BESTディファ有明大会

（8・22 76号）

●夏のイベント最新情報/真夏のプロ格興行戦争を説くためのキーワードとは？ 8・28「Dynamite!」国立競技場編/8・8 UFO「LEGEND」東京ドーム編/8月、プロレス界編、小林まことvs吉田秀彦、桜庭のハイキック特訓を潜入取材、プロレス者の夏休みの課題＝I編集長&ターザン山本を読もう！
●SRS・DXの注目！/9・7 DEEP有明大会最新情報 田村潔司、美濃輪育久インタビュー、真夏の特典ニュース/8・25 SB大阪大会情報 美圭vs小松尾義夫対談/小林聡インタビュー
●特集 9・22 K-1ジャパンGP決勝戦 武蔵、中迫強、富平辰文、天田ヒロミインタビュー
●大会レポート/7・28パンクラス、7・27新日本キック

（9・12&9・26 合併号 77号）

●いざ、国立10万人の祭典 8・28「Dynamite！」最終情報/桜庭和志インタビュー/決戦直前！ 吉田秀彦vsホイス・グレイシー、ホイス来日会見、吉田秀彦、準備OK！/ボブ・サップインタビュー/ドン・フライ インタビュー
●大会詳報/8・8 UFO「LEGEND」東京ドーム大会&8・10「一撃」NK大会
●特集/9・22 K-1ジャパンGP決勝戦（後編）野地竜太、ノブ・ハヤシ、大石亨
●最新情報 8・25パンクラス、9・7 DEEP有明大会、9・16修斗横浜文体大会
●大会速報/8・17 K-1ワールドGPラスベガス大会
●SRS・DXの注目！/ターザンが斬る、今年のG1とは？

（10・10 臨時増刊号 78号）

●完全速報/8・28「Dynamite!」国立大会 吉田秀彦vsホイス・グレイシー、桜庭和志vsミルコ・クロコップ、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvsボブ・サップほか
●[illegible] 8・25 [illegible]
●[illegible] 7 DEEP有[illegible]
●魂の三氣記事/9・22 K-1 JAPAN GP、10・5 K-1 WORLD GP開幕戦、10・11 K-1中量級大会、9・29 PRIDE決定カード
●SRS・DXの注目！/スペシャル対談★シーザー武志×平直行
●スペシャルインタビュー/ビル・ゴールドバーグ

（10・10 79号）

●完全速報/9・22 K-1 ANDY SPIRITS JAPAN GP決勝戦 大阪城ホール大会 K-1の優勝者、サップ大暴れ、JAPAN GP決勝戦は武蔵がジャパン王座奪回！
●特集/Dramatic! 吉田秀彦 インタビュー&証言/SRS・DXスカウト隊 第2の吉田秀彦を探せ！ 柔道界★井上康生インタビュー、相撲界★旭鷲山インタビュー、レスリング界★小林孝至インタビュー
●直前情報/10・5 K-1 WORLD GP開幕戦、10・11 K-1 WORLD MAX有明大会、9・29 PRIDE 22名古屋大会 全対戦カード&見どころ
●大会詳報/9・7 DEEP有明大会、9・16 修斗 横浜文体大会

バックナンバー通信販売方法

定価 各680円 送料 1冊 110円、以下一冊増えるごとに50円増し [illegible]・680円と明記のうえ、現金書留にて下記までお送りください
住所、氏名、希望の[illegible]数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F SRS・DX「バックナンバー係」まで お問い合わせは ☎03-3295-4445

NEXT ISSUE

次号予告

2002 11/14号 No.81

10/24（木）発売！

どうなるマット界！ 格闘プロデューサー石井館長がプロレスにも着手!?

完全詳報

10・11 K-1 WORLD MAX 有明大会

最新情報！ どうなる、11・24ドーム大会！ 徹底リサーチ！

髙田延彦、ラストマッチの相手は!?
吉田秀彦、ハイアンと対決か!?
桜庭和志はケガから復帰できるのか!?
王者シウバ、ノゲイラの相手は!?

SRS・DX

毎月第2・第4木曜日発売 定価680円（税込） 発行・発売／（株）扶桑社 編集／（株）ローデス

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

博士似の小原完敗にショック!

9・29「プライド22」総括

博士 さぁ9・29をウゥ〜総括ッ!

玉袋 凄い盛り上がりでした、東京ドームホテルの永田裕志の結婚式! 興行戦争ですよ。

博士 あっちは、興行じゃないよ。今回は「プライド22」の名古屋大会だよ!

玉袋 やはり注目は小池栄子VS坂田亘のオチンコマッチですよ!

博士 ガチンコとオチンコなんていきなり下品すぎるだろー

玉袋 しかし、まだまだ前田日明イズムは健在! 巨乳を仕留めました!

博士 性癖が前田イズムじゃ寂しいだろ!

玉袋 しかもこの件で、野田社長が坂田を鉄拳制裁する裏ビデオが存在するらしいですよ!

博士 それは野田社長じゃなくて前田の鉄拳制裁裏ビデオだろ!

玉袋 しかし坂田は大金星ですよ!!

博士 最近昇り調子だから、このまま試合でも金星上げる可能性あるぞ!

玉袋 でも、このフライデーを見たノゲイラが激怒!

博士 たしかに小池はノゲラー宣言していたからな。

玉袋 これでノゲイラと坂田の小池獲得マッチが決定!

博士 やらないよ! とにかく久しぶりに誕生したビッグカップルだから、応援しよう。

玉袋 そうですね。維新力とジュリアナ詩子以来ですよ。

博士 なんだそりゃ! 早く「プライド22」を振り返れよ!

玉袋 まさか第1試合から博士が試合するとはウゥ〜ダイナマイッ!

博士 俺じゃないよ! でも、小原道由選手は本当に俺に顔が似ていた。

玉袋 会場から「水道橋! しっかりやれ!」って声援が上がってましたよ!

博士 俺のほうはたまったもんじゃないよ!

玉袋 リングサイドの中山先生とかリサ・ステッグマイヤーさんが博士を指差して、ゲラゲラ笑ってましたもん。

博士 それで小原がいい試合してればいいんだけど、会場中からの大ブーイング! なんか俺、自分が叱られてるんじゃないかと、居場所なかったよ!

玉袋 小原も直伝のロープエスケープで脱出すればよかったんですよ!

博士 さすがにできないよ! でも、後がない小原選手に乗っかっていたからショックだったな。

玉袋 アニマル浜口ジム出身で後輩の坂田の金星と大違いだ。

博士 比べてやるなよ!

玉袋 負けたことより、小原選手が326Tシャツで入場したのも驚きました!

博士 326じゃなく、1か8でいいのにな。

玉袋 新日本プロレス時代は後輩を相当可愛がってた小原選手だったんだから、ランデルマンの身体に「後輩」って書いておけば、道場で後輩可愛がるように強かったんですよ!

博士 「プライド」は、そんな格なんて存在しない実力勝負の舞台なんだから、そんなことしても勝てるわけないだろ!

玉袋 小原がアニマル浜口さん譲りの「気合いだ〜」ポーズして盛り上がると思ったら、会場からも「お前が気合い入れろ!」って冷静に突っ込まれていたのが悲しかった!

博士 負け犬の烙印を押された小原にはもはや後はないー

玉袋 東京都の施設で処分されるそうです。

博士 されないよ!

玉袋 韓国に持っていってポシンタンになるって話もありますよ。

博士 なんで犬鍋になってるんだよ!

玉袋 もう今後は負け犬として、土佐犬や秋田犬などと闘う異種格闘技戦しかないー

博士 本当の犬と闘ってどうするんだ! 同じ犬でも吠えまくっていたランペイジ・ジャクソンはイゴール・ボブチャンチンを投げるは、殴るは、と狂犬ぶりを発揮!

玉袋 これは本物の犬ですよ!

博士 ちょっとやばいのが混ざっている雑種だな。

玉袋 しかも狂犬でありながらバター犬の性質もありますから、危険ですよー

博士 この犬こそ誰かテクニックで処分してくれ! そして我々注目のマリオ・スペーヒーVSアンドレイ・コピィロフはドクターストップ。

玉袋 このケガでコピィロフは「労災は下りるのか?」と現場監督に詰め寄ってうるさかったですよ!

博士 工事現場でケガした土方じゃないんだよー コピィロフの持ち時間の3分を過ぎて、クシャクシャにされて風体は「オヤジ狩り」だった。

玉袋 これは裏話なんですけど、俺は各選手の入場曲リストっての入手したんだけど、普通選手は自分のテンション上げる曲なんかにしますよね。

博士 それで会場も盛り上がるんだからな。

玉袋 各選手の「CD有り」とかそのリストに書いてあるんだけど、コピィロフの欄だけ「CDなし、なんでも可」って。

博士 本当に野面の魅力満々だな!

玉袋 曲なんて関係ないんだから、たぶん「星条旗よ永遠なれ」勝手に流しても、コピィロフには音楽なんて関係ないから、何食わぬ顔で入場してきたんですよ!

博士 う〜ん実にコクのあるコピィロフらしいエピソードだ! メインイベントの風貌は特攻隊顔ナンバー1の大山選手はハイアンに一本負け!

玉袋 タップはしなかったけど、「靖国で会おう!」と最後に叫んでいた。

博士 言ってないよ。

玉袋 大山死すとも柔道死せず! という辞世の句を残し日本男児として自決しました。

博士 勝手に殺すな! ここ最近落ち込んでいたハイアンはこれで一気に吉田の対戦相手に浮上した!

玉袋 吉田選手にはちょっとイージーな気がしますけどね。

博士 吉田選手の次の東京ドームの対戦相手も気になるところだ。

玉袋 東京ドーム側が暴力団との「縁切りマッチ」を吉田選手に打診したとの噂もあります!

博士 あるわけねーだろ! 気になる吉田の次戦、そこに髙田延彦が引退表明。

玉袋 親友の相撲取り寺尾関との一番を最後に体力の限界を感じて引退です。

博士 寺尾に負けて引退表明したのは二子山部屋の貴闘力だよ! 気になる対戦相手だけどいったい誰になるんだろうか?

玉袋 やっぱり髙田選手には「もう一丁」のリベンジしかないですよ!

博士 と、なるとヒクソンか?

玉袋 いいえ、昔銀座のクラブで髙田選手と一触即発になった巨人のピッチャーだった斉藤です。

博士 そんなド素人相手とやる必要ないだろ!

玉袋 髙田は最終戦でたとえサヨナラ負けしても、みんなで胴上げですよ!

博士 甲子園でマヌケな胴上げした巨人の原監督じゃないんだよ!

玉袋 なら対戦相手はIWGPジュニアの名勝負、越中詩郎でどうですか!

博士 それも見たいような気がするけど、今更ってカードだよ。

玉袋 だったら「髙田さん、僕と真剣勝負してください」宣言した田村選手はどうですか?

博士 それはそれで見たいけど、なんか実現しそうもないだろ! 吉田選手があるんじゃないか?

玉袋 それも凄い盛り上がること間違いなしですよ!

博士 それも盛り上がれば格闘技プロレス界も凄い渦で大きくうねる!

玉袋 K−1ワールドGPも開幕だし新生全日本プロレスも大爆発!

博士 いよいよ、俺たち大ファンとしては黄金期到来だよ!

玉袋 日本でこんな渦が起きれば世界に波及するのは間違いなし! いつか本当にタイソンがやってきたりしますよ!

博士 もう一度カレリンもやってくるだろうし、アマチュアの世界からも自ら輝こうと強豪ビッグネームが参戦してくるはずだ!

玉袋 こんな活気が出てきたのも、全て髙田延彦が「プライド」に飛び込んだからー

博士 とにかく次の「プライド」が髙田最後の試合だ!

玉袋 髙田延彦なくして「プライド」なし!

博士 髙田の最後の勇姿に涙しろ! ■

PRIDE.22名古屋大会で大発見だあぁぁぁ！

格闘技は果たしてエンターテインメントになるのか、それが問題だ！

この日は日曜日とあって、東京から来たファンも多かった

これが名古屋総合体育館レインボーホールだ

「Dynamite!」を受けた形で行われた「プライド22」の名古屋大会は、9月29日、名古屋総合体育館レインボーホールで行われた。そこで分かったことは「格闘技は果たしてエンターテインメントになれるのか?」という新たなテーマだ。今回はこの問題を徹底的に検証していきたい。

撮影◎中島ミノル（望遠）

私は見た。ああ『プライド』黄信号、非常ベルだ！

ターザン山本

これが『プライド22』5つの問題提起

1. テーマなき興行は全てが散漫になる
2. 選手のモチベーションに問題あり
3. 日本人選手はなぜ勝てなかったのか？
4. ボブチャンチンの負けは世代交代か？
5. 技術よりもパワー優先の時代に突入

プライド22　名古屋大会は　Dynamite!と11月24日に行われる　プライド23　東京ドーム大会の間に挟まれた〝谷間〟の興行だった　たから　プライド　のトップファイターは、誰も出ていない

まるで2軍のメンバーによるサバイバルファイトといった感じ。そうでないと、ガイ・メッツアーや小路晃は、今のところ出番はない、彼らにとってこの大会は　プライド　のメインストリートに出れるかどうかの〝面接マッチ〟〝昇級試験〟みたいなものだった

その生き残りを賭けた闘いは、とんな結果をもたらしたのだろうか？　現場に足を運んだ以上、そこにいったい、何があったのかを探るのは我々の仕事である

要は何に気付いたかてある、「我思う、故に我在り」はテカルトの有名な言葉だが、私の場合は「我考える　故に我気付く」となる。

考えたら気付け、気付いたらまた考えろだ、この繰り返しが大事なのだ

表にもあるように　プライド22　で5つの問題提起をしたので、順番にそれについて解説していきたい

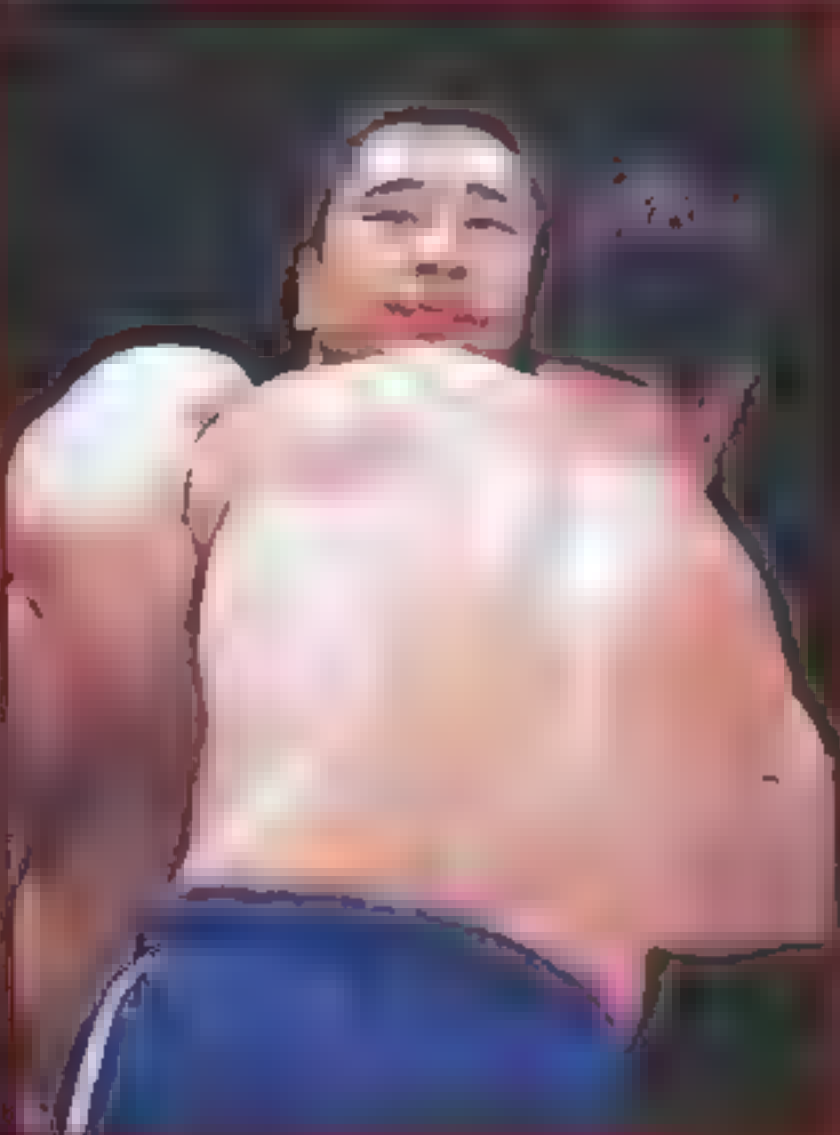
1 テーマなき興行は全てが散漫になる

興行にはテーマが必要、それを前面に打ち出さないと、マスコミは記事にしにくいし、ひいてはファンの食いつきもよくない結果になり、観客動員にもおのすと響いてくるということだ

今回の「プライド22」はなんのテーマもなかった　たらだら感丸出しの興行　あれではだめだ。せっかく5人の日本人選手が出ているのだから、日本人VS外国人選手の「5対5マッチ」でもよかったのではないか？　過去に何度もマット界ではやってきた企画だが、それしかテーマはなかったのだったらやるべきなのだ

そうすれば日本人選手の間でライバル心が出る。「あいつには絶対に負けられない」と思えば、そこにいい緊張感も生まれていた。山本、アレクなどは彼らなりにテンションを上げて、リングに上がったはすなのだが、それがもう一つ観客には伝わらなかった　失敗の第一の原因は、まさにそこにあった

2 選手のモチベーションに問題あり

これは①と符号している。じゃあ日本

人選手が自分にどんなテーマを課して試合をしたのか? 小原選手なら前回のヘンゾ戦の汚名返上にある。とにかくあの屈辱的な試合を拭い去りたい。それをテーマにしていたはずである

それがモチベーションになっていたが、またしても試合で結果を出せなかったアレクと小路はここで勝ってきっかけをつかみたい。それが2人のモチベーションになっていたことは明らか

それなのに日本人選手は全滅。1勝もできない状況。実力がなかったと言ってしまえば楽なのだが、それを言ったらおしまい。身もふたもない

モチベーションは外側から与えられるものと、自分でそれを見つけていくケースの二つある。ハイアンは吉田秀彦に負けたホイスの仇をとりたい、あの判定には納得できないので、ここは大山を破ってグレイシー一族の意地を示したい

そういう強いモチベーションをバネにして闘い、文字どおり大山に完勝した。その意味で今回の大会のMVPは、ハイアンをおいていない。試合に臨むテーマとモチベーションが、泥臭くて俗っぽいところが勝利の一因になった

問題はそういう分かりやすいモチベーションかない選手は、自分で試合にスイッチを入れるしかない。そのスイッチボタンがなかったのか、それともあっても押せなかったのかどちらかである

そこが一流選手になれるかどうかの分かれ目でもあるのだ。小原、山本、アレクにはどうもスイッチボタンがない

3 日本人選手はなぜ勝てなかったのか?

これは2の項でほとんど語ったも同然である。日本人は民族的にバーリ・トゥードに向いていない。DNA(遺伝子)的にも向いていない。あるいは体力的かつ体格的にも向いていない。つまり心身共に向いていないかも

みんな"向いていない"のひと言で片付けてもいいぐらいだ。パンチ(打撃)で相手の顔をぶん殴りにいく試合スタイル。それが最大の必勝法になっている試合は、どう見ても肉食動物が獲物を襲い、食い殺し食いちぎる行為と似ていて草食動物のイメージがある日本人には感覚的にあわない感じがするのだ

単純に"向いていない""あっていない"と考えたほうか納得できるのだ そう考えると寝技で顔面への打撃攻撃をルールで禁止したリングスは、日本人の感性にあった競技だったとも言える。前田日明の先見の明、偉大さがここにきて見直されることになるかもしれない

4 ボブチャンチンの負けは世代交代か?

『プライド』初期に活躍した選手の一人が、ボブチャンチンである。"北の最終兵器"という言い方をされ、あのロシアンフックは強烈だった

今回、久しぶりに『プライド』のマットに登場。しかも肉体改造までしてリフレッシュしていた。それがクイントン・ジャクソンの前にいいところなく敗れ去った。相手のパワーに圧倒され何も通用しなかったと言ってもいい

このボブチャンチンの敗北は、『プライド』に世代交代が起こっていることを示している。そうでなかったら闘い方に変化が生じ、ボブチャンチンの技術はもう古い兵器になってしまったのだ

もしかするとボブチャンチンは、もう『プライド』では永久に勝てない選手になっているかもしれない。そういうことを非情なぐらいにはっきりさせてしまうのが、バーリ・トゥートの世界だ

本当に非情である。同じく『プライド』前期に活躍した小路にもそれが言えるのだ 非情たかそれが"現実"でもあり、この現実たけが真実になりつつある『プライド』 すでに観客にも手に負えない存在になりつつあるのだ

5 技術よりもパワー優先の時代に突入

パワーという言い方は獰猛(どうもう)というイメージに近い。ハイアン、ジャクソン、ヒーリングの勝者たちに私はそれを感した 彼らの獰猛さか勝利を呼び込んだとしか思えないからだ。こうなると格闘技としての『プライド』が果たして、エンターテインメントになれるのかと思ってしまう

勝利至上主義か大前提になり、その方向にしか進化していかない格闘技とはなんなのかということである。そうしたもろもろの問題を『プライド22』は見せてくれた。プロレスも危機だが『プライド』にも非常ベルが鳴っている。■

甦ったグレイシー

「見たか、柔道野郎!! 柔術は柔道より上なんだよっ!!」

ハイアンが吼えた! 「逃げるなヨシダ、オレとやれ!」

兄ヘンゾの屈辱を晴らしたハイアンは大山を痛烈に罵倒。ハイアンの興奮の度合いは凄まじかった

▲外れて逆側に向いていた大山のヒジ関節を戻した吉田。試合後、吉田は「あの態度は許せない」と静かに怒りを口にした

「柔道より柔術が上だということが分かっただろ!」「5分以内にオオヤマを片付けてヨシダとやってやると言っておいたのに、ここにヨシダがいないということは逃げたのか?」「ヨシダとはPRIDEルールでもDynamite!ルールでもどちらでもいい。ただし、レフェリーはヨシダの味方はしちゃダメだ(笑)」

試合後のハイアンは、まさに言いたい放題。大山戦が完勝と言える内容だったのだから、調子に乗るのも仕方ない。試合前から「オオヤマはピエロだ。女みたいにチャラチャラしやがって。日本人なのに礼儀が分かっていない。オレがボコボコにしてから極めて、最後は女みたいに泣かせてやる」と悪態の限りをついていただけに、自分自身、プレッシャーもあったのだろう。その重圧から解き放たれたことで、必要以上に饒舌になったのかもしれない。

6・23『プライド21』で兄ヘンゾが大山に敗れ、続く8・28『Dynamite!』では一族の顔とも言えるホイスが、国立という大会場で、柔道家・吉田に不本意な負けを喫し、グレイシー一族は最大の危機に陥っていた。もし、万が一ここでハイアンが負けるようなことがあれば、長い年月をかけて築き上げてきたグレイシー柔術の名は地に墜ちてしまう、そんな崖っぷちの状態だったと言っても過言ではないだろう。一族の名誉をかけ絶対に負けるわけにはいかない、そういった意味での、ハイアンにかかるプレッシャーも半端ではなかったはずだ。

しかし、グレイシーは死ななか

「オオヤマを5分以内で片付けてヨシダと闘ってやる!」(ハイアンの試合前のコメント)

歯を食いしばり睨み付けるハイアン。目つきが尋常じゃない

▲地に堕ちかけたグレイシー復権に、並々ならぬ気合い

▲メインイベント　日本人4連敗重責にも平静を装う大山

大山にとっても今回は名誉挽回の大事な一戦。セコンドには吉田秀彦、横井宏考ら柔道仲間が就いた

挑発に乗って殴りにいった大山 冷静にタックルできたハイアン

開始早々、大山が打撃勝負にでると、ハイアンは裏をかいて高速タックル。意表を突かれた大山は、いとも簡単にテイクダウンされてしまう。ハイアンは兄ヘンゾとともに作戦を練り、しっかりと大山対策をしていた

った。それどころか、一族の問題児とも言われるハイアンの、これ以上ないほど圧倒的かつ鮮烈な勝利により、グレイシーは完全に甦ったのだ。これは、もう見事としか言いようがない。ハイアンの持つ、グレイシーのDNAの為せる業なのだろうか？　グレイシーのしぶとさ、グレイシーの力を改めて見せ付けられたような気がした。

大会前から悪態をつき、大山を挑発していたのも、全て作戦のうちだったのではないだろうか。大口を叩き、大山をその気にさせる作戦は見事なまでにうまくいった。

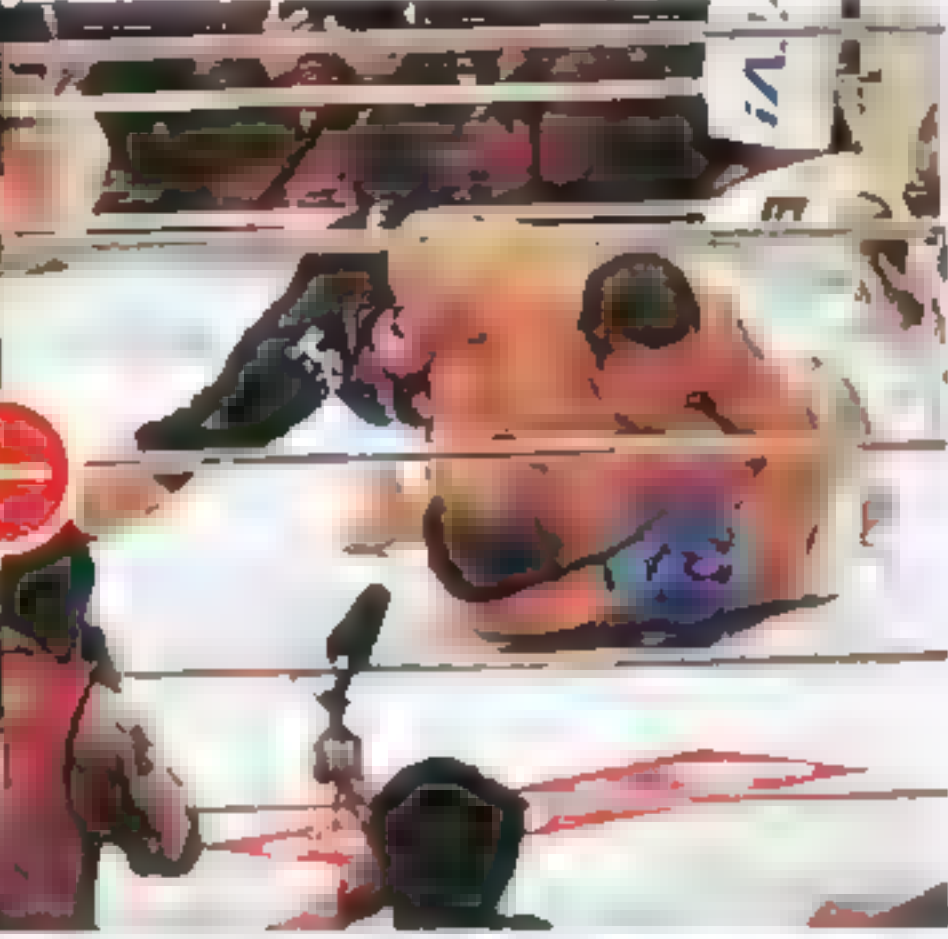
まんまとハイアンのワナにはまった大山は、ゴングが鳴るや猛然と殴りにいき、一方、ハイアンは、〝作戦どおり〟大山のパンチをかいくぐって素早い胴タックル。そのまま抱え上げてテイクダウンし、ガッチリとサイドポジションをキープ。ここでも、むやみに殴りにいったりせず、焦らずじっくりと攻める。熱くなってめったやたらに殴りつけるようなまねはしない。マウントをひっくり返され、上下ポジションが入れ替わっても決して動じることはない。それどころか、ここぞとばかり焦って殴ってきた大山の腕を「待ってました」とばかりにキャッチしたハイアンはすぐさま腕ひしぎ十字固めを仕掛けたのだ。

普通ならあの体勢で右腕を取られたら、十字を警戒しなければいけないなんてことは、大山も百も承知だったはず。それでもあえて殴りにいったのは、グレイシーの挑発に対する大山の〝怒り〟と、前回のヘンゾ戦とは違うアグレッシブな自分を見せたいという〝決

▼テイクダウンして大山のサイトについたハイアンは、冷静に着実にポジションをキープ　さらにマウントポジションに移行

▼マウントを取られた大山は、ブリッジで体勢を入れ替えて上になる　大山はここぞとばかり、思い切りパンチを落としていった

▼パンチの腕をキャッチしたハイアンはすぐさま十字を仕掛ける　この時点で極まっていた

▼レフェリーがストップすると、大山の顔を下から蹴り上げたハイアン　「そこまでやるか」と思わせる強烈な一撃だった

大山がタップしないため、ハイアンはさらに力を入れて極める。十字は完璧に極まり、大山のヒジは逆に曲がってしまっていた

ヒジの骨を折られてもタップしなかった大山。それが、せめてもの意地だった

意”の表れだったことは間違いない。しかし、攻めを意識するあまり、理性が失われていたのも確か。結果的にそれが大山の瞬間的な判断を鈍らせ、致命的なミスを冒させたのだろう。

たしかにハイアンの十字固めは巧かったし速かった。でも、あれは完全に大山のミス。冷静さを欠いていたことが唯一最大の原因と言っていいだろう。しかし、逆に言えば、全てはハイアンの、いやグレイシーの作戦どおりとも言えるのだから、やはり完敗だ。相手に攻撃させ、一瞬のスキを突いて極めるのは、グレイシーの真骨頂。そして、殴りたいという衝動を起こさせる心理を、予め大山に埋め込んでいたのだから、知能的とさえ言える。天晴れである。

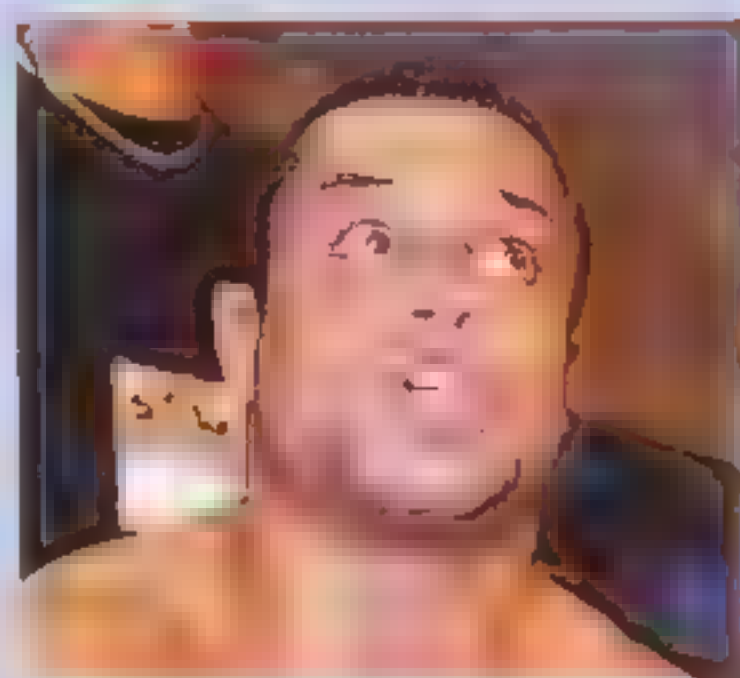
あの挑発の数々も、勝利の方程式の一部に過ぎなかったと考えたほうがいいだろう。見事なまでにグレイシーに踊らされていた大山ハイアンの言っていた「オオヤマはピエロだ」というのも、実はこういうことだったのだろうか!?

ハイアンは、大山のセコンドについた吉田に対しても試合前から挑発的な態度をとっていた。「ヨシダがあの試合でホイスに勝ったと思っているのなら、次はオレがやってやる」。そして、試合後には「ヨシダはオレとの勝負を逃げた」とまで言い放った。グレイシーの銃口が、ホイスを破り、グレイシーの名を貶めた吉田にロックオンされていることは間違いない。

当の吉田は、そんな挑発はまったく意に介さない様子だったが、共に練習する大山と小原が揃って敗れ、大山にいたっては骨折まで

ハイアンの勝因、それはグレイシー失墜の危機感 そして、大山の敗因は挑発に乗ってしまったことだ

▲ガックリとうなだれる大山。ヒジ骨折のため再び長期離脱か予想される大山だが、この屈辱は自ら晴らすしかない

▼立ち上がるや、横たわる大山に向い「テメエはやっぱり女だった」とツバを吐き、罵倒を浴びせるハイアン

ハイアンのコメント

「試合前にはお互いにいろいろと言い合ったけど、オレは選手だからリングの上でいい試合を見せる、それだけだ　オレは柔術の技で勝ちたいと思っていて、十字はもちろん狙っていた。試合前のインタビューで、5分以内にオオヤマに勝ったら、その後にヨシダと試合をしたいと言っておいたけど、ここにヨシダがいないということは逃げたのかな？　まあ、今日の試合で、柔術が柔道より上だということを見せつけることができたと思うよ」

どうする、吉田! 11・24で対決か!?

▲黒帯で腕を吊った大山はこの後、病院へ直行　大山を気遣いながら花道を引き揚げる吉田にとっても、弟分の敗北が悔しくないわけがない　「ヨシダ、次はオレとやれ」と名乗りを挙げたハイアンとの対決はあるのか!?

グレイシー復権!

▲柔道家・大山に完勝し、喜びを露わにするハイアン陣営。グレイシーはこの勝利で完全に甦ったと言っていいだろう

★第8試合（1R10分、2・3R5分）
○ハイアン・グレイシー（1R1分37秒、腕ひしぎ十字固め）大山峻護●
<ブラジル/ハイアン・グレイシー柔術アカデミー>　<日本/フリー>

負わされたというショックはかなりのようだった。

2人の試合を見た後に口にした「練習を変えないとダメだな」という言葉には、事態の深刻さとともに、吉田自身の〝本気のやる気〟が感じられた。

試合数日後、吉田と電話で話す機会があった。「高阪と、（柔道出身の選手を）みんな集めようって話しているんですよ」。胸の高鳴りを覚えずにはいられなかった。

高阪が以前言っていたことを思い出した。「吉田がプロに来たら、全てが大きく変わりますよ」。

たしかに『Dynamite!』の成功も吉田の存在なくしてはありえなかったわけだから、その片鱗はすでに表れていると言っていい。しかし、本当の意味で変わっていくのはこれからだ。遂に、いよいよ、柔道家・吉田が本気になってきた。果たしてどんなふうに変わっていくのか。吉田と高阪を中心に、柔道出身の総合格闘家が集結したら、近い将来、必ずや『プライド』のリングを、そして総合格闘技界を席巻するようなチームができるはずだ。そして、吉田の巻き起こすムーブメントは、日本の総合格闘技をも奮い立たせる起爆剤になっていくことだろう。

大山戦圧勝により、完全に息を吹き返したクレイシー。柔道との因縁は、今後どんな展開に発展していくのか？　大山のセコンドについた元リングスの横井宏考（近畿大柔道部出身）は試合後、「アイツの態度は許せない。ハイアンとやらせてください」と関係者に直訴したという。柔道家だって黙っちゃいない！　（林）

絶対に小路は強くなっている！

もう一丁!!

▲リングイン時、身体は締まり、顔もすっきりしていた小路に期待は高まったのだが、こんな結果になるとは

アメリカでジョシュやサップたちと練習し、強くなってきた小路。コンディションも万全だったはずなのにまさかの一本負け。試合の直後、自分の顔を殴る姿に悔しさがにじむ

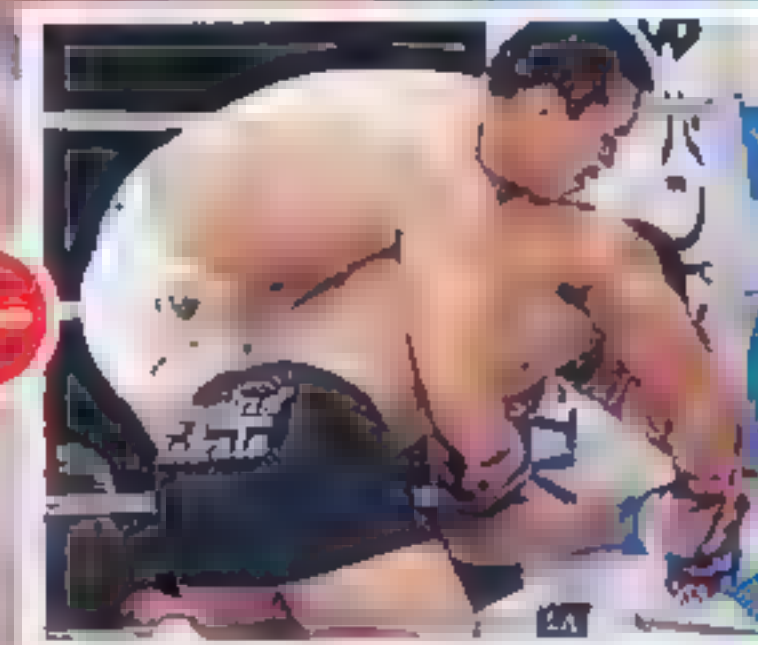
フィリォのコメント

「初めて柔術のテクニックを見せることができて嬉しい。とてもいい試合だったと思う。これからももっともっと試合をやっていきたい。小路はとてもタフだったし、尊敬してる。だから、ベストなコンディションで来たんだ。もっと長い試合になると思っていたが、勝つことには自信があった。ミノワもコンドウもタフな選手だった」

小路のコメント

「やってきたことの1％も出なかったですけど、力も僕のほうが上だったと思うし。ホント、調子が良すぎて油断しちゃったっていうのが正直なところです。この4ヵ月間ボブとかジョシュとかと練習してて、最初のほうは力負けしてたけど、最後のほうはちょっと押されるくらいになってたんで、自分としては自信満々だったんで、今回の負けは油断しました……。もう一回アメリカに行って、もう一丁やりたいと思います。もう一丁」

▲コーナー際での攻防に油断したのか？　フィリォの足がロープの外から回ってきたことに気付かなかったのか？　首をフックされて腕十字が極まってしまう

▲上になった小路はパンチを打ちながら勝機を探す

▲フィリォの投げを潰してバックを取る　試合は小路有利に進んでいた

豪華なセコンド陣　ジョシュ・バーネットが！　ボブ・サップが！　そしてノゲイラも！

▲ブラジリアン・トップチームのフィリォのセコンドにはノゲイラがついた。リングはホントに豪華な顔合わせだった

▲ともに練習したボブ・サップも小路のセコンドについて応援した

▲前UFCヘビー級王者でノゲイラに挑戦しているジョシュと阿部兄が小路のセコンドに

★第4試合（1R10分、2・3R5分）
○パウロ・フィリォ（1R2分48秒、腕ひしぎ十字固め）小路晃●
<ブラジル/ブラジリアン・トップチーム>　<日本/フリー>

単身アメリカに渡り、ジョシュ・バーネット、モーリス・スミスらと練習して4カ月、小路がどんな変貌を見せるのかはかなり期待していたのである（まあ、勝敗予想では負けにしたけど）。

なにしろ、あのボブ・サップともスパーしていたのだ。相当変わっている可能性は高いと思っていたら、リングに入ってきた小路の身体からは脂肪が取れ、顔つきはこの上なくスッキリしていて自信のほどが伺えたのである。

だが、負けた。それも膠着大王として格闘技ファンにはお馴染みのパウロ・フィリォを相手に一本負けだ。しかし、かつてフィリォと対戦した近藤有己や美濃輪育久でさえなし得なかったテイクダウンを奪い、コーナーに押し込んだ小路。最後のフィリォの腕十字にしても足をロープの外側から回してきたために気が付かなかった可能性は高い。本人が言うように油断だったのかもしれない。

そもそも試合前、小路の相手にはシウバの名前も上がっていたという。もし、シウバだったら小路に対する関心度から何から全部違っていただろう。なんというか、シウバ戦が流れたことにしても、負け方にしても全てにおいて運がなかったという気がするのだ。

だが、運がないというのは致命的だ。

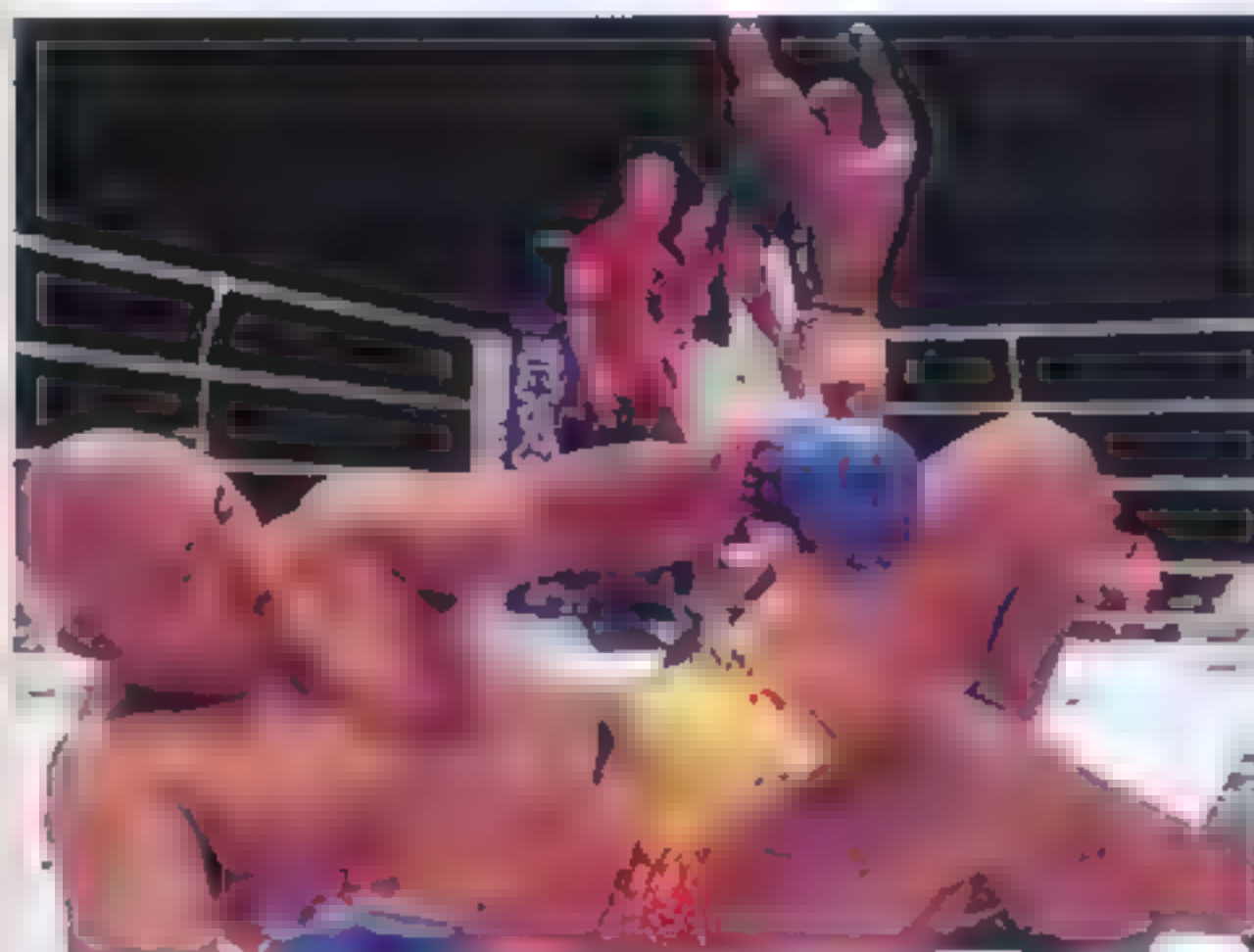
ハッキリ言って日本人選手の若手の中で最も苦しみ努力してるのは小路だろう。そんな男にさえ、運命は微笑まないから残酷だ。しかしだからこそ、もう一度彼の試合が見たい。ドン底から這い上がる姿を見てみたいのである。（ブチ）

PRIDE.22
9.29☆名古屋レインボーホール

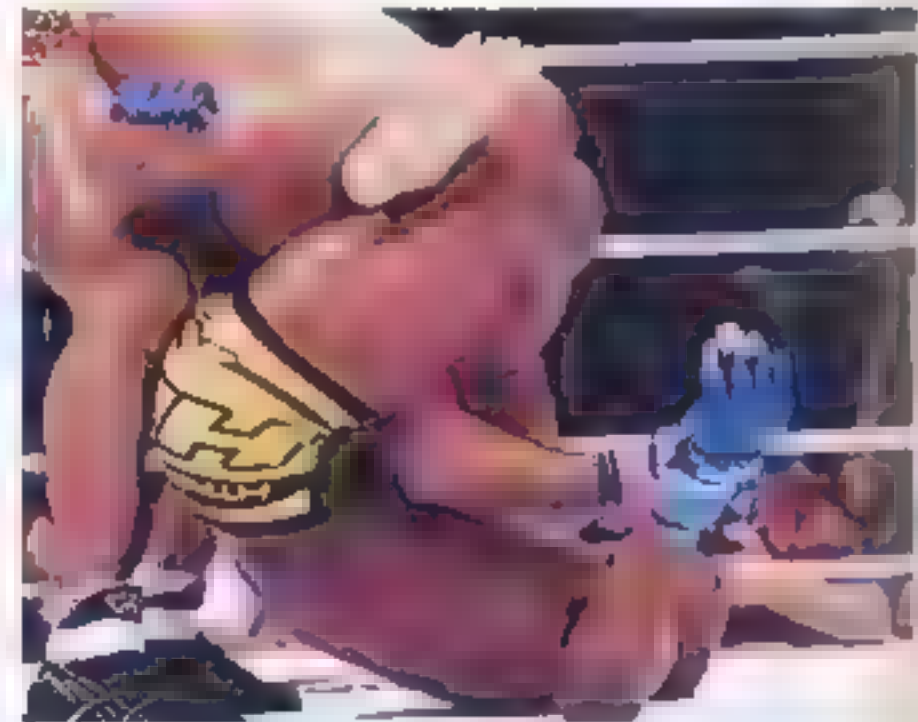
なんともったいない！
こんなタックルがあって、なぜ負けたアレク！

シウバのコメント

「試合は誰も予想できることではないが、結果的にいい結果になったので良かった。（アレクの印象は？）他の選手と同様、『プライド』に出場する選手は才能のある選手だと思っているので、対戦相手の選手も素晴らしい選手だったと思う。体重差は問題なかった。最後、足への関節技は、骨の音か聞こえるくらい極めたので、試合か終わらなかったらタップアウトしてたろう」

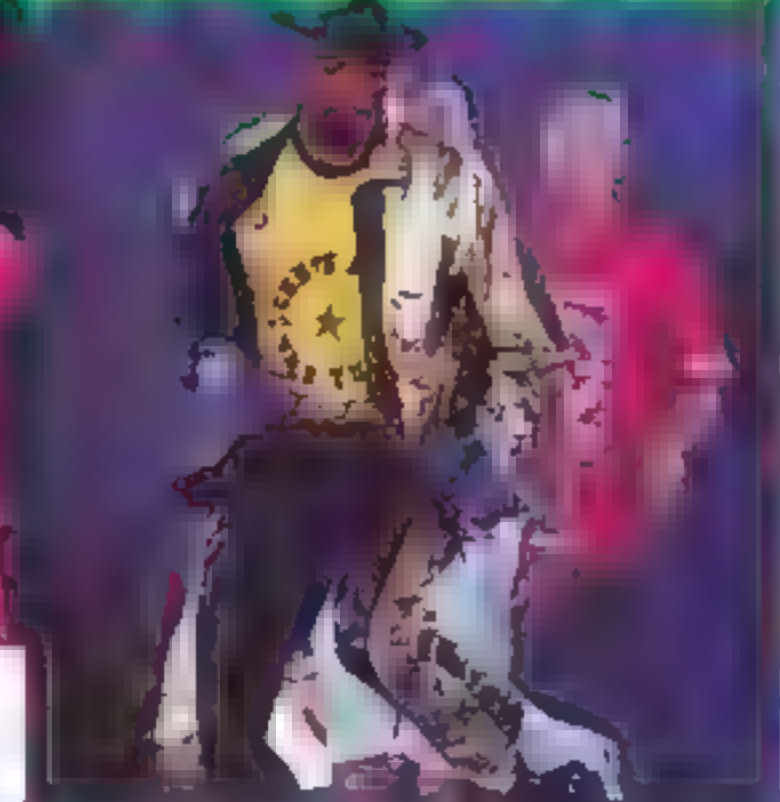
▲1R（左の写真）、2R（右の写真）とアレクはアンデウソンにキレイにタックルを決めた。しかし、シュート・ボクセの選手にもかかわらず、アンデウソンは寝技で下になっても強かった

◀キレイにタックルを決め、優位に試合を進められると思われたアレクたが、結果的にはあと一歩及ばず、足まで破壊されてしまった

▲1R、アレク最大のピンチはこのスリーパー。アンデウソンは体を入れ替え、うまくバックに回って、アレクを絞めにいった

▲さらに腕十字を取りにいくアンデウソン。ねちっこい

▲アンデウソンは、1Rに長い足を利用しての三角絞めをまずは披露

こちらが本家？ ヴァンダレイ・シウバかセコンドに

▲▶入場時、自慢の踊りを披露したアンデウソン。セコンドにはヴァンダレイ・シウバが付いていた

★第3試合（1R10分、2・3R5分）
○アンデウソン・シウバ（3R判定3−0）アレクサンダー大塚●
<ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー> <日本/AODC>

アレクの敗因はアンデウソンの非ブラックバス殺法にあり!!

▲3R終盤、アレクはアキレス腱固めを狙いにいったが、逆にアキレス腱固めを掛けられ、さらにヒールホールドまで極められてしまった。試合後は左足のじん帯を痛め、病院に直行するハメに

実はこの試合、判定の時にアレクが勝ったんじゃないかと一瞬錯覚してしまった。それほど、試合中にアレクが決めていたタックルはキレイで、印象的だったのだ。

しかし、結果はもちろんアレクの判定負け。アンデウソン・シウバは下になっても、冷静に関節技を仕掛け、試合を優位に進めていたのだ。試合終盤にアンデウソンが極めたヒールホールドは、アレクの左足のじん帯を破壊するほど、強烈なものだった。

アンデウソンの所属するシュート・ボクセと言えば、〝ブラックバス軍団〟の異名のとおり、凄まじい打撃で相手に食いついて来るのが特徴の軍団だったはずだ。

ところがアンデウソンは、この試合で、パクウーッと食いついて来るブラックバス殺法を見せてこなかった。この試合のアンデウソンの闘い方は、非ブラックバス殺法。まるで、イソギンチャクのような闘い方だった。そうなると、アレクの敗因はアンデウソンが状況に応じて、闘い方をブラックバス殺法からイソギンチャク殺法に変えたことに対処しきれなかったことになる。

逆にアレクがブラックバスになるぐらいの獰猛な攻めを見せてもよかったのだ。あれだけ、キレイにタックルを決められる身体能力を持つアレクだけに、あの負け方は実にもったいない。

アンデウソンがイソギンチャク殺法に切り替えたのは、おそらくブラックバスにならなくても十分だと思ったのだろう。アレクはナメられたのだ。ナメられっぱなしで終わらすな！

（小松）

ヤマノリよ、シバキ合いを忘れたか!!

メッツアーが前に出てきているのに打ち合わないヤマノリに檄を飛ばす桜庭。打ち合いは得意なはずだろ？

高田引退だよ　そんな闘いでいいのか？

▶放送席から厳しい目で見つめる髙田延彦の表情がこの闘いの全てを物語る

メッツアーのコメント

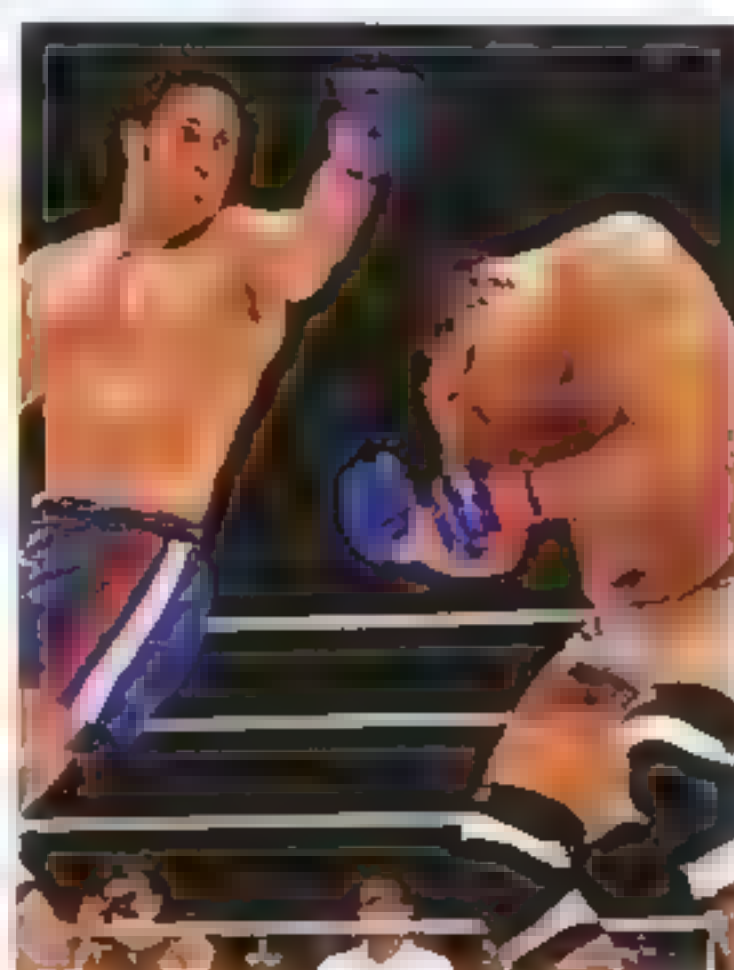
「このオレか日本て判定勝ちになるなんて驚いてるよ　ヤマモトはタノたったパンチて来たのには驚いたよ　このオレと打ち合おうと思ったことにね　闘いたい相手はアローナた　前回の試合はオレか勝っていたと思う　もう一度再戦してそれを証明したい」

山本のコメント

「今日は勝たなけれはいけない試合たったんてすけと、自分の甘さてすね　思った以上に彼はスタミナかありまして、後半、自分かアクレッシフに攻めていけない、無我夢中てやるっていうスタイルか出せなかったのか敗因てすね　向こうは判定でもいいから勝てはいいっていうのかあったんて、自分はもう勝っても負けてもスカッとというのかほしかったんて向こうの思うツホにハマったのか悔しいてすね　髙田さんか年内引退されるんて、最後にいい形てハトンタッチてきれはって思ったんてすけと」

▲打撃戦なのたか、ヤマノリの攻撃は単発で打ち合いにならない

敗因は自分の状況をまったく理解してないことだ

▲ヤマノリは2度ダウンを奪われ、判定負けとなった

▲▼ヤマノリのことを見切ったのか、後半のメッツアーは得意のバックキックに、バックハンドブローまで出して伸び伸びと闘っていた

場面場面では打撃が交錯。これを続けてほしかった

★第2試合（1R10分、2・3R5分）
○ガイ・メッツアー（3R判定3−0）山本憲尚●
<アメリカ/ライオンス・テン>　<日本/髙田道場>

人間、他人にナメられることぐらい情けないことはない。

ヤマノリはこの試合中、観客から、それはもういろんな野次をいただいていた。

「K−1ごっこ見に来てるんじゃねぇぞ！」

これは、前に出てくるメッツアーに対してシバキ合いにいかないヤマノリへの不満だ。ラウンド後半にはこんな野次も飛びだした。

「山本、アレだぜ！　アレ！」

誰もアレがなんなのか知ってもいないし、興味もない。ただの侮蔑の言葉だ。

ヤマノリ、いいのか、これで！

そもそもヤマノリは試合前、メッツアーの印象について聞かれて、「自分から仕掛けず、カウンター狙いみたいな」と答えている。

いったいいつの話だよ。

メッツアーが膠着大王と言われたのは2年ぐらい前のことだ。シウバ戦以来彼は派手な打ち合いを仕掛けるファイター・タイプに変貌している。確かに相手の研究をしないで試合に臨むということはあるが、相手に対する分析が間違っているというのは問題ありだ。

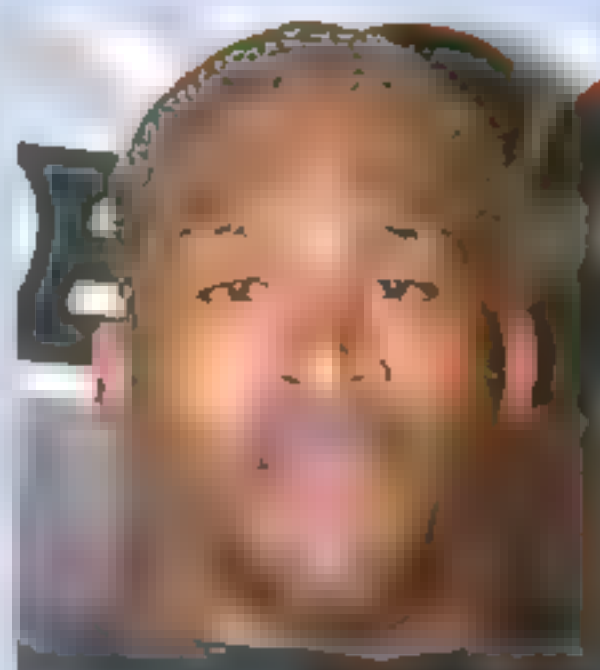
もっとも、試合で相手が出てきたら、それに付き合えばいいだけ。ヤマノリにとってはそれは望むべき展開だったはずだ。でも、それもしなかったし、試合後には「向こうは判定でも勝てばいいっていうのがあったんで」と発言。

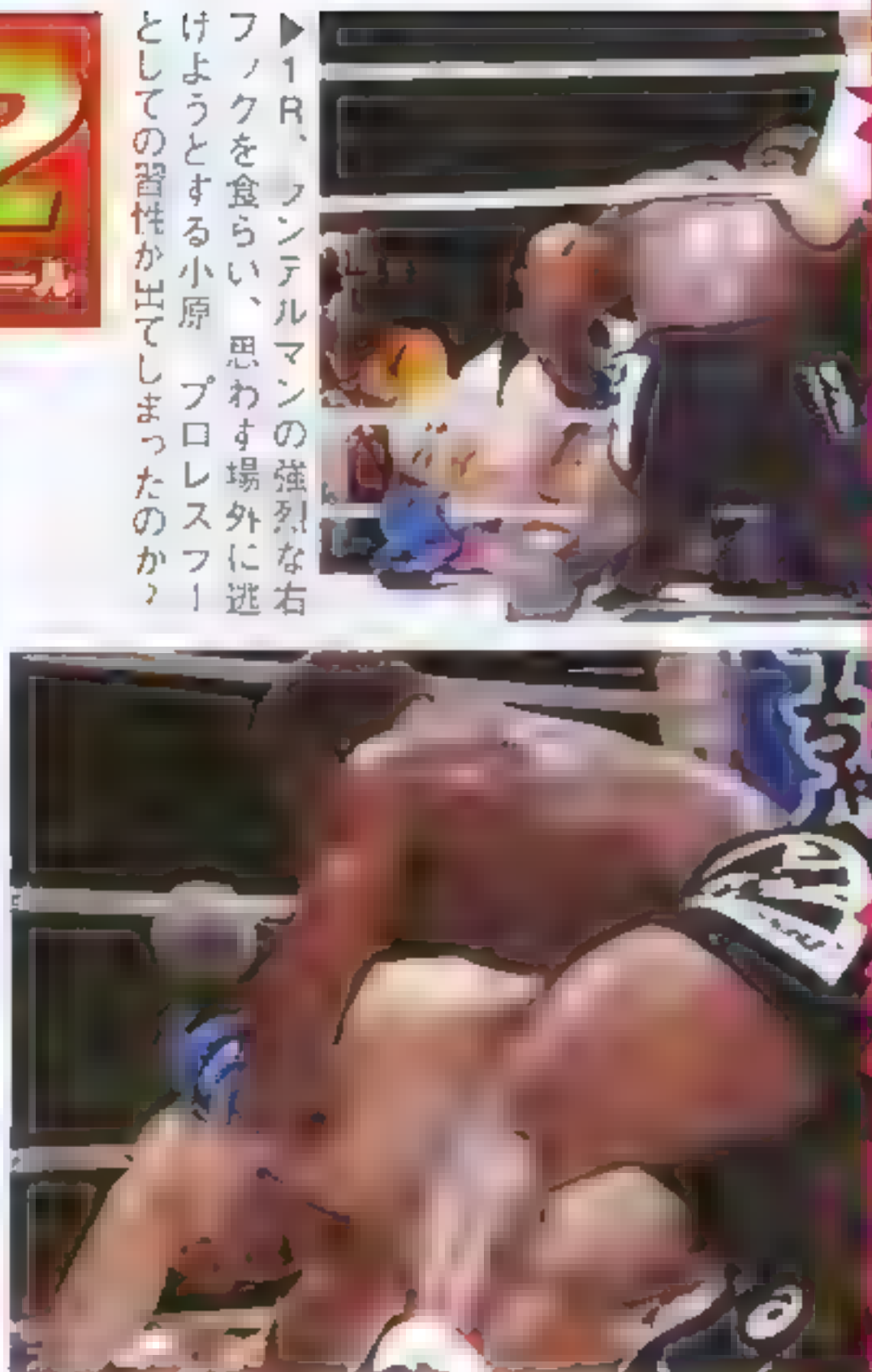
勘弁してほしい。リングス・ファンはなんだかんだ言ってあなたに期待してるんだよ。自分の現状、人々があなたを見る目をもう一度よく考えて、本当に〝一気進展〟やり直してほしいのである。（ブチ）

小原に吉田効果なし ヘンゾ戦の悪夢を再現！

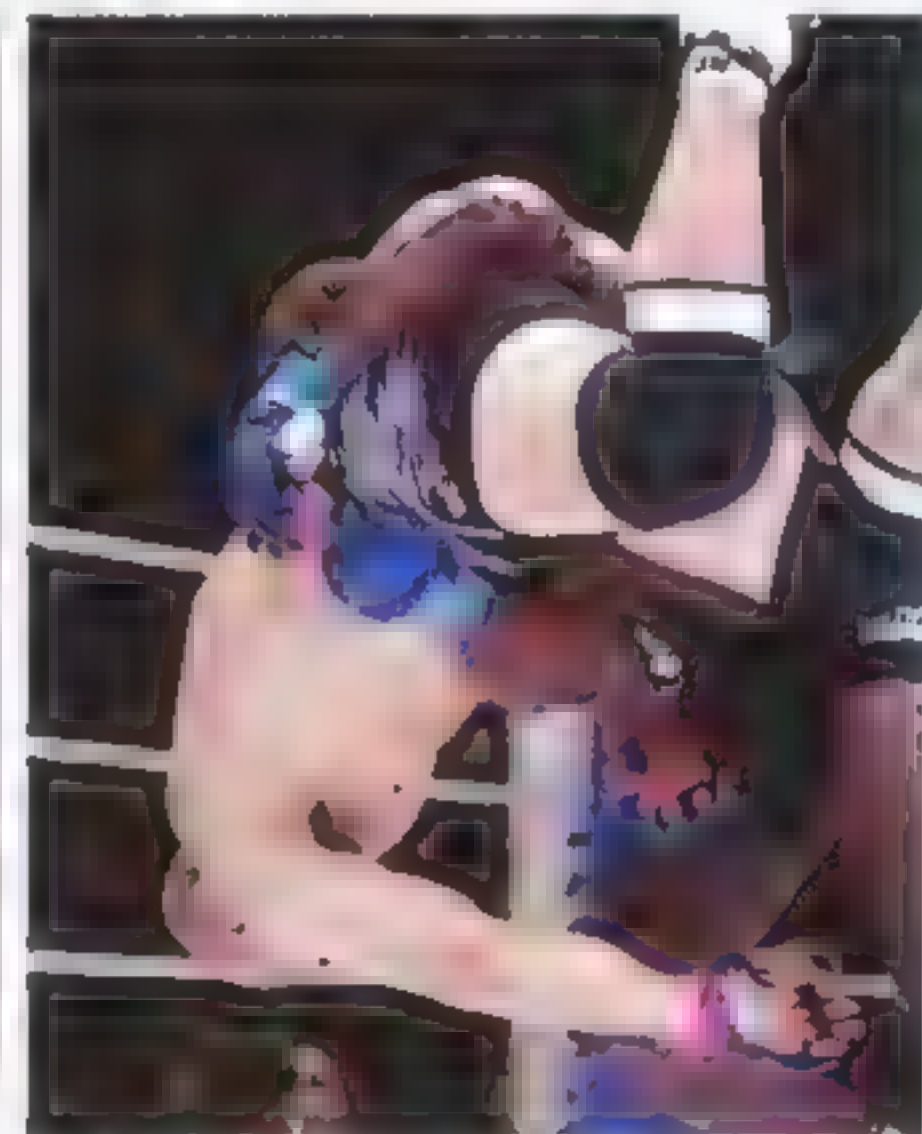
敗因はアニマル浜口の不在だ！

▲吉田とともに練習してきたことで、今度こそ活躍を期待された小原だったが、ヘンゾ戦同様、一歩も踏み込めずに3R終了。会場は大ブーイングに包まれた

▶1R、ランデルマンの強烈な右フックを食らい、思わず場外に逃げようとする小原 プロレスラーとしての習性が出てしまったのか？

ランデルマンのコメント

「クソみたいだ 自分はここにいる資格などないと思っている。勝とうと思って来ているのに、倒すことさえできなくて申し訳ない気持ちだ 闘うことが自分の人生なのにそれができなくて凄く情けなかった 人生の中で経験した最悪の試合だった どうせならオハフにKOされたかった もっと華やかなデビュー戦を飾りたかったのに。自分はとんだ食わせ者だった 日本のファンと家族に謝りたい」

▲2R、いきなりランデルマンに投げられ、バックを取られて小原大ピンチ しかし、ここでも小原はロープに逃げようとしてしまった しっかりしてくれ！

▶3R、まさしく、ワンチャンスを狙った小原のかにはさみ しかし、ランデルマンはびくともしなかった 無念…

▲1Rに場外逃亡という無様なところを見せてしまった小原は、自分を鼓舞するかのように、師匠・アニマル浜口譲りの気合いの雄叫びを発した

▲これがランデルマンが見せた、唯一の大技 2R、開始早々、突っ込んできた小原をキャッチして危険な角度で落とした

リングの中より豪華？ 吉田とコールマン！

◀▶小原のセコンドに付くかと思われた吉田秀彦だったが、人数の関係上、リング外で応援 そして、ランデルマンのセコンドにはコールマンが付いた ちなみに、かつての犬軍団の相棒・後藤達俊も会場に来ていたのだが、「あの試合しゃ…」とノーコメントだった

★第1試合（1R10分、2・3R5分）

○ケビン・ランデルマン（3R判定3－0）小原道由●
<アメリカ/ハンマーハウス> <日本/フリー>

※小原は1Rに場外に逃げようとしたため注意1、2Rに膠着を誘発する動きをしたため注意1あり

またやってしまった。前回のヘンゾ戦に続き、小原はランデルマンが激しい自己嫌悪に陥るぐらいの大膠着戦を再び演じてしまったのだ。

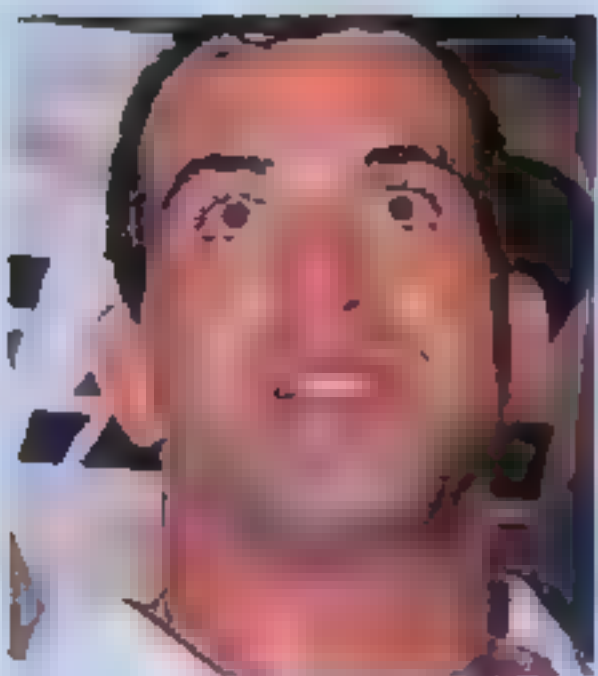
たしかに前回のヘンゾ戦よりも進歩はあった。小原は小原で精一杯やっていたのも分かる。しかし、普段練習している吉田道場での評判「抑え込まれたら、誰も身動きができない」という評判からして、小原の実力はあんなものではなかったはずなのだ

小原の敗因は精神面に尽きる。ズバリ言ってしまえば、セコンドが問題だった。今回の試合に関しては、吉田秀彦という高級ブランドを頼っていった時点で、勝負あったと思う。小原のセコンドとして最適だったのは吉田（実際には付かず、リング下での応援）ではなく、かつての師匠・アニマル浜口をおいて他にいなかったのだ。

アニマル浜口という気合い満点の師匠がセコンドに付いていたら、あんな無様な試合はできなかったはずだ。吉田が悪いわけではないが、なぜ、柔道繋かりで吉田だったのか？ なぜ、アニマル浜口といかないまでも、犬軍団や平成維震軍の同士たちを引き連れてこなかったのか？ いちいち疑問だ

彼らを連れてくれれば、自分の闘争心も、もっと盛り上がっただろうし、何よりもプロレスファンは歓喜にむせび泣き、試合を楽しめただろう

「犬も歩けば棒に当たる」じゃないか、棒に当たる度胸をくれるのは、やっぱり師匠。それは試合中に気合いポースを出した小原本人が一番分かっていたはずだ。（小松）

コピィロフ完敗。

されどマリオ、お前が悪い！

マリオのコメント

「いつものマリオ・スペーヒーの闘い方、つまり相手にプレッシャーをかけてやりたいことをやらせない戦法をとりました　コピィロフのほうが強いと思っていたので、最初にダメージを与えて、サブミッションを狙おうと考えていましたが、結果的にはそのダメージで勝利を得ることができました　コピィロフ選手がヒザ十字を得意なのは知っていましたので、実は私も得意なのですが、今日はあえてやらないようにしました」

試合はグラウンドで上になったマリオが打撃に終始、コピィロフは防戦一方になった

柔術VSサンボのサブミッション合戦を期待したのに、グラウンドの打撃ばかり。酷いよ、マリオ

▲総帥・マリオの勝利を喜ぶノゲイラ兄弟らブラジリアン・トップチームの面々

マリオの勝因は、寝技に付き合わず打撃に徹したことに尽きる

▲顔面を蹴られながらも、マリオの足を取りにいったコピィロフ。この直後、流血のため試合はストップされてしまったが、一瞬、場内がドッと沸いた

▲『プライド』初参戦のコピィロフに対し、洗礼とも言える4点ポジションのヒザ攻撃を見舞うマリオ

★第6試合（1R10分、2･3R5分）
○マリオ・スペーヒー（1R6分2秒、ドクターストップ）アンドレイ・コピィロフ●
<ブラジル/ブラジリアン・トップチーム>　<ロシア/ロシアン・トップチーム>
※スペーヒーの右の蹴りを受けたコピィロフの唇の出血がひどかったため

この日、マニアのファンが一番期待していたカードは、コピィロフVSマリオの試合だった。コピィロフはサンボの選手、マリオは柔術の選手。当然、ファンはサンボVS柔術、つまり関節技の攻防を頭に描いていた。ところがゴングが鳴るとマリオは、パンチ中心の打撃攻撃一本に絞ってきた。

コピィロフを相手にしたらそれが勝利への近道、鉄則であることは私でも分かる理屈。マリオはその必勝法に徹する作戦に出る。

それを見た瞬間「なんだよ、それ！」と私はがっかりした。見ると下になったコピィロフが、パンチで殴られ防戦一方。立ち技でも同じシーンが続く。これではコピィロフの持ち味は全然、出ない。

失望、ショック。そのうちコピィロフの右のくちびるが切れドクターストップとなった。こんな試合は見たくない。不愉快だ。

勝利至上主義に走ったマリオ。選手としては間違いではないが観客のニーズに反した試合。喜ぶブラジリアン・トップチーム。それを見て観客がしらけた気分になっていたことは、彼らにとって知る由もない。浅草キッドの水道橋博士は「これじゃあ、単に親父狩りではないか？」と吐き捨てた。

こんなことになるならいっそのこと、この試合は「打撃なし」のルールにすべきだった。非常に後味の悪い試合である。私が『プライド』の責任者だったら、もうマリオは二度と使わない。

使う意味がない。コピィロフというキャラを財産と考えるのかそれとも弱き者は去れというのか？　どっちなのだ。

（ターザン山本）

PRIDE.22
9.29 名古屋レインボーホール

ランペイジの危険なノーザンライトボムが世代交代に拍車をかけた!?

ランペイジの勝因は自分のスタイルへのこだわり！

▲ランペイジと言えば投げ。フロントチョークを狙いに来たボブチャンチンをうまく捕獲し、そのまま危険な角度で投げ落とした

▲ランペイジは、なんとあのボブチャンチンを２度も投げきってみせた。こちらも、まるでノーザンライトボムのように危険な落とし方だ

▶試合前、控え室に張ってあった紙にメッセージを書いてボブチャンチンに送ったランペイジ。ジョークで「お手柔らかに」といった類のことを書いたそうだ

▲秘密特訓を積んできたと言われたボブチャンチンだが、その成果を出せずにランペイジのパワーの前に屈した。マウントポジションを取っていたランペイジの脇腹へのパンチがフィニッシュ。ボブチャンチンは、これであばらを痛めてしまった

★第7試合（1R10分、2･3R5分）
○クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン（1R7分17秒、KO勝ち）イゴール・ボブチャンチン●
<アメリカ/チーム・パニッシュメント>　<ウクライナ/フリー>
※グラウンドでの右のボディブロー

約5年前に始まったプライド・シリーズだが、もう世代交代の時期がやってきたのか？　プライド初期から、あの太い腕でKOの山を築いてきたボブチャンチンが、ランペイジにいいところなく敗れてしまった。これは、あまりにも象徴的な出来事である。ボブチャンチンはここ2年ほど、ファイトスタイルを打撃一辺倒から、総合的なスタイルに変えようと努力してきた。しかし、それがボブチャンチンの本来の魅力を失わせてしまったのだ。一方で、昨年から参戦してきたランペイジは、とにかく投げることにこだわる男。ボブチャンチンに食らわしたノーザンライトボムは迫力満点だ。それに比べると、従来のパンチを生かしきるような秘密特訓を重ねてきたにもかかわらず、ボブチャンチンの精彩のなさといったらない。脇腹を骨折させられてのKO負けは、あまりにも寂しい結果だ。ボブチャンチンがランペイジのような自分のスタイルへのこだわりと、ハングリーさを取り戻さないと、世代交代は本格化してしまうぞ！（小松）

大会翌日に二日酔い疑惑発覚！驚異的なタフさで光ったユーリー！

ユーリーの敗因はルールを把握してないことだ！

ヒーリングから散々危険なヒザ蹴りを食らったにもかかわらず粘り強くスリーパーを狙うユーリー。とにかくタフ

▶フィニッシュは上四方からのヒザ蹴り。また、ルールを十分に把握していないユーリーは食らいっぱなしだった。しかし、レフェリーに試合を止められると、「まだできる」と言わんばかりに不満そうな顔をした

▶『プライド』初参戦のユーリーのセコンドにはニコライ・ズーエフが付いた。ユーリーは極真出身の空手家で、他のメンバー同様リングスに参戦していた

▶グラウンドでヒザ蹴りを思う存分叩き込んだヒーリングは、立ち上がったユーリーを追いかけ、ロープ際で強烈なヒザ蹴り

★第5試合（1R10分、2･3R5分）
○ヒース・ヒーリング（1R7分31秒、レフェリーストップ）コーチキン・ユーリー●
<アメリカ/ゴールデン・グローリー>　<ロシア/ロシアン・トップチーム>
※グラウンドで頭部へのヒザ蹴り連打

前回の『プライド21』に上がったヒョードル、アフメッドに続いて、ロシアン・トップチームからコーチキン・ユーリーが、『プライド』のリングに送り込まれてきた。このユーリーも、注目のコピィロフに負けず劣らず凄い男だった。結果から言えば、ヒーリングの凄まじいヒザ蹴りを食らい続けてのレフェリーストップ負け。闘い方を見ていると、ルールを十分把握していないため、グラウンドでのヒザ蹴りの防御がまったくできていなかった。これでは、いいように食らうだけである。しかし、そんなことお構いなしに闘ってしまうから、ユーリーたちロシア勢は凄い。しかも、あれだけ頭を打たれたのに、試合後にはコピィロフが「飲み過ぎだ」と言うほど酒を飲んでいたことが発覚。それも、二日酔いになるぐらいの量だ。二日酔いが本当かどうかはともかく、酒をたらふく飲んでいたのは事実。このことがいいか悪いかはさておいて、そのタフさはやっぱり凄いの一言に尽きる。これだから、ロシア勢はいつでも期待できるのだ。（小松）

日本人全敗をどう思う？

本誌記者4人が試合前に、日本人5人の勝敗を予想！　果たして、結果とのギャップは？

懺悔ですよぉぉぉぉぉ！」

予想　勝つのは、大山ただ1人　【ターザン山本】

大山選手以外の4人の日本人選手を負けにしたのは、私が彼らの試合を〃冷静〃に予想してしまったからだ。試合というものは普通は、興奮して見るもの　あるいは願望や希望の感情を持って見るものなのだ

それが観客たるもの、ファンたるものの基本的スタンスでもある　小原、山本、アレクに小路の4人の日本人選手は〃勝てる〃という雰囲気が、私の中では起きなかった

それって寂しい話である。そういう予想しかできなかった自分が、いかにもブアというか、みじめに思えた　どうか私の予想を裏切ってくれ。一人でもそういう選手が出てくれ

そうした期待を胸に抱きながら試合を見たが、やっぱり誰も勝てなかった

まったく「あ〜あ」の溜息である。そこまで完全に予想は的中したが全然、いい気分がしない　選手にはこの私の複雑な気持ちを、ぜひ分かってほしい。このままだと君たちはK－1ジャパンの選手と同じだ

「プライド」ジャパンというしかないではないか？　外国人選手の厚い壁はどう転んでも突破できないという現実。こと日本人選手に限っていうと「プライド」と「K－1」には、同じ現象が起きているのだ

小原、山本、アレク、小路は大石、天田、中迫、武蔵と同じなのか？　ああ、それだと「プライド」と「K－1」には、とても未来があるとは思えない。「プライド」と「K－1」のレベルは、これからさらに上がっていくだろう。そうすると日本人選手はますます浮上できずに取り残されていく

これって我々は見たくない。カタルシスがないからだ　カタルシスとは国語辞典を引くと「1劇、特に悲劇を見ることによって、日頃のストレスを解消し、さっぱりした感じになること　2自己の直面する苦悩などを表出することによってコンプレックスを解消すること」と書かれている

これは要約すると「試合を見ることによって、日常生活の中で溜まったストレスを解消し、すっきりした気分になること」という意味になる　小原たちが次々に負けることでフラストレーションが逆に溜まっていった

これではまったく意味がないではないか？

でもこの日、メインの試合では大山選手がハイアンに勝って「終わりよければ全てよし」の世界にしてくれると思っていた。なぜならハイアンは強くない。あれなら大山選手でも十分に勝てると読んだからだ

その私の最後の望みさえぶち壊されてしまった　大山選手は敵の作戦にひっかかって完敗　あそこでのせられるかなぁ　私的には信じられないミスとしか思えなかった

君たちは全員、腹を切って切腹しろと言っても、それはせんないこと。ファン（観客）の気持ちにもなってほしいと言うしかない

それにしても全敗とは　格闘技が仮に現実しか見せない世界としたら、そんなもの誰が見に行くんだよと私は大声で叫びたい。■

予想　勝つのは、大山とアレク　中村カタブツ君

左乳首に貼ってるバンソウコウがどうにも気になるハイアン。彼には、試合前に吠えるだけ吠えてリング上では勝敗をうやむやしたような形で負けていく、ということに関して、かなり信頼度を置いていたのだが、ビックリしたな、この結果。正直すまん、ハイアン！

最近、ボクはグレイシー一族をともかく称賛したい気持ちでいっぱいなのだ。ルールから対戦相手の人格から全てにおいて文句をつけては、試合を面白くしてくれるグレイシーには、心の底から「ありがとう、また来てね」と言いたいのである　結局、彼らが凄いのは、他人がどう思おうと関係なく、自分の強ささえ証明できればいいというエゴの塊だからだ

残念ながら大山にはそれがない。ヘンゾ戦でのあの勝利は、勝つことだけを考えて見事に結果を出したのだから、落ち込む必要なんかどこにもなかったはず　他人がなんと言おうとそんなことは関係ない　格闘家なら自分が一番望んでいるものをたった一つだけ持ってリングに上がってほしいと思うのである

アレクに関してはファス戦やシウバ戦などここ一番では力を発揮することに期待を込めたが、現実は厳しい　ソウル五輪金メダリスト小林孝至氏が言うように「素質はあるけど技術がない」ということに尽きるのか　小林さん、アレクと練習してくれ、頼む！

最後に言いたいのは小原に関してだ　小川直也らUFO勢と新日勢が大乱闘になった1・4東京ドームでは、凶悪な顔で暴れ回った頼もしい彼。新日本隊やT2000からも外れ、後藤達俊と2人で犬軍団を結成、試合後のビールかけで気勢を上げた男らしいあの姿が「プライド」のリングではカケラもなかったことが悲しくてしょうがない。チクショー、ビール持ってこい！　ビール！

新日時代の小原はなにしろ怖かったのだ

ところが、「プライド」に登場した小原は格闘家っぽく振る舞おうとしていた　その姿はまるでプロレスラーだった自分を卑下してるようにさえ見えた。確かに、あのリングは幻想が通用しない。しかし、リング外に逃げようとしたり、ランデルマンを思い切り威嚇したあの素晴らしい顔を見る限り、どう見たって小原はプロレスラーそのものだ。なのに、なぜ、格闘家になろうとするのか

なんだかんだ言ってランデルマンは突っ込んでくることができなかったことを考えれば、プロレスラーが持つ物騒でデタラメな地力だけで闘ったほうが、勝機ということだけでいえば絶対にあったはずだろう

まったく後藤はどこに行った。会場にはいたようだが、なぜセコンドにつかない。インターバル中、ヘバる小原になぜビールをかけない！　こういう本人も観客もノレる空間の中で、小原には気持ちよく闘ってほしいとつくづく思ったのである。もっとも吉田秀彦のあだ名はポチ。小原的にはもしかして犬軍団と勘違いして吉田道場入りしたのかも。ホントそうあってほしいものである■

PRIDE.22
9.29㈯名古屋レインボーホール

「予想大ハズレのヤツは

ああ、無念。

大山、小路、アレク、ヤマノリ、小原が揃って討ち死に……

予想 勝つのは、大山、小路、アレク

予想者4人の中で、もっとも甘ちゃんな、「日本人3人勝利」という予想をたててしまった私だが、この予想には結構自信を持っていただけに残念　もともとプラス思考な性格だし、希望や願望もかなり含まれてはいたものの、かなり真剣にこの顔合わせだったら勝つだろう、勝つ確率か高いと考えた予想だったのに……。でも、そんな自分の予想がハズれたことよりも、日本人が誰1人として勝てなかったという事実が、ただただ悲しい

大会か終わって、会場から名古屋駅まで行くタクシーの中で、山本さんに予想した内容を聞かれ、「ボクは、大山とアレクと小路の3人か勝つと予想しました」と答えると、山本さんは「そりゃ懺悔しなきゃダメだなぁ」と一言。でも、いったい誰に対して、何を、どう懺悔したらいいんだろう?

たしかに、予想者の中で一番ハズレたわけだから、見る目がないと言われればそれまでだが、やっぱり日本人に対して、そのくらいの期待を持ちたいし、その気持ちの表れかこの予想なのだから「仕方ない」としか言いようがない。懺悔して、悔い改めよと言われるならば、日本人に対する希望を捨てるしかない。……そんなバカな!　である。

第一、日本人の勝利に期待する気持ちかなくなったら、「プライド」にしたって、ほかの格闘技やスポーツにしたって、面白さは半減どころか、ほとんどなくなってしまう。今、大リーグや海外のサッカーが人気を博しているのだって、結局は活躍する日本人がいるからだし、オリンピックで柔道が注目されるのだって、金メダルを獲る、勝つ可能性か高いからなのは明らかた

ようは、その可能性の部分である。今回の予想に関して言えば、ボクは、大山、アレク、小路の3人はその可能性が高いというか、十分にあると考えた。とりわけ大山に関しては、8：2で勝つのではないかと思っていたほどだ。しかし、結果は見てのとおり　いったいどうしたらいいんだろう

「プライド」に集まるファイターのレベルはどんどん上がる一方で、これまで活躍してきた日本人ファイターも、太刀打ちできなくなってきている。悲しいけど、それが現実だ。でも、日本の格闘ファンは強い選手だけを見たいわけじゃない。やっぱり日本人選手に活躍してほしいと思っているのだ。しかし、かと言ってレベルの低い相手では納得できないということでジレンマに陥っている

日本人ファイターが日々、努力しているのは間違いない　小路にしたって、あのポヨポヨと可愛らしさまで漂っていたお腹をあれほどまでスッキリした肉体に改造するのは、並大抵の努力ではなかったはずだ。今回の大会では、たしかに日本人は揃って努力の成果を出せなかった　しかし、希望は捨てないでほしい。ボクも一ファンとして、日本人に対する希望は絶対に捨てない。なんとか、頑張ってほしい。ただそう願うばかりである。■

予想 勝つのは、小原とヤマノリ

私が日本人選手で勝つと予想したのは小原とヤマノリである。実はあまり根拠があってこの2人を予想したわけではない。ヤマノリはなんとなく勝ちそうだと思っただけだし、小原にはなんとしても勝ってほしかった。私か、「プライド22」に参戦した日本人選手の中で、一番勝ってほしかったのは小原だったのた

何かを予想する時には、必ずその本人の願望が入ってしまうことがある。阪神のOBが必ず阪神の優勝を予想してしまうようなものだ。私はプロレスファン時代の名残から来る、まったく私的な感情たけて、小原の勝利を予想してしまった。だから、本当なら、「正直、スマン!」と素直に懺悔をしたいところなのた

ただ、本当に小原には期待していたのだ。昨年の「プライド17」であれだけ、無様な試合をしてしまったら、同じ過ちは繰り返さないだろうと誰でも考えるだろう。しかも、今回は新日本プロレスを退社しての参戦であるもう、崖っぷちもいいとこ。まったく、捨て身で臨んできた試合たったのたから、期待しないほうがおかしいのだ

それでも、小原は同じ過ちを犯してしまった。本人にそのつもりはないかもしれないが、なんで吉田の後光にすがってしまうのか?プロレスファンが一番疑問に思い、一番気に食わないのはそこだろう。勝っていれば、違う見方をされただろうが、ヘンゾ戦と同じ試合をされてしまっては、怒りの矛先はそこに行ってしまうのは仕方がない。もっと、プロレスファンの気持ちも考えて試合に臨んでもらいたい　これは、プロレスラーとしての気骨を失ってしまったとしか思えない結果た

とにかく、今回出場した選手たちは、「プライド」シリーズでは谷間のローテーションにいる選手たちである。吉田に代表される大物選手の影にはどうしても隠れてしまう。ただでさえ、隠れてしまうのにわざわざ懐に入ろうとしてしまうのだから、まったく悲しい。そういう意味では、アレクだけが自分の看板を背負って出きたのたからさすかである

そもそも、勝敗予想というのは冷静にやってもしょうがないものだ。自分の感情を移入し、贔屓の引き倒しでやらないと面白くもなんともないものなのである。昨年、私は「イノキ・ボンバイエ」の勝敗予想をしていたら、全て猪木軍の勝利を予想してしまった。それぐらいの強い惹きが、日本人5選手にも欲しかった　私にとって、予想というのは期待度と贔屓度のランク付けと大差ないもの。そうすると、当たった時の喜びは人一倍強いし、外れた時も人一倍ムカつける

残念ながら、今回の日本人5選手にはそこまでの惹かれるものはない。例え負けても本気で頭に来ないのだ。これは悲しい。もっと、熱い勝敗予想をさせるような魅力とモチベーションをもって、リングに上がってほしい。ということで、今回は懺悔する気なし!■

PRIDE.22
9.29☆名古屋レインボーホール

"PRIDEを作った男、最大の功労者"髙田延彦 PRIDEを卒業、それとも引退？

本日は『プライド』の
応援ありがとうございました。
私、髙田延彦は11月24日、
『プライド23』におきまして
最後の闘いをします。
長い間ありがとうございました。
ぜひ、応援のほど
よろしくお願いいたします。

髙田延彦　PRIDE全戦績

★「プライド1」(1997年10月11日/東京ドーム)
●髙田延彦(1R4分47秒、腕ひしぎ十字固め)ヒクソン・グレイシー

★「プライド3」(1998年6月24日/日本武道館)
○髙田延彦(1R2分17秒、ヒールホールド)カイル・ストュージョン●

★「プライド4」(1998年10月11日/東京ドーム)
●髙田延彦(1R9分30秒、腕ひしぎ十字固め)ヒクソン・グレイシー

★「プライド5」(1999年4月29日/名古屋レインボーホール)
○髙田延彦(2R1分44秒、ヒールホールド)マーク・コールマン●

★「プライド6」(1999年7月4日/横浜アリーナ)
●髙田延彦(1R3分4秒、チキンウィングアームロック)マーク・ケアー○

★「プライド7」(1999年9月12日/横浜アリーナ)
○髙田延彦(2R1分32秒、スリーパーホールド)アレクサンダー大塚●

★「プライドGP2000開幕戦」(2000年1月30日/東京ドーム)
●髙田延彦(1R判定0－3)ホイス・グレイシー

★「プライド11」(2000年10月31日/大阪城ホール)
●髙田延彦(2R3分17秒、ギブアップ)イゴール・ボブチャンチン○
※マウントパンチ

★「プライド17」(2001年11月3日/東京ドーム)
△髙田延彦(延長2Rドロー)ミルコ・クロコップ△

★イノキ・ボンバイエ2001(2001年12月31日/さいたまスーパーアリーナ)
△髙田延彦(3R終了ドロー)マイク・ベルナルド△

メインイベントの前に、テレビ解説をしていた髙田延彦がリングに登場し、11月24日の『プライド23』東京ドーム大会で「最後の闘いをします」と挨拶をした。これは引退表明なのか？それとも『プライド』を卒業し、プロレスへ戻るという宣言なのか？　そして最後の相手は誰なのか？　とにかくプロレスファンは髙田の最後の闘いを見に、東京ドームへ駆け付けよ！

▲約2年4カ月ぶりに名古屋に上陸した『プライド』。名古屋レインボーホールには9,391人（超満員）の観衆が集まった

▶今話題の小池栄子が、噂の名古屋に上陸！　今回もテレビのゲスト解説を務めた

◀『プライド』のヘビーとミドルのチャンピオン、シウバとノゲイラがリング上で挨拶「（日本語で）いつ、何時、誰の挑戦でも受ける！」（ノゲイラ）、「（対戦相手は）練習してこなかったらホコホコにしてやる！」（シウバ）と東京ドーム大会への意気込みを語った

▶「終わり名古屋は城でもつ。行くぞぉおぉおぉ、1、2、3ダァーッ！」と恒例の猪木劇場　ちなみに多忙の中、石井館長も駆け付け、猪木と密談を交わしていたようだ

番組インフォメーション

10/11の見どころ

情報提供◎「SRS」アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは10月1日現在のものです
部合により内容が変更になることもございますのでご了承ください

注意！ 10月18日のSRSはお休みさせていただきます。くれぐれもご注意ください

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（放送時間は変更になることがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

今年は大波乱が予想されるぞ！

10/11 10・5『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』速報&グランプリ決勝の抽選会を大公開！

10月11日（金）25:45～26:15

10月5日にさいたまスーパーアリーナで開催された『K-1 WORLD GP 2002 開幕戦』で勝利を収めたK-1ファイターが、決勝戦にむけて抽選会を行います。ちなみに場所はお台場！　昨年はマーク・ハントがいきなり優勝候補の一人であるジェロム・レ・バンナの相手に名乗りをあげ、しかも周囲の予想とは裏腹にK-1チャンピオンへと登り詰めたことは、皆さんもまだまだ鮮明におぼえているでしょう？　今年の抽選会ではいったい誰が何をしでかしてくれるのやら、選手たちの男気あふれる指名合戦は今からワクワク楽しみ！　『きっと何かが起こる』グランプリ決勝の抽選会の模様をたっぷりオンエアーしますよ。そして10月5日の中継放送では見られなかったK-1ファイターの舞台裏もバッチリ放送！　お楽しみに。

▲毎年何かが起こる抽選会。今年はどうなる!?（写真は昨年の抽選会）

フジテレビ系列の番組から

CS721

『K-1 WORLD GP 決勝ヒストリー』1993～2001

10月12日（土）～10月20日（日）23:00～

創立10周年を迎えたK-1の軌跡を振り返る超特別企画！　なんと1993年の第1回大会から昨年までの過去9年間の決勝大会をプレイバックする必見企画が登場する。ホーストやアーツ、ベルナルド、そして今は亡きアンディ・フグまで、スーパーファイターたちの名勝負が9日間にわたって蘇る！　K-1ファンに限らず見逃せない特別企画だ。

日付	番組	終了
10月12日（土）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1993』	～0:20
10月13日（日）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1994』	～0:20
10月14日（月・祝）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1995』	～0:20
10月15日（火）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1996』	～0:20
10月16日（水）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1997』	～0:40
10月17日（木）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1998』	～0:40
10月18日（金）	『K-1 GRAND PRIX 決勝ヒストリー1999』	～0:50
10月19日（土）	『K-1 WORLD GP 決勝ヒストリー2000』	～0:50
10月20日（日）	『K-1 WORLD GP 決勝ヒストリー2001』	～0:40

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

10/10（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	14：00～15：00	海外で行われた修斗の大会を放送。内容未定。再放送10/13・9：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17：00～17：30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	『愛と涙と感動の浪花男』角田信朗が様々なスポーツを紹介。GAORA独自のインタビュー映像やゲストを迎え内容盛りだくさんの30分。再放送10/11・21：30～、12・17：30～、13・12：00～、15・9：00～
	GAORA	バトルインフォメーション	21：30～22：00	「週刊格闘JAM」「info@闘龍門」などGAORAのプロレス・格闘技の情報が満載。30分と15分の2バージョンあり。再放送10/11・14：45～15：00と19：00～19：30、12・9：30～9：45、15・18：00～18：15、17・14：45～15：00
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：00～24：00	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。1974.4.26坂口征二vsアントニオ猪木戦ほか。再放送10/22・20：00～
10/11（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	「DEEP 2001 6th IMPACT」	13：00～15：00	○Pick Up1　再放送10/12・8：00～
	TBSテレビ	「K-1 WORLD MAX 2002 世界王者対抗戦」	18：55～21：00	○Pick Up2
	スカイA	格闘Xパンクラス	19：30～20：00	内容未定
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	19：30～21：30	8.11「第10回新空手道千葉大会」。再放送10/22・10：00～
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの「PEIDE」シリーズを毎月1大会ずつ放送。「PRIDE.4」②。再放送10/16・25：00～
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：00～24：00	10/10を参照。1976.10.7格闘技世界一決定戦アントニオ猪木vsアンドレ・ザ・ジャイアント戦ほか。再放送10/23・20：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	23：00～24：00	スポーツ・アイESPNの「PRIDE REVIVAL」と同内容。「PRIDE.2」③
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	○P69
10/12（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	16：30～18：55	9.16愛知県体育館大会
	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2002	22：00～24：00	9.22後楽園ホール大会。再放送10/13・24：00～、10/15・19：00～、16・15：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	22：30～23：00	10/10参照。再放送10/13・8：30～と16：00～、14・14：00～、17・17：00～
	BSジャパン	格闘Xパンクラス	24：30～25：00	DEEP佐伯代表インタビュー
	GAORA	LADY GO! 女子ボクシング	25：00～26：00	9.7「FIGHTING GIRLS PT3」ディファ有明大会
	Jスカイスポーツ3	プロフェッショナル修斗	25：00～27：00	10.6名古屋市公会堂大会。再放送10/16・24：00～、17・15：00～、18・18：00～、20・7：30～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：10～26：10	10.6後楽園ホール大会
10/13（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	プライド侍	19：00～21：00	月1回放送の「プライド」情報満載の話題のバラエティ番組。再放送10/15・18：00～、18・13：00～、19・8：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：50～26:20	10.12徳島市立体育館大会で行われるIWGPジュニアタッグ選手権試合
	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	26：00～27：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送10/14・21：00～、15・23：00～
10/14（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	23：00～24：00 27：00～28：00	10/10を参照。内容未定。再放送10/17・14：00～、20・9：00～
	日本テレビ	[illegible]	26：35～27：05	内容未定
10/15（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～12：00	8.27修斗・北沢タウンホール大会
	TBSテレビ	サイボーグ魂	23：55～24：30	10.11「K-1 WORLD MAX 2002 世界王者対抗戦」のダイジェスト。
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	内容未定
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	内容未定
10/16（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	22：00～24：00 26：00～28：00	9.16にSHIBUYA-AXで開催の新日本キック協会「RIKI ONODERA Greatest Hit's」大会。再放送10/17・18：00～、19・13：00～
	スカイA	格闘Xパンクラス	22：30～24：00	内容未定。再放送10/18・19：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
10/17（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	10：00～12：00	8.25梅田ステラホール大会
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	10/10を参照。再放送10/20・12：00～、22・9：00～
	GAORA	バトルインフォメーション	21：30～22：00	10/10を参照。再放送10/19・9：30～9：45と28：30～29：00、20・17：00～17：30と19：30～19：45、22・18：00～18：15
10/18（金）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	10/10を参照。197612.12格闘技世界一決定戦アントニオ猪木vsアクラム・ペールワン戦ほか
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	10/11を参照。「PRIDE.4」③。再放送10/23・25：00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00	8.25梅田ステラホール大会。再放送10/20・17：15～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	23：00～24：00	10/11を参照。
	Jスカイスポーツ1	シュートボクシング2002	23：00～25：00	10/12のJスカイスポーツ2と同内容。再放送10/20・15：30～、22・11：00～、23・26：00～
	フジテレビ	SRS	25：45～26：15	休止
	GAORA	全日本キックボクシング	28：00～翌6：00	9.6に東京・後楽園ホール大会。小林聡vsサムゴー・ギャットモンテープ戦ほか
10/19（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	16：30～18：55	9.28なみはやドーム大会
	Jスカイスポーツ3	プロフェッショナル修斗	20：00～22：00	10/12のJスカイスポーツ3と同内容。再放送10/23・22：00～、24・15：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	22：30～23：00	10/10を参照。再放送10/20・8：30～と16：00～、21・14：00～、24・17：00～
	BSジャパン	格闘Xパンクラス	24：30～25：00	10/15のテレビ東京と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：30～27：30	10.14東京ドーム大会
10/20（日）	Jスカイスポーツ1	SHOOT 3/60	19：00～20：00	10/13のJスカイスポーツ2と同内容。再放送10/21・14：00～、22・10：00～、23・18：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	24：55～25：25	10.19愛知県体育館大会

ON THE AIR 10/10～10/24
格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1
「DEEP2001 6th IMPACT」
FIGHTING TV SAMURAI!
10月11日（金）/13:00～15:00

9月7日に有明コロシアムで行われた「DEEP2001 6th IMPACT in ARIAKE COLOSEEUIM」大会の模様をオンエアー。メインではなんと田村潔司VS美濃輪育久が行われた。この試合でUWFムーブは繰り広げられたのか!?　日本で久々の試合となる“世界のTK”髙阪剛はアントニオ・ホジェリオ・ノゲイラと対戦。第1試合の大久保一樹withゴージャス松野VS一宮章一戦はDEEPならではの好・珍カードだ！　DEEP史上最高の盛り上がりを見せた今大会は必見！

Pick Up 2
K-1 WORLD MAX 2002 世界王者対抗戦
TBS
10月11日（金）/18:55～21:00

なんと『K-1 WORLD MAX』がゴールデンタイムで完全生放送される！　今大会のメインはK-1ミドル級のエース魔裟斗が、5・11『K-1 WORLD MAX』トーナメントの準決勝で敗れたアルバート・クラウスに再戦を挑む。魔裟斗はクラウス戦後、人目もはばからず悔しさのあまり号泣しただけに、この試合は意地のぶつかり合いとなるだろう。その他、K-1ミドル級でもう一人の“主役”小比類巻貴之も出場。ムエタイ戦士ガオラン戦以来の復活戦となる。

Pick Up 3
「パンクラスハイブリッドアワー」
スカイA
10月22日（火）/22:00～24:00

9月29日に横浜文化体育館で開催された「PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR」の模様を放送。メインイベントはパンクラス初の2階級を制覇した國奥麒樹真VS長岡弘樹のウェルター級タイトルマッチが行われた。國奥はUFC参戦を見据えているだけに負けられない一戦だ。グラバカの佐々木有生は「プライド」マットでヴァリッジ・イズマイウなど強豪ファイターを葬り続けているアレックス・スティーブリングと対決する。佐々木の大物食いなるか!?

TV

10/21（月）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	10/10を参照。1973.8.24ジョニー・パワーズ&パット・パターソンvs坂口征二&アントニオ猪木戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	22：00～24：00	パンクラス特別セレクションPart-3
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	23：00～24：00	10/10を参照。内容未定。再放送同日27：00～、24・14：00～
	日本テレビ	最強魂	25：30～26：00	内容未定
10/22（火）	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00	◎Pick Up3　再放送同日26：00～、23・18：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00	9.29横浜文化体育館大会
	TBSテレビ	サイボーグ魂	23：55～24：30	内容未定
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	内容未定
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	10/29後楽園ホール大会直前情報
10/23（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10：00～12：00	9.8ニュージャパンキック連盟、後楽園ホール大会
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22：00～24：00	7.28後楽園ホール大会（昼）
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	スカイA	格闘Xパンクラス	24：00～24：30	内容未定
10/24（木）	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	10/10を参照
	GAORA	バトルインフォメーション	21：30～22：00	10/10を参照

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『PRIDE.21』

発行：フォーブリック　発売：プレスト/BBJ
DVD4,800円　ビデオ9,800円/発売中

W杯を裏に史上最高の殴り合い！
見たかプライド男塾！

『PRIDE.21』のビデオ＆DVDが早くも登場！　男のプライドを賭けて激突したドン・フライVS高山善廣戦は見る者を圧倒！　至上最激のノーガードの殴り合いは『言葉にしたら、この闘いが汚れてしまう』(by髙田延彦）とまで言わしめた。K-1、プロレスと格闘技界を席巻しつづけている"ザ・ビースト"ボブ・サップは、わずか11秒という最速の記録で田村潔司を秒殺！　セーム・シュルトを破り、評判どおりの強さを見せたロシアン・トップチームのヒョードルのグラウンドテクニックも必見。新たなファイターの登場で『プライド』の勢力地図の変化を予感させる大会だ。

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

新日本プロレスリング　オフィシャルDVD
アントニオ猪木必殺技全集-極意-　I＆II

発売：ビデオ・パック・ニッポン
販売：パイオニアLDC
DVD各5,800円　ビデオ各3,800円/発売中

アントニオ猪木が語る必殺技の極意。
感銘すら受ける究極のビジュアル全集！

プロレスには多種多様な技が存在するが、アントニオ猪木ほど我々の印象に残る技を使うレスラーはいないだろう。その持ち技数はゆうに60を越える。本作品はアントニオ猪木の技の集大成である。あらゆる格闘技のエッセンスが含まれている猪木の必殺技を見れば、改めてプロレスの奥深さに感銘を受けることだろう。究極のテクニックを、歴史的な名勝負の映像を通じて一挙に紹介するぞ！　（DVDのみの特典映像として、必殺技プロモビデオ「INOKI BOM-BA-YE」を収録）

〈新作紹介❸〉 It's HOT!

「炸裂ファイト魂　DEEP2001 2nd IMPACT＆3rd IMPACT」

発売：BS朝日　販売：ドリーム・エックス
DVD4,800円　ビデオ6,600円/発売中

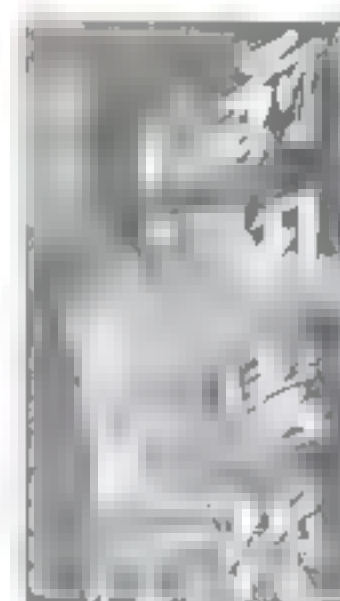
「DEEP2001」2nd IMPACTと3rd IMPACTの2大会、全18試合を1本に収録！

ルチャ・リブレVS総合格闘技、ブラジリアン柔術VSプロレス、プロレスVSムエタイなど、破天荒なマッチメイクと試合内容で、格闘技ファンのみならず、多くのプロレスファンの注目を集める「DEEP2001」。菊田早苗（パンクラスGRABAKA）、村浜武洋（大阪プロレス）、ドス・カラスJr（ルチャ・リブレ）など団体やスタイルを超えた魅力的な選手が参戦しているが、3rd IMPACTではなんと元ボクシング・バンタム級世界チャンピオンのビクトル・ラバナレスも参戦している。※DVDのみ映像特典としてDEEPパンフレット、ベストシーン収録。

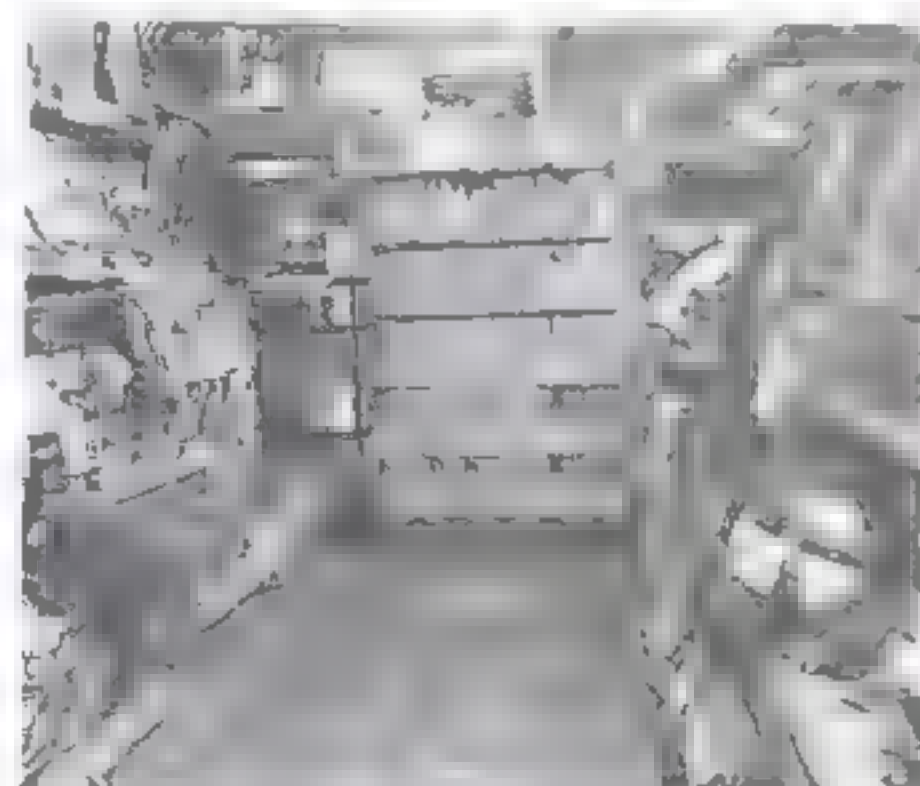
RENTAL RANKING (9/1～9/20調べ)

1. 「褐色の貴公子　前田憲作」 クエスト
2. 「極真世界大会　名試合10」 メディアエイト
3. 「昇段審査参考マニュアルステージ1、2、3」 メディアエイト
4. 「具志堅用高ボクシング教室1、2、3」 日本映像株式会社
5. 「地上最強の空手」 クエスト

「褐色の貴公子　前田憲作」
10・11K-1 WORLD MAXで現役引退！前田の若かりし日を振り返れ！

10月11日に開催される「K-1 WORLD MAX」で引退試合を行うことが決定した前田憲作の1992年5月から1994年11月までの試合を収めたビデオが堂々の第1位に。全日本のタイトルを手にした立嶋篤史戦など、見どころタップリの内容だ。

「フィットネスショップ格闘技　水道橋店」

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

格闘技ショップ「フィットネスショップ格闘技」では、6月より格闘技ビデオレンタルをスタート！　ランキングにご協力いただいている。ビデオのほかにもTシャツをはじめとする各種グッズや、キック用のトランクス、サンドバッグ、サプリメントなどやる側用品も充実しているぞ。詳しくはお店にお問い合わせを！

SELL RANKING (9/1～9/20調べ)

1. 「総合格闘技 SUPER GAME PLAN 戦略練習法」 クエスト
2. 「アブダビコンバット2001」DVD クエスト
3. 「プロフェッショナル柔術リーグ旗揚げ戦 GI-um」 クエスト
4. 「PRIDE.21」 フォーブリック
5. 「麻生秀孝　関節技大全」DVD クエスト

「総合格闘技 SUPER GAME PLAN 戦略練習法」
格闘家育成集団WK/NETWORKの練習方法を一挙公開！

闘う相手の特性別にシミュレーション　打撃が勝る相手、寝技が勝る相手、総合的に勝る相手に対して戦略的な練習方法をコンビネーションを交えてくわしく解説している。本作品には、UFCで活躍中の宇野薫も出演しているぞ！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

「TPG パーカー」
グレート・アントニオ/6,000円（税別）

Tシャツに続き……、コマネチっ！

多くのプロレスファンのリクエストにお応えして、さっそく作っちゃいました。「コマネチポーズのオヤジの正体はいったい誰ですか？」と問い合わせがあるほど、プロレスファンが大注目している代物なのです！　春夏秋冬、コマネチっ!!

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

「MUTO スウェット」
全日本プロレス&グレート・アントニオ/5,500円（税別）

大ヒットの予感、ムンムン♥

WRESTLE-1」開催を勝手に記念して、グレート・アントニオでは「MUTO スウェット」が発売決定！　数量限定発売だった「MUTO Tシャツ」を惜しくも買いそびれ涙を飲んだ人はこの機会を見逃すな！（「MUTO スウェット」は10月中旬販売スタートです。電話・ネットでのご予約を承ります）

グレート・アントニオ
西山千尋店長

「笑いあり涙あり、グレート・アントニオのオリジナル秋冬モノの新作が続々登場しました。「MUTO スウェット」や「TPG パーカー」などはプロレスファン必見のアイテムです。これらを着て、寒い日々を乗り切りましょう！」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3[illegible]
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜

GOODS RANKING

❶「Dynamite!　大会記念TシャツA」
グレート・アントニオ/3,000円（税別）

❷「ファスティング・ダイエット」
杏林予防医学研究所/18,000円（税別）

❸「Dynamite!　大会記念タオル」
グレート・アントニオ/2,000円（税別）

❹ケンドー・カシン「DON'T BLAZE Tシャツ」
全日本プロレス&グレート・アントニオ/4,000円（税別）

❺高山善廣「アパッチ男塾Tシャツ」
グレート・アントニオ/4,000円（税別）

「Dynamite!　大会記念TシャツA」

8・28「Dynamite!」の会場で販売された激レアTシャツが大フィーバー！　サク、ミルコ、吉田、ホイスの4選手揃い組のTシャツはもう、これっきり！　10年後には高値がついてること間違いなしッ！

Et cetra

ゴールドジムでクンダリーニ・ヨーガクラスがスタート！

プロ格闘家も練習に取り入れている『クンダリーニ・ヨーガ』のクラスがゴールドジム ノース東京にてスタートするぞ。自然治癒力・回復力とスタミナを高める、高速度の腹式呼吸（火の呼吸）の効果をぜひ一度試してみよう！

◆日時/毎週火曜日 18:45～19:45
◆場所/ゴールドジム ノース東京
◆参加費/1回 1,200円（予約制）※メンバー以外の方は別途施設利用ビジター料金が必要となる
◆お問い合わせ/ゴールドジム ノース東京☎03-3917-9434

阿部兄ィこと阿部裕幸の総合格闘技セミナー開催！

7・19修斗後楽園大会でノゲイラ（小）に勝利を収めたグレコローマンレスリング出身の阿部裕幸が、総合格闘技で使えるレスリングテクニックを伝授してくれる。初心者の方、女性の方大歓迎。このチャンスを見逃すな！

◆日時/10月27日（日）15:00～17:00
◆場所/フィットネスショップ水道橋店
◆参加費/3,150円
◆定員/30名（予約可）※当日はシューズ不要、運動できる服装で。
◆お問い合わせ/フィットネスショップ水道橋店☎03-3265-4646

“キラーロー”土井広之のシュートボクシングセミナー開催！

鬼のキラーロー土井広之か直接立ち技最強格闘技シュートボクシングの技を指導してくれる。こんなぜいたくな時間を体感できるのは30名のみ。即問い合わせを！

◆日時/10月20日（日）14:00～16:00
◆場所/フィットネスショップ水道橋格闘技スタジオ
◆参加費/3,150円
◆定員/30名（予約可）※当日はシューズ不要、運動できる服装で。
◆お問い合わせ/フィットネスショップ水道橋店☎03-3265-4646

日本最大2,700m²のゴールドジムが大森駅前にオープン！

10月20日（日）にゴールドジム サウス東京ANNEXがJR大森駅前にオープンする。フィットネス業界初となるアマチュア興行可能なリングをはじめ、格闘技スタジオ、最新のマシンを取り揃えたジム、エアロビクススタジオ、アジリティトレーニングが可能な8m×27mのインドアフィールド、くつろげるカフェやショップなど、2フロアにわたり堂々オープン。初心者や女性の方も大歓迎だ。今ならお得な入会キャンペーン実施中！ 正式オープンを前に無料開放（オープンハウス）を行うので、この機会に体験してみてはいかがかな？

◆場所/ゴールドジム サウス東京ANNEX 東京都大田区山王2-4-1 大森駅前ビル6、7階（JR大森駅西口より徒歩1分）
◆無料開放日時/10月17日（木）～10月19日（土）10:00～22:00
◆お問い合わせ/ゴールドジム サウス東京ANNEX☎03-5718-3939

今年は毎日オールナイトでやるぞ！「東京ファンタ」は格闘技ファンも必見！

ＳＦ、アクション、ホラー、コメディ……。とにかく、とことん娯楽に徹した作品ばかりを集めた『東京国際ファンタスティック映画祭』が、今年も渋谷パンテオンで開催される！ 10月25日（金）～11月1日（金）の8日間にわたり、なんと毎日オールナイト上映という“カタギは来るな！”的（ってことは決してないが）スケジュールを敢行。中でも格闘技ファンにオススメなのが、オープニング作品の韓国映画『火山高』。力だけがモノを言う伝説の学校で、教師軍団、剣道部、さらに茶道部（！）までもが入り乱れて繰り広げる超ハイテンション学園バトル・ムービー。業界では、早くも『少林サッカー』級の熱狂を巻き起こしているだけに、ここで見とかなくてどうする!? 往年のカンフー・スター、ジミー・ウォングにオマージュを捧げつつ徹底的にパロディ化した『クン・パオ！』（10/28上映）も、心にドラゴン入ってる本誌読者なら必見だ！

◆詳細情報・お問い合わせ/ハローダイヤル☎03-5777-8600（7:00～23:00）
公式HP〈http://www.nifty.ne.jp/fanta/tokyo/〉

▲韓国で興行記録を塗り替えた『火山高』

▲『クン・パオ』はカンフー好きなら爆笑必至！

2003年パンクラスのツアータイトルを募集！

パンクラスでは来年のツアータイトルを募集している。採用が決定すれば、そのタイトルの入ったTシャツと1万円分のパンクラスオリジナルグッズをプレゼント！

◆応募方法/宛名、Eメールに『2003年 ツアータイトル係』と記入する。名前、住所、電話番号も記載すること。
○FAX/03-5792-7080
○ハカキ/〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 株式会社ワールドパンクラスクリエイト
○Eメール/official-info@pancrase.net
◆注意事項/
○一人で何案応募しても結構
○電話での応募は受け付けない
◆締め切り/11月1日（金）必着
◆お問い合わせ/株式会社ワールドパンクラスクリエイト☎03-5792-7077

「PANCRASE official Site」が装いも新たにリニューアル！

パンクラスのホームページ『PANCRASE official Site』のアドレスが先月末より変更になった。〈旧アドレス http://www.so-net.ne.jp/pancrase/ ⇨ 新アドレス http://www.pancrase.co.jp/〉 デザインを一新し、よりコンテンツの充実を図った新たなオフィシャルサイトに期待だ！

◆お問い合わせ/株式会社ワールドパンクラスクリエイト☎03-5792-7077

とってもスポーティーなボディプラント「アマ★スパ」大会のお知らせ！

今回で6回目を迎える『第6回ボディプラント杯アマ★スパ大会』は、「強くなるだけが格闘技ではない！」というコンセプトを掲げているだけあって、誰もが気軽に参加できるスポーティーでカジュアルな大会として定着し、女の子の参加者にも人気を博している。格闘技を楽しみたい人に是非おすすめ！

◆日時/11月4日（月・祝）13:00～（もちろん見学自由！）
◆場所/ボディプラント六本木・3F道場
◆参加資格/18歳以上（格闘技歴の少ないアマチュア初級者から中級者対象）
◆種目/団体戦1チーム3名（立ち技部、寝技、総合、女子部門）
◆基本ルール/ポイント先取制のスポーツルール
◆お問い合わせ/ボディプラント☎03-5772-2791

新空手交流大会の出場者大募集！

11月10日（日）東京武道館で第69回新空手交流大会か行われる。募集するクラスもK-2トーナメントをはじめ、スーパーワンマッチなどさまざま。自分に合ったクラスで力を試してみよう！

◆日時/11月10日（日） 計量・ドクターチェック 9:30～ 試合開始 12:00～
◆場所/東京武道館・第1武道場（地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分）
◆募集クラス/
○K-2トーナメント 軽量級（60kg以下）、軽中量級（65kg以下）、中量級（70kg以下）、重量級（75kg以上）
○スーパーワンマッチ
○K-2・K-3・K-4ワンマッチ
◆参加費/
○K-2トーナメント 9,000円（一般）
○スーパーワンマッチ 6,000円（一般）
○K-2・K-3・K-4ワンマッチ 6,000円（一般）
※全て大会パンフレット、障害保険加入金込
◆入場料/大会パンフレット（500円）購入者のみ入場できる※消防法の規定により入場を制限する場合あり
◆応募方法/下記の問い合わせまで参加申込書を請求すること
◆締め切り/10月25日（金）当日消印有効
◆お問い合わせ/新空手・本部 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-8-7 ☎03-3239-4994

格闘イベント「リアルディール」出場者大募集！

12月15日（日）福岡で行われるイベント『REALDEAL』に出場する選手を募集している。キックボクシングルールと総合ルールの試合を予定しているので、出場を希望する選手は下記まで応募しよう。みんなで九州の格闘技熱を高めよう！

◆日時/12月15日（日） 試合開始15:00
◆場所/福岡市民会館
◆参加費/アマチュアクラス 5,000円
　　　　プロクラス 無料
◆参加資格/健康な16歳以上の方
◆備考/キックボクシングルールと総合ルールで選手を募集。くわしくは資料を郵送するので問い合わせを。
◆締め切り/10月31日（木）
◆お問い合わせ/リアルディールジム☎092-845-7027

宇月田麻裕の北斗占い

北斗本命星早見表

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で本命星が分かります
(例) 1972年生まれの人は貪狼星 [illegible]分前の生まれの人は、前年の星になります

10/10〜10/23

★北斗占いとは★
古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に[illegible]、そして、日本密教の一つとして発展していった[illegible]の七つの星を、自分の守護星として[illegible]除[illegible]招福を祈願したもの[illegible]の「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が[illegible]北[illegible]として[illegible]らせ[illegible]絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の[illegible]には[illegible]星が現れる。

破軍星

全体運
パワーも情熱も熱くなる時。パワフルなあなたを表現をしていくと、周囲の目を引き付けられるハズ。ただし、調子に乗り過ぎると、逆に目立つ時だけに出る杭は打たれる可能性も。エネルギーがありながらも謙虚さを忘れずに一

恋愛運
カップルは、時には恋人を惑わせるようなフェロモンを意識してみるとグッド。フリーは爽やか系も良いけど、勝負日にはちょっとセクシーに迫ってみて。

勝負運 目上の人の意見を取り入れていくことが鍵。

健康運 カゼっぽかったら無理せず休むようにしよう。

金運 専門的なカテゴリに足を踏み入れると○。

★ラッキーカラー★ ベージュ
★ラッキーアイテム★ コットンシャツ
★ラッキースポット★ レストランバー

武曲星

全体運
凶兆星が顔を出し、パワーダウンする時。そんな時に限って、試合があったりプレゼンがあったり。とにかく繰り返しの練習があなたの運気の後押しをしてくれる時。本番には気持ちを切り替え100%の力が出せるようにして。

恋愛運
金銭でのトラブルが発生する暗示。なにかというとお金を借りてきたり、頼ってくるような相手なら、ホントに今のままでよいかを考えてみる必要が。

勝負運 足元を意識していくと勝負運UP。

健康運 元気な人のそばにいってパワーをもらおう。

金運 金銭トラブルに巻き込まれないよう要注意。

★ラッキーカラー★ グレイ
★ラッキーアイテム★ イラスト
★ラッキースポット★ フィットネスクラブ

廉貞星

全体運
アクティブに行動し、実行していくことで、実力が120%発揮できる運気。「ちょっと難しいかな〜」って感じることでも、勇気を出してどんどんチャレンジしてみよう。たとえ失敗しても、学ぶべきことがいっぱいあるハズ。

恋愛運
秘密の関係のカップルは、交際を祝福してもらえたり、親が認めてくれたり、認知された関係になれるチャンス。フリーは、恋人募集中をアピールして○。

勝負運 ネットや雑誌の情報に耳を傾けるとグッド。

健康運 服などで気候の変化に順応していこう。

金運 副業の誘いに乗ってみると金運UPの暗示。

★ラッキーカラー★ グリーン
★ラッキーアイテム★ パソコン
★ラッキースポット★ インターネットカフェ

文曲星

全体運
交際運が徐々にダウンしてくるので、人との関わりあいには注意が必要。特に年上の男性に対しては礼儀を重んじていくこと。たとえ、ムッとするようなことがあっても上手にご機嫌を取れば、逆に強い味方になってくれそう。

恋愛運
恋人に対して、わがままを言い過ぎると関係にヒビが入る予感。フリーも、偉そうな態度をすると嫌われそう。ジェントルマンを意識した交際を心掛けて。

勝負運 東の方角から攻め込むと勝負運UP。

健康運 人と比べて落ち込むのは×。精神的疲労に。

金運 意外な友達から思わぬラッキー情報あり。

★ラッキーカラー★ ラベンダー
★ラッキーアイテム★ 筆記用具
★ラッキースポット★ 書店

禄存星

全体運
[illegible]が輝きを与えてくれます。好調な運気に突入し、あなたの魅力が十分に引き出される時。それに伴い周囲の人も自然と味方についてくれる暗示。目標を立てている人は、アシストしてくれる人たちとプランの実行をして◎。

恋愛運
ターゲットに近付けたり、カップリングできたりと、今のあなたにはチャンスがいっぱい。フリーの人は、まずは出会いのスポットに繰り出してみよう。

勝負運 勝負の日の前はゆっくり睡眠をとるとグッド。

健康運 腕の筋を痛めやすいのでよくストレッチを。

金運 グループで行動をするとラッキーあり。

★ラッキーカラー★ ワインレッド
★ラッキーアイテム★ ヘアスタイル
★ラッキースポット★ カラオケボックス

巨門星

全体運
毎日を退屈に過ごしているあなたにとっては朗報。思いがけないハプニングが起き、刺激的なことにワクワクしそう。だけど、その出来事をただやり過ごすのはNG。それを良い方向に転換させて、実生活に活かしていくとグッド。

恋愛運
ちょっとしたことで「もう別れる!」なんて軽はずみなセリフは言わないで。あとになって悔やむことに。フリーは、その場限りのエッチには要注意。

勝負運 いつもと違うことをすれば勝負運がUP。

健康運 性病などの下半身の病気には気を付けて。

金運 友達と話をすることで収入を得るヒントあり。

★ラッキーカラー★ パステルカラー
★ラッキーアイテム★ 靴
★ラッキースポット★ 温泉

貪狼星

全体運
向上心が出る時。仕事でも格闘技でも、目標とする人を見つけてみよう。そうすることであなたの実力がUP。まずは、マネでもよいのでスキルを習得してみて。試合や仕事の実践の場で、必ず身に付いたものが役立つハズ。

恋愛運
恋人の欠点ばかり気になる時。でも、良いところも悪いところも受け入れていかないと交際は短期間に。フリーは、理想を下げれば恋人候補の出現。

勝負運 欲張ってはダメ。一点集中でいくとグッド。

健康運 毎日の安眠を心掛けるとパワーアップ。

金運 自己研磨に投資するならある程度OK。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ ポスター
★ラッキースポット★ 河川敷

⑫

青春とは時代の光と影を生きることだ

山本隆司

I remember you ……

…… I miss you

9月28日、私は生まれ故郷である山口県岩国市に帰った。この7月に亡くなった母の墓参りをするためだ。あわせて兄弟4人と食事をし、今後どうしていくのか話し合った。その結果、私が家にあった仏壇を引き取ることになった。

長男だから仕方がない。そうなると私は毎日、朝、起きると仏壇に手を合わせなければならない。まったく妙な気分だ。

故郷を捨て都会で生きることをいきがいにして、自由気ままにここまで生きてきたのに、まさか仏壇ごと父と母が私の所についてくるとは、思ってもいなかった。

私は自分の才能しか信じないポジティブなニヒリストである。それでいて偶然だけは誰よりも期待している他力本願が好きなのだ。

「才能」「偶然」「他力」は私の人生にとって三種の神器でもある。ここは天国にいる父と母が私の味方についた。私の守り神、守護神になったと思うしかない

そうであるなら私は仏壇に手を合わす。供え物もするつもりだ。お父さん、お母さんよろしく頼みますよという気分である。

今回、家に帰ってラッキーだったのは、私の若い頃の写真がいっぱい出てきたことだ。母がしっかり持っていたのだ。もちろん私はそれをみんな東京に持ち帰った。

実を言うと私の自宅にはそうした写真が一枚もなかった。バツ2の私にとって2度の結婚は、2回の青春を生きたことになる。

こんな幸せはない。最初は学生結婚。一枚だけ彼女とのツーショットの写真が残っていた。顔を寄せあって2人とも笑っている。もう30年前のものだからカラーではない。白黒写真である。

それをターザンTシャツとターザンバッヂを作ってくれた井上きびだんご君に見せたら「これって猪木さんと美津子さんじゃないですか?」と叫び声をあげた。

とにかく私と彼女の表情が抜群にいいのだ。どんな有名な写真家でも、めったに撮ることができないベストショットである。

きびだんごは「もし、今、自分のまわりにこんなカップルがいたら許せないですよ」とも言った。

見たかきびだんご! これがオレの青春の証明なのだ。青春における恋愛とは共に時代の光と影と気分を、共有しあうことで生まれてくる感情のことなのだ。

だから私にとっては大人の恋愛なんてクソ食らえである。恋愛はいつも〝ロミオとジュリエット〟でなければならないのだ。

きびだんごはさらにこうも言った。「山本さんにとって1回目の結婚は、第一次UWFみたいなものですね。第一次青春が終わり第二次青春も終わって、第三次青春はあるんですか?」。

第三次UWFが存在しなかったようにそれはない。UWFはその意味でプロレス界で、初めて青春という匂いを感じさせた。

前田日明と髙田延彦の2人か今となっては、UWFを青春として生きた象徴的人物といえる。前田日明はすでに引退。髙田延彦も11月24日『プライド23』の東京ドーム大会でラストマッチをやるという。新日本プロレスからUWFへと、彼も青春を2度、生きてきた人。私とは戦友かも。■

はみ出し ターザン情報

ターザン山本の「一揆塾」塾生募集中――大好評の「一揆塾」は、現在、毎週木曜日の19:30～21:00、場所は水道橋の闘道館で開講中。お問い合わせは☎03-3512-2080

〜お客様は神様です〜

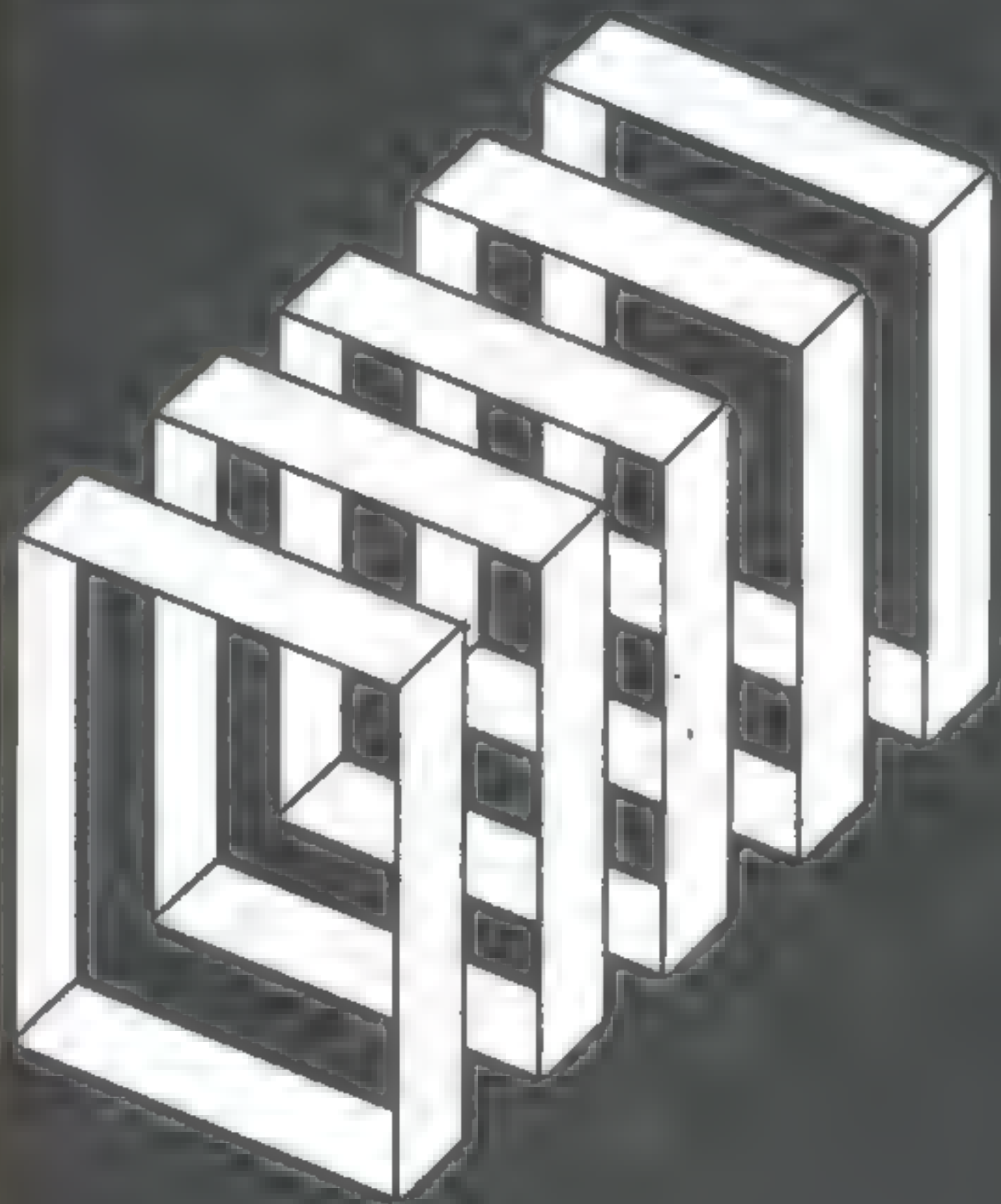
あぶもぐ

五月場所

2日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎中松モグタン

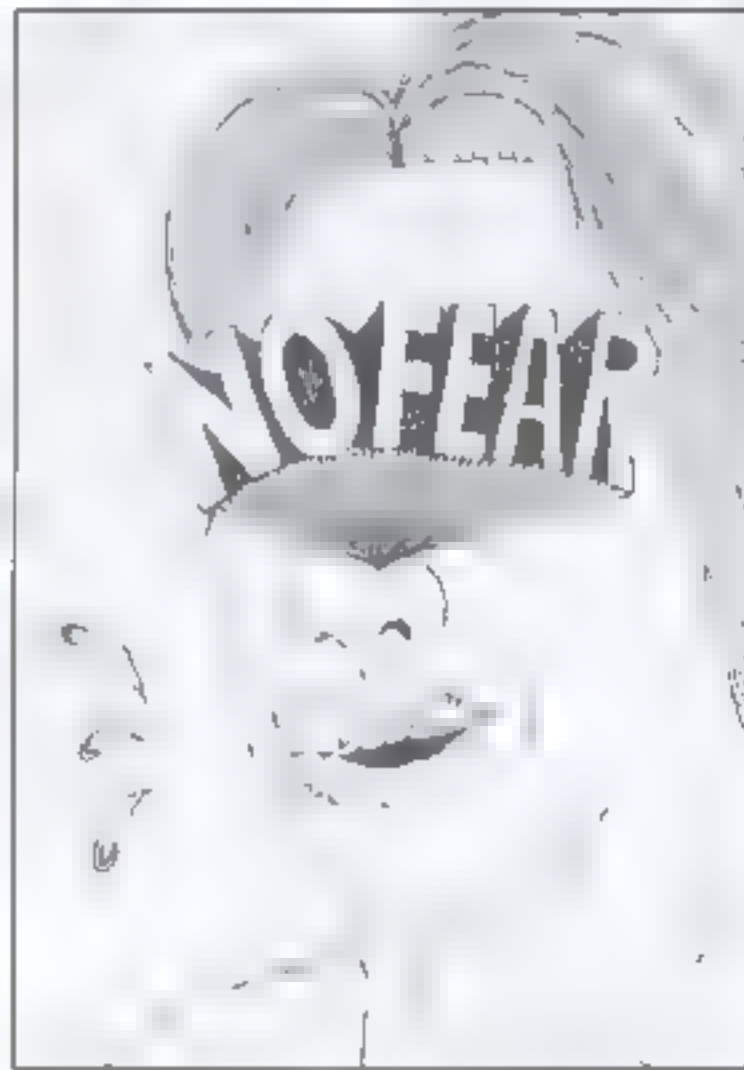
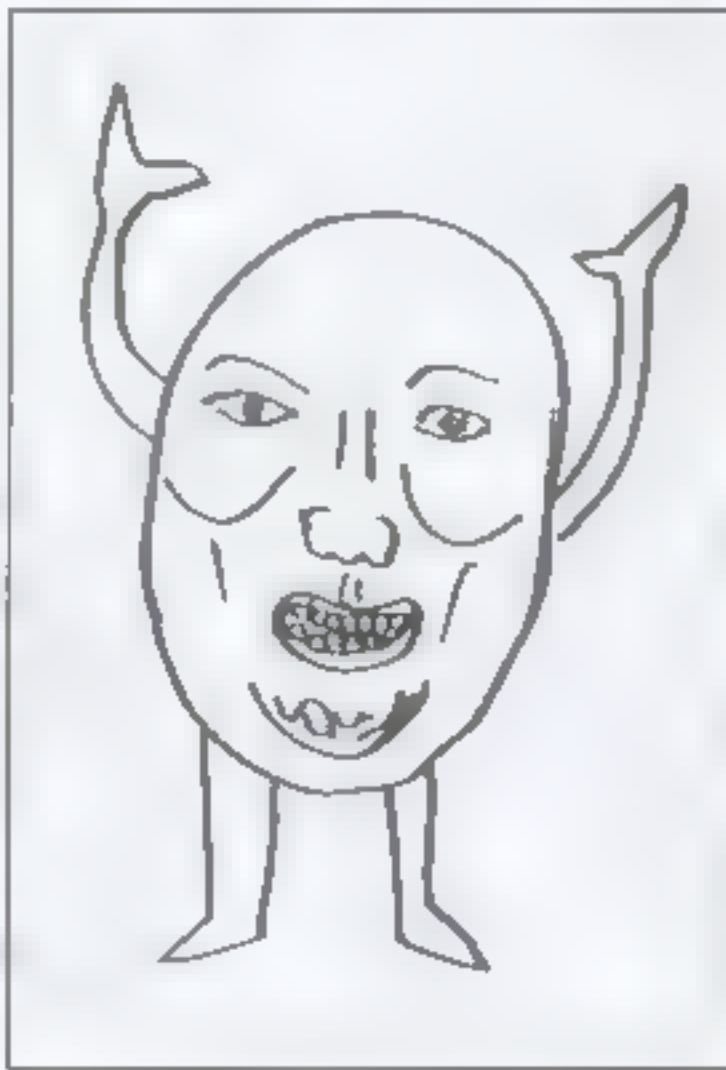
THE ALTERNATIVE WRESTLERS

NO.38 / Deev Finnley

ゴキータ vol.65

イラスト大特集！

私は今、円形脱毛症で悩んでおりますッ！情報求む！

▶（小川徹・埼玉県八潮市・17歳）
◆貴乃花のイラストを描いてきた小川君には懸賞金をあげたいくらい、感謝しております。

▶（本橋秀直・東京都羽村市・15歳）
◆コピィロフおじさんのイラストはなんでも許せる。

▶（桐田英治・？・？歳）
◆ツバを飛ばすな！

▶（ろっこつバキ夫・愛知県名古屋市・？歳）
◆誰のイラストか分からねえじゃねえか！

▶（井上大輔・神奈川県横浜市・？歳）
◆まともに書かれた武蔵はあまり見かけないので素晴らしいです。

▶（エリック・東京都江戸川区・17歳）
◆コーナーに書いてある「バイト」って何？

オイ、ターザン！　あんた、ボブ・サップと最強魂出てたやろ　顔が引きつっていたぞ。まあ、今のわしはミルコよりのってるからな　就職試験合格たから　ミルコはセフォーが強いからヘルニアとか言って逃げたんやけどな。ナイス、セフォーのインタビュー面白すぎ　サタハ谷川、何か変やと思ったら髪の色か違った。カッコイイよー　K－1　7番目より

（レイ・ロニーセフォー・岐阜県川辺町・17歳）

◆就職試験合格おめでとう！　サダハルンバ編集長の髪の色に今頃気が付いたなんて、遅すぎる！

K－1を7番目に知ってるとか言ってる「レイ・ロニーセフォー」に言いたいことかある！　おめぇ、あんまし調子に乗るなよ。7番目に知ってるくせして、レイ・セフォーがナンバー1とか言ってるのがおかしいぜ！　強いし面白い試合をするから好きだって？　そんなの最近じゃねぇか甘いんだよ！　デビュー当時こそノーガードとかで沸かせたけど、結局弱いじゃねぇかよ、戦績がよー！　フィリォとはほとんど接触なしのクソ試合ドロー。2000年のGPも決勝じゃ、ホーストに光を消されての負け　富平も言ってたけと、「足が痛てー」って言って、試合を投げ出すじゃん、よく。ボンヤスキーにもそうだし、根性なしだよ、セフォーはよー！　あとケガしすぎなんだよ。腰が痛てーだの眼窩底骨折だの。あとなんだよ、ベルナルド戦の腹巻きはよー！　あれじゃボディ叩く所ねーじゃんかよー

（エリック・東京都江戸川区・17歳）

◆このぉ！　7番目に知っているヤツがセフォー好きでもいいじゃねぇか！　でも、面白いから、もっと噛み付け！

9・22K－1JAPANで8番目の選手がX（エックス）と発表されていたので、僕は「きっと佐竹雅昭たよ！」と皆に言いふらしていました。おかげで「K－1を知っている男」ランキングが30番目ぐらい下がってしまいましたよぉぉぉ。やっぱXというからには超大物であってほしいです

（春名義行・兵庫県明石市・36歳）

◆それは残念でしたぁ。30番目の前は何番目だったんですか？

人妻と熟女揃い踏み！

モグタン、教えてください。「プライド」などで、今はシューズの着用が認められていますが、あのシューズのつま先って硬いの？　もし、素足よりもシューズを履くことでつま先か硬くなるのなら、これを武器に闘う人がでてきてほしいな。サバットのように、靴のつま先でホティに前蹴りしたら効くんじゃないかしら？　敵の目や鼻にまわし蹴りを当てれば、即ドクターストップになると思うんですけど……。もし、シューズのつま先が硬いなら、今くすぶっている佐竹さんに秘策として、伝授してあげてね。

（聖癖症の主婦・山梨県甲府市・25歳）

◆シューズは試合前にチェックされるので、つま先が硬くて危険なシューズは履けないと思います。さすがに、主婦の方は邪悪なことを考えますね。

あんな試合、アビディがかわいそう!!　それにターザンさんのコメントもアビディに冷たすぎです。だって、仕方ないじゃないですかぁ。ボブ・サップ、デカイんだもん　こうなったら、千代大海VSボブ・サップだな。ルールは「プライド」ルールで。見たい、見たいっ!!

（米光ゆかり・東京都練馬区・32歳）

◆デカイんだからしょうがねえじゃねえか！　でも、千代大海VSボブ・サップはのれるなぁ。サップのまわし姿が見たい！

★作品募集

「あぶもぐ」では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部「あぶもぐ」係

遂に、雌雄を決する時が来た！

極真空手
第34回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会

2003年極真世界大会の日本代表選抜を兼ねた第34回全日本大会が、11月2日（土）、3日（日）の両日、東京体育館で開催される。今大会の見どころは、ズバリ、木山仁と数見肇との頂上決戦。V3を狙い盤石の木山と4年ぶりに全日本出場を果たす数見の対決を見逃すわけにはいかない。

木山 仁か、数見 肇か 勝つのはどっちだ!?

今大会、久々に数見肇が全日本の舞台に帰ってくる。となれば、もちろん、注目はディフェンディング王者の木山仁との一騎打ち、頂上対決だ。

32回、33回大会と全日本連覇を果たした木山だが、それは数見の出場していない大会。周囲の評価は「確かに木山は強いけど、数見が出ていたら……」というものだった。数見との直接対決で勝利しなければ、〝王者〟として正当な評価を受けることができないことは木山自身も分かっている。当然、今大会に対する木山のモチベーションは並々ならぬモノがあるはずだ。

対する数見は、昨年6月の世界ウェイト制以来、約1年半ぶりの試合となる。1999年の世界大会決勝でフランシスコ・フィリォに敗れたとは言え、その実力は誰もが認める世界のトップで、昨年の世界ウェイト制も不調でありながら重量級を制し、来年の世界大会で王座奪回を目指す日本にとって欠かすことのできない存在であることを証明した。

しかし、その他の選手にしても、ただ二人を引き立てるために出場するわけではない。虎視眈々と二人の首を狙っていることはあえて言うまでもないだろう。

昨年3位の足立慎史、4位の市川雅也をはじめ、田中健太郎、門井敦嗣、御子柴直司、伊藤慎、そして昨年ベスト8に入った正道会館の加藤達哉、同じく正道の子安慎悟なども上位進出、優勝を狙う。

さて、木山VS数見の頂上対決は実現するのか？　木山と数見、どちらが全日本王者となり、来年の世界大会を迎えることになるのか？　来年の世界大会の代表選考も兼ねた今年の大会は、例年以上に熱く激しい試合が展開されることは間違いない。初日から必見だ！ ■

No.	氏名	身長	体重	年齢	段位	所属
65	市川　雅也	180	92	23	弐段	奈良支部
66	川畑　竜一	177	87	30	初段	徳島支部
67	本間　徹	172	89	30	弐段	京都支部
68	徳田　忠邦	180	100	26	初段	大阪南支部
69	夏原　望	178	90	22	初段	東京城南川崎支部
70	大木　大輔	176	73	26	初段	山形支部
71	水木　郁応	174	80	24	初段	秋田支部
72	宇多村　大介	188	100	27	初段	本部直轄新宿道場
73	鈴木　憲一	185	98	33	初段	本部直轄横浜桜木町道場
74	藤吉　真吾	175	84	26	初段	駿河支部
75	伊澤　寿人	174	80	21	初段	栃木県南支部
76	木立　裕之	169	77	30	参段	本部直轄浅草道場
77	高橋　恒治	178	96	30	初段	千葉中央支部
78	子安　慎悟	170	88	28	参段	正道会館
79	秋元　孝士	175	82	28	1級	本部直轄岩手道場
80	近藤　博和	180	125	32	初段	城西世田谷東支部
81	高久　昌義	177	90	31	参段	東京城南川崎支部
82	幸　龍敬	170	80	26	弐段	富山支部
83	金森　俊宏	183	78	24	弐段	兵庫支部
84	高本　潤一	180	92	30	弐段	総本部
85	洪　太星	185	89	21	2級	横浜港南支部
86	田村　文彦	175	90	34	初段	福島支部
87	菊野　克紀	170	76	21	初段	鹿児島支部
88	佐藤　誉仁	179	94	25	初段	城西世田谷東支部
89	内藤　慎也	185	90	28	1級	湘南支部
90	井野　真孝	170	83	26	初段	三重支部
91	林　輝明	178	96	27	初段	大阪東支部
92	瀬戸　哲男	174	85	29	初段	本部直轄浅草道場
93	小谷　徹	179	96	30	初段	山陰支部
94	西川　益生	173	91	27	初段	関西本部
95	安芸　晴康	166	68	28	初段	埼玉支部
96	池田　祥規	172	85	29	弐段	東京城西支部
97	池田　雅人	175	85	29	弐段	総本部
98	小山　慎太郎	165	64	27	初段	静岡西遠支部
[illegible]	村椿　秀幸	170	78	31	弐段	埼玉支部
100	杉山　史紘	174	88	34	参段	横浜北支部
101	東海林　亮介	175	76	22	初段	東京城南川崎支部
102	高橋　真次	173	87	28	初段	東京城東支部
103	船先　雄	174	80	22	初段	奈良支部
104	本多　悟朗	174	78	28	初段	城西国分寺支部
105	炭田　一敏	177	83	28	初段	湘南支部
106	木村　一狼	175	81	32	初段	茨城県古河支部
107	山川　知房	169	72	25	初段	千葉北支部
108	大塚　裕樹	175	78	28	初段	横須賀支部
109	住谷　統	175	90	28	弐段	兵庫支部
110	出畑　力也	180	97	30	初段	正道会館
111	谷口　誠	177	105	25	初段	大分支部
112	徳元　秀樹	180	110	29	弐段	横浜港南支部
113	塩島　修	162	70	27	初段	下総支部
114	石井　博裕	173	87	32	弐段	青森支部
115	別府　良建	174	85	21	弐段	鹿児島支部
116	森本　英輔	176	93	28	初段	長野支部
117	須田　敏文	176	87	23	初段	神奈川相模原支部
118	日比野　丈二	175	80	32	初段	総本部
119	三善　泰洋	169	80	34	初段	山口支部
120	長谷川　泰史	172	70	28	初段	本部直轄新宿道場
121	福井　裕樹	171	70	26	初段	本部直轄柏道場
122	小坪　功昌	163	74	25	初段	富山支部
123	樋口　恵士	177	90	25	初段	京都支部
124	尾崎　亮	165	68	31	初段	城西世田谷東支部
125	外屋敷　信宏	165	78	29	初段	大阪南支部
126	寺口　徹	174	86	24	1級	愛知東南知多支部
127	早田　信	170	80	29	初段	熊本支部
128	数見　肇	180	103	30	参段	千葉中央支部

優勝

No.	氏名	身長	体重	年齢	段位	所属
1	木山　仁	176	92	28	参段	鹿児島支部
2	池端　孝夫	177	80	24	初段	京都支部
3	平野　裕士	179	90	30	弐段	茨城県古河支部
4	倉田　尚彦	175	79	26	初段	兵庫支部
5	加藤　邦顕	174	75	25	初段	東京城北支部
6	伊原　純	169	75	32	初段	山陰支部
7	平尾　敏也	173	74	26	1級	長野支部
8	西村　直也	163	65	38	弐段	東京城西支部
9	進　裕治	176	85	31	初段	城西世田谷東支部
10	飯田　孝久	175	70	27	初段	千葉中央支部
11	加藤　達哉	187	98	26	初段	正道会館
12	藤田　雅幸	180	90	27	初段	石川支部
13	加藤　一博	172	80	33	弐段	横浜港南支部
14	ホスロ・ヤクビ	172	80	34	五段	本部直轄浅草道場
15	冨田　好志	177	80	20	初段	愛知東南知多支部
16	門井　敦嗣	176	92	29	初段	下総支部
17	市村　直樹	175	88	35	参段	城西下北沢支部
18	久住　智洋	167	70	30	1級	青森支部
19	幸田　敏明	182	78	27	初段	奈良支部
20	本間　唯志	170	80	30	参段	総本部
21	竹石　修	172	87	32	参段	千葉中央支部
22	秋本　勝宏	180	80	26	初段	富山支部
23	田ヶ原　正文	162	69	36	弐段	大阪南支部
24	田村　隆行	173	88	32	弐段	城西世田谷東支部
25	野加　久詞	175	82	23	初段	城西国分寺支部
26	櫻井　貴光	177	84	26	弐段	群馬県東支部
27	菅野　秀行	173	90	29	初段	東京城南川崎支部
28	渡邉　秀則	188	105	28	2級	広島西支部
29	戸田　直志	168	72	33	参段	神奈川相模原支部
30	佐藤　正博	178	90	27	初段	千葉北支部
31	今井　勇一	166	70	34	弐段	愛知県尾張名古屋支部
32	伊藤　慎	173	77	29	弐段	総本部
33	田中　健太郎	180	85	21	弐段	横浜港南支部
34	成田　薫	168	95	25	初段	秋田支部
35	森村　謙信	180	90	20	初段	奈良支部
36	辻本　諭	173	83	25	弐段	総本部
37	斉藤　友康	168	82	23	初段	千葉中央支部
38	上原　慎二	168	85	25	初段	東京城東支部
39	棟本　泰樹	177	75	32	初段	徹武館
40	成田　武治	170	80	37	四段	本部直轄横浜桜木町道場
41	山辺　光英	182	98	28	弐段	東京城西支部
42	赤羽　一之	173	81	29	初段	栃木県南支部
43	村田　達也	173	79	20	初段	埼玉支部
44	上原　秀雄	175	88	25	初段	大分支部
45	菅野　哲也	180	88	27	初段	東京城南川崎支部
46	生川　智大	169	81	24	初段	三重支部
47	渡辺　猛	173	78	32	弐段	静岡西遠支部
48	松岡　朋彦	172	67	24	弐段	兵庫支部
49	御子柴　直司	177	88	27	弐段	横浜東支部
50	中田　功章	173	73	27	初段	富山支部
51	宮崎　清孝	171	79	29	初段	山口支部
52	入澤　群	180	100	29	四段	総本部
53	矢島　真保呂	180	90	31	初段	東京城南川崎支部
54	高尾　正紀	175	100	32	弐段	大阪東支部
55	小野瀬　寧	178	94	31	初段	千葉北支部
56	金久保　典幸	167	82	26	1級	城西世田谷東支部
57	大谷　善次	170	79	33	弐段	城西国分寺支部
58	小竹　一也	182	90	34	初段	茨城県古河支部
59	渡部　篤	175	94	30	弐段	愛媛支部
60	福田　達也	168	74	32	参段	西湘支部
61	中川　正士	186	86	27	初段	大阪南支部
62	小野　篤史	161	65	26	初段	京都支部
63	前田　誠	175	90	25	2級	福井支部
64	足立　慎史	180	95	32	参段	本部直轄浅草道場

11・30横浜文体 鈴木みのるVSライガー決定！ "パンクラスルール"の謎？

ドリームカードの真実を考えてみると……？

▲対戦表明を受けた鈴木は複雑な表情。「おまえの気持ちを受け止められるのはオレしかいないだろう。だからおまえもオレの気持ちを受け止めてくれ」というライガーの言葉にも、返事を保留した

9月27日、パン…で行われ…プロレス・上井取締役が…健介戦中止の発表。そし…

A　鈴木みのるVSライガー戦が正式決定したんだって？

B　11月30日のパンクラス横浜文体大会。年内最後のビッグマッチで鈴木VSライガーというカードが決まったのは、パンクラスにとって大きいだろうね。ただ、謎の部分もあるわけだけど。

C　そうですか？　純粋に楽しみですけどねぇ。

B　いや、もちろんいいカードだし、楽しみなのは間違いないんだ。ここ数年、シビアな総合格闘技路線が続いてきたパンクラスだけど、これはドリームマッチと言える珍しい顔合わせだしね。だけど、そこに「どうしてこうなったの？」と考えてしまう要素もあるってこと

A　まず、この試合はどういう経緯で決まったの？　最初は鈴木VS佐々木健介戦ってことだったよね？

C　発端としては、5月の新日本30周年のドーム大会なんですよ。そこで鈴木と健介が再会して、「いつか、お互いメインを張るようになったらまた闘おう」っていう約束に実現の見込みが出てきた。

B　若手時代の鈴木と健介の試合は、新日本の前座戦線を沸かせまくった名勝負だったからね。

C　そして新日本とパンクラスが正式に交渉、一度は10・14新日本ドームでやるということになってたんです。

A　その時に尾崎社長が「総合格闘技のルールで」と言って話題になったわけか。

C　実際、パンクラスの会場に木村健吾が顔を見せたりして、「これは間違いないな」と思ったんですよ。それが、9月になって状況が変わってきたんです。まず13日の会見で、延期の発表。これは10・14新日ドームが「正規軍VS外敵軍団」を中心にすることになって、そこに健介も加わるから、という理由でした。それで、新日本の上井取締役から「次のパンクラスのビッグマッチはいつですか？」ということで、11・30横浜で、改めて鈴木VS健介戦をという話が、尾崎社長から発表されたんです。

A　それが、ここにきてまた状況が変わったわけだね。

C　9月27日にライガーと上井取締役がパンクラスの事務所を訪問して、健介が出場できなくなったと報告。そしてライガーが名乗りを上げたというわけです。「ここまで練習してきて、ただ「中止です」じゃ済まない。健介の代わりというわけじゃないけど、鈴木の気持ちを受け止められるのはオレしかいない」と。ルールもパンクラスルールでいいと言って、実際そうなりました。ちなみにマスクに関しては「マスク禁止ってルールはないんですよね」って尾崎社長が言ってました（笑）。

B　あと、オープンフィンガーグローブを着けると掌底が出せないのも問題だね（笑）。それにしても、やっぱり不思議だよ、これは。まず、なんで健介が出なくなったのか。

C　足を負傷した、というのが理由ですね。充分な練習ができない、と。

B　だけど、10・14新日ドームには出るわけだろ？

A　長期欠場ならともかく、そうなるとプロレスマニアは額面どおりには受け取らないんじゃないかな。

B　これは完全に噂というか、憶測だけ

ど、考えられるのは、
①健介がガチンコを嫌がった。
②新日本が、健介が負けるリスクを嫌った。
③健介はやる気だったが、会社側か全体の統率を取るために個人的な闘いを許さなかった。
という感じかな。

C　でも、結果的に健介じゃなくライガーになりましたけど、それはそれで楽しみですよね。ライガーは〝藤原教室〟の優秀な教え子だったし、骨法をやったりして昔から格闘技的なセンスを評価されてましたから。普段は楽しいプロレスをやっていても、いざ潰し合いというか、ケンカ腰になった時のライガーは怖いって言われてますよね。「いざという時のナイフを隠し持っている」って。それがパンクラスルールの試合で見られるんだから楽しみですよ。

B　うん。ライガーのガチンコっていうのは、たしかに見てみたいものではある。ただ、ライガーがガチンコの試合に踏み出すんだったら「プライド」に出るのが自然なんじゃない？

A　これまでも藤田、安田、高山、それに石澤（カシン）と、新日本と「プライド」のクロスオーバー現象はたくさんあったわけだからね。永田だって、DSEが仕切る〝猪木祭り〟に出たし

C　それはやっぱり、若手時代からの友情ってことなんじゃないんですか？　ライガー、船木、鈴木の3人のつながりには、特別なものがあるんですよ。会見でも、ライガーは「今でも鈴木とはホットラインがあるし、（ライガーの家がある）九州に来た時には、一緒に食事をしたりプロレスを見に行ったりする仲」だって言ってましたよ。そういうことからも、「健介が出ないならオレが！」ってなったんだと思いますけどね。そういう意味では、他の新日本のレスラーじゃなく、ライガーが鈴木とやるからこそグッとくるんですよ。

B　なるほどね。でも仲が良ければ、逆にVTみたいな闘いはやりにくいんじゃないかな。「LEGEND」の藤田vs安田もそうだったじゃない。

A　だから鈴木vs健介にしろ、鈴木vsライガーにしろ、新日本のリングで、純プロレスのスタイルで見たかったって感じもあるよね。それこそ若手時代みたいなバチバチやり合う試合を。

B　じゃあ鈴木が『魔界倶楽部』に入って、10・14新日ドームで健介とやれば良かったのか（笑）。

C　それはさすがに無理でしょう（笑）。鈴木としては、新日本を辞めて、UWF、藤原組、パンクラスと流れて、そこでやっと作ったのが自分たちのやりたいスタイルだったんですから。それを曲げるつもりはないみたいですね。健介戦の話が出てきた頃にも「格闘技でやるのか、プロレスでやるのか？」という質問に「これ（パンクラスのスタイル）がオレのプロレスだから」って言ってますし。

B　それはそうだろうけどね……　やっぱり一番の疑問は、なんで新日本のレスラーがパンクラスのリングで、パンクラスルールでやるのかってことだよ。普通に考えたら「新日本のメリットはなんだ？」ってことになるじゃない。

A　そう。鈴木vs健介の話が浮上してきた頃に、東スポ紙上で〝新日本vsパンクラス対抗戦〟って記事があったでしょ。大学時代、ラグビーでライバルだった鈴木健想vs謙吾の試合まで含めた形でね。さすがの東スポでも（笑）、なんの根拠もなくそんな記事を載せるわけないからね。単なる〝友情マッチ〟という以上の話なんじゃないかな。

新日本にはどんなメリットがあるのか？ 気になる『LEGEND』＝川村社長の存在

B　そうなると気になるのは、川村社長の存在だよ。

C　川村社長って、『LEGEND』のですか？

B　そう。川村社長は、新日本プロレスの取締役でもあるんだよ。だから川村社長が新日本とパンクラスの間を取り持ったとしても不思議ではない。あくまで想像だけどね。

A　『LEGEND』とパンクラスは提携関係にあるでしょ。で、川村社長が言うように、今後も『LEGEND』を続けていくんであれば、パンクラスとの関係をもっと強固にしておいたほうがいい。ということで、川村社長がパンクラスの興行テコ入れに一肌脱いだというね。ライガーを出すことで、また次の『LEGEND』にパンクラスの選手が出せるじゃない。もしかしたら、菊田vsノゲイラの交換条件だったんじゃない？

C　でも、それって、新日本に得なんですか？（笑）

B　本当のところは分からないけど、こういう考えがいのある、深読みしたくなるカードがあるってこと自体がいいんじゃないかな　格闘技の世界って、ともすれば〝カードを組みました、やりました、内容や結果は真剣勝負だからどうしようもないです〟っていう試合が多くなりがちだからね。そのカードの意味付けを考える気にもならないというさ（笑）。その中で、パンクラスが鈴木vsライガー戦にこぎつけたのは評価していいよ。

C　試合そのものに関しては、凄くのれるんですよね。鈴木もめちゃくちゃモチベーションが上がってますし。乗り込んでいくライガーの男気もカッコいいじゃないですか。

A　日程的には11月30日ということで、11・24『プライド』、12・7K－1と二つのドーム大会に挟まれる形になったけど、頑張ってほしいね。ここがパンクラスの底力の見せ所になると思うよ。■

こうして決まった！ 夢対決の経緯

▲会見に先駆け、パンクラス事務所の社長室で会談した尾崎、ライガー、上井の三者　この時、鈴木は階下の道場で若手と練習していた

▲みのるが「これまで上がってきた他団体とはスタイルが違いますよ」と言えば、ライガーも「当然！　やるならパンクラスルールで充分！」。健介の代わりではなく、自分自身か闘いたいんだ、とライガーは強調した。試合を受けるかどうかは、9・29パンクラス横浜大会で発表されることに

▲そして迎えた9月29日、鈴木はリング上で「（ライガーの）目を見て体か震えたっていうか、最後の新日魂を見たような気かして……11月30日、ここ横浜文化体育館で、獣神サンダー・ライガーと闘います！　ルールはパンクラスルールで。以上！」と挨拶。コメントブースでは「体調が万全じゃない弱気な健介なんかと闘って勝ってもしょうがない。気持ちの切り替えはてきました。相手を光らせるのがプロレス」というライガーと、「相手の光を消す」僕との闘いてす」と語った

編集後記

◎なぜ、デザイナーの僕がここに文章を書いているのか？　なぜ、ショップ店員希望だった僕がデザイナーをやっているのか？　そもそも僕はいったい何をやりたいのか？　まわりを見れば、ライターはペンを握り、カメラマンはカメラを握り、格闘家は拳を握りしめている。これから僕は何を手にしていくのか…　とりあえず12・9メロン記念日ファーストコンサートにチケットを握りしめて行く、絶対！　（野尻）

◎ん～、ダイナマイッ！　先々週に発売された『FRIDAY』に掲載されていた小池栄子と坂田亘の熱愛発覚の記事　実は私は、2人が初めて会ったZERO－ONEの後楽園ホール大会で、頼まれて2人のツーショット写真を撮っていたのだ。その写真は坂田選手の希望で道場に郵送している。小池栄子が衝撃告白をするなら、その写真もクレジット入りで掲載してほしかった。そこの部分が実に残念！　（小松）

◎こういう仕事をしてると、たまに映画の試写状をいただいたりする　元々が映画好きだからホントに嬉しいんだけど、中でも今、一番観たいのが『シベリア超特急3』！　水野晴郎監督！　三田佳子復帰作！　ぼんちゃんも出てる！　ラストはやっぱりドンデン返しか!?　今の締め切りが終わったら絶対観に行くぞぉ！……というわけで、今回は非常に高いテンションで原稿を書くことができました。　（橋本）

◎前号の特集て、今回のアジア大会に出場した柔道選手を何人か取材していたこともあって、期間中はNHKの夜の放送を楽しみにしていた。本誌で紹介した100キロ級の鈴木桂治、90キロ級の矢嵜雄大、そして無差別級の井上康生は揃って優勝　中でも井上は切れ味鋭い技で全試合一本勝ち、惚れ惚れするほどだった。娘はまだ小3だけど、娘の婿にはこんな男がいいなぁ。また20年は嫁に出すつもりはないけど　（林）

◎フジテレビのプロレス新番組『WRESTLE－1』は強烈に面白い番組だった。あそこに登場した、武藤、石井館長、猪木さんの会話については、受け手のスタンスによって大きく変わってくるだろう。それだけに語るべきテーマも多い。『Dynamite!』で究極の他流試合を見せつけられたと思ったら、今度はバリバリの純プロレスにファンの興味が注がれはじめている。だからこの世界は面白いのだ。（谷川）

◎とにかく精力的に生きる。1日、1日を全力投球する。今（56歳）の私にはそれしかない。10月中旬に『感情武装Ⅱ、プロレス、元気ですか』という本を出す　月末には『往生際日記』の続編が出る。読者のみなさんには日記を書くことをすすめる。日記とは自分の中に"もう一人の自分"を持つことなのだ。そうして自分を見つめろ。他者を見つめろ。世界を見つめるのだ。自分から決して逃げるな。押忍。（山本）

SRS・DX EDITOR'S TALK 裏事情

編集部トーク

どうなる？　大晦日『イノキ・ボンバイエ』？

A　今、マット界はボブ・サップが大人気！　これほど短期間にブレイクした選手もいないよ。本当はK－1にミルコが出なかったのは大きな痛手になるはずだったけど、サップVSホーストで全然忘れ去られているから驚き。それればかりか、新日本のドーム大会が苦戦するや猪木さんが直にサップをK－1側にオファーしてきたし、新生・全日本プロレスの『WRESTLE－1』の切り札もゴールドバーグじゃなくサップだと言われている。K－1、プライド、新日本、全日本というメジャー団体を渡り歩く、サップはまさに史上最強のジャンル荒らしだね

C　たしかに今年は吉田秀彦や魔裟斗がブレイクしてますけど、サップはそれを上回る活躍をしてますね。1年前まで格闘技は何もやってなかった男がここまでやるとは、ホント前代未聞の快挙ですよ

B　まぁ、たけど逆に言えば、これほどのオファーがあるからこそサップの使い方は難しいよなぁ。サップはまだまだK－1ルールに不慣れなところがあるし、プロレスで言えば、新日本と全日本では別のアングルが進行することになる　高山かそうだったように、メジャー団体を渡り歩く男は、団体間の政治的な駆け引きの部分でも難しいよ

A　団体間の駆け引きと言えば、今年は『Dynamite!』でも驚いたのに、なんとプロレス界でも『WRESTLE－1』という新たなソフトが出現してきた　これは、マット界にまた新たな衝撃が走るよ。

B　『WRESTLE－1』については、石井館長がプロデュースに乗り出すことになっているけど、これはどういうことかというと、プロレス界に近代的なビジネス構造が持ち込まれるっていうことだよ。プロレス界では、新日本や全日本でさえ昔ながらの興行形態か続いていて、テレビ局やスポンサーとの連携がうまくとれていない　実は格闘技に逆転された一番の理由はそこにあるからね　そこに石井館長か乗り出すというのは見ものだけれど、果たして村社会のプロレス界がどう受け入れるかだろうな。

C　プロレスは地方では地元のプロモーターに売り興行をして買ってもらったり、ビッグイベントでも"チケット"を一般に売り出すというよりも、"キップ"を手売りするという発想が今も残ってますからねぇ

A　以前、『ZERO－ONE』の『真撃』がステージアと組んで、格闘技のようなビジネス構造を作ろうとしたんたけど結局うまくいかなかった。その理由はやっぱりレスラーのコントロールができなかったからだと思うよ。石井館長はその点、ソフトにまで手を加えるタイプ　それに対し、武藤ら全日本プロレス勢がどれだけ懐の大きさを見せられるか？　俺は一番その部分に注目しているんた

B　たしかに『WRESTLE－1』は新たなビジネス構造の構築という意味では期待できるけど、やっぱり問題は何をやるかということだよ　さすがに石井館長もプロレスのソフトに手を出したことはないからね　プロレスは格闘技以上にソフト作りが難しいジャンルだから、そこは心配も多いよ。

C　武藤も石井館長も、共通した基本的な考えは、プロ格じゃなく「最高のエンターテインメント」なんですよね

B　それを聞くと、WWEスタイルを思い浮かへるけと、それを100％めざしてもダメだと思うんだ。やっぱりどこかでジャパニーズ・スタイルをうまく取り入れないと。かといって、格闘家が多数出場するといっても、2年前に大阪ドームでやった『イノキ・ボンバイエ』のようなスタイルでもダメだと思うんだ。じゃあ、どんな新しいプロレスを提示できるか？　勝負はそのへんになってくると思う。

A　それにしても、他の団体は早くも戦々恐々たろうね　特に猪木さんがどう出るかは見もの。フジテレビで放送された『WRESTLE－1』の第1回放送分のラストに猪木さんが出てきたけど、明らかにあれはガチンコで怒ってるもんなぁ（笑）。

B　いや、あそこに猪木さんか出てきたことで、すでに水面下では手を結んでいるんじゃないかという声もあるよ。

A　それは今のところまったくない。石井館長は武藤に「猪木さんも巻き込むへきた」と助言してたけと

C　じゃあ、年末の『イノキ・ボンバイエ』はどうなるんですか？　石井館長と全日本プロレスが合体したら、「猪木軍VSK－1」の第2弾は難しいでしょう。そうなると、猪木軍側はまた『LEGEND』のようなことを考えてくるんですかねぇ。

B　『ボンバイエ』については、現在のところ、まったくの白紙。いやぁ～、その意味で今後のプロレスも楽しみだよ。■

SRS・DX
次号の発売日は
10月24日（木）です
特集：どうなる11・24
「PRIDE.23」東京ドーム大会！

発行・発売：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8859（販売
協力：フジテレビジョン／フジテレビ

株式会社ローデス
101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445（編集）

発行人：濱實主水　編集人：谷川貞治
DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su・plex、濱口真穂
小林善夫、2in1、ナール企画、NORTON、野尻

激闘を制したK-1ジャパン王者

武蔵が大宣言!!

やっぱりお前が王者だ!!

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮　影◎中島ミノル

K−1ジャパン史上に残る激闘だった9・22ジャパンGPを乗り越えた武蔵。優勝後の号泣がこの1年の苦しさを如実に物語っていた。苦手とした打ち合いにも行って、さらに自信を深めた彼がK−1ワールドGPに向けて勝利宣言をブチ上げた！

[illegible]決勝戦の武蔵VS中迫戦でも2人は激しく打ち合った

今回のジャパンは終わった後、みんなヒドい顔になって(笑)

——K-1ジャパンGP3度目の優勝おめでとうございます! よっ、このスリータイムズチャンピオン!(笑)。

武蔵 ありがとうございます!(笑)。

——もう今回の大会はジャパンGP史上に残る熱い闘いの連続でしたね。

武蔵 終わったあと、みんなヒドい顔してましたね。ボロボロでした(笑)。特に富平はそのまま病院に直行したようですけど、やっててよく立ってるなって。

——富平さんの気迫は凄かったですね。

武蔵 正直、試合前からずっとオレを睨んでて、「コイツやる気だな」って思ったんですけど、あれだけ出てくるとはさすがに予想はしてなかったんで。

——でも、富平さん、よく倒れなかったですね。ヒザ蹴りがガンガン入ってたと思うんですけどね。

武蔵 いやぁ、逆に僕のヒザはエライことになってますからね。10センチぐらい足の太さが違うんですよ(笑)。だから、倒れなかったのは富平の意地かなと。僕も相当もらってたんで行くに行けないところがあったんですけど。

——セコンドの宮本さんが相当怒ってたみたいですね(笑)。

武蔵 怒ってましたね。特に富平戦は「いま行かないでいつ行くんや―」って。でも、こっちは怒られてても「ボーッ」としてましたからね。効いてたんで(笑)。

——右から左に素通りですか(笑)。

武蔵。もう、「はぁい」って言ってただけで(笑)。僕ももらってたんで、次にもらったら倒れるかもしれないっていう恐怖感がありましたね。

——お客さん的には「もう倒せるだろう」って思ってるんだけど、武蔵さんは「オレだって倒れそうなんだよ」と(笑)。

武蔵 「もう来るなよ」って思っちゃいましたからね。「レフェリー止めてくれよ」って(笑)。金先輩がずっとタオルを投げるタイミングだけを計っていたらしいんで、「早く投げて」って思ってたんですけどね(笑)。

——基本的に打ち合い苦手ですよね(笑)。

武蔵 基本的に僕の闘い方じゃないんで(笑)。

——とはいえ、その後の中迫戦も打ち合いに行きましたね。

武蔵 凄い手数たったですね。中迫もチャンピオンになりたいっていう意地もあったろうし。オレもチャンピオンに返り咲きたいっていう意地もあって、その意地がぶつかりあったんでしょうね。

——最後は2人とも泣いてましたね。

武蔵 意味合いは違いましたけどね。ホントに悔しがって泣いてるのと、ホントに嬉しくて泣いてるのと(笑)。

——天と地の差(笑)。でも、この一年の心境があの涙で全部見えましたね。

武蔵 ニコラスに負けたあと悔しい思いをして……。そこから這い上がろうとしたらどうしても今までのような試合をしてちゃダメだって思って。それで、他流試合とか、看板をかけた闘いを経験して、弱いところを払拭しようとやってきたんで、それが良かったかなって。

——顔をクシャクシャにして泣くほど追い込まれていたのかよって。ホント、気持ちを外に出しませんよね(笑)。

武蔵 基本的にあんまり悟られるのが嫌いなんで(笑)。

——で、とりあえず、今回のジャパンの感想は、武蔵さんはやっぱり打ち合いに向いてないなってことですよ(笑)。

武蔵 そうなんですよ(笑)。でも、今回は違う自分を見せようと思ってたんで引くつもりはなかったですね。ちょっとリスクを背負いますけど、勝つこだわりよりも勝ち方にこだわろうと思って。

——苦手なことをあえてやって。

武蔵 武蔵流=アウトボクシングだって思われてるんですけど、そんなことはないっていうのも心の中にずっとあって。それを見せなきゃいけないってのがあったんで、違う部分は見せられたかなって。

——結局、武蔵さんの場合は、常にワールドGPでどう勝ち抜くかまで考えているというか、それを望まれるんですよね。

武蔵 だから、ワールドGPでは、武蔵流の中に打ち合いもできれば、もっとスリリングな展開ができるかなって思ってるんですよ。まあ、危険を冒す時っていうのは必ずあると思うんで。やっぱりワールドは一種ハンディキャップマッチみたいなデカい相手ばっかりですからね。

——倒せとか言うけど、お前がやってみろって言いたくなるでしょ(笑)。

武蔵 う~ん(笑)。まあ、リスク冒し

激闘を制したK-1ジャパン王者

武蔵が大宣言!!

打ち合いって向かないですね？ はい、そうなんですよ（笑）

てでも倒しにいけよって言われても、そのリスクを冒したら終わっちゃうんだよっていうような試合は経験してきたんで。

――レイ・セフォー戦のKO負けとかね（笑）。

武蔵 あの時はフェイントも出さずに攻撃して、もらっちゃって。やっぱり苦手なことはしないほうがいいなと（笑）。

――つくづく思ったと（笑）。打って出ないっていうのも戦術ですからね。でも、ファンもマスコミも勝手ですから。

武蔵 どうしても玄人にウケる闘い方なんで（笑）。でも、やっぱり分からせるまで追求しないといけないって。

――十分に追求しましたよ。

武蔵 今回のジャパンでの闘いで理解してもらったと思いますけどね。

――やりたくない打ち合いをよくやったと思いますよ（笑）。

武蔵 ありがとうございます（笑）。本来、僕は打たれ強いほうじゃないんで。まあ、今回は日本人だから耐えられたっていうところがあると思うんですけど、外国人だったら終わってたかもしれない。本当に無茶はできないんですよ。だけど、今回は無茶してなんとか優勝できたんで（笑）。

――じゃあ、今回のジャパンでは凄く得るものがあったんですね。

武蔵 それに地元での試合っていうのもありましたしね。大阪のファンってシビアじゃないですか（笑）。

――熱いモノを望みますよね、金出してる以上は（笑）。

武蔵 やっぱり納得させるにはそれなりの試合をしなきゃいけないっていうのはありましたし。大阪でチャンピオンになって、しかもお客さんに拍手喝采してもらうのは相当難しいと思うんで。

――でも、決勝戦が終わってもみんな帰らずに、拍手してましたからね。

武蔵 だから、やった価値はあったかなと思いましたよ。

――思いますよ。K―1ジャパン史上最高の大会だったと思いますね。

武蔵 みんな頑張ったと思いましたけど。

――何をカッコイイこと言ってるんですか（笑）。武蔵さんはホントに頑張りましたよ。

武蔵 いや、藤本祐介が大石さんをKOしたのは驚きましたよ（笑）。

――あれはビックリした（笑）。

武蔵 藤本はバテてもパンチだけはありますからね（笑）。だから、選手全員、必死だったのが良かったと思うんで。

――で、ワールドの話ですけど、前にインタビューした時に判定でいいから勝ってくださいっていうことを言ったと思うんですよ。それは、武蔵さんのやり方、武蔵さんの性格、そしてワールドのメンツを考えれば、KO勝利を望むより、勝つことを優先させたほうがいいだろうって思ったからなんですね。

武蔵 そうですね。ワールドっていうのは無茶をすればいい大会じゃないと思うんですよ。最高のレベルが集結してると思うんで、その中で一人で無茶をやって目立ってもしょうがない。やっぱり、その中では柔よく剛を制すじゃないけど、技術の試合をしないと勝てない世界ですし、それが一番大事かなと。

――ファンが一番望んでることはまずは勝ってくれることだと思うんですよね。

武蔵 ワールドの場合は何がなんでも勝つっていうことが目標ですから。相手がデカいヤツばっかりなんで、見てるお客さんはKOすれば沸くと思うんですけど、まずは勝つことだと思うんで。

――だから、判定でもいいから勝ってっていうのはなんかレベル落としたような感じかもしれないですけど、実際のところ玉砕して華々しく散ることができないんで結構厳しい選択だと思うんですね。そこだけは誤解してほしくないなって。

武蔵 ファンにしても、もう「玉砕すればいいよ」っていう甘い目はないと思うんで、だから勝ちたいんですよね。まあ、決勝うんぬんっていうことよりも1回戦を勝てば「やってくれるんじゃないか」っていう期待感を持ってくれると思うし、自分も勢いに乗れると思うんで、まずは1回戦を上がればいいなって。

――そこからですね。それで最終的には僕らを嬉しい驚きに包んでほしいですね。

武蔵 1回戦に勝って勢いに乗って（笑）。

――KOを過剰に期待するなと。

武蔵 KOは期待しなくともKO以上に楽しい試合をしてやるぜと！

――パーフェクトです！（笑）。で、最後に今放送されてるCMなんですが、にこやかな顔して男のTシャツを脱がす武蔵さんの姿には驚かされました（笑）。

武蔵 野性味溢れるゲイ的なキャラで（笑）。

――かなりヤバイですね、男の身体に頬をすり寄せたり（笑）。

武蔵 いや、監督さんが見本でやった演技がホントにヤバいんですよ！「はぁはぁはぁ白い！ 気持ちいい」って白目剥いて（笑）。

――ところで、大丈夫ですよね（笑）。

武蔵 僕は大丈夫です。キックとかやる人間にホモはいないんで。女にモテたいってところから入るんで（笑）。

――安心しました（笑）。■

タレント・アニメ・スポーツ選手・アートまで豊富に揃えてます

送料／何本でも 525円 沖縄・離島は1050円

2003年カレンダーカタログ無料進呈中!!

2003年人気キャラクターカレンダー361種類!!

click here! http://www.kikki.co.jp/ click here!

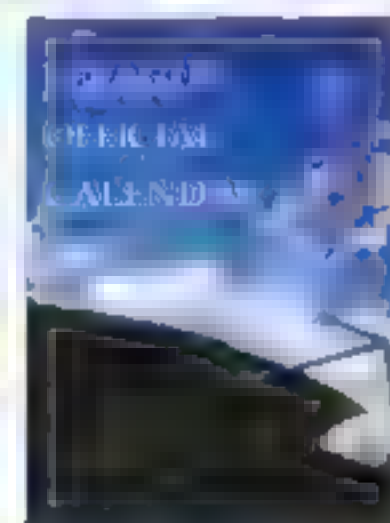
ご注文・カタログ請求：キッキホームページ・FAX・E-mail・TELで受付中!!

表示価格には消費税が含まれております。 制作の遅れで写真、仕様等が変更になる場合があります。 商品のお届けは制作の都合上、日数がかかる場合もあります。

〈CL-331〉新日本プロレス ￥1260 B3(13枚)

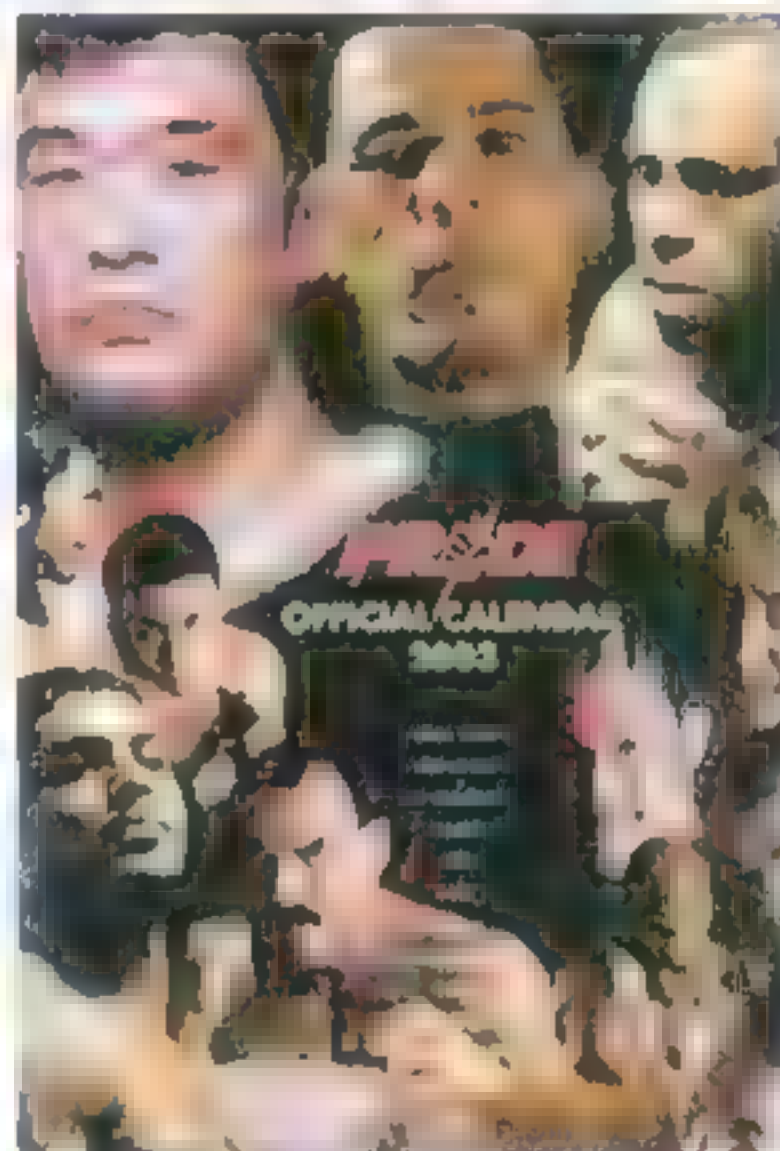
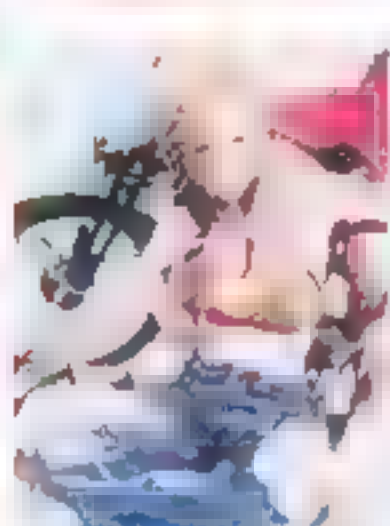
〈CL-317〉柳沢 敦 鹿島アントラーズ ￥2100 B2(7枚)

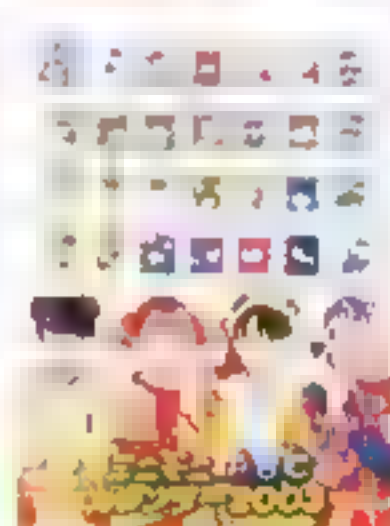
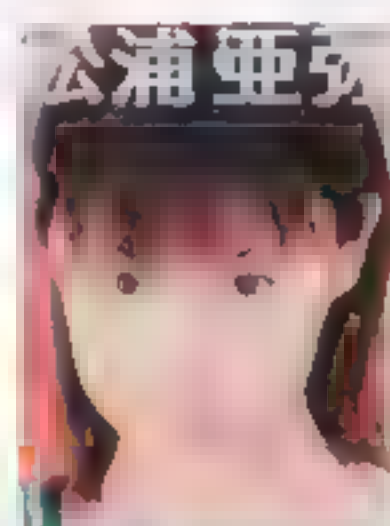
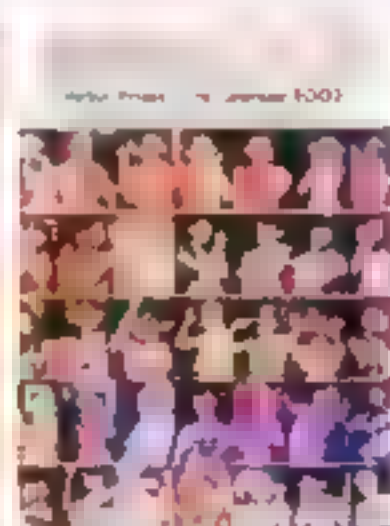
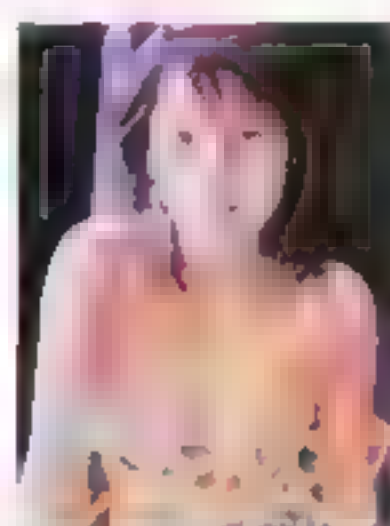
〈CL-312〉サッカー日本代表オフィシャル ￥2100 B2 7枚

〈CL-313〉J1リーグオフィシャル ￥1575 A2(13枚)

〈CL-314〉稲本 潤一オフィシャル ￥2100 B2(7枚)

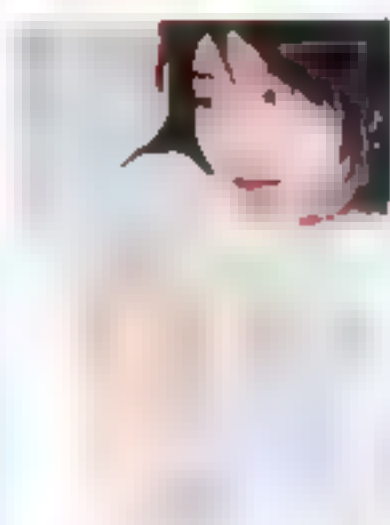
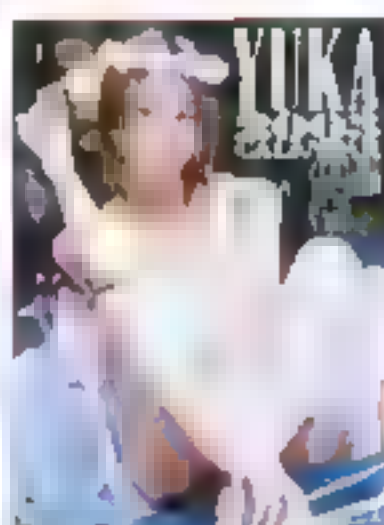
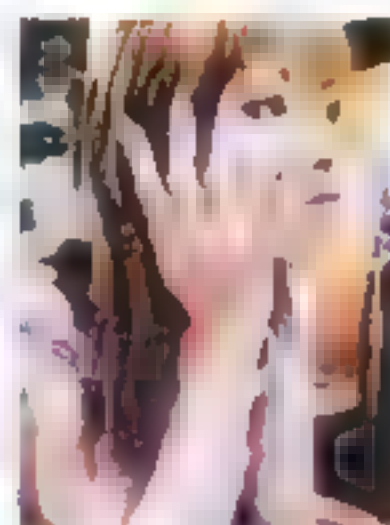
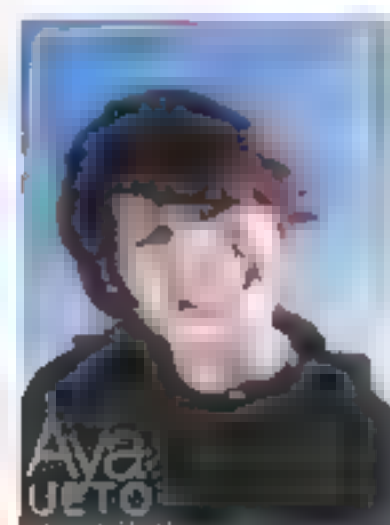
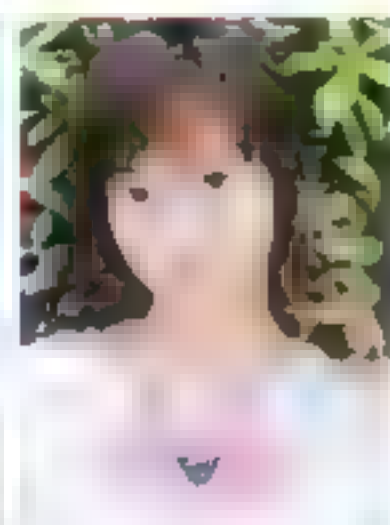
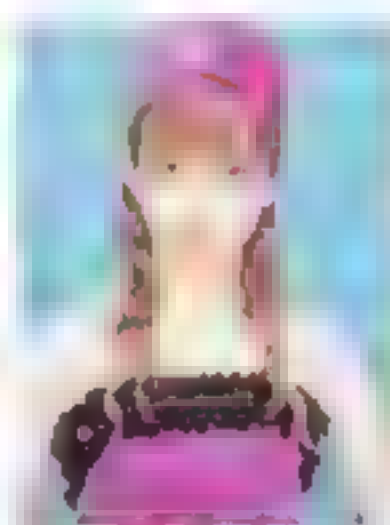
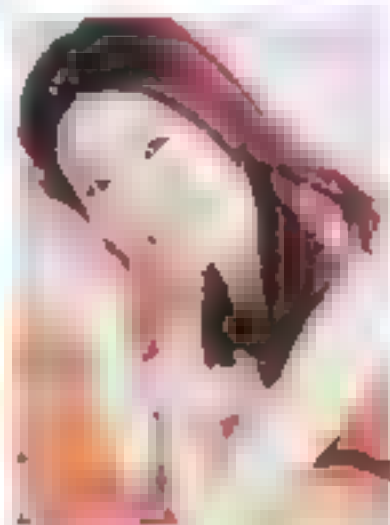
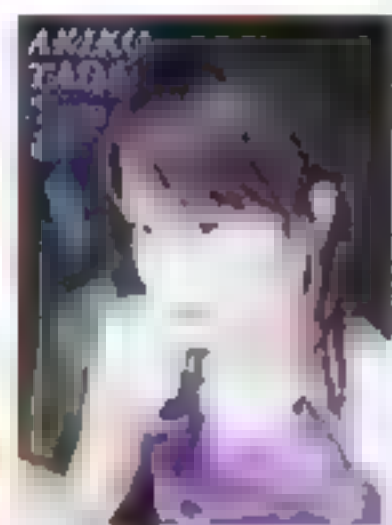
〈CL-320〉鹿島アントラーズ ￥2100 A2 13枚

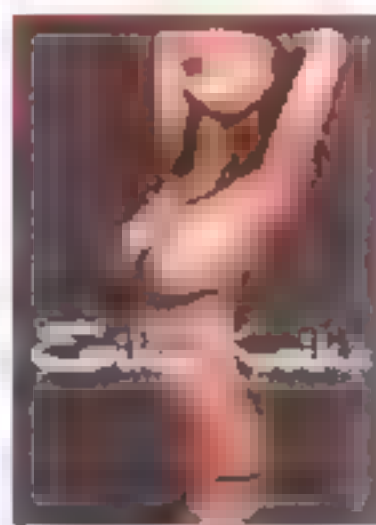
〈CL-328〉NBAバスケットボール ￥2000 A2 7枚

〈CL-333〉名馬伝説 ￥1890 A2 7枚

〈CL-332〉 PRIDE ￥2100 B2(7枚)

〈CL-1〉浜崎 あゆみ ￥2100 B2 7枚

〈CL-2〉モーニング娘。 ￥2100 B2 7枚

〈CL-3〉ミニモニ。 ￥1890 B3 7枚

〈CL-4〉松浦 亜弥 ￥2100 B2 7枚

〈CL-5〉Hello!Project ￥2500 B2 13枚

〈CL-6〉吉岡 美穂 ￥2100 B2 7枚

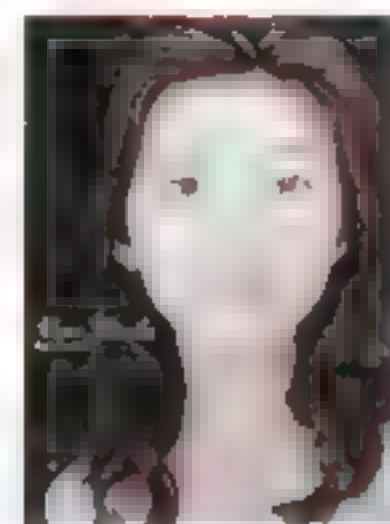
〈CL-334〉アイルトン・セナ ￥1890 45×35 8枚

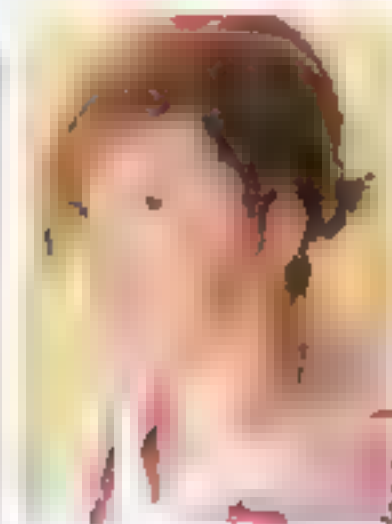
〈CL-322〉MARINERS ICHIRO 51 ￥2100 B2 7枚

〈CL-7〉井川 遥 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-10〉優 香 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-9〉深田 恭子 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-12〉上戸 彩 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-17〉藤本 美貴 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-19〉後藤 真希 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-18〉島谷 ひとみ ￥2100 B2(7枚)

〈CL-13〉矢田 亜希子 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-14〉乙 葉 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-15〉小池 栄子 ￥2100 B2(7枚)

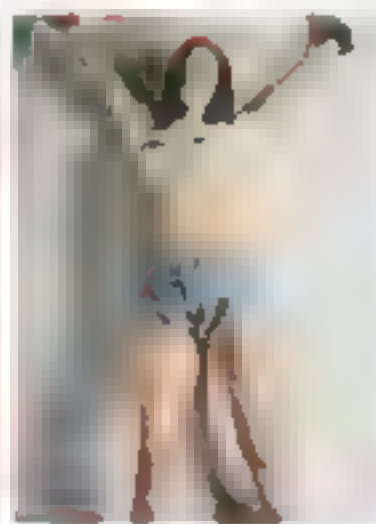
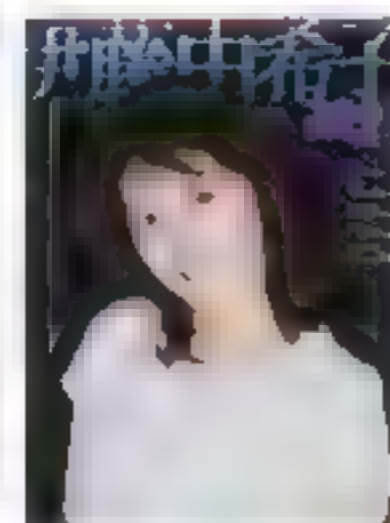
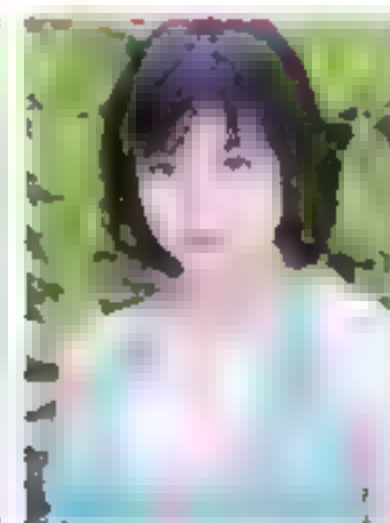
〈CL-28〉菊川 怜 ￥2100 B2(7枚)

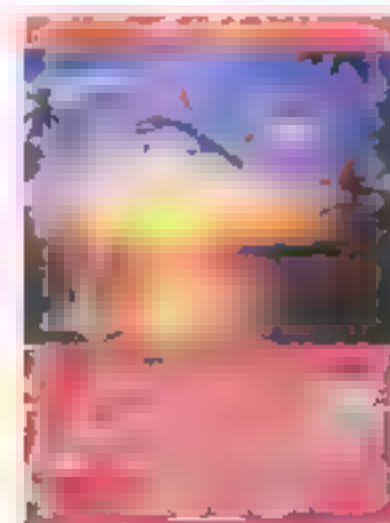
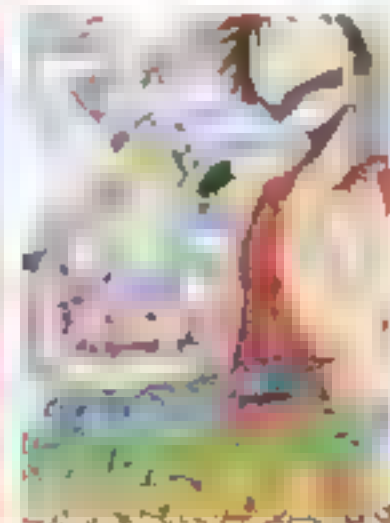
〈CL-25〉米倉 涼子 ￥2100 B2(7枚)

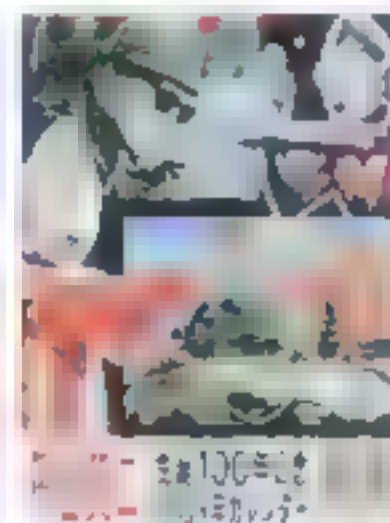
〈CL-26〉本上 まなみ ￥2100 B2 7枚

〈CL-27〉田中 麗奈 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-24〉内山 理名 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-39〉藤原 紀香 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-43〉佐藤 江梨子 ￥2100 B2(7枚)

〈CL-76〉インリン・オブ・ジョイトイ ￥2100 B2(7枚)

〈CL-330〉K-1 2003オフィシャル ￥2100 B3Y(13枚)

〈CL-109〉伊藤 由希子 ￥2100 B2 7枚

〈CL-42〉小向 美奈子 ￥2100 B2 7枚

〈CL-35〉MEGUMI ￥2100 B2 7枚

〈CL-281〉クリスチャン・ラッセン ￥1890 45×35 6枚

〈CL-171〉ワンピース ￥1365 A2 7枚

〈CL-256〉オールガンダム ￥1680 A2 7枚

〈CL-230〉円谷英二 生誕100年 ￥1575 B3 7枚

〈CL-260〉あしたのジョー ￥2100 B2 7枚

代金先払いの場合

現金書留、郵便口座振替にて受付いたします。現金書留の場合は、商品代金＋送料525円（沖縄・離島は1050円）と、商品名を記入したメモ（差込ハガキ利用可）を同封してください。
お振込みの場合は、郵便局をご利用ください。
加入者名（有）キッキ、口座番号【00180-4-75461】
通信欄にお申込みの商品名（数量）をご記入のうえ、商品代金＋送料の合計額をお振り込みください。

商品その他のお問い合わせは電話にて受付ております
TEL 03-3838-2474【受付／月～金 9:00～20:00】
有限会社 キッキ 〒125-8790 東京都葛飾区亀有2-43-3-301

便利な代金引換の場合

お申し込み商品代金＋送料525円（沖縄・離島は1050円）を配達員へ直接お支払いください。

配達時間が選択できます!

希望なし　午前中　12:00～14:00　14:00～16:00　16:00～18:00　18:00～20:00　20:00～21:00

※地域によっては、ご希望に添えない場合もございます

カレンダーサイズ

A2 594×420mm B2 728×515mm A3 420×297mm B3 515×364mm ・Y表示 横型

お申込みは今すぐ!

TEL受付／9:00～20:00（土日・祝日休み）
TEL 03-3838-2474

24時間受付

FAX 03-3604-9950 E-mail order@kikki.co.jp
http://www.kikki.co.jp/
ここをクリック!!
http://www.kikki.co.jp/i/

FAXでのご請求は請求券をお貼り頂くか、「10/10SRS」係とお書きください。
E-mailの場合も同様に「10/10SRS」係とご入力ください。

●商品の性質上、開封後の返品はお受けできませんので、予めご了承下さい。 ●交換・返品は商品到着後7日以内に電話でご一報ください ●お客様の都合による返品・交換は送料をご負担して頂きます。

9・29『プライド22』日本勢全滅。されど、その同日…

新たなる希望パンクラスに出現！

グラバカ・佐々木有生、スティーブリングに勝つ！

▲◀興行的には苦戦を強いられた9・29パンクラス横浜大会だったが、佐々木有生が大仕事をやってのけた。『プライド』でアラン・ゴエスとヴァリッジ・イズマイウを下しているアレックス・スティーブリングに文句なしの判定勝ち！

撮影◎吉澤晃

〝裏PRIDE〟が〝表〟に勝った!?

ゴエス、イズマイウに勝った男を蹴って蹴って蹴りまくる!

▲▶1Rからミドルキックを蹴りまくってペースを握った佐々木。時折り見せるハイキックも効果的たった

9・29パンクラス横浜大会は、〝裏『プライド』〟だった。年に何回もないビッグマッチなのに、その同日の同時刻に名古屋で『プライド22』が開催されていたのだ。

横浜と名古屋だから、厳密には興行戦争とは言えないかもしれない。だけど話題は食われるし、首都圏のファンにも、パンクラスの会場に行くより『プライド』のPPV観戦を選んだ人は多いだろう。

しかも、そんな状況なのに、菊田早苗は8・8『LEGEND』でKO負けしたため大事を取って出場せず、美濃輪育久も9・7DEEPの田村潔司戦直後で出られない。近藤有己までも、練習中のケガで欠場となってしまった。

そこで、パンクラスは切り札的なカードを投入した。佐々木有生VSアレックス・スティーブリング戦である。桜庭和志、吉田秀彦らに続く、世界に通用する新たな日本人スター選手を生み出そうという『プライド22』とモロに同じテーマの試合をぶつけてきたのだ。

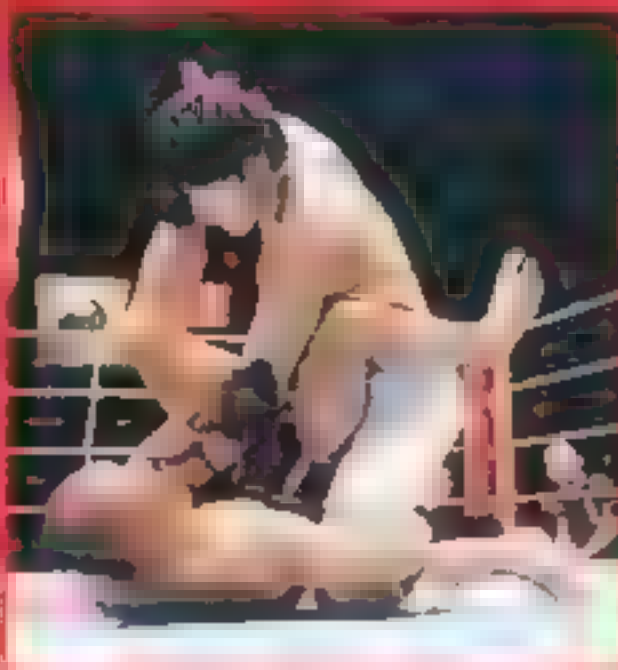
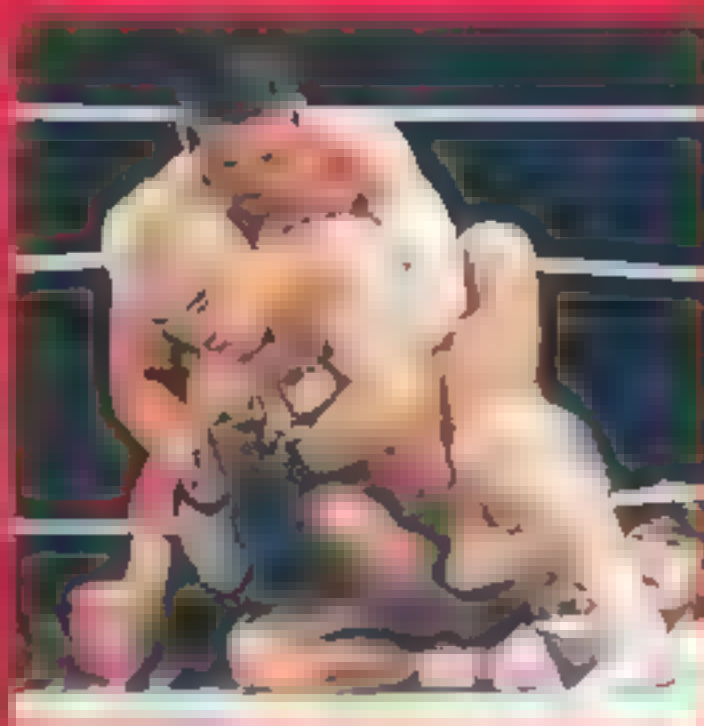
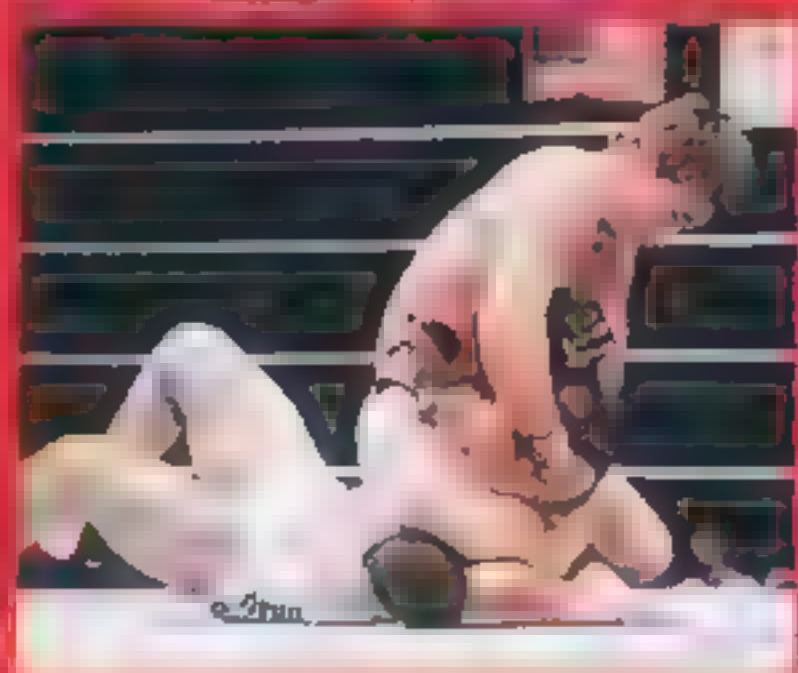
結果的に、この試みは大成功だった。名古屋の観客が、日本人全敗という惨状にタメ息をついている頃、横浜文体に集まったファンは佐々木の勝利に快哉を叫んでいたのだから。

『プライド』でアラン・ゴエス、ヴァリッジ・イズマイウに勝っているスティーブリングに対し、佐々木は実に堂々と渡り合った。ミドルキックで先手を取り、そのまま何十発と蹴り込んでペースを握る。スティーブリングもパンチで突進してくるのだが、佐々木はしっかりとアゴを引き、決定打を許さない。それでも連打がきたら、

技術と勇気、二つ我に有り。あとは遠心力だ！

◀2R、片足タックルを切られたものの、佐々木は逆の足を持って後方に投げ、テイクダウン。スティーブリングの下からのパンチも強烈だったが、佐々木も負けじと打ち返していった。「プライド」では"闘うブラピ"と呼ばれたスティーブリングだが、今回は頭のてっぺんがスマイルマークに……

▶佐々木のミドルの合間に、強烈なパンチを放っていったスティーブリング。しかし致命傷とはならなかった

▲最後まで一本を狙う姿勢を見せた佐々木。試合終了直前には、素晴らしいタイミングで三角絞め。ここはスティーブリングがディフェンスし、そのままゴングとなった

佐々木のコメント

「凄い憂鬱でしたね、ここまでの日々が。どうやって勝つんだろうって思って、なかなか開き直れなくて。結局、考えたら、ミドルキックで主導権を握れたらいいなって。足が壊れてもいいやと思って、最後、ガンガン蹴っていきました。美濃輪選手が負けた田村さんともやってみたいけど、僕じゃなくて近藤さんでしょうね（笑）」

スティーブリングのコメント

「判定には納得がいかないね。パンチでも寝技でも勝ってたと思う。ササキのキックは、ほとんどブロックしたんだけど、ポイントは取られてしまったのかな。でも久しぶりに面白い試合ができたよ。ササキは凄くタフで、ハートが強いファイターだった。リマッチをする機会があれば、凄く嬉しいね」

◀判定には納得がいかないというスティーブリンクだが、試合が終わると佐々木を称えた

▶マイクを取った佐々木は「これで世界の仲間入り、かな」。昨年5月に敗れた美濃輪育久へのリベンジもアピールしたが、もっと大きな夢を見てもいい

★第8試合・セミファイナル/ライトヘビー級5分3R
◯佐々木有生（3R判定3-0）アレックス・スティーブリング●
〈パンクラスGRABAKA〉　〈ムエタイ・インスティチュート・オブ・クボンリ〉
※採点…30-29、30-29、30-29

今度はタックルでグラウンドに誘い込み、これまた一歩も退かずに攻防を繰り広げる。結局、佐々木は一度たりともスティーブリングに好きなことをさせなかった。3－0の判定は、文句なしである。

佐々木の闘いぶりには、相手の強さを認めた上で、それを出させまいとする繊細さと、自分の得意な攻撃を思い切り出していく大胆さがあった。言い替えれば、技術と勇気。この両輪が噛み合った試合ができるかどうかが、一流か否かの分かれ目となる。技術はあるのに、自己満足の世界に陥ってしまう。あるいは、ハートが強いのに、技術が伴わないから結果が出せない。そんな日本人選手が、いかに多いことか。だが佐々木はその壁を、完全に乗り越えている。

実力は証明した。佐々木に必要なのは、あとは遠心力だろう。要は小さくまとまらずに大きなスケールのスターになってほしいのだ。

それには、自分に自信を持つことだ。とにかくこの男、周囲の評価と自己評価にとんでもなくギャップがある。今回のスティーブリングにしても、マスコミや関係者は充分に勝機があると見ていたのに（だからこそ組まれた試合だったはずだ）、本人だけが「どうやって勝てばいいんだろう」と憂鬱になっていたというのだ。

でも、今回でそれも変わるだろう。「佐々木には大きい舞台を用意したい」と大会後の尾崎社長。佐々木はいつも「自分が世界に通用するのか試してみたい」と言うのだが、もう"試す"段階は終わった。これからは自信を持って、世界と勝負してほしい。（橋本）

攻めて、攻めて、また攻めて。國奥麒樹真、UFCまで一直線だ

▲どこまでもアグレッシブな國奥のファイトは素晴らしかった、「どんくさい試合」とは本人の弁だが、そんなことは決してない

★第9試合・メインイベント/ウェルター級タイトルマッチ（5分3R）
◯國奥麒樹真（3R4分36秒、チョークスリーパー）長岡弘樹●
〈王者／パンクラスism〉 〈挑戦者／ロデオ・スタイル〉

國奥は「どんくさい」と自らの試合を評した。たしかに危ない場面はあった。初っぱな、長岡の左パンチを浴びて、思わずマットにヒザを落とした。その後も、挑戦者の思い切りのいい打撃に、何度かたじろがされた。それでも私には、國奥が見せる攻めて、攻めて、攻め抜くという姿勢が実に心地よく映った。右ストレート、左フック、左ハイと続けざまに繰り出す國奥の攻めにひるみ、しゃにむに組み付いてきた長岡の体をマットに叩き付けたのは1R。2Rも支配した。そして3R、長岡をグラウンド戦に引きずり込んで、粘っこく攻めつける。なかなか極められなかったが、「國奥、一本狙えー」とファンが叫ぶと即座に呼応する。カメの体勢で耐える長岡を仰向けにひっくり返して、チョークスリーパーで仕留めた。残り時間24秒という最後の局面だった。「これでUFCに一歩近づいたと思います」。大望に向けて、これからも國奥には攻め続けてもらいたい。（宮崎）

▶目標のUFC出場に「一歩近づきましたね」と國奥

▲長岡の奮戦も目立った 打撃を得意とする國奥に正面から立ち向かった

▲最後に決めたチョークスリーパー。レフェリーが一本をコールしたのは試合終了まであと24秒のところだった

WWEも認めたこの肉体！パワー！！ 謙吾、なーんもできないまま……

▶見よ、この肉体。パワーこそ、格闘技全ての強さの根源なのだ。UFCさらにはWWEでも活躍していたウォーターマンは、謙吾を蹂躙してみせた

▲強引なアームロックが極まる。必死に耐える謙吾だが、思わず悲鳴を上げたところでレフェリーストップがかかった

▲さっさとグラウンドの展開に持ち込んだウォーターマンは、謙吾の首を狙って攻め続ける

★第7試合/無差別級5分3R
◯ロン・ウォーターマン（1R2分33秒、アームロック）謙吾●
〈コロラド・スターズ〉 〈パンクラスism〉

「あいつ、こんなに大きかったっけ？」。ウォーターマンがリング上で、逆三角形の筋骨隆々を現した時、会場から嘆声が漏れた。ボブ・ザップを例に引くまでもなく、肉体、そしてその肉体が生み出すパワーが、格闘技の世界ではどこまでも雄弁なのだ。連勝中で勢いに乗っていた謙吾も、WWEのリングにも上がったこのレスラーの前ではひとたまりもなかった。謙吾がやったことと言えば、ローキック一つくらい。ウォーターマンの前に蹂躙され尽くす。組み合ってから、米国人の振り回すような投げに倒され、あとはやられっぱなしだ。アゴを固められ、さらに前腕でグリグリとギロチンチョーク。もがいて逃げるのがやっとの謙吾だったが、アームロックにとられて万事休す。ひとしきり我慢したが、身動きはもうとれない。レフェリーストップも致し方なかった。「1Rで関節で決めるのは予定どおり。これからは総合に集中したい」（ウォーターマン）。また総合に魅惑の肉体派が誕生した。（宮崎）

アルゼ 開幕戦
K-1
WORLD GP2002
10・5★さいたまスーパーアリーナ
シュルト！
おまえデカイんだから、
もっと他の闘い方があるだろ!!
細むな細むな！
ARUZ

体格差を利したジャブ、前蹴り、クリンチ……
こりゃ反則だっ!

▲パンチはジャブが中心。K―1ルールでは、ダメージを与えるというよりストッピングの効果が大

▲長～い足で前蹴り。相手を突き放し、攻撃を届かせないようにする

試合開始の直前、両者がリング中央で向かい合う。セーム・シュルト212センチ、マイケル・マクドナルド180センチ。あまりの身長差に、会場はどよめきに包まれる――。

シュルトの試合では、毎度おなじみの場面であり、今回に関して言うと最大の見せ場でもあった。

シュルトの最大の武器は、言うまでもなく〝痛い〟パンチ。素手の大道塾やオープンフィンガーグローブの総合格闘技では、相手のガードの隙間から堅い拳をゴツゴツと当て、KOの山を築くことができた。だが、ボクシンググローブを使うK―1では、それが通じない。拳を厚く包まれる上に、グローブの厚さを利用した防御もされてしまうのだ。

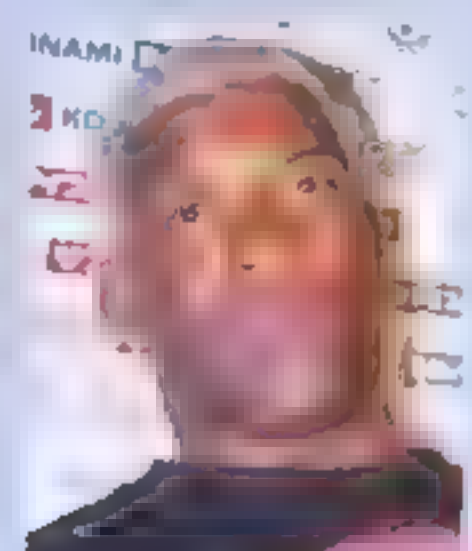
そうなった時に、シュルトが武器に選んだのはヒザ蹴りだった。総合なら〝痛さ〟でKOできたパンチも、K―1ではジャブ程度にしか使わない。そのジャブと前蹴りで相手を突き放し、攻撃を届かせなくする。そして接近すると、今度は首相撲&ヒザで身動きを取れなくさせる。ミドルやハイは序盤だけ。勝負所は常にヒザである。

思いっ切り突き放すか、くっつくか。身長を活かした戦法だが、それが自分が暴れるよりも相手を封じ込める方向に向いているから盛り上がらない。

初回からシュルトはマクドナルドを圧倒したが、観客席も歓声を上げるよりザワつくばかり。マクドナルドが何もさせてもらえず、シュルトがひたすら攻める一方的な展開で、それでも豪快なノックアウトが見られないから、なんと

シュルトのコメント

「ドームに行けて嬉しいね。これからもっとハードに練習するよ。マクドナルドはやりにくい相手だった。常にプレッシャーをかけ続けないと、やり返してくるからね。3Rのパンチは効かなかった。狙ってたのはヒザ。K－1でもいい武器になると思う。今後もK－1用に、総合では使わなかった技術を磨く必要があると思う」

マクドナルドのコメント

「1、2Rは取られたので、3Rは賭けに出たんだけど、身長が壁になってしまった。あと4～6センチ向こうの身長が低ければ、勝機もあったと思うんだけど。作戦としては、懐に入って動き回りたかった。ヒザは全部ブロックできた。ダウンしたのも、自分の疲労から。でもトシハカンケイナイ！（日本語）」

▼ジャンピングパンチと、それに続くラッシュで後退するシュルト。体勢が崩れる場面もあり、思わぬもろさを見せてしまった

シュルドは打たれ弱かった!?

マクドの秘策はこれだった

ハリマオばりのジャンピングパンチ！

◀▲1、2Rを劣勢で終えたマクドナルドは、最終3Rに決死の反撃「あしたのジョー」に出てきたハリマオを彷彿とさせる大きく飛び上がってのパンチでシュルトを驚かせた。試合前「秘策がある」と言っていたが、これだったのか？

▲▶試合終了直前、顔面へのヒザがヒットしてマクドナルドがダウン。これで勝負あったかと思われたが、なんとマクドナルドは立ち上がった。シュルトは「ファイト！」の声がかかってもしばらく呆然と立ったまま。信じられないといった感じか

▶判定でシュルトの完勝。しかしここまで圧倒したんだから、倒して欲しかった

★第5試合/K-1ルール（3分3R）

○セーム・シュルト（判定3-0）マイケル・マクドナルド●

〈オランダ/ゴールデングローリー〉　〈カナダ/フリー〉

※採点…30-27、30-27、30-27。
3Rにシュルトの右ヒザ蹴りでマクドナルドにダウン1あり

もいたたまれない、やりきれない気持ちになってしまうのだ。

　結局、3Rにダウンを奪ったが、それはマクドナルドが逆転を狙ってしゃにむに攻めてきた隙を突いたもの。しかも、その代償にパンチをもらってグラつき、「案外打たれ弱いのか？」なんて思われることにもなった。

　なんでシュルトは打ち合わないんだろう。あれだけの体格があったら、ただメチャクチャに拳を振り回すだけで充分すぎるくらい強いはずなのに。そのほうが、ファンだって喜ぶのに。

　今のシュルトの闘い方は、よく練られたテクニカルなものだが、見ているこっちには〝技術だの戦略だのはチビどもにまかせとけばいいじゃないか〟という気分もある。長身の使い方を、シュルトは間違ってないか？

　「みんないつも〝簡単な試合だったのでは？〟って聞くけど、そんなことないよ（笑）」とコメントしたシュルト。彼の闘い方や言動は、つまり〝人間宣言〟なのだ（元から人間なんだけど）。僕は大きいから勝ってるんじゃない。練習して、技術を磨いてるからなんだ。他の選手と同じなんだよ、と。インタビュアーから「サイズ」とか「ビッグ」という言葉が出るたびに、シュルトはうんざりしているのかもしれない。「デカイですね」っていうのは、「才能がありますね」ってことなのだが……。

　シュルトは、自分が何でメシを食っているのか考えたほうがいい。ここは格闘技界。〝化け物〟や〝殺し屋〟という言葉が、最大級の称賛になる世界なのだ。（橋本）

クリアランスセール
Clearance Sale
ファイティングスタンド5点セット
スタンディングバッグハード・プレゼント付
新商品
超特価
大人気
プロも使用
充実の5点セット
魔裟斗
キックボクサー(シルバーウルフ所属)
WORLD MAX JAPAN 王者
ISKA世界ウエルター級王者
アッパーバッグ
2,500円
安定用袋
750円
900円
BFS-set
ファイティングスタンドセット
10,000円
BSTBH スタンディングバッグハード
14,800円
ハイパーキックミットZ
品 番 BHKMZ
サイズ L42×W16×T10cm
素 材 レザー
カラー 黒
定 価 ¥3,000
1,000円
ボクサーへの第一歩!!
BSGZ
スパーリンググローブZ
品 番 BSGZ
サイズ 14oz・16oz
カラー 黒
定 価 ¥10,000
2,900円
BSHTGZ
バイオショットグローブZ
サイズ フリー
カラー 黒
定価 ¥8,000
1,900円
BWAS
ウォームアップスーツ
4,900円
パワーアップ
BPJ
パワージャケット
1,900円
BHW
ハイパーリスト
1,200円
BHG
ハイパーグローブ
1,000円
BHA
ハイパーアンクル
1,500円
60% OFF
最終価格
オールラバーコーティングを施したラバープレートは人気が高く初心者からハードユーザーまで、どなたにでも愛用していただける逸品です。床面を傷つける事なく、音も静かなラバープレートは表面デザインにボンド標示も入り、最高のデザインに生まれ変わりました。自宅でもジムでも、ご利用いただける自信作をお薦めいたします。
パンチンググローブIIZ
品 番 BPG2Z 素 材:レザー
サイズ:フリー 定 価:¥3,000
カラー 黒
1,000円
BBRS バーベルセットラバー
BDRS ダンベルセットラバー
ウエイト	定価	バーゲン価格
30kg	¥12,600	5,040円
50kg	¥20,600	8,240円
70kg	¥28,600	11,440円
100kg	¥40,600	16,240円
140kg	¥56,600	22,640円
強靭な手首を!!
RT
リストトレーナー
1,200円
クリアランスセール特別今回限り
50% OFF
大人気のホームジムが更にお求めやすい価格に!!
貴方の自宅がジムに!
すぐに始められる総合トレーニング
600円
2,400円
3,000円
BHDMG2
ホームジムプロトモデル
定価 ¥68,000
34,000円
待望の新型ハイパーベンチ登場!
半額!!お買得
BHBDX2 ハイパーベンチDX-II
9,000円
60% OFF
シットアップベンチDX
品 番 BSUBDX
サイズ W58×D144×H85cm
定 価 ¥5,800
2,900円
BODY MAKER ボディメーカー
〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-1-18 新大阪サンアールセンタービル16F
ご注文は今すぐ電話・FAX・ハガキ・インターネットで
Tel.06-6395-9888 Fax.06-6395-9222
HP・http://www.bodymaker.jp 携帯注文・http://www.bodymaker.jp/i E-mail・order@bodymaker.jp
カード ご利用OK!!
■バーゲン期間中はカラーはおまかせとなります。
■20才未満の方のご購入には親権者の承諾が必要です。
■表示価格には送料・消費税は含まれておりません
■改良のため、予告なく色・形状が変わる事があります。
■商品についてのお問い合わせは TEL.06-6395-9666迄
■全商品に生産物賠償保険付の安心保証1億円。
■代金は商品到着時に配達員にお渡し下さい。
■広告有効期限／広告掲載日より一ヶ月間有効
ボディメーカー製品カタログプレゼントご希望の方は300円切手同封の上上記の住所まで。また下記の販売店におきましても製品のお問合せ等お気軽にお申し付け下さい。
ボディメーカ大阪店〈大阪市淀川区西中島1-11-9 2F Tel.06-6889-3280〉ボディメーカ桑名店〈三重県桑名市新西方1-22 マイカル桑名2番街1F Tel.0594-25-8060〉
ボディメーカ加古川店〈兵庫県加古川市平岡町新在家615-1加古川サティ3F Tel.0794-56-8060〉・ボディメーカ横浜店〈神奈川県横浜市中区本牧原12-1 マイカル本牧5番街3F Tel.045-628-4355〉

アルゼ
開幕戦
K-1
WORLD GP 2002
10・5★さいたまスーパーアリーナ
勝ってなお笑顔なし!
アーツにとっての10年とはなんだったのか?
KONAMI
ORANDA

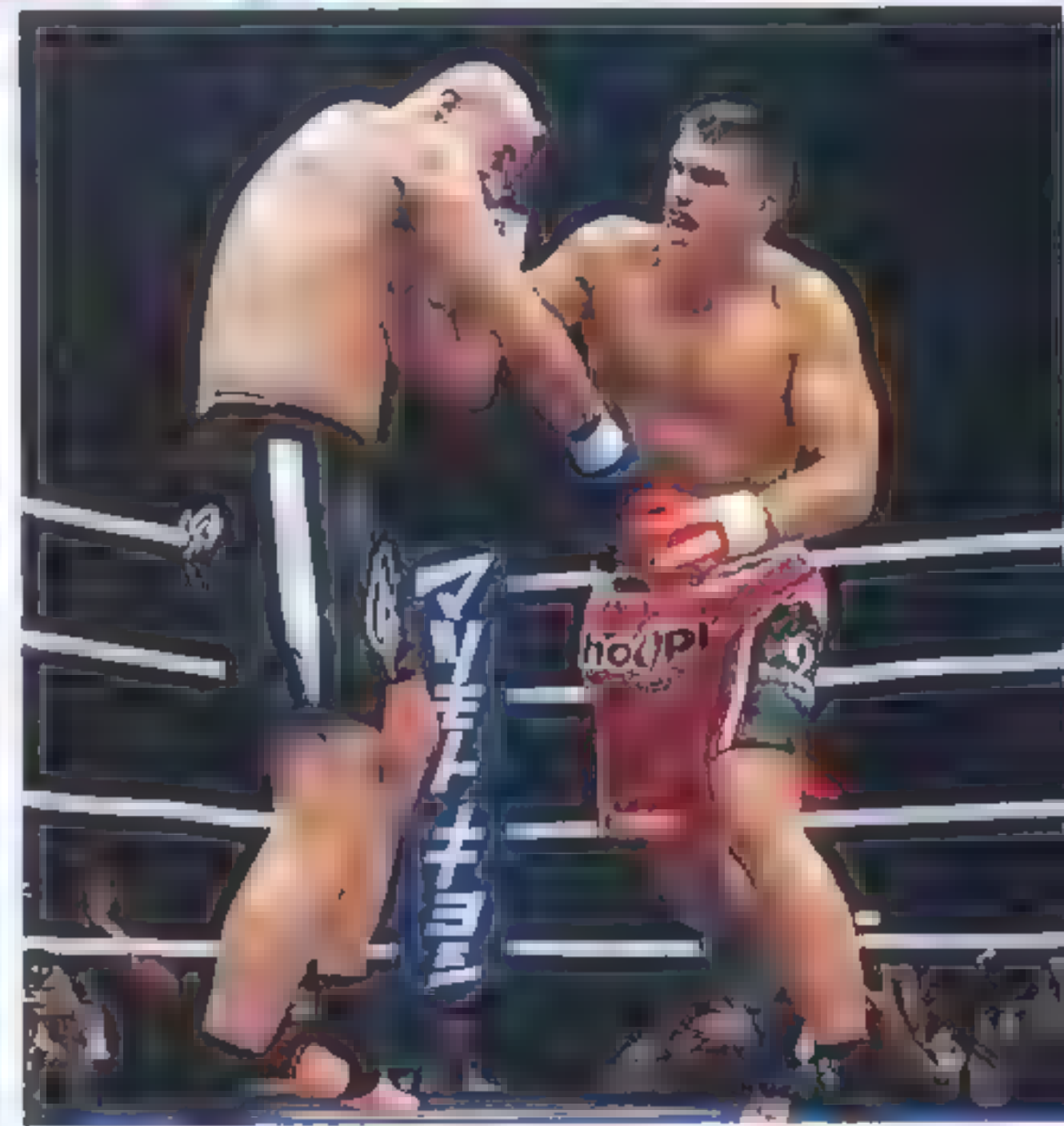
スリータイムチャンピオンが何を手間取る!?

噛み合わない2人

▲▶いまだK―1の闘いに慣れないグラウベは近付くとクリンチで逃げてしまい、イエローカードを

▼アーツの顔に覇気が感じられないのは気のせいなのか？

もはやアーツの時代は完全に終わったのか……

▲昔はこのハイキックで何人もブッ倒してきたのに

▲必死に前に出るアーツ
スリータイムチャンピオンの余裕なし

落日のアーツ。勝ったといえ、その元気のない姿に寂寥感すら漂っていた。

10年前、第1回目のK―1グランプリに出場した当時から優勝候補に上げられていたアーツ。その年はホーストに止められたものの翌年には優勝し、暴君の名にふさわしい暴れっぷりでリングに君臨し続けた。

その強さは圧倒的だった。対戦相手をハイキック一発、パンチ一発で倒してしまう彼こそが今日のK―1人気の発火点だったのだ。

実際、あの頃のアーツの試合はKOの連続。ちょっとでもトイレに立とうものならKOシーンを見逃すなんてことがざらにあった。その上、リング外のエピソードも抜群。朝まで酒を飲んでリングに上がり、そして勝つ。試合後にはまた酒を飲んで騒ぐという、男としての理想型こそが彼であり、そんな姿にファンはシビレたのだ。ハッキリ言ってミスターパーフェクトとは彼のことだったのである。

それが10年後にはこんなことになっていようとは、誰が想像しただろうか。

同じように第1回K―1グランプリに出場し、同じくスリータイムチャンピオンとなっているアーネスト・ホーストとなぜこんなにも差が開いてしまったのか。

アーツが活躍していた当時のホーストは身体が小さく、K―2というカテゴリーの中では強さを発揮できたが、K―1ではまだまだだった。アーツが我が物顔でリングをのし歩いていた時、ホーストは黙々とウェイトアップに励んでいた。それが今日の結果なのだ。

確かに、ホーストはサップに負け

スリータイムチャンピオンが何を手間取る!? もう一度あの強いアーツが見たい!

▲勝負を捨てていないアーツはグラウベと打撃戦 ここで負けるわけにはいかない!

▲グラウベからローキックでダウンを奪う ここからの猛攻を期待したのだが

▲アーツのローを嫌がるグラウベ 瞬間瞬間でアーツは強さを見せた

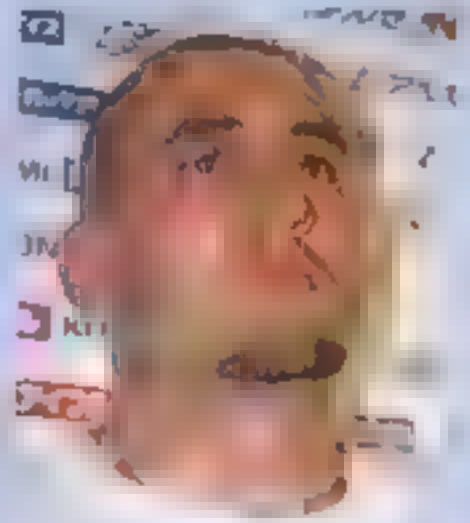
▶このヒザ蹴りも効いてるだろう。だが、フィニッシュに持っていけない

▲どうしても勝てないグラウベ このブラジリアンキックの威力を信じてもっと振り回せば活路はあると思うのだが

◀ダウンを奪っているアーツが判定では文句なしの勝利。だが、その顔に満足感はない

アーツのコメント

「相手は気持ちの強いいい選手だった。危ないと思った場面はなかったけどね。ブラジリアンキックの距離を潰し、左足を潰す作戦がうまくいったと思う。私の武器は経験であり、最後まであきらめない気持ちだと思う!」

グラウベのコメント

「アーツは自分が思っていた以上に攻撃的だったと思いました キックが思ったほどできなかったのが敗因かもしれないです 2回もらったローキックは効きました ただ、ダウンに関しては、あれはバランスを崩しただけで、キックのせいで倒れたわけではないです」

★第3試合/K-1ルール(3分3R)

○ピーター・アーツ(3R判定3-0)グラウベ・フェイトーザ●
〈オランダ/メジロジム〉 〈ブラジル/極真会館〉

※採点…30-27、30-27、30-27。2R、右ロ→によりグラウベにダウン1。
2Rホールディングでグラウベに警告1、3Rホールディングで両者に警告

確かに、ホーストはサップに負けた。だが、誰もホーストの力が衰えたなどとは思っていないだろう。勝ったアーツよりも評価は上というのはどういうことだろうか。

まるで、ウサギとカメだ。

10年間黙々と努力してきたホーストが、いまやアーツのはるか先を走っているのである。

自業自得と言われれば、そうかもしれない。日本人はウサギとカメなら、カメを応援する人種だ。だが、傷つきかつての力を無くしながらも、必死に前のめりで歩もうとするウサギにも感情移入できる人種でもある。

いまこそ、アーツの踏ん張りを見るべきだろうと思う。誰もが終わったと思っている中で、本人だけが歩みを止めようとしていない、その苦闘と苦悶をじっくり見つめるのも10年間のK−1の歴史だと思うのだ。

決勝戦の相手はまずはレイ・セフォー。手強い相手だ。しかも、そこを勝ち上がっても待っているのはシュルトかサップ。過酷にもほどがあるだろう。だが、その地獄の闘いをどう乗り切るかがファイターの人生の見所なのだ。

もう一度、心の底から笑うアーツの笑顔を見たいのである。

また、最後にグラウベだが、彼もまた極真時代の光をなくしている。彼に言えるのはただ一つ。空手を信じろ! だ。ブラジリアンキックを連発し、気迫を前に出して闘わなくては勝てるわけがない。

結局、アーツにしてもグラウベにしても、リングで失ってしまった自信は、リングで取り戻す以外ないのである。

(ブチ)

ゴールデングローリー入りで大イメージチェンジ敢行!

今年のレコはひと味違うぞ!

このヘアスタイルはど〜した!?

ゴールデングローリーに移籍…ショフを下して決勝大会進出を決…を意識したもの。ヒース・ヒー… …ト4のイグナ…とイナズマ…

「K－1新世代!」

決勝トーナメント抽選会で、そんなふうにアナウンスされたステファン・レコ。ところが前日の試合では〝新世代〟のアレクセイ・イグナショフと闘ったため役割的には旧世代だったのだった。旧だったり新だったり、世代がコロコロ変わる男。

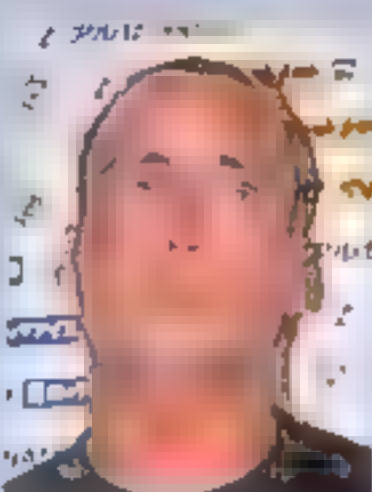
おまえはスペースローンウルフ時代の武藤か!

誰もがそうツッコミたくなる事態ではあったが。このあやふやな立ち位置、微妙なポジション、それがレコってもんである。毎年のように決勝大会には出ているが、どんな試合をやったんだか印象が薄く、去年ラスベガスでアーツをKOしたのに今年はパリでホーストに秒殺されたりと、レコにははっきりとしたイメージがないのだ。〝欧州最強の伊達男〟ってニックネームも、要はルックス以外、取り立ててキャラが立ってないってことだろう。

そんなレコが、ここにきてついに本気になった。ホースト戦の後、オランダの強豪集団ゴールデングローリーに移籍。セーム・シュルトやヒース・ヒーリング、ギルバート・アイブルのいるゴールデングローリーならスパーリング・パートナーに不足はないし、レベルの高いところで切磋琢磨できる。コー・ヘマースという名コーチもいる。

イグナショフとの試合も、その新たな決意が表れたものになった。稲妻をあしらった奇抜な髪形。そのイメージどおりスピーディに躍動する。何かに偏ることなく、全ての攻撃でイグナショフを追い立

迷いなし！ますます冴えるレコの右 悩みすぎて太った(?)サソリに毒なし……

レコのコメント

「とても満足している。準備も万端だったし、いい試合ができたと思う。相手のヒザに注意しながら闘った。向こうはヒザとかハイキックが得意だから、間合いの取り方を考えてね。今日見てもらって分かるように、僕も悪い選手じゃないだろう？　自分の持ち味はスピードだと思う。ドームではイナズマのような動きを見せたいね」

イグナショフのコメント

「試合の感想？　ガッカリしてるよ。判定に不服はない。自分の攻撃がことごとくうまくいかなくて、まるでデビュー戦みたいな感覚だった。一番のミスは、うまく動けなかったこと。自分がこの先ファイターを続けるか悩んで、自問自答の日々が続いていたんだ。でもある程度の結論は出してきたんで、この先はうまくいくと思う」

▲やはりレコの右ストレートは威力十分。インサイドから、またイグナショフのジャブにかぶせるような打ち方も効果的だった

▶ロー、ミドルなど、バランスよく攻められるテクニックもレコの強み

▶イグナショフの攻撃で最も警戒すべきはヒザ。ということで、接近戦になっても組ませないレコ。ショートレンジのフックやアッパーがテンポよく決まっていた

▶イグナショフの攻撃で目立ったのは、ジャブの連打とこのハイキック。たかほとんどブロックされてしまった。得意のヒザはまったく出せず

▲延長戦で勝負が決まると、躍り上がって喜んだレコ。今年にかける執念でもぎ取った勝利だった

▶精神的な不調もあってか、精彩を欠いたイグナショフ。お腹もちょっと出ていたりして、「思うように動けなかった」という言葉も納得だ

▶レコを取り囲むゴールデングローリーの面々。レコの左にいるのはラモン・デッカーだ。歳取ったなぁ～……

★第4試合/K-1ルール(3分3R)
○ステファン・レコ(延長判定3-0)アレクセイ・イグナショフ●
〈ドイツ/ゴルデングローリー〉　〈ベラルーシ/チヌックジム〉
※採点…10-9、10-9、10-9、本戦は30-30、30-30、30-29(レコ)

てる。バックブローやバックキックなど、大技でジャッジの印象点もさりげなく稼ぐ。イグナショフが得意とする首相撲からのヒザも、見事な間合いのコントロールで出させない。派手な一発がないため本戦はドロー、延長までもつれ込んだのだが、試合は100%、レコが支配していた。

逆に身体にも技にも精彩がなかったのがイグナショフ。大学に通ってもいた彼は「卒業後もプロのファイターとして生きていくべきか」と悩んでいたのだ。それじゃあ試合にも身が入らないというもの。将来的な総合格闘技進出も見据えつつ「GPで優勝するためにゴールデングローリーに入った」と言い切るレコに翻弄されたのもうなずける。

クロアチア生まれで、ファイターとしてはドイツで育ったレコ。今回の試合を見ていたら、なんとなくドイツ代表のサッカーを思い出してしまった。今年の日韓共催ワールドカップ。ドイツは地味でつまらない試合になると本領を発揮し……ってそういうことじゃない(ちょっとはあるが)。基本的なスキルがしっかりしていることや、土壇場での勝負強さがだ。

ただし、今のレコはオランダのゴールデングローリー所属。オランダサッカーの魅力といえば、機能的かつ圧倒的な攻撃力だ。レコがそういう強さも身に付けたら、これは言うことなしである。

決勝大会まであと2カ月。レコがどう成長するかは分からないが、どんな結果でも、今度は深い印象を残してくれそうな気がする。今のレコに、迷いはない。（橋本）

「ホーストには東京ドームの決勝でもう1回サップとやらせてあげたい気持ちでいっぱいです」

――お疲れさまでした K-1の歴史が変わってしまいました

(笑) まいったなぁ。ます、信じられません 俺、挨拶しようと思ったけど、挨拶がびっくりしてしまったっていう挨拶になっちゃったんですけど 完璧にホーストが勝っていた試合だったんですよ、途中までは やっぱりさすがホーストだなと ヘビー級のパンチや蹴りは凄いなと ホーストの右ストレートやフックはやっぱりパンチ力がアップしてますから、ステファン・レコも一発で葬ってますし、もちろんジェロムだって、マイク・ベルナルドだって全部ホーストは葬ってるんですよ。そのホーストのパンチがですね、まともに10発以上顔に入ってたでしょ? ローキックだっていい角度で何発も入ってて、たぶん途中で1回ボブ・サップ諦めたと思うんですよ。ホントに痛そうな顔してましたから。顔はあんだけパンチを受けて立ってることが信じられない。あれはどのパンチを一発もらっても、K-1ファイター倒れてますよ ノーガードの上からベストなパンチ打ってるもんな 立ってるのが不思議なんだよ。それで、あそこで反撃できますか?

――決勝戦に行ってしまいますね

ボブ・サップはK-1の練習を始めてまだ2カ月ぐらいか。K-1の試合がたった3戦目か ホント3戦しかやってないですよ 全部1Rで もしかすると僕はとんでもないヤツを連れてきたのかな 倒れた時に一発流れて入っちゃったんですけど、それはしょうがないですね カットで止めたのは的確な判断だと思いますよ。最初のカットでドクターのほうは止めたかったらしいんです

――ホーストのセコンドのところに試合途中で行って話をしてましたけども

いや、ヨハンが興奮して、リンク上で試合の途中にセコンドが上がると、それで負けになっちゃうんですよ。だから、せっかくいい試合なんで、セコンドが乱入しそうな勢いだったじゃないですか。ゴールデンタイムで生中継している時に、そんなことが起きたら、お茶の間で見てる2000~3000万人近いファンの人たちの夢を壊すことになってしまうので、ヨハンに落ち着くようにと話しました。そうしたら「なんでアイツは倒れた奴を叩くんだ」と それは俺が注意するからと。ヨハンっていうセコンドの人間が一番オランダで気性が荒いので、彼らは怒りだしたら止められないですよ 俺、顔疲れてる? 途中で解説しながら外してさ、テレビ局の人が「館長行ってください」って。行かないと止まらないじゃない。たぶん戻ってきてドクターストップになる前に行っちゃったらですね、ノーコンテストになっちゃうじゃないですか そうすると、なんのためにやったのか分からなくなっちゃうから もう1回試合をやらないといけないし、ホーストはもうちょっとローキックを蹴りに行けば、倒れていたと思うんですけど、ホーストのスリータイムチャンピオンみたいな意地というか、それが打ち合いになったと やっぱり70キロの体重差がありながら、真っ正面から打ち合うホーストの勇気、その男気を見たし 久しぶりに熱く凄いホーストを見たし、負けても全然恥じゃないと思うし、ホントにホーストにはグランプリの決勝でもう1回、できればボブ・サップとやらせてあげたいという気持ちでいっぱいです ホントにクットリッジとジェロムの試合も凄くよくて場内総立ちになったんですけど、それ以上にメインが盛り上がって、それまでの静かな5試合というのは、この2つを盛り上げるための演出だったのかなと(笑)。K-1はオープニングからエンディングまで1つのドラマなんですけど、今回はこの2つがあまりにも凄いので、興行的には大成功だったかなと。ボブ・サップを誰が止めるのかというのが、1つのテーマとしてありますし。

――新しい波がトーナメント戦にどういう影響を与えますか?

明日ドローイングがあるじゃないですか だから、第1試合か誰かでその組み合わせの仕方によっては、ボブ・サップが優勝する可能性が出てきてますから 最短距離で、だから3戦といっても1戦目はほとんど反則負けみたいなもんですから結局2試合しかしてないわけですよね 3試合で準決勝があって4試合で決勝があって、5試合でグランプリのチャンピオンになったらどうなってしまうんだろう。まあ、今度東京ドームで中西選手と対戦するんですが、中西選手にぜひボブ・サップを止めてほしいと思うし、今日中西選手と蝶野さんに会ったんですけど、中西選手のパワーぐらいじゃないと、ボブ・サップは止められないんじゃないかと。ボブ・サップは決勝に出るんで、中西君破ってね、東京ドームの決勝戦に来てほしいなと思いますけどね。まあ、ボブ・サップを中心に回り始めたと言っても過言じゃないと思いますね

どないしよ。

――キャリアの少ない選手がスリータイムチャンピオンに勝ったということは、館長の正直な気持ちはいかがですか?

正直な気持ちは面白くないですよね(笑) みんなたぶんK-1のフジテレビの解説席に座ってる人たちはみんなホーストだし、場内もホースト一色だった、ホーストコールが起きたんですよね。ドームで誰がサップを止めるのか。僕はバンナと言っちゃったんですけども、ホントにバンナぐらいのパンチ力がないと、倒れないんじゃないかと思うんですよ。それかハントとのド突き合いも見てみたいしね だからこれから2カ月ありますから、ばっちり練習できると思うので、12月はどんな新しいボブ・サップになってるか、ちょっと怖いですね ピーター・アーツのセコンドは「いや、ローキック蹴ったら倒れる」と言ってましたけど、そんなもんじゃないと思いますよ。ホーストのローキックより強いローキックはないですから あれだけ蹴られてダウンしなかったですからね。まあ、東京ドームはこれでガ然面白くなったと思います ■

決定！

12・7 東京ドーム大会 トーナメント表

この組み合わせは、神のどんないたずらか？

注目のサップはシュルトと激突！ バンナVSサップ実現は決勝戦だ！

前日のK－1 WORLD GP 2002 開幕戦の興奮冷めやらぬ10月6日（日）、東京港区台場のメディアージュにおいて12月7日（土）、東京ドームにて開催されるK－1 WORLD GP 2002 決勝戦の組み合わせ抽選会が行われた。抽選方法は昨年同様（詳細は次ページ）、偶然と必然の両面を持った抽選の結果、「予想もしないものになったが、面白くなるのは間違いないでしょう」と石井館長も太鼓判をおすトーナメント組み合わせが完成した。抽選会の模様をお伝えしよう。

撮影◎中島ミノル

ステップ1

▲まずは、各選手が予備抽選のナンバーボールを引く。引く順番は、決勝大会進出の早い者順、つまり1番に9・22のジャパンGPで決めた武蔵から引き、その後は昨日の試合順

▲引いた順に後ろの席に移動し、一斉にボールに貼られたステッカーをはがし各人自分の番号を確認

ステップ2

◀1番（A）を引いたのはセフォー。セフォーは一番左aのボックスに

▶2番（B）を引いたアーツはセフォーの隣bのボックスを選択。1つ目のカードが決定した

▶▼3番（C）を引いたサップはナンバーボールを口に入れて笑いを取ると、cのボックスに

▲4番（D）を引いたのは武蔵。武蔵は考えに考えたあげく、サップの横を選ばず、山組みの一番右hのボックスに入った

▶▼サップの横のボックスに入るのではと期待された5番目（E）のバンナだが、迷わず武蔵の隣gボックスをチョイス。武蔵VSバンナ戦が決定

▲残り3人。6番（F）のレコはeのボックスを選択

◀7番目（G）のシュルトは、同じゴールデングローリーのレコとの対戦を避け、サップの横dボックスを選択。サップVSシュルトが決定！

▲▶残すはレコの横f席のみということで、最後のHのボールを引いたディフェンディング王者マーク・ハントVSステファン・レコの対戦が決定した

▲こうして決定したトーナメント組み合わせ！ 予想もしなかった対戦の連続となった

石井館長のトーナメント展望

「今回の抽選で一番驚いたのは、武蔵、ジェロムがボブ・サップのところに行かなかったこと。僕は昨日の夜、武蔵と食事して、その時にも"行けよ、行けよ"って薦めていたんですが、ジェロムなんかにも薦めていたんですが、やっぱりちょっと危険だと思ったんでしょうね。逃げたというわけじゃないと思うんですけど。なるべくならホーストを倒したボブ・サップの実力を逆に認めているんじゃないかなと思いますね。アイツとは1回戦ではやりたくないなというファイターになっていたというのか、まず驚きでしたね。普通3戦目でそういうことはないんですけど。ですから、セーム・シュルトもクリンチしないで打ち合えば面白い試合になると思いますね。ド突き合いになると思うんで、できればK-1ファイターとの試合を見てみたかったですね。でも、勝ち上がってきたら、ミスターK-1ピーター・アーツとレイ・セフォーの勝者ですけど。でも、この両者の力も拮抗してますんで、もし、ボブ・サップかセーム・シュルトに簡単に勝つことがあれば、決勝まで行く可能性は非常に高いと思いますね。決勝大会まで、みんながどういうトレーニングをするかにかかっていると思いますけどね。決勝で、ジェロム・レ・バンナVSボブ・サップを見てみたいですね。まあ、それにしてもみんながボブ・サップを警戒しているということに驚きましたね。

今日、サップに会って、一夜明けて、足を引きずっているだろうと思っていたんですが、ローがまったく効いていなかったというのでビックリしました。なぜかと聞いたんですが、ヒザの横を蹴ってきたからビックリした、って言うんですよ。太ももを蹴ってくると思っていたらヒザの横を蹴ってきたんで、こんな蹴り方があるんだ、って。だから、言ってたでしょ、ホーストは筋肉の付いていないヒザの横をマシーンみたいに蹴ってくるんだと。だから、普通の人は、1発か2発蹴られると動けなくなるんだと。でも、全然大丈夫だと言うんで、顔も腫れてないし、ちょっと、人間ではないですね（笑）。（こういう事態は想像されていましたか？）全然してないです。決勝トーナメントはK-1の危機というか、サップに振り回されないようにしないと。セーム・シュルトは当然ローキックを狙っていくでしょうけど、その頃にはサップのロー対策も終わっているでしょうけどね。大型ルーキー二人の潰し合いになるんですけど、これを切り抜けたほうが優勝に向けて一歩前進するということですね。

ピーター・アーツとレイ・セフォーの試合はどちらも簡単には勝てないから、結構、消耗しますんで、それでサップが上がってきたら体力ありますから、トーナメントには向いているのかなと思いますね。ジェロムもヘタにボブを怖がっているわけじゃないと思うんですよ。確実に勝ちに行ったということでしょうね。残っているファイターを考えて、マーク・ハントにも1回勝っているし。そういうことを考えてあの位置を選んだんだと思いますけどね。ステファン・レコもラモン・デッカーのいるジムでいま、凄いトレーニングをしてますから。油断はならないかなと。ただ、その本当にトレーニングしてパリ大会に臨んだステファン・レコを一瞬で秒殺したホースト。まだ皆さんの記憶に新しいと思うんですけど、そのホーストを完全に壊してしまうボブ・サップというのは、本当に凄いね。ホントに、まったく予想がつかなくなったと思いますね。皆さんも予想するのが本当に難しくなったんじゃないですか？

（逆に武蔵が勝ち上がるにはどうしたらいいですか？）武蔵のブロックはハードですよ。サップのほうのブロックに行ったほうがチャンスがあったと思いますね。倒せないまでも巧くヒットアンドアウェイを使ってできなかったかなと思うんですけどね。武蔵はサウスポーは得意なんで、得意の右を速く使えるし、ボクシング技術も上達しているし。でも、今K-1で一番強い勢いがあるジェロムなんて、相手にとって不足はなしと。この1年間2年間、我々がやってきたことがどれだけ通じるか、非常に楽しみな試合です。まあ、簡単には武蔵は負けないでしょう。パンチを避ける技術はK-1ファイターの中でもピカイチですから。勝つためには一発一発パンチ力を強化する練習を今日からですけども。グラウンドの練習を取り入れて身体の軸とか芯を作る練習をして、あと、ナックルを正確に当てること。一発のパンチを思い切ってチャンスに叩き込む。右フックだけでもいいし、右のアッパーでもいいし、相手を倒せる技術をローキックとかミドルキック以外に磨かないと。それがないとジェロムの圧力がかかってきますから。それをしっかり、今から磨かせないといけないと思っています。いずれにしても、優勝争いは混沌としてきて、本当に分かりませんね。これがK-1でしょう。皆さんも優勝予想してみてください」

アーツのコメント

[illegible]

1回戦 第1試合
レイ・セフォー（ニュージーランド）VS ピーター・アーツ（オランダ）

セフォーのコメント

[illegible]

ハントのコメント

[illegible]

1回戦 第3試合
ステファン・レコ（ドイツ）VS マーク・ハント（ニュージーランド）

レコのコメント

[illegible]

シュルトのコメント

[illegible]

1回戦 第2試合
ボブ・サップ（アメリカ）VS セーム・シュルト（オランダ）

サップのコメント

[illegible]

武蔵のコメント

[illegible]

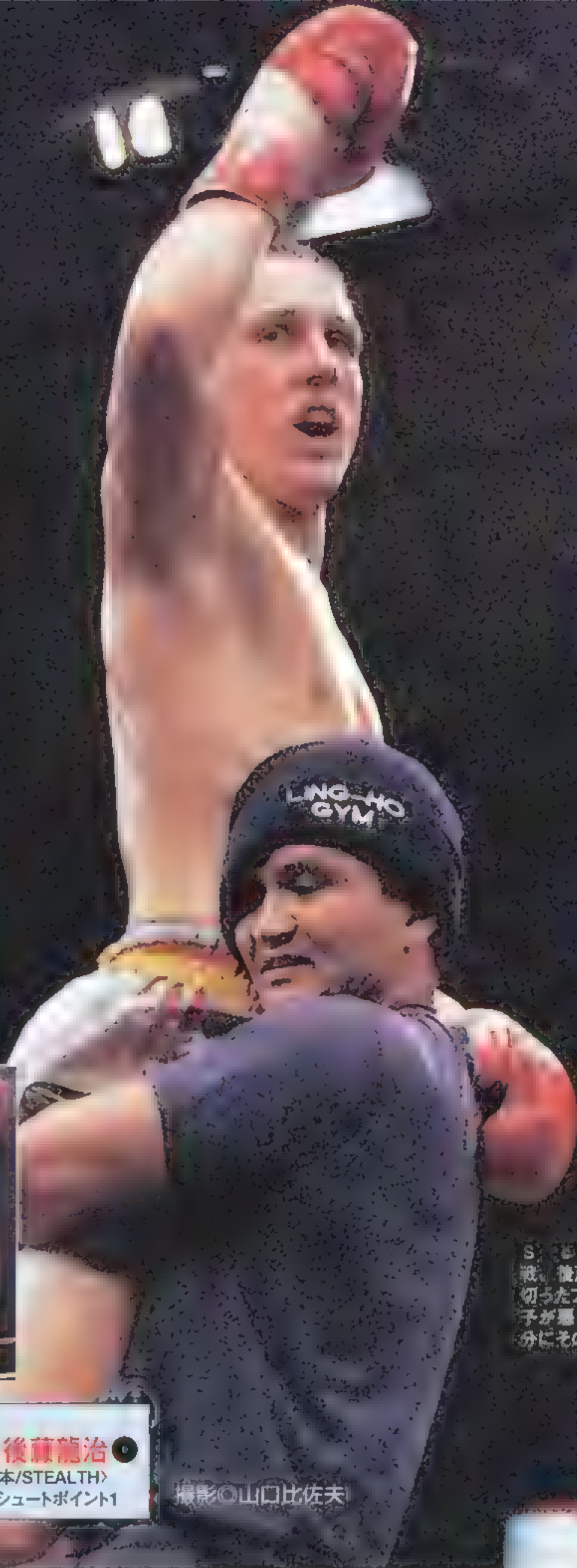
1回戦 第4試合
ジェロム・レ・バンナ（フランス）VS 武蔵（日本）

バンナのコメント

[illegible]

K−1 MAX3週間前に70キロ最強を大アピール！

S−cup王者アンディ・サワー魔裟斗が見守る中、後藤龍治を返り打ち！

Ｓ−ｃｕｐを制した後の初戦。後藤龍治の挑戦を振り切ったアンディ・サワー。調子が悪かったというが、充分にその強さを見せつけた

５Ｒに後藤がシュートポイントを奪ったため、判定は微妙なものとなったが、２−０でサワーが勝利

★第10試合/メインイベント（3分5R）
○アンディ・サワー（5R判定2-0）後藤龍治●
〈オランダ/リンホージム〉　〈日本/STEALTH〉
※採点…49-49、49-48、49-48。後藤は5Rに首投げでシュートポイント1

撮影◎山口比佐夫

競馬の世界でよく使われる表現に〝永遠に縮まらないクビ差〟というのがある。一見、惜しかったように見えて、実はれっきとした実力の差が存在する。9・22シュートボクシング後楽園大会のメイン、アンディ・サワーVS後藤龍治戦が、まさにそういう試合だったように思える。

対戦の条件としてシーザー武志会長から課せられた『30人組手』を乗り越えてまで挑んできた後藤の執念を、Ｓ−ｃｕｐ王者サワーは容赦なく斬り捨てたのだ。

たしかに、後藤は惜しかった。積極果敢に打ち合い、ヒザを繰り出し、シュートポイントも奪った。だが後藤が頑張れば頑張るほど、それでも決して崩れないサワーという壁の厚さ、強さが際立って見える。「打ち合いにいった自分の作戦ミス」と後藤は悔やんだが、たとえ本領であるテクニック型の闘いを挑んだとしても、それはそれでサワーは跳ね返してしまったんじゃないか。そう感じさせる、サワーの強さだった。

この日の勇敢な闘いで、後藤はまた株を上げたと言ってもいいだろう。でも、この試合で敗者を「よくやったよ」とねぎらっても、却って残酷なような気もする。

サワーの強さの質は、正当派のオランダスタイル。左右のフック、ストレート、アッパーとオールレンジのパンチを使いこなし、さらに強烈なレバーへのフックも加わる。そして連打のシメはローキックだ。この厚みのある攻撃が、上かと思えば下、左かと思えば右と常に対角線を狙って放たれる。そのの巧みなコンビネーションは、ロブ・カーマンを見るようだった。

それだけではない。一発一発の

サワーのコメント

「非常に苦しい試合でした。体調が優れなくて、集中することができなかった。次回は本当のチャンピオンとしての自分を見せたいです。ゴトウはタフでハートも強い選手で、私のパンチが効いてないみたいだった。オガタとの試合は、凄くいいものになると思う。マサトやコヒルイマキとも、いつかやってみたい」

後藤コメント

「判定は人が決めることなんで、怒ってもしょうがないんですけど、K-1とS-cupで打ち合いはやめとこうと、僕には合わんと分かってたはずやのに、やってしまったのが僕の甘いところで。今までどおり足使ってれば、打ち勝てると思ったのか作戦ミスですね。レバー打ちはたいしたことなかった。僕にボディは効かないっすよ」

▶後藤はプロレス団体・闘龍門のマグナムTOKYOから譲り受けたマスクを付けて入場

打倒・サワーに挑戦者が続々と名乗り！ 11・4後楽園で緒形と対戦決定！

▶試合後、判定に納得がいかない後藤は再戦を要求。続いて土井広之も「もともとは自分が作った借り 自分が借りを返したい」と名乗りを挙げる さらには緒形健一も……。後藤は負けたばかり、土井は足を負傷中ということで、次回の後楽園大会で、緒形とサワーの対戦が決定！

▶パンチの後には、この"落とすローキック"。オランダ流の見事なコンビネーション

▶とにかくサワーはパンチが強い。フック、アッパーと連打する姿には重厚さがある

サワーの強さはデッカー＋カーマン 後藤の猛追を1ミリ差で突き落とす！

▶本来の持ち味としてはテクニック型の後藤。だがジャブ、アッパーを武器に打ち合っていった。本人は「作戦ミス」というが、決して株は下がっていない

▲後藤はサワーがラッシュを開始すると、あっという間にロープに詰められてしまった

◀シーザー会長から授けられた秘策、ヒザ蹴りも効果的に決まっていた。手数の点では、この試合まったくの互角

ブ・カーマンを見るようだった。

それだけではない。一発一発のパンチの重さ、迫力は、これまたラモン・デッカーばりときている。後藤は何度もバランスを崩し、ロープに詰められていた。

カーマンだのデッカーだの、新しいファンにはなんのことやら意味不明かもしれないが、とにかく、かつてのオランダを代表する2人のキックボクサーの長所を兼ね備えたファイターなのだ、サワーは。そして、この強さを裏打ちするのが、19歳にして91戦（88勝）というキャリアである。試合後のサワーはしきりに「今日は調子が悪かった」と言っていたが、じゃあ調子が良かったらどれだけ凄いのか、ちょっと恐ろしいくらいである。

この日はリングサイドで、10・11「K−1 MAX」のアルバート・クラウス戦を控えた魔裟斗も観戦していたのだが、サワーの強さは、まるで魔裟斗に対して「本当の70キロ最強は誰か分かるよな」とアピールしているかのようだった。サワーは「K−1 MAX」に出ているどの選手にも見劣りがしないどころか、充分に優勝を狙える力があるだろう。

そんな選手をS−cup王者として頂くSB。それは誇りでもあるが、選手たちにとっては大きな壁である。後藤が再戦を訴え、サワーにS cupでKO負けした土井広之も「借りを返す」と表明、さらに緒形健一も名乗りを挙げるなど、完全に"サワー包囲網"を敷く構え。11・4後楽園大会で緒形が対戦することになったが、どう転んでも、壮絶な試合になるのは間違いない。

（橋本）

古巣・SBでの引退試合で強烈なインパクトを残した平直行。伝説の格闘家にふさわしいラストマッチだった

平直行、SBに10年ぶり帰郷&技のオモチャ箱を最後の大解放!!

格闘技界に〝天才〟と呼ばれるべき人間がいるとしたら、それは平直行だ。その闘いぶりを見て、平ほどセンスという言葉を感じさせてくれた人は他にいない。ド派手な技を連発する華のあるファイトは、まるでマンガの世界。いや、実際にマンガにもなった。『グラップラー刃牙』のモデルになったのが、この平なのである。

「要領のよさだけでここまで来ましたから」。本人は言うが、その要領のよさこそ、すなわち天才性というものだろう。

地元・仙台で空手を学び、最初期の修斗（その頃はシューティングと呼ばれていた）でインストラクターを務める。プロデビューはSB。エースとなるが、石井館長が開催した伝説の大会『格闘技オリンピック』に参戦し、SBを離れて総合格闘技にも踏み出す。その勢いでリングスにも出場した。

UFCが登場すると、いち早く反応して技術を吸収、K—1のリングで素手のVT戦をやったり、ブラジルに乗り込んで試合をしたりもした。ブラジリアン柔術に関しても、早くから普及に努めてきた。自分のやりたいこと、興味のあることに貪欲に取り組んでいったのだ。その全てで結果を出せる才能が、平にはあった。それも飄々と、ただただ楽しくてやってます、って感じでやってのける。

格通時代の谷川編集長が彼につけたキャッチフレーズは〝さまよえる格闘家〟。平は常に早すぎたのだ。より新しいもの、より凄いものを探りながら彷徨い、時代や現象は、平の後からついてきた。それもまた、天才の証明なのかも

▶平は初回からバックドロップを連発！　２度シュートポイントを奪い、さらにこの技で相手を場外に放り投げて勝ってしまった。「この技を引っさげて、来年はスーパーＪｒ出るか（笑）」と、格闘技は引退してもプロレスは続ける模様

平のコメント

「打撃もっとやろうと思ってたんですけど、疲れちゃって。でも（フグ・）トルネードかなり効いてましたよ。場外バックドロップも史上初でしょう。伝説を作ってしまいましたね、おかげさまで（笑）。これでＫ－１ジャパン食ったでしょう。それが目標だったんですよ。チーム・アンディが心の中にね。偶然、アンディのメモリアル大会の日で。神様だからいっぺんに見れるかなと思って。アンディも喜んでるんじゃないですか。今回、１カ月とはいえシーザージムで練習させてもらって、ストライブル＆シーザージムで出させてもらって。やっぱりいいですね。10年空いても、すぐ昔と同じようにできて。普通、30すぎて子供の見てる前で泣かないのにね」

『アンディ・メモリアル』の日にフグ・トルネードが決まった！

▲奇しくもこの日は大阪で"アンディ・メモリアル"が開催されていた。アンディと親交の深かった平は、１Ｒ終盤、アンディのオリジナル技"フグ・トルネード"をクリーンヒットさせる

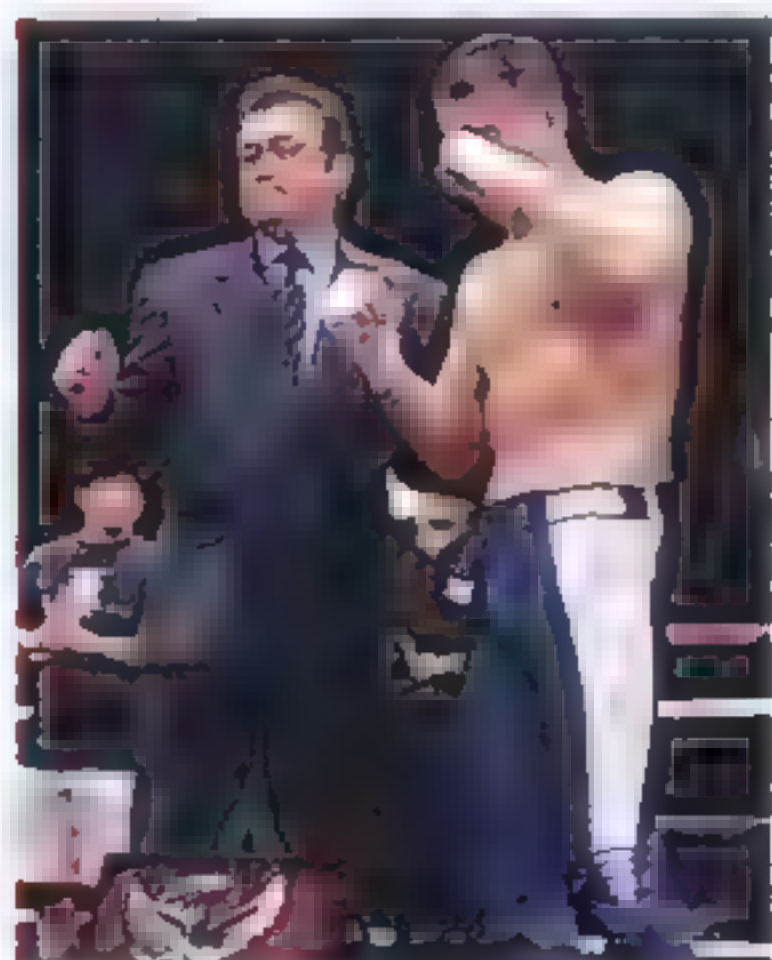
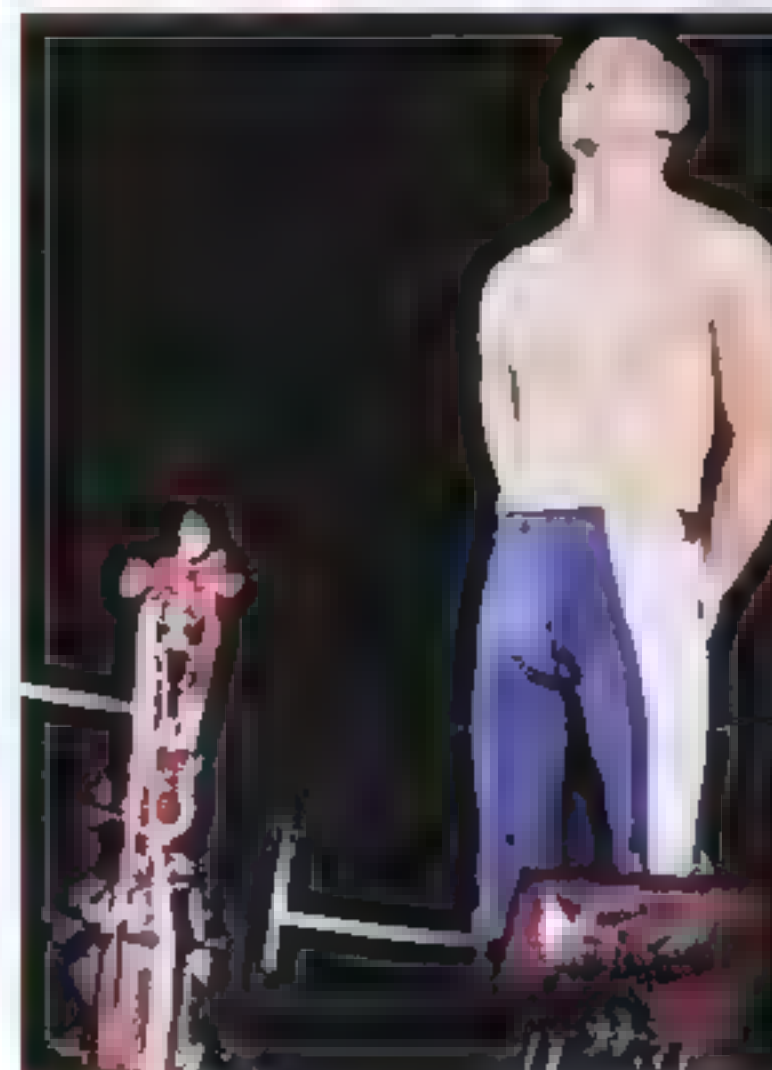
引退試合でここまでやるか！　最後は場外へのバックドロップでKO

★第6試合/平直行現役引退スペシャルマッチ（3分5R）
○平直行（2R1分30秒、TKO）ネストー・ジンメルマン●
〈日本/ストライブル&シーザージム〉　〈オランダ/リンホージム〉
※場外へのバックドロップでセコンドよりタオル投入。平は1Rにバックドロップで2度シュートポイント2、ジンメルマンは2Rに投げによるダウン1

白熱！　2大タイトル戦

◀バックブロー、胴回し回転蹴りと、大技を次々と出していった平　ここまで華のある選手もそうはいない

◀バックドロップで投げられ、エプロンに叩き付けられてしまったジンメルマン。すぐにセコントからタオルが入った。「わざわざ外国から来てあんなことされたらヘコみますよねぇ」と平

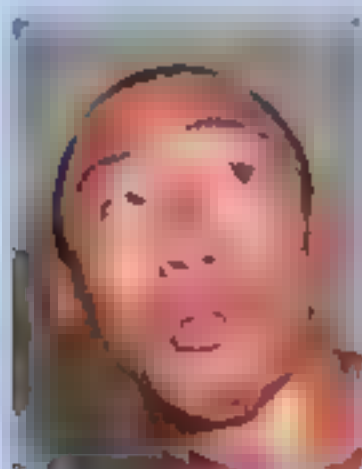
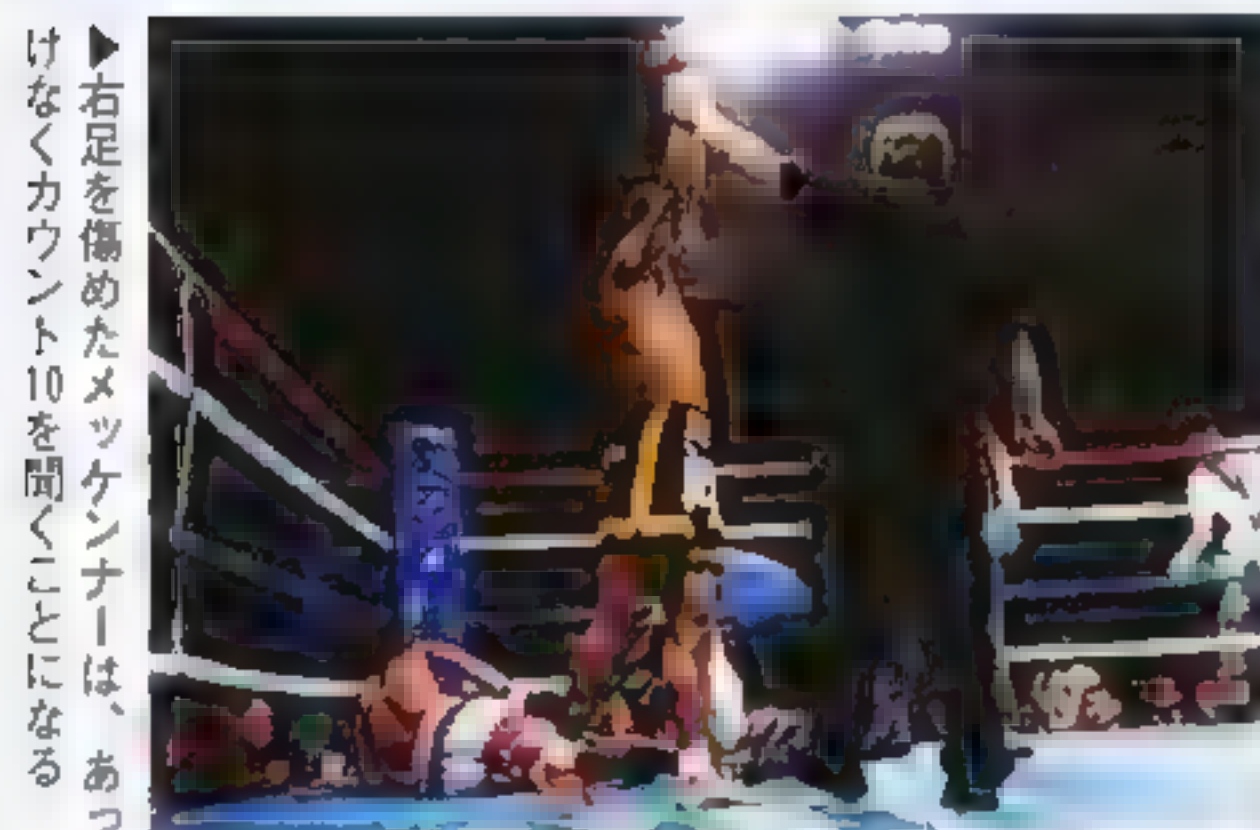
◀前代未聞のフィニッシュに場内は一瞬、騒然となる。しかし平は「ダーッ」。これで観客も一気に盛り上がった

◀吉鷹弘、大江慎ら、ゆかりのゲストが花束を渡し、最後はシーザー会長かセレモニーに登場。２人とも涙、涙……

◀万感の想いで10カウントゴングを聞く。ド派手な引退試合も、最後は感動的に幕、となった

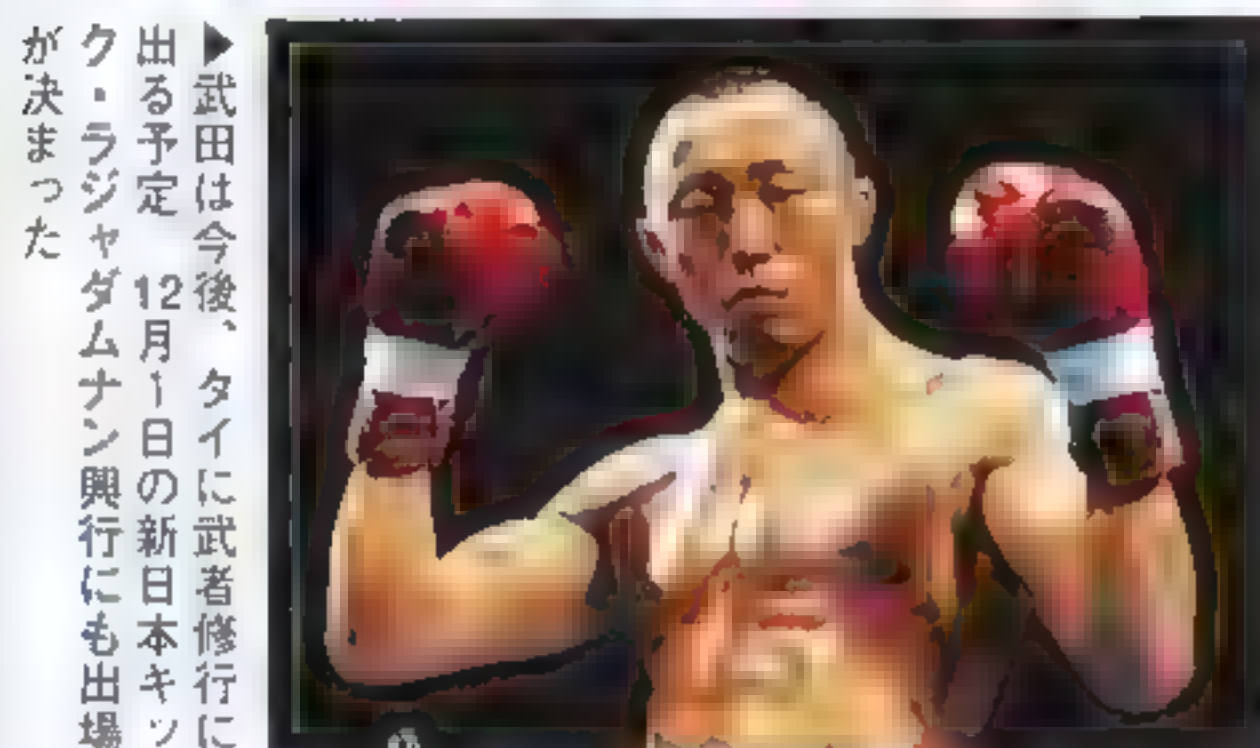
しれないが。そういえば平はプロレスのリングにも上がっているのだが、これも最近の〝格闘技→プロレス〟という流れの先取りだ。
　そんな平が引退試合の場として選んだのは、古巣ＳＢのリングだった。かつての平は、飛び蹴りでＫＯしたり、倒れた相手にいきなり腕十字を仕掛けたりして対戦者も観客も驚かせたもの。そして今回も、現役生活の集大成とも言うべきド派手で破天荒で楽しい、オモチャ箱をぶちまけたようなファイトを見せてくれた。
　１Ｒからバックドロップ、バックブロー、フグ・トルネードとやりたい放題の平。最後はなんとバックドロップでロープ越しに放り投げてＫＯ！　引退試合なのに、哀愁やら感傷やらはゼロである。災難なのは相手のジンメルマンだ。当初に出場予定だった選手がケガで欠場、代打で急に出たと思ったらメチャクチャにされてしまったんだから。それを「わざわざ外国から来てあんなことされたらヘコみますよねぇ」と冷静に振り返る平も凄いが。あんたがやったんじゃねえか！
　それでも試合後の引退セレモニーでは、シーザー会長とともに涙。試合のインパクトが大きければセレモニーの感動も大きいという、見事な幕引きだった。
　場外へのバックドロップを「流行ったらやばいな。でも僕しかできないでしょ」と言う平。そのとおり。ＳＢ、総合、柔術と平のやってきた道筋を辿ることはできても、誰も平のようには闘えない。だから天才なのだ。もう出てこないだろうな、こんな人は。（橋本）

新日本キック
ADVANCE ATTACK
～進撃～
9.22★ディファ有明

武田、まさに不完全燃焼。72秒KOにも不満、不満、不満だらけ

「ブチッ」ではい終わり。どうか大ケガであってほしい……。

武田のコメント

「満足感？ 全然（ありません）。長い間、選手をやっていると、こんなこともあるんですね。今日やりたいと思ったことは、ある程度はてきたんだけど…… たとえば、ローには手応えはあったし でも、3回戦とか一生懸命闘っている選手、それから熱心に見てきてくれた人たちに申し訳ありません 次の試合に、みなさんが来てくれるかどうか心配です」

▶右足を傷めたメッケンナーは、あっけなくカウント10を聞くことになった。

▶それにしてもメッケンナーはもろかった。パンチで武田を脅かしたのもほんのつかの間

▶武田は今後、タイに武者修行に出る予定。12月1日の新日本キック・ラジャダムナン興行にも出場が決まった

▲▶メッケンナーは豪快に右ハイをミスした直後、武田のローを浴びて大の字

▲あまりにも短い闘いだったが、ローについては「やりたかったことが出たと思う」と武田

★第15試合/メインイベント（3分5R）
○武田幸三（1R1分12秒、KO勝ち）メッケンナー・ソーキングスター●
〈治政館〉 〈タイ〉
※右ローキック

撮影◎吉澤晃

「相手には申し訳ないけど、足がある程度壊れるくらいのケガであってほしい。でなけりゃ、納得できない。観客のみなさんも、自分も」

控室での武田の一言が、この結末の全てを物語る。待ちに待ってやっと登場した武田の試合が、こんなに早く、またあっけなく、さらに突拍子もない終わり方になるなんて、誰も考えてもいなかった。

開始ゴングからまずは様子見、2、3の軽いやりとりがあって、メッケンナーは豪快な右ハイを繰り出す。空振り。着地と同時にバランスを失う。ここで武田は右ロー。タイ人はバッタリと倒れ込むと、右足をつっぱらかして苦しみもがく。そのままレフェリーがカウントアウトする。で、全部は終わったのだ。ローを打った時、武田は「ブチッ」と何かが壊れる音を聞いていた。でも、見る側からは何も分かりはしない。

確かに武田には勝利が必要だった。ラジャ2階級制覇をかけた一戦でまさかの秒殺負け。再起戦でもヒジで切られて無念のTKO負け。トップに帰り着くためには、ひとまずの形がほしい。それでも、これじゃ……。

「相手が悪いのではなく、そういう相手と闘わなければいけない自分が悪い」と武田。これも厳しい道を行く者の修行の一つ。達観にも近い、武田のその覚悟だけは、無言で帰っていったファンの人々にも、どうしても感じていってほしい。 （宮崎）

牽引矯正で身長を高く！

延身牽引矯正具

スレンガー

小型・軽量・使いやすい

このような方はスグ実行

身長を高くする
猫背等を正し姿勢を良く
骨格の歪み、圧迫などの回復

部品・修理・1年保証

スレンガータイプM

寸法:115cm(最大150cm)幅38cm
対応身長:135〜180cm 年齢10〜40才
男女兼用　牽引力6Kg〜25Kg(目安数値)

店頭・通販共通

価格 **16,800**円

今日では、8等身体型、小顔になれる美容器具として注目!!

内蔵バネにより身体は約10cm伸ばされ、骨格の歪み・圧迫を解消し、体内活性により増身作用をもたらします。

クッション足掛けはキャスター付きで、スムーズに移動。

ロック式脇当てアームは、体型に合わせて左右に振れ、どなたにもピッタリ。

手元のハンドルを回すと脇と足の接続棒が伸び縮み、一人で簡単。

接続棒内部は二重構造の新技術。伸縮がスムーズでバネの弾力性を活かし安定した牽引力と使用感。

◆すぐ表れる効果

●男性
一週間ほどで増身効果が表れました。使用前と使用後の身長を正確に計ってみればすぐわかります。とにかく骨格を引っぱると気持ちよく疲れもとれます。

●女性
背が伸びると身体は細く、スマートになります。又、牽引は腹筋運動と同じ効果があるのでお腹がへっこみます。それに頭の大きな子供体型の方も八頭身に・・・・・。

◆正しい理論

デスクワーク・車の運転や作業などで無理な姿勢を強要される現代人においては毎日の骨格への圧迫が蓄積されていきます。その日の負担は当日に解消することが必要で、拡張式の開発により一般家庭での全身牽引が可能になりました。この方法は美容の分野でも注目され、10代はもちろん20代、30代の身長を高くと考える方に活用されています。

◆新発明技術

足掛と脇当を体の上でつなぐ接続棒を設け、拡張させる方法で人体を外方向へ引き伸ばします。特許及び意匠の申請により、当社以外の取扱いは一切出来ません。

スレンガーの特筆すべき5大ポイント！

1. 効果が早く表れる短期即効型!!
2. ベットや床など、どこでも使用OK!
3. 女性も子供も簡単に使用できる安全設計！
4. 小型、軽量で収納が簡単!
5. 機能を追求し、凝縮することで低価格に設定！

施設での牽引矯正が家庭へ 身長を10cm伸ばす!

具体的な活用法は10Kg加重で、まず帰宅時に、入浴後、お休み前に、起床時に各々3ずつトータルで10分位でよく、一度に長くでなく短い時間で回数を多くが一番効果的です。

<データ分析資料>
●牽引矯正は若いほど効果が顕著で、成長期に行う行わないで成人して10cm以上の差が現れます。
●骨格がかたまるのは24才位とされ、それまでが成長可能期となります。25才以上の方については個人差がありますが、圧迫部の解消による1cm〜3cm位が目安となります。
●腰痛や骨延伸矯正など医療目的では牽引力は体重の1/3に設定されています。本機においても可能ですがあくまで美容目的に開発されているもので医療用には使用できません。
●延伸用牽引機については背骨への圧迫解除により血行が良くなることが立証されています。気分転換・ストレス解消にも役立ちます。

無料使用キャンペーン

二週間自由に使って、返品自由

●効果が無いと思えば、ご遠慮なく返品頂いて構いません。
●商品到着後、2週間が試使用期間です。その間は、返品は自由です。返品が確認されましたら、商品代金を即時返金致します。

◆お申し込みは、今すぐお電話・FAX・ハガキで！！◆

●受付/平日9 00〜18 30
0120-61-6131
FAX.03-3505-3363
大阪TEL.06-6365-8867
携帯モード www.nkkco.com/i
インターネット http:// www.nkkco.com

エヌケーケーコーポレーション
営業本社/〒107-0052　東京都港区赤坂2-10-15　宮原第2ビル3F
大阪支社/〒530-0047　大阪市北区西天満5-13-11

●お支払いは、商品のお届けの際に、代金引換えでお願いします。
●万一お気に召さない場合、商品到着後2週間以内返品可能（返送料はお客様負担）
●配送料800円〜1,300円（離島）。商品には別途消費税が加算されます。

●商品名　個数
●〒住所　フリガナ
●氏名　フリガナ
●電話番号
●年齢・性別

50円 〒107-0052 宮原第2ビル3F
エヌケーケーコーポレーション SRS係

10・20『THE BEST3』対戦カード決定！
島田プロデュースVS川崎プロデュース 軍配が上がるのはどっちだ!?

10月3日（木）、DSEの事務所にて『THE BEST vo1.3』の一部決定対戦カードの発表記者会見が行われた。会見に出席したのは森下直人社長と今回、プロデューサー対決を行う島田裕二レフェリーと川崎“ブッカーK”浩市氏の3名。2人のプロデューサーからはお互いのプロデュースのコンセプトと、決定対戦カードが発表された。プロデュースばやりのマット界にあって、この異色のプロデューサー2人は、どのように大会をプロデュースしてくれるのか？ 2人の手腕に今こそ注目せよ！

島田裕二プロデュース コンセプトは格闘技アジアカップ！

島田プロデュースのコンセプトはアジアの未知の強豪選手を集めた「格闘技アジアカップ」。ジャイ落と金の日韓デブ対決をはじめとし、モンゴル相撲、インドネシア拳法、ビルマ拳法といった、これまでの格闘技イベントでは考えられないメンツがズラリと揃った。中でも島田プロデューサー一押しなのが、モンゴル300。剣山の上に寝て、ハンマーで叩かれても平気という肉体と精神力は神秘的の一言。島田プロデュースはアジアの奥深さを存分に味わえるぞ。■

▲島田プロデューサーは今大会に出場するプロレスラーを募集したが、その中で唯一履歴書を送ってきたのがこのアングロサクソン大場。アレクサンダー大塚の弟子で、前回の『THE BEST2』にも出場している実力者だ。BCGのインストラクターを務めている

▲DJニラはTAKAみちのく率いるプロレス団体K－DOJOの選手。「外に目を向けたい」という一言がきっかけとなり、9月30日の後楽園ホール大会で島田プロデューサーより電撃参戦が発表された

▲このアジ・スツーロは、インドネシア拳法ベンチャック・シラットの達人。現地では“ジャカルタの虎”と恐れられ、今年8月にインドネシアで開催されたVT大会で優勝している。今回は、ビルマ拳法ムエカッチャの現役チャンピオンであるシュエ・ドゥー・ウォンとの異次元対決に挑む

「格闘技アジアカップ」対戦カード

ジャイアント落合 VS 金泰王（キム・ジョンワン）
〈日本/怪獣王国〉 〈韓国/誠GYM〉

アングロサクソン大場 VS バドジャルガル・オドフー
〈日本/AODC〉 〈モンゴル/モンゴリアン・トップチーム〉

モンゴル300 VS DJニラ
〈モンゴル/チーム魔法人 〈日本/KAIENTAI DOJO〉

シュエ・ドゥー・ウォン VS アジ・スツーロ
〈ミャンマー/ムエカッチャ 〈インドネシア/ベンチャック・シラット〉

島田裕二 レフェリー生活10周年パーティー

[illegible]
[illegible]の[illegible]年を記念[illegible]
[illegible]も参加[illegible]
[illegible]とのこと。ファンのみんなで島田
[illegible]
◆場所/[illegible]
◆時間/19：00開始予定（『THE BEST』の終了時間次第で変更の可能性有[illegible]）
◆料金/一般 15，000円
[illegible]
◆定員/[illegible]
◆問[illegible]

モンゴル軍団魅惑のプロフィール！

モンゴル300
生年月日不詳。モンゴル出身 181センチ、62キロ 所属はチーム魔法人。オドフー同様、こちらもSRSで発掘されたモンゴリアン。師匠の魔法人より殺人カンフーを伝授され、その腕前は五段 剣山の上に寝てハンマーで殴られても平気という神秘的なベールに包まれた選手だ。今大会の一番の注目株と言っていいだろう。

バドジャルガル・オドフー
1977年3月21日生まれ モンゴル出身 184センチ、105キロ。所属はモンゴリアン・トップチーム フジテレビの格闘技番組 SRSで発掘されたモンゴル相撲の猛者。現役大関・朝青龍を見れば分かるとおり、モンゴル相撲の力士の強さは半端ではない。ちなみに、モンゴリアン・トップチームには他にもメンバーがいるというから、これも楽しみだ

ブッカーKプロデュース コンセプトは日本VS KOTC！

川崎プロデュースのコンセプトは『日本VS KOTC』。バトラーツのカール・コンティニーを加えたWKネットワーク軍団が、アメリカの『KOTC』の選手たちを迎え撃つのだ。ブッカーKのブッキングを考えれば、名前はマイナーでも、いずれも実力者揃いに違いない。迎え撃つWKネットワーク軍団は『THE BEST』でお馴染みの顔ぶれ。『プライド』経験者もいれば、もう少しで『プライド』に出場できそうな選手もいる。マニア好みのカードが揃っているのが、ブッカーKプロデュースだ。■

▲現在、『THE BEST』ではアミール、ボブ・シュライバー相手に2連勝を続けている江宗勲、今回の対戦相手はまだ決まっていない（10月6日現在）

「日本VSKOTC」対戦カード

必要な時には迷わず

優良店情報

―ご利用は計画的に―

緊急企画

健介、突然の新日本退団！ やっぱり長州と合体か!?

文◎ターザン山本

え、何、佐々木健介が新日本プロレスを退団たって？　なぜ、今、この時期に突然、それを発表するんだよ。10月7日の日曜日、健介は都内の某ホテルでマスコミに対して退団を正式表明した。

これって予想どおりの展開なのか？それとも突発的に起こったことなのか、いったいどっちなのだ。健介の新日退団のニュースを聞いたら、誰でもすぐに頭に浮かんでくるのは長州力の名前だ

やっぱり2人は一緒になるのか？　師弟関係の絆は強かったということになる。ただし、また健介が長州の元に行くかどうかは、決まったわけではない

でも、新日を退団した健介が行くところといったら、長州の元しかない。他にどこのリングがあるというのか？

そういった意味では健介の新日退団はそのこと自体はスキャンダルな事件だが、非常に分かりやすい話である。やっぱりそうなったか　そう、なるだろうなという感じである。ただ、新日的にはイメージが悪い。もう、歯がボロボロに抜けていく状態。来年の一月、契約更改の時、何が起こるか分からない

ひょっとしてそこで多くの選手が、離脱していく。そういう流れにならないとも限らないからだ。健介の新日退団はその前触れかもしれない。

なにしろ10・14東京ドーム大会は、今までのドーム大会では、客の反応が最も悪いという噂である。つまりチケットの売れ行きがまったくよくない

あの天下の新日のお膝元に今、火が付いているのだ。そういう時に起こった健介の突然の退団劇。まさに踏んだり蹴ったりだ。健介は退団の理由として10・14ドームのカードを勝手に変えられたことによる会社に対しての不信感を、その主な理由としてあげている

当初、健介はパンクラスの鈴木みのると試合をするはずだった。それが流れてしまい、鈴木みのるはパンクラスのリングで、獣神サンダー・ライガーと闘うことになった。これを見ても分かるとおり、健介はもはや新日では主流派から外れている。蝶野政権の中ではどう見ても、冷や飯を食うポジションにある。

それだったら新日にいても無駄。健介からすると「飼い殺しなんてまっぴらだ！」となって当然だ　真相は分からないが、そういう想像は十分につく。

これを長州による〝引き抜き〟といったら、言い過ぎになるのだろうか？　いや〝引き抜き〟にしか見えない。どう見てもそうだ。長州と行動を共にしている永島勝司氏は、前から健介のことを高く評価していた。バーリ・トゥードのリンクに出して、対等もしくはそれ以上の力を出せるのは、新日では健介以外にいないというのが永島氏の持論でもあったからだ　そこにもってきて健介が長州のかつての一番弟子という事実を考えたらもう、何も言うことはない

長州の新日崩し、新日への揺さぶりの第一弾は始まったと言うべきだ　仮に長州が新団体を旗揚げするか、もしくは他団体に乗り込んでいく場合、ひとりだとどうしても弱い　そこに健介がいたら話は、全然違ってくる

まあ、健介のことは今後、どうなるのかまだはっきりしたわけではないが、きな臭い事件であることはたしかだ。藤波社長や主力選手が今回のことに関して不快感を表明しているのは当然である

「よりによってこんな時期に……」というのは、彼らの一致した意見。とにかく一番、怖いのは人の恨みだ。新日はその歴史の中で多くの恨みを買ってきた。

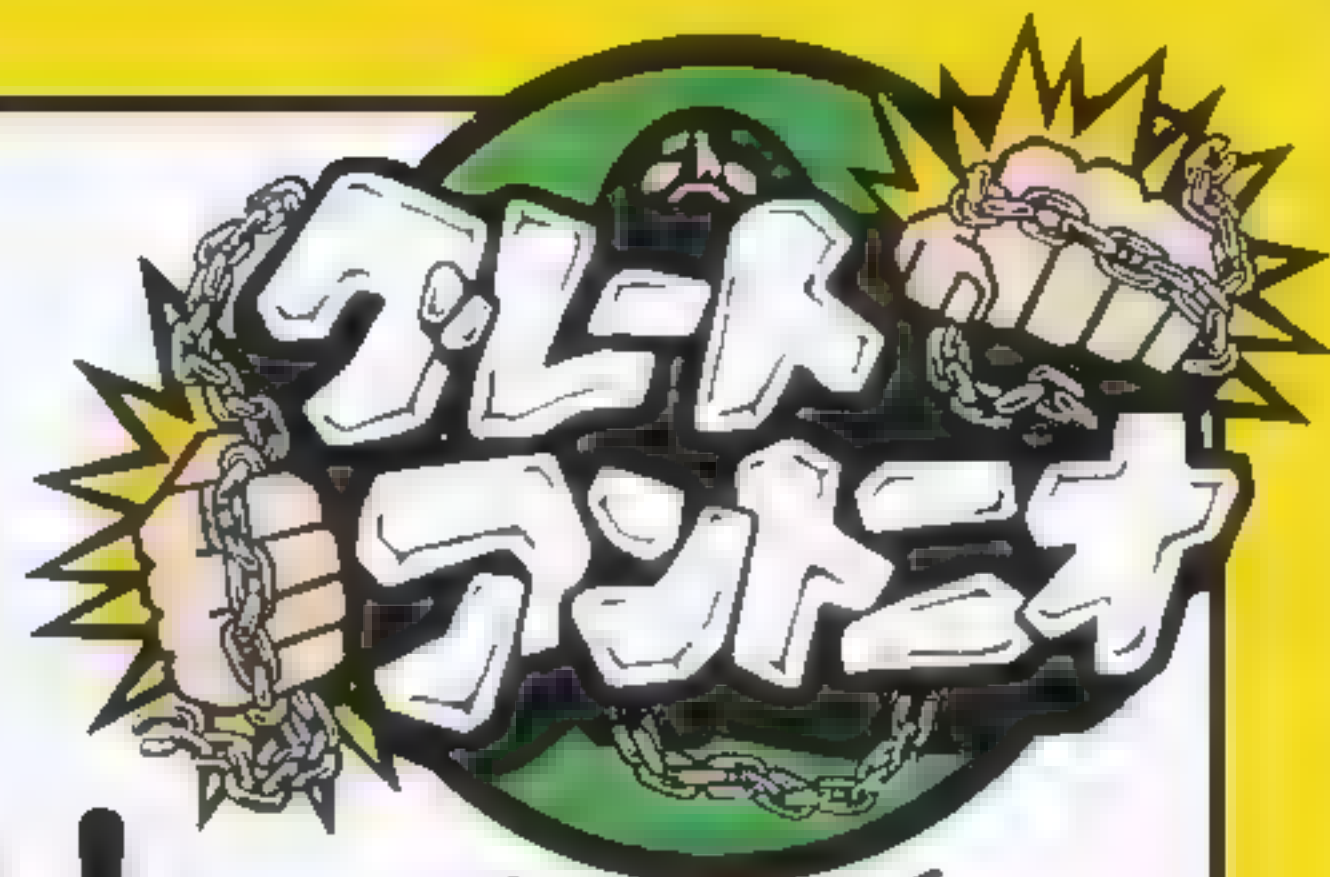
恨みというか怨念というか、それを持って新日を出て行った人間は多い。旗揚げ30年を新たなスタートの年にするなら、そうした人の恨みを持たれない団体にする。それが最も大事だ。

現在、その怨念の気を発している人間が、長州と永島氏に見えて仕方がないのだ。怨念は人にパワーを与える。それは半端なパワーではないのだ。

坂口征二氏が新日の最高経営責任者（CEO）に就任して、新日の再建に乗り出したが、坂口氏がやらなければならないことは、怨念なき団体。クリーンで健康な組織作りに尽きる

そういった意味では過去のそうした負の歴史を、きっちりと悔い改めるのも一つの手である。それができるのはもう坂口氏しかいない。ましてマット界では〝新日包囲網〟みたいなものができつつあるからだ。健介の退団は新日の恥部をさらけ出した事件でもある。■

Mineral & Herb

Fasting Diet

グレートアントニオ

誌上通販

一年中大ブレイク!

ダイエット&体質改善&肉体改造の最終兵器。
いつ何時、誰の挑戦でも受ける!!

ただいま「ファスティング・ダイエット」
購入の方全員に、
アントニオ猪木"闘魂おまもり"
or"元気おまもり"を
もれなくプレゼント中!

ファスティング・ダイエット(360ml×3本入り)
Fasting Diet 18,000円(税別)
販売元/(株)ローテス　開発研究/杏林予防医学研究所

ファスティングに関する詳細は、グレート・アントニオサイト(http://www.great-antonio.jp)か、ヤマダ元気サイト(http://www.yamadagenki.com)をご覧ください。
※グレート・アントニオサイトでは、格闘家たちによる「ファスティング日記」公開中!

東急ハンズ各店舗でも販売中!
【「ファスティング・ダイエット」取扱店】東京近郊/グレート・アントニオ、東急ハンズ渋谷店、新宿店、池袋店、横浜店、ナチュラボ池袋店、仙川店、ランキンランキン渋谷店　名古屋/東急ハンズ名古屋店　兵庫/東急ハンズ三宮店(お守りプレゼントはグレート・アントニオのみです)

ヤマダ元気サイトオープン!
http://www.yamadagenki.com

◀◀ファスティングの父、山田豊文先生開発の"ヤマダ元気"アイテム!

基礎代謝を最大限にアップ!
元気なカラダを作るスーパー健康飲料
グレート・アントニオ店頭でも販売中

●元気ですか!ジュース
(1000ml成人1ヶ月分)
¥4,800(税別)

総合マルチサプリメント!
すべての現代人のベースとなるミネラルとビタミン
グレート・アントニオ店頭でも販売中

●マルチミネラルビタミン
(450mg×180カプセル/成人約2ヶ月分)
¥7,000(税別)

お肌のトータルサプリメント!
美肌成分を配合した飲む高級化粧品

●美肌ゼリー「VIGOL(ビゴール)」
(1セット/12パック入り)
¥10,800(税別)

関節を若返らせるサプリメント!
ヒザ・腰の痛みを解消!

●「関節がヨロコブ海の幸ゼリー」
(1セット/30パック入り)
¥15,000(税別)

"ヤマダ元気"アイテムに関する詳細は、ヤマダ元気サイト(http://www.yamadagenki.com)まで

風向きは『WRESTLE-1』!? 武藤スウェット&サップNEWTシャツ販売開始!! TPGパーカーも完成!

●MUTOスウェット
(グレー/サイズ S・M・L・XL)
¥5,500(税別)

KEIJI MUTO
I NEED ALL THE CROWNS I CAN GET!

FRONT　BACK

TPG

●TPGパーカー
(ネイビー・グレー/サイズ M・L・XL)
¥6,000(税別)

SAPP
DEATH APPLE SYNDICATE

●ボブ・サップTシャツ(ver.2)
(白/サイズXS・M・L・XL)
¥4,000(税別)

FRONT　BACK

ご注文方法

『グレート・アントニオ』&『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル

☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。

☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。

【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp

ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com

【24時間受付】

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円(ゆうパック)、代引手数料約250円(いずれも地域によって異なります)がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で(株)ジャンボ(大阪)より郵送いたします。(ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください)

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます)
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

○神保町駅(半蔵門線/都営新宿線/都営三田線)より徒歩5分
○小川町駅(都営新宿線)より徒歩5分
○淡路町駅(丸ノ内線)より徒歩6分
○竹橋駅(東西線)より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00(月曜定休)
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

たっつぁん万座ビーチ

読者プレゼント

10月14日は体育の日! みんなもTPGパーカーを着て運動しよう!

【グレート・アントニオ提供】

大人気のTPGでパーカーも作りました! しかし、まだまだ隠し玉はあるぞ!

BUZZスウェット (グレー/サイズ M・L・XL)
ブラジル相撲 スウェット (グレー/ サイズM・L・XL)
ビューティーベアスウェット (グレー/サイズ M・L・XL)
TPGパーカー (ネイビー・グレー/サイズ M・L・XL)
BUZZ Tシャツ (白/サイズXS・ M・L・XL)

2名様 2名様 2名様 2名様 2名様 2名様

ブラジル相撲Tシャツ (白/サイズXS・ M・L・XL)

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせ&ご購入は、グレート・アントニオ ☎ 03-3219-9550、http://www.great-antonio.jpまで

【フォーブリック提供】

フライvs高山、史上最激の殴り合いをもう一度!

PRIDE.21 ビデオ & DVD

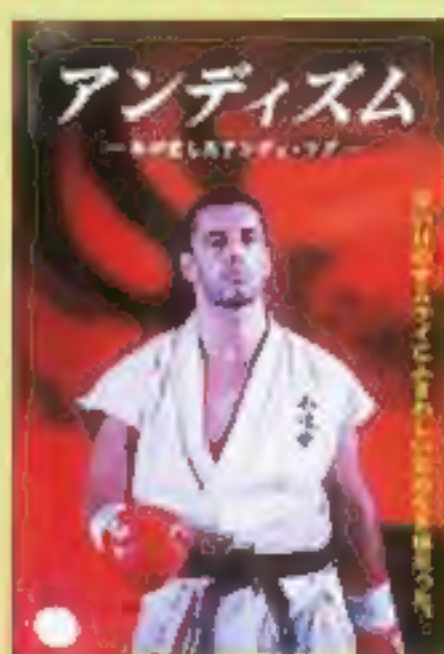
各1名様

※VHS 120分 9,800円(税別)、
DVD 200分(2枚組)4,800円(税別)

【イローナ・フグ提供】

世界に先駆け、日本で発売開始!

「アンディズム」~私が愛したアンディ・フグ~

3名様

※故アンディ・フグの夫人イローナさんからいただきました。
定価 2,100円(税別) A4版 174頁 発売・創芸社。

【吉田道場提供】

"時の人"吉田秀彦選手から直接ゲット!
でもサイン付きではありません。

Dojo Tシャツ
(ボディカラー/白、黒、赤 サイズ/S・M・L・XL)

3名様

326デザインTシャツ 洋犬ピンク
(サイズ/S・M・Youth-M)

3名様

back

326デザインTシャツ/日本犬イエロー
(サイズ/S・M・Youth-M)

3名様

back

※Dojo T 4,000円。326 T 定価4,600円。なお、吉田道場グッズは吉田秀彦ホームページでご購入できます。詳しくは http://www.hidehiko.jp/

応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう!

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
❶郵便番号・住所・電話番号
❷お名前
❸年齢・ご職業
❹希望プレゼント名
❺今号で面白かった記事とその理由(複数可)
❻今号で面白くなかった記事とその理由(複数可)
❼本誌に対するご意見・ご感想
を書いて、ビシバシ応募してください!

あて先は 〒101-0054 東京都千代田区
神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ⑳』係まで
締め切り…2002年10月31日(木)当日消印有効。

【旭道山提供】

新進党時代に作ったという超レアなキーホルダー

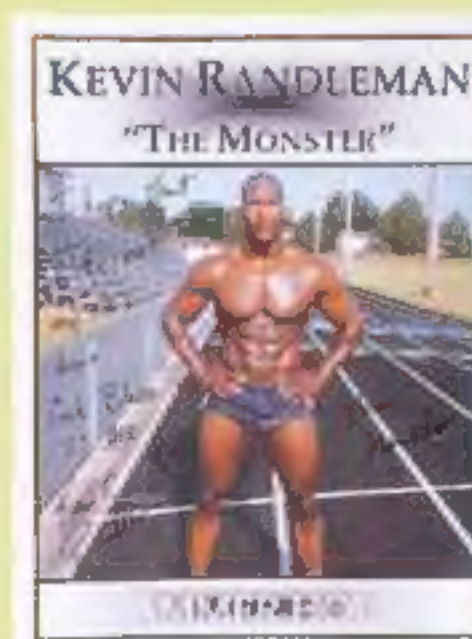
旭道山キーホルダー

2名様

※非売品。前号のインタビューの際に旭道山より直々に授かったお宝。相撲ファンにはたまらない一品だぁ

【本誌編集部提供】

写真もかなりイカスけど、サイン入りだからね、コレ!

ランデルマン サイン入りポートレート

1名様

※もちろん、非売品。本誌記者が成田空港でランデルマン本人からゲットしたお宝。これ1枚しかないゾッ!

SRS DX 10・24 No.80

10.5 K-1 WORLD GP2002開幕戦速報!

9.29 PRIDE.22名古屋大会詳報

平成14年10月24日発行 第4巻・21号・通算80号
発行人／藤賀圭太 編集人／谷川貞治 発行・発売／(株)扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1 TEL03-5403-8859(販売)
(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
TEL03-3295-4445(編集) 協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

定価680円 本体648円

雑誌21584-10/24 T1121584100685

印刷／(株)廣済堂
printed in Japan